
STUDY GUIDE

2025

佛教大学

在学中保存

『STUDY GUIDE』（本冊子）は 卒業時まで使用します 在学中は必ず保存のこと

※「Ⅳ. 学籍・学費」以降のページは、最新年発行の『STUDY GUIDE』を参照してください。

在学中、本冊子に掲載する内容に変更が生じた場合は、B-net にてお知らせします。
また、年度当初に、最新版の『STUDY GUIDE』を大学 HP に掲出しますので、必ず
確認してください。

学生への 連絡方法

学生の皆さんに周知を要する学修上の連絡事項は、すべて
B-netに掲出します。

一旦、掲出したものについてはすべての学生へ連絡したもの
として取り扱います。

定期的にB-netを確認し、見落としのないように注意してく
ださい。見落としによる不利益は学生自身の責任とします。

※B-netの詳細は、次頁を確認してください。

※一部、学内掲示板でもお知らせします。設置場所は以下の通りです。

●学内掲示板一覧



掲示内容	1号館 北側	1号館 (2階)	6号館 中通路	6号館 東側	7号館 中通路 (北)	7号館 中通路 (南)	各研究室棟 (8・10・11号館、 二条キャンパス 1号館3～6階)	二条キャンパス 1号館(1階) 事務室前	二条キャンパス 1号館(2階)
履修関係	○	○	—	—	—	—	—	○	—
進路・就職	○	○	—	—	—	—	—	—	○
学生生活	○	○	—	—	—	—	—	○	○
大学行事	○	○	—	—	—	—	—	○	○
その他	—	関係領 域ごと に掲示	学生専用	学生専用	書道展示	—	学部・学科の 連絡専用	事務室からの 連絡	保健医療技術 学部・事務室か らの連絡

履修に関する問い合わせ

必ず本人が学生支援課カウンター窓口にて問い合わせてください。本人以外からの問い合わせや、
本人であっても電話での問い合わせには一切お答えできません。

B-net Portal について

B-net Portal とは（略称 :B-net）

大学が発信するお知らせの確認や各種申請の手続きなどを行うことができるポータルサイトです。

B-netにはWeb版とスマートフォンアプリ版(UNIPA)があります。

ログイン方法について

1. 以下のとおり B-net にアクセスしてください。

【Web 版】

<https://b-netrx.bukkyo-u.ac.jp/>

または、佛教大学ホームページ (<https://www.bukkyo-u.ac.jp/>) トップページ（ホーム画面）下部にある「ポータルサイト B-net」をクリックしてください。

※スマートフォン用サイトもあります。詳しくは、上記 B-net ログイン画面よりご確認ください。

2. ログイン画面からユーザー ID とパスワードを入力してください。

※ ユーザー ID およびパスワードについては、入学時に配付する「アカウント・パスワード通知」にて確認してください。

ホーム画面

ホーム画面では、大学からのお知らせ、休補講・教室変更、教務情報などの掲示、各種利用マニュアルなどが確認できます。

（掲示例：落とし物連絡・奨学金手続き案内・履修登録期間開始・教室変更・就職ガイダンスなど）

個人情報の照会、変更申請

大学（B-net）に登録されている、本人、保証人情報などを確認することができます。また、登録情報（住所や電話番号）などに変更が生じた場合、「ホーム画面＞情報照会＞学籍情報変更申請」より変更することができます。

授業情報

授業に関する各種情報を確認することができます。

開講科目の開講曜日・講時や「シラバス照会」では、授業の概要、到達目標、成績評価の基準、テキストなどが確認できます。

※シラバスについての詳細については『STUDY GUIDE』p.27 を確認してください。

資格・成績

「希望資格登録」では、取得希望する教育職員免許状・諸資格を登録できます。登録をすることで、事務手続きや履修指導をうけられます。

「成績照会」では、自身が学修した授業科目の成績や現在の修得単位数等を確認することができます。

Web 申請

学籍異動や傷害・事故報告、学内奨学金をはじめとした各種申請ができます。

事務取扱時間および電話番号

主な **学生対応窓口** の事務取扱時間および電話番号は以下のとおりです。

※授業日や行事日以外で事務の取扱いを休止する場合は B-net でお知らせします。

窓口	場所	電話番号	取扱時間
学生支援課	1号館2階	075-493-9009	平日 / 9:00~13:00 14:00~17:00 土曜 / 9:00~13:00
教職支援課		075-493-9092	
資格課		075-493-9016	
二条キャンパス事務課	二条キャンパス 1号館1階	075-366-5660	平日 / 9:00~13:00 14:00~17:00
情報システム課	1号館2階	075-493-9003	
社会連携課		075-493-9002	
国際交流課		075-493-9017	平日 / 9:00~17:00 土曜 / 9:00~13:00
進路就職課		075-493-9058	
生涯学習部 （通信教育課程）事務局	1号館1階	075-491-0239(代)	木曜日および通信教育課程の学事行事のない 土曜日・日曜日・祝日は事務取扱休止日。 詳細は通信教育課程HP参照。

※場所は 2025 年 2 月現在。変更となる場合は、B-net にてお知らせします。

目 次

佛教大学を知る 3

I. 各学部 of 教育目標

仏教学部	10
文学部	12
歴史学部	14
教育学部	16
社会学部	18
社会福祉学部	20

II. 履修一般事項

履修にあたって	25
授業科目の区分について / 必修科目・選択科目・自由科目の分類について / 単位 / セメスター制 / シラバス / 科目ナンバリング (学部)	
履修登録	30
履修登録 / 履修登録の流れ / 履修登録の留意事項 / 履修登録の手続き / 履修登録状況の確認 / 履修登録の完了 / 履修取消し制度	
授業	36
授業時間 / 集中講義・実習 / 休講 / 補講 / 授業欠席 / 公欠	
試験	38
試験の種類 / 定期試験について / 教室試験 / リポート試験 / 追試験について	
緊急時における授業・試験の取り扱い	43
休講および定期試験休止 / 休講の解除および定期試験休止の解除 / その他の事項	
学校感染症罹患により欠席した授業・試験の取り扱い	44
欠席の連絡方法について	
成績と単位認定	45
成績 / 成績の確認 / 成績に関する調査申請 (成績疑義) について / 単位互換制度の単位認定 / 通信教育課程との併修履修による単位認定 / 他の大学・短期大学で修得した単位の認定 / GPA 制度	
卒業論文・卒業研究・卒業リポート	49
各学部学科の卒業論文・卒業研究・卒業リポート	
卒業	50
卒業所要単位と要件 / 卒業所要単位充足者発表 / 再試験 (卒業)	

III. 教育課程

【全学共通科目・全学教養科目】	55
外国語科目履修の注意点 / 全学共通科目・全学教養科目 履修科目表	
【専門科目】	
仏教学部 仏教学科	58
文学部 日本文学科	69
中国学科	79
英米学科	90
歴史学部 歴史学科	99
歴史文化学科	108
教育学部 教育学科	117
幼児教育学科	128
臨床心理学科	136
社会学部 現代社会学科	145
公共政策学科	152
社会福祉学部 社会福祉学科	159
大学コンソーシアム京都「単位互換制度」	168
短期海外語学研修	169
派遣留学・交換留学	170
通信教育課程との併修履修制度 (「免許併修」)	171

IV. 学籍・学費 175

学籍情報変更の手続き / 学籍異動 / 学費 / 奨学金・支援制度

V. キャンパスライフ 182

学生証 / 学籍番号 / 災害時ガイドブック / 安否確認 / 健康管理 / 救急発生時の対処 / 医療機関を知りたい / 大学生生活の心得 / 困ったとき、悩んでいるときの相談 / 障害学生支援 / ハラスメントの防止 / 人権啓発 / 盗難・忘れ物 / 各種証明書 (学割証)・願書・届出一覧 / 通学 / 傷害保険 / 在学中の ICT サービス / キャンパスマップ / 学内の店舗等 / 図書館・図書室 / ボランティア / 海外渡航 / 留学生支援 / 課外活動 / 備品の貸出 / 施設利用 / 更衣室・ロッカー利用 / トレーニングルーム / アルバイト / 部屋探し

VI. 進路・就職支援 221

さまざまな進路 / 進路就職課を知ろう！ / 学部3年生以上および大学院のみなさんへ！

VII. 大学の取り組み 226

宗教情報行事 / 環境にやさしいキャンパス / キャンパス全面禁煙 / 個人情報の取り扱い / 文化に触れる / 附属機関・関連施設 / 佛教大学教育後援会 / 佛教大学同窓会 / アクセスマップ

VIII. 規程 239

佛教大学を知る

- ・ 佛教大学の建学の理念ならびに使命と目的
- ・ 学章
- ・ ロゴマーク
- ・ 学歌
- ・ 公式マスコットキャラクター



佛教大学の建学の理念ならびに使命と目的

佛教大学は、学則第1条に示す通り仏教精神を建学の理念とし、大学の責務である「人材養成」を目的とし、「教育」「研究」「社会貢献」の三領域において、仏教精神に基づく多様な活動を行いながら、世界文化の向上と人類福祉の増進に貢献することを使命として、これを達成するために相応しい教育研究組織を設置しています。

学則第1条

「本学は学校教育法（昭和22年法律第26号）に基き、仏教精神により人格識見高邁にして、活動力ある人物の養成を目的とし、世界文化の向上、人類福祉の増進に貢献することを使命とする」

仏教精神

本学が建学の理念としている仏教精神とは、仏教を開いたゴータマ・ブッダ（釈尊）と浄土宗を開いた法然上人とに共通する生き方と考え方を指します。釈尊は「私とは何か」「私はどう生きるか」そして「私は自分自身に何を期待できるのか」つまり私の生きる道＝人の生きる道を求めて修行し、その道を成就して、われわれに人として歩むべき道を説き示したのです。一方、法然上人は、末法とも呼ばれた混乱の続く不安定な時代にあって、生きることに苦しみ、天災地変や戦乱の苦しみに喘ぐ人々の中で、大乘仏教に私の生きる道＝人の生きる道を求め、自己の愚かさを自覚し、念仏の道を体得し、すべての人が等しく導かれる道を説いたのです。ブッダによってはじめられ、法然上人によって受け継がれた生き様と考え方こそ、「転識得智」なのです。それは現実の生き方の中で、常に己自身のあり方をしっかりと見つめながら、学んできた知識を人生のさまざまな場において何を為すべきか判断する力、実行してゆく力、すなわち生きる力へと転換してゆける智慧を得ることなのです。この二人に共通する生き方こそが仏教精神に他なりません。この精神にのっとり、自らも生かされている社会において、他に幸せを分かち与え、他の苦をぬぐい去る慈悲のこころをもって、自らが生きていることを活かしてゆける人材の養成を目指します。

佛教大学の教育研究上の目的

佛教大学は、使命と目的に基づいて、以下のように具体的な教育研究上の目的を設定し、大学の教育事業を展開していきます。

人材養成の目的

- ①仏教精神に基づいて、豊かな人間性、確固たる倫理観、智慧と慈悲を身につけた人材、すなわち「人間力」をもった人材を養成する
- ②生老病死に関わる諸問題に対応できる人材を養成する
- ③社会人として必要な教養や知識・技能を身につけた人材を養成する
- ④自己をみつめ自己を理解する力、周囲の環境や人間を理解する力を身につけ広い視野で思考できる人材を養成する
- ⑤専門領域に関する知識や技能を修得し、自ら問題を発見し、個人あるいは共同でその解決に積極的に取り組み、解決策を提示できる人材を養成する

その他の教育研究上の目的

1) 教育

- ①人材養成の目的に基づいた多様な教育課程を提供する
- ②幅広い人々に向けて生涯にわたる学修の機会を提供する
- ③正課・課外の両面にわたって学生への支援を充実する
- ④専門領域に応じたキャリア形成支援を推進する

2) 研究

- ①人文科学領域における最新の研究を遂行する
- ②社会科学領域における最新の研究を遂行する
- ③自然科学・保健医療技術領域における最新の研究を遂行する
- ④それぞれの専門領域における研究成果を積極的に教育へ還元する

3) 社会貢献

- ①実践や実習、ボランティアなどを通じて地域社会へ貢献する
- ②研究成果を積極的に社会に還元し貢献する
- ③さまざまな学びの機会、生涯にわたる学びの機会を提供することで社会に貢献する
- ④さまざまな領域に優れた人材を輩出し社会に貢献する

佛教大学の教育方針

佛教大学は、建学の理念に基づき、使命と目的ならびに教育研究上の目的を達成するために、ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）を以下の通り定めます。

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

人材養成の目的にも示したように、本学は仏教精神に基づいて、豊かな人間性、確固たる倫理観、智慧と慈悲を身につけた人材、すなわち「人間力」をもった人材の養成を目指しています。具体的には「転識得智」すなわち社会人として必要な教養や知識・技能および専門知識を生きる力（応用力）へと導く力を培うことを目的とします。

以下に示す力を修得するとともに、学部・学科の人材養成の目的に基づいて設定された教育課程を修めた学生に対して、本学は卒業を認定し学位（学士）を授与します。

- ① 仏教精神に基づいて、豊かな人間性、確固たる倫理観、智慧と慈悲を身につけている
- ② 仏教精神に基づき、人生における諸問題に対応する力をもっている
- ③ 社会人として必要な教養や知識・技能を身につけている
- ④ 自己をみつめ自己を理解する力、周囲の環境や人間を理解する力を身につけ広い視野で思考できる力をもっている
- ⑤ 専門領域に関する知識や技能を修得し、問題把握力と問題解決力を身につけている

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本学はディプロマポリシーに掲げる内容を修得できるよう、各科目群にわたって学生が主体的に学ぶアクティブ・ラーニングを積極的に取り入れ、獲得した知識・技能を生きる力（応用力）として定着させます。また、単位修得状況および GPA 等の基準に基づき、知識・技能の修得度を評価します。そのため、順次性・体系性を重視した教育課程を以下の通り編成し、卒業研究（論文・レポート等）によって4年間の学修成果とします。

- ① 仏教精神に基づいて、豊かな人間性、確固たる倫理観、智慧と慈悲を培うための科目を提供する
- ② 社会人として必要な教養や知識・技能を身につけるために、全学共通科目および全学教養科目の科目群を提供する
 - ア 現代社会で活動するために必要な基礎的人間力を養成するための科目
 - イ 国際的感覚をもち、異文化を理解するために必要な基礎語学力を身につけるための科目
 - ウ アカデミックライティングを修得する初年次科目
 - エ 大学生として学問に向かう基本的な姿勢を修得する科目
 - オ 専門学修を経たうえで、社会人として批判的かつ多角的に物事を判断できる力を身につける科目
- ③ 学部・学科の専門領域に関する知識・技能を修得し、問題把握力と問題解決力を涵養するための科目群として、以下のような専門科目を提供する
 - ア 学部の学修の基幹をなす科目
 - イ 学科のスタディスキルを学ぶ初年次科目「入門ゼミ」をはじめ、学科の学修の基礎となる科目
 - ウ 学科における専門学修の中核となる科目
 - エ 学部・学科の専門学修に関連して学びを補完する科目

学 章

本学が建学の理念の拠り所としている浄土宗を開かれた法然上人の生家の家紋であった杏葉に大学の文字を配したものです。

仏教の精神、浄土宗創建の理念に基づき、世界の福祉と文化の向上に貢献する人材の養成を旗印としています。



ロゴマーク

佛教大学の「佛」という漢字と、アルファベットの「B」がモチーフ。人と人が、手を差し伸べ互いを支え合い、つながる様子をイメージしています。

ボールドのゴシック体をベースにして、堂々と力強く成長していく姿を表現しています。



学歌

作詞:小西存祐
作曲:吉田恒三 (昭和11年4月制定)

一、高^{ひか}輝る千古の都

若草の萌出るところ
ここ鷹陵の吾等が学舎
ここ鷹陵の吾等が学舎
ここ鷹陵の吾等が学舎

二、礙^{さえ}られぬ光こめたり

黒谷の春のあけぼの
誰^たぞ開く報^{ほう}恩^{おん}蔵^{ぞう}
誰^たぞ開く報^{ほう}恩^{おん}蔵^{ぞう}
誰^たぞ開く報^{ほう}恩^{おん}蔵^{ぞう}

三、仰ぎ見よ華頂の峰

その高き教ぞ栄ゆる
還^{げん}愚^ぐ痴^ちの聖^{ひじり}在^いませり
還^{げん}愚^ぐ痴^ちの聖^{ひじり}在^いませり
還^{げん}愚^ぐ痴^ちの聖^{ひじり}在^いませり

公式マスコットキャラクター

開学100周年記念事業の一環として、有志の学生グループが中心となり制作に取り組みました。学生たちの熱心な活動が実を結び、2010年10月23日の創立記念日に公式マスコットキャラクターとして発表されました。また、ネーミングは1,400件を超える応募の中から「ぶったん」と決定しました。



ありがとうのうた「ありがとうー感謝ー」

佛教大学開学100周年記念事業ありがとうプロジェクト企画

開学100周年の感謝の気持ちを表すために、ふだんなかなか言葉にできない「ありがとう」を伝えるきっかけとなるように、そのような想いで学生と教職員が一丸となり「ありがとうー感謝ー」の楽曲がつけられました。



I. 各学部 of 教育目標

仏 教 学 部

P.10

文 学 部

P.12

歴 史 学 部

P.14

教 育 学 部

P.16

社 会 学 部

P.18

社会福祉学部

P.20



仏教学部の教育研究上の目的

仏教学部では、使命と目的に基づいて、以下のように具体的な教育研究上の目的を設定しています。

人材養成の目的

- ①建学の理念に基づく豊かな人間性と確固たる倫理観を備え、叡智と慈しみをもって自己をみつめ、常に自己啓発しうるとともに、他者を思いやり、自然の恵みに共感できる人材を養成する
- ②仏教の精神に基づき、平等で平和な社会に向けた、現代社会に対する理解力と対応力を身につけた人材を養成する
- ③仏教を中心としつつ、社会人として必要な教養を身につけた人材を養成する
- ④仏教に関わる諸領域における学修を通して、さまざまな問題を把握する力とそれを表現する力を身につけた人材を養成する

その他の教育研究上の目的

1) 教育

- ①生老病死に関わる諸問題について発信する本学の基幹学部として、全学に仏教精神を涵養する教育を進める
- ②建学の理念に基づく豊かな人間性と確固たる倫理観を備え、叡智と慈しみをもって自己をみつめ、常に自己啓発しうるとともに、他者を思いやり、自然の恵みに共感できる人材を養成するための多様な学修機会を提供する
- ③専門分野の教育はもとより、自らの内面を豊かにする幅広い教養を身につける機会を提供する
- ④現代社会の諸問題への関心と関わりを喚起するような学生支援を行う

2) 研究

- ①仏教学を基盤とする多角的・複合的な視座からの研究を遂行する
- ②最新の研究成果を共有し合い、それを教育の現場と社会に還元する
- ③他の諸科学との学際的な研究を進め、それを専門研究にフィードバックする

3) 社会貢献

- ①仏教の他者への思いやりの精神に基づく活動を通して、地域社会に貢献する
- ②共生の精神を具現していく人材を社会に提供することで貢献する
- ③多様な生涯学習の場と機会を社会に提供することで貢献する
- ④宗教者としての自覚のもとに、さまざまな人々との対話を通して、成熟社会に向けた貢献を進める

仏教学部の教育方針

仏教学部では、教育研究上の目的を達成するために、ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）を以下の通り定めます。

仏教学部のディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

- ① 仏教および仏教に関連する研究領域に関わる基礎的知識と専門的知識を修得し、それを表現し、発信していく力を身につけている
- ② 社会人に必要とされる教養として、基礎的な読解力、歴史を正しく理解する力、問題を発見し解決策を検討する力、問題にアプローチするために資料を収集し、批判的に思考しながら読解する力、問題に多面的な検討を加えて解答を導き出し、それを論理的に表現する力を身につけている
- ③ 以下の二つのうち、いずれか一つの力を身につけている
 - ア 浄土宗教師（浄土宗僧侶）として、仏祖・宗祖の精神を備え、それを伝え広めていく力
 - イ 仏教を学ぶことで培われた知識や技能を、社会のさまざまな場所で積極的に発揮していく力
- ④ 現代社会が抱えるさまざまな問題を理解し対応する力を身につけている
- ⑤ 仏教が日本を含むアジアの人々の生活文化の中で果たしてきた役割を再発見、再評価し、それを社会に発信する力を身につけている

仏教学部のカリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

仏教学部では、仏教に関する体系的な学修を進めることができるように、段階的な科目開講を行い、基礎知識から専門知識まで着実に蓄積されるような教育課程を編成し、仏教および仏教に関連する研究領域に関わる基礎的科目ならびに専門的科目を配置する。

- ① 仏教精神に基づいて、豊かな人間性、確固たる倫理観、智慧と慈悲を培うための科目を提供する
- ② 社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する
- ③ 仏教精神を社会で活かすために、読解力から表現力に至るまでの、以下の科目群を提供する
 - ア 仏教を学ぶに際して基本となる読解力を身につけるための基礎科目
 - イ 仏教の長期にわたる変容の歴史を正しく理解するための歴史科目
 - ウ 仏教に関わる多様な問題に多面的にアプローチすることで、さまざまな問題を発見し、それを解決する方法を思索するための研究科目
 - エ 仏教に関わるさまざまな問題にアプローチするための方法として、関連する資料を収集し、批判的に思考しながら資料を読解する力を培う講読科目
 - オ 仏教に関わるさまざまな問題に関して、多面的な検討を加えるとともに、一定の解答を導き出し、それを論理的に表現する力（話す力・書く力）を培う演習科目
- ④ 以下の二つのうち、いずれか一つの力を身につけるためのカリキュラムを提供する
 - ア 浄土宗教師（浄土宗僧侶）として、仏祖・宗祖の精神を備え、それを伝え広めていく力
 - イ 仏教を学ぶことで培われた知識や技能を、社会のさまざまな場所で積極的に発揮していく力
- ⑤ 現代社会が抱えるさまざまな問題を理解し対応する力を培うために、仏教と現代諸科学に関する科目や実践・体験に関わる科目を提供する
- ⑥ 仏教が日本を含むアジアの人々の生活文化の中で果たしてきた役割を再発見、再評価し、それを社会に発信する力を培うための科目を提供する
- ⑦ 卒業後の進路に応じた各種の免許状・資格を取得することができるカリキュラムの一部を提供する

文学部の教育研究上の目的

文学部では、使命と目的に基づいて、以下のように具体的な教育研究上の目的を設定しています。

人材養成の目的

- ①建学の理念に基づき、自己および他者を見つめて相互理解を形成し、さらに世界の多様性を踏まえて社会で活動する人材を養成する
- ②言語とそれに基づく文化についての基本的理解を有する人材を養成する
- ③日本、中国、英語圏の諸文化について深い理解を有する人材を養成する
- ④日本語、中国語、英語についての運用能力を有し、さらにはその他の言語についての理解を有する人材を養成する
- ⑤国際交流の場において受信とともに発信の能力を有する人材を養成する

その他の教育研究上の目的

1) 教育

- ①専門領域への導入のために、初年次教育をきめ細かく実施する
- ②自己と他者との相互理解についての認識を深めるために、フィールドワークや海外研修・海外留学などの機会を提供する
- ③学生の学修や実践の成果を社会に向けて発信する機会を設けるなどの学生支援を充実させる
- ④専門領域におけるキャリア形成支援を進める

2) 研究

- ①言語を中心とした文学・思想・文化領域における最新の研究を遂行する
- ②専門領域における研究成果をカリキュラムと授業を通して教育に還元する

3) 社会貢献

- ①研究成果を種々のメディアを使って公開し、社会に貢献する
- ②国際交流の領域にすぐれた人材を提供し社会に貢献する
- ③国語、書道、中国語、英語の教員を養成することによって社会に貢献する
- ④学生の学修の成果を公表して社会に貢献する

文学部の教育方針

文学部では、教育研究上の目的を達成するために、ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）を以下の通り定めます。

文学部のディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

- ①社会のさまざまな事象について、建学の理念によって培われた倫理観に基づいて判断を下し、かつ修得した知識を活用して社会的責任を果たすことができる
- ②日本、中国、英語圏の諸言語・諸文化に関するそれぞれの専門領域において、深い知識と理解力を身につけている
- ③日本、中国、英語圏の諸言語・諸文化に関するそれぞれの専門領域において、テーマを設定して自らの見解をまとめることができる
- ④選択した専門領域以外の関連領域について、基礎的な知識を身につけている
- ⑤国際交流の場において、相互理解のために情報の受信者あるいは発信者として活動できる一定の知識と能力を身につけている

文学部のカリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

- ①全学共通科目・全学教養科目の修得を前提とした専門科目を設ける
- ②国際交流における外国語の重要性に鑑み、全学共通科目において複数の外国語の学修を必須とする
- ③世界の多様性を理解する基礎となる科目を学部基幹科目に、初年次教育の中心となるゼミ科目を学科基礎科目に設ける
- ④専門的知識の獲得と理解力の深化をめざし、言語、文学、思想に関する科目を体系的に配置する
- ⑤言語を基盤とした文化に関する知識と理解力を養成するための科目を体系的に設ける
- ⑥長期の海外留学制度を設ける
- ⑦各学科の専門性に対応した教員免許状取得希望者のために関連する科目を提供する

歴史学部 教育研究上の目的

歴史学部では、使命と目的に基づいて、以下のように具体的な教育研究上の目的を設定しています。

人材養成の目的

- ①建学の理念に基づき、過去から現代に至る人間の営みを見つめることを通して、「人間力」をもった人材を養成する
- ②学士課程の学修を通して、社会人として必要な教養や技能を身につけた人材を養成する
- ③歴史学の学修を通して、時間的・空間的な多様性を理解し、自己とそれを取り巻く文化・社会を客観的にみつめることができる人材を養成する
- ④歴史学や関連諸学の学修を通じて、人間・社会・文化等の歴史的な事象について、幅広い知識と多様性に対する理解に裏打ちされた洞察力と判断力を備えた人材を養成する
- ⑤学修の成果を活用して現代社会と能動的に向き合い、学修を通じて体得した多様な方法論と実践力をもって問題解決に取り組む人材を養成する

その他の教育研究上の目的

1) 教育

- ①人材養成の目的に基づいた多様な教育課程を提供する
- ②日本あるいは世界の歴史についての学修を通して身につけた教養や技能を活用できる人材を養成するために、多様な学修機会を提供する
- ③歴史学に関する学修を促進するための学生に対する支援を行う
- ④歴史学の学修成果を活用できるキャリア形成支援を推進する

2) 研究

- ①歴史学の各分野における最新の研究を遂行する
- ②それぞれの専門領域における研究成果を積極的に教育へ還元する

3) 社会貢献

- ①体験・実践を重視した学修を通して、地域社会の課題の発見や解決に貢献する
- ②教育・研究の成果を積極的に発信し、歴史学の諸分野・諸領域に関するさまざまな学修機会を提供し、社会に還元する
- ③教員・学芸員など歴史と直接に関わる専門職をはじめ、行政や一般企業などにおいても、歴史および歴史学に関わる知見や思考を活かすことのできる人材を輩出して社会に貢献する

歴史学部の教育方針

歴史学部では、教育研究上の目的を達成するために、ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）を以下の通り定めます。

歴史学部のディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

- ①建学の理念に基づき、豊かな人間性と社会とを支える広い教養を身につけている
- ②歴史学の学修を通して、日本あるいは世界の個人・文化・社会に関する基本的な知識や技能を有している
- ③個人・文化・社会などの多様性を理解し、自らの思考や判断に活かすことができる
- ④学修の成果を用いながら、自らが設定した課題を考察することができる
- ⑤地域社会や国際社会に内在する諸問題に関して、学修の成果を援用し課題を発見し、その解決に向けて実践的に取り組むことができる

歴史学部のカリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

歴史学部では、学位授与基準を満たす能力の修得を目指して、以下の方針のもとにカリキュラムを編成します。

- ①歴史学部のカリキュラムは、大学全体で提供される全学共通科目・全学教養科目を通じて養われる知識や教養を基礎にしながら、学部の専門科目を歴史・歴史文化両学科に共通する内容を学ぶ学部基幹科目、各学科の基礎的な内容を学ぶ学科基礎科目、学科の専門的な内容を学ぶ学科専門科目（各領域の学科専攻科目、関連科目）で構成する
- ②歴史学部における初年次の学修は、学部全体として大学での学びへの円滑な導入および基礎的なアカデミックスキルの修得を目指す「入門ゼミ」と、全学共通科目の「専門学修のための日本語表現」の二つの科目を中心に、両学科に共通する内容を学ぶ学部基幹科目と、各学科の基礎的な内容を学ぶ学科基礎科目で構成する
- ③研究法ゼミ（2学年）、発展研究ゼミ（3学年）、卒業研究ゼミ（4学年）と継続的にゼミを設置することによって選択領域の学修の深化をはかるとともに、学生自身による思考・判断、および表現する力の養成を目指す
- ④専門教育の学修内容を補完し、より幅の広い学修をうながすため、多彩な関連科目を設定する。両学科の関連科目は過去の事象をさまざまな角度から考察する歴史学という学問の特性を考慮して互いに履修可能となるよう設定し、横断的な学修を担保する
- ⑤関連科目は、京都の歴史や文化を集中的に学ぶ「京都学プログラム」、中学校社会・高等学校地歴・公民の教育職員免許状取得を目指す「教職免許状取得プログラム」、博物館学芸員資格取得を目指す「学芸員資格プログラム」、図書館司書・学校図書館司書教諭資格取得を目指す「図書館司書プログラム」など体系的で効果的な学修を目的にしたプログラム科目群を設定する

教育学部の教育研究上の目的

教育学部では、使命と目的に基づいて、以下のように具体的な教育研究上の目的を設定しています。

人材養成の目的

- ①建学の理念に基づき、自己および他者を冷静にそして温かく見つめ、子どもから成人に至る周囲の人間の気持ちや考えを理解する力をもった人材を養成する
- ②自己を理解し、集団内での自身の役割を自覚するとともに、周囲の環境や他者を理解し、良好な人間関係を築ける人材を養成する
- ③教育・臨床心理に関わる専門的知識と技能を有し、当該分野におけるさまざまな事象に対する的確・迅速な問題把握能力と、協働作業による問題解決能力をもつ人材を養成する

その他の教育研究上の目的

1) 教育

- ①人間を深く理解した実践力の育成につなげるため、理論と実践の双方を体系的に組み合わせた教育の機会を提供する
- ②生涯発達および生涯学習の視点から人間を捉え、生涯にわたる学びの場を提供する
- ③学生一人ひとりの学修状況を恒常的に把握し、個々に応じた学生支援を充実させる
- ④専門領域に応じたキャリア支援を、入学時から卒業時までの中で体系的に進める

2) 研究

- ①教育学、臨床心理学領域における最新の研究を遂行する
- ②専門領域における研究成果を積極的に教育・臨床心理における実践に還元する

3) 社会貢献

- ①教育・臨床心理に関わる現在の諸問題を、実践や実習、ボランティアなどを通して交流・共有し、その解決に向けて最新の研究成果を提供する
- ②教育・保育現場、臨床心理相談室等の施設を中心に、力を発揮し貢献できる人材を輩出する

教育学部の教育方針

教育学部では、教育研究上の目的を達成するために、ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）を以下の通り定めます。

教育学部のディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

- ①学校や病院等、教育支援、臨床心理学的援助が要請される領域の諸問題に積極的に取り組み、問題解決する実行力を身につけている
- ②教育学あるいは臨床心理学に関わる研究の基礎的方法論を修得するとともに、大学院進学希望にも対応できる十分な資質・能力を身につけている
- ③教育学や臨床心理学に関わる基礎的な知識・技能および応用力を有し、さらに、それらの領域で情報通信技術を活用できる技能を身につけている
- ④人間を理解する心を涵養し、社会的な常識を有し、社会の幅広い年齢層の人たちと協働できる人間関係能力を身につけている

教育学部のカリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

- ①社会人として必要な教養や知識・技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を設ける
- ②初年次より大学での学びや、人間関係能力を高めるための科目を配置し、大学生としての心身の発達を全面的にサポートする
- ③学生の将来設計に応じて、時代に即した免許・諸資格の取得が効果的・能率的にできるよう、学部の基幹科目、学科別の基礎科目から専攻科目、そして資格の幅を広げる関連科目でカリキュラムを編成する
- ④教育・臨床心理の領域で高度な技能を有する人材育成を目的として、基礎的・専門的内容を理論と実践の双方から体系的に学ぶことができるようカリキュラムを編成する
- ⑤教育・保育現場や病院等と連携した実習科目を設置し、実践的な問題解決能力の育成を図る
- ⑥主体的な学習を通じて、論理的思考力、言語活用能力、問題発見解決能力などグローバル社会で必要とされる能力を育成する科目を設ける
- ⑦研究を遂行する基礎的能力育成のため、研究方法を学び実践する科目を設ける
- ⑧情報通信技術を活用した科目を設置し、知識基盤社会および教育・保育現場や病院等での協働業務において必須となる情報活用能力の育成を行う

社会学部の教育研究上の目的

社会学部では、使命と目的に基づいて、以下のように具体的な教育研究上の目的を設定しています。

人材養成の目的

- ① 仏教精神に基づく豊かな人間性と確固たる倫理観、感謝の精神をもち、共生社会の形成に資する人材を養成する
- ② 自己を見つめる力、自分の考えを伝え他者の考えを理解する力、他者を尊重しともに行動する力をもった人材を養成する
- ③ 社会学または公共政策学をはじめとする各専門領域の学修を通じて、社会人として求められる総合的な教養を身につけた人材を養成する
- ④ 現代社会の諸課題に積極的に取り組むために必要な専門性と実行力を備えた人材を養成する

その他の教育研究上の目的

1) 教育

- ① 基礎的な学力の形成に資するために、社会学をはじめ各専門領域に関する体系的なカリキュラムを提供する
- ② 現代社会の諸課題に対応した教育環境を提供し学生支援を充実させる
- ③ 地域や産業界と連携して質の高い体験活動の機会を提供する
- ④ 広い社会的視野に立ってキャリア形成支援を積極的に進める

2) 研究

- ① 社会学または公共政策学をはじめとして各専門領域における最新の研究を遂行する
- ② それぞれの専門領域における研究の成果を積極的に教育に還元する

3) 社会貢献

- ① 体験活動やボランティアなどを通じて地域社会への貢献を行う
- ② 研究成果を積極的に社会に還元する
- ③ 多様な学習機会を社会に提供する

社会学部の教育方針

社会学部では、教育研究上の目的を達成するために、ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）を以下の通り定めます。

社会学部のディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

- ①社会学または公共政策学に関する幅広い知見を有し、共生社会に貢献することができる
- ②自己を見つめる力、自分の考えを伝え他者の考えを理解する力、他者を尊重しともに行動する力をもっている
- ③社会の一員として求められる総合的な教養を身につけている
- ④現代社会の諸課題に積極的に取り組むために必要な専門性を備えている

社会学部のカリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

- ①社会人として必要な教養や知識・技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を設ける
- ②社会学または公共政策学に関する幅広い知見を有し、共生社会の形成に資する力を培うための科目を提供する
- ③自己を見つめる力、自分の考えを伝え他者の考えを理解する力、他者を尊重しともに行動する力を培うための科目を提供する
- ④専門教育の基礎となる総合的な教養を身につけるための科目を提供する
- ⑤現代社会の諸課題に積極的に取り組むために必要な専門性を備えるための科目を提供する
- ⑥体験や実践を通じて応用力を培い、総合的に表現する力を身につけるための科目を提供する

社会福祉学部の教育研究上の目的

社会福祉学部では、使命と目的に基づいて、以下のように具体的な教育研究上の目的を設定しています。

人材養成の目的

- ①建学の理念に基づき、自己をみつめ他者への深い理解を心がけ、多様な人々とともに生きる知識と作法をもった人材を養成する
- ②歴史的に人類が追求してきた共同の意義と現代社会における福祉の意義と課題をとらえ、理念と思想に支えられた実践力あふれる人材を養成する
- ③社会福祉、保育を中心に教育、行政、企業などのさまざまな分野で、社会問題への認識にもとづいた共感的理解、個人の尊重、社会正義を基本に乳幼児期から青年期、高齢期まですべての人々の生活と発達を援助できる人材を養成する
- ④差別や抑圧のない平和で安全な社会を推進するための知識と教養を身につけた市民社会の担い手を養成する

その他の教育研究上の目的

1) 教育

- ①社会福祉を学ぶ基礎的な力を形成し、深く社会や人間を理解するための教育課程を提供する
- ②社会福祉の多様な展開や仕組みづくりを学修し、より実践的な力を身につけながら資格取得に結びつけることができる課程を提供する
- ③現場との共同に基づく、幅広く重層的な学修教育支援プログラムを提供する
- ④専門領域に応じたキャリア指導を入学時から卒業時までの中で体系的に進める

2) 研究

- ①福祉・保育・医療現場や行政機関、地域との共同研究を進める
- ②研究成果に基づき、高い専門性を有した福祉専門職の養成に資する研究を進める
- ③教育に還元するために、関連領域の国際的な研究成果に広く学び研究を進める

3) 社会貢献

- ①福祉関連領域だけでなく福祉を理解した幅広い分野で活躍できる人材を輩出し、社会に貢献する
- ②福祉現場の現任研修・リカレント教育を含む人材育成に貢献する
- ③実践的な学びを通して地域の活性化やまちづくりの支援に貢献する

社会福祉学部の教育方針

社会福祉学部では、教育研究上の目的を達成するために、ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）を以下の通り定めます。

社会福祉学部のディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

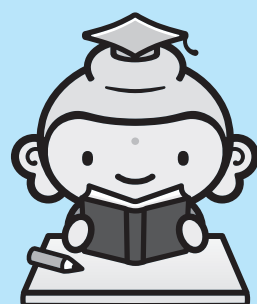
- ①建学の理念に基づき、自己覚知、他者理解のための教養と専門知識、多様な人々とともに生きる知識と作法を身につけている
- ②人間の共同についての歴史的な理解と現代社会における福祉の意義と課題をとらえ、社会のさまざまな領域で活かすことができる実践力を身につけている
- ③社会問題への認識を深め、他者を共感的に理解できる姿勢をもち、個人の尊重や社会正義を理解し、社会生活のさまざまな分野で活かすことができる
- ④市民として、差別や抑圧のない平和で安全な社会に関する知識と教養を身につけている

社会福祉学部のカリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

- ①全学共通科目・全学教養科目の学修と関連させ、社会福祉学の専門学修のうえで基本認識となる社会のとらえかた、人間理解と実践のありかた、人権に関する基幹科目をおく
- ②社会福祉学の基礎理論を重視し、福祉問題の現実とその政策的解決や実践的解決を結びつけて学修できるよう、また医療・教育・まちづくりなど関連領域との広がりの中で学修できるよう、分野論、実践論、制度論にわたる体系的な教育課程を提供する
- ③演習系科目における少人数教育を実施し、教員の指導・援助のもとに、学生1人ひとりが主体的かつ共同して探求する力をはぐくむ教育課程を提供する
- ④現場との共同により、専門的知識体系を実践的にも学修することができる教育課程を提供する
- ⑤将来の進路、キャリア形成に応じ免許・資格の取得に結びつく科目を含んだ課程を編成する

Ⅱ．履修一般事項

履修にあたって	P.25
履修登録	P.30
授業	P.36
試験	P.38
緊急時における授業・試験の取り扱い	P.43
学校感染症罹患により欠席した授業・試験の取り扱い	P.44
成績と単位認定	P.45
卒業論文・卒業研究・卒業レポート	P.49
卒業	P.50





Ⅱ章を読んで、履修のことについて
大事なポイントを確認しましょう。

1. 科目分類には、必修科目、選択科目、（ ）科目がある。…p.25 参照
2. 年間の履修登録上限は（ ）単位。（ ）科目は、履修登録上限に
含まない。…p.32、p.33 参照
3. 定期試験の開始時間は、授業の時間開始と（同じ or 別）である。
…p.36、p.38 参照
4. 公欠の取り扱いについて、授業を欠席するという状況に変わりはなく、
担当者に（ ）を提出し、欠席分の振り返りを進める必要がある。
…p.37 参照
5. 定期試験を実施する試験会場では（ ）を机上の通路側におく必要
がある。…p.39 参照

MEMO

大学での履修をはじめるにあたって、知っておかなければならない制度などがあります。以下をよく読み、履修にあってください。

授業科目の区分について

本学の授業科目は、社会人として必要な教養や知識・技能を身につけるために全学に開設している**全学共通科目**および**全学教養科目**、各学部・学科における専門領域に関する知識・技能を修得し、問題把握力と問題解決力を涵養するための学びの本質を構成する**専門科目**に分けて開設しています。

《授業科目の区分》

系列区分	科目内容
全学共通科目	仏教 本学の建学の理念である仏教精神において基礎となる仏教の祖ゴータマ・ブッダ(釈尊)と浄土宗の開祖である法然房源空の生涯と教えを学ぶ「ブッダと法然」を開設
	自校教育 佛教大学の建学理念、大学のあゆみ、大学の特色などについて学ぶ「佛教大学の理念と歴史」を開設
	外国語 必修外国語として「英語」「中国語」「朝鮮語」を設定し、いずれか1語種を選択(留学生は「日本語」)。また、選択外国語として「英語」「中国語」「朝鮮語」「ドイツ語」「フランス語」「ベトナム語」の6語種を開設
	日本語表現 初年次教育の一環として、大学での学びの基盤となるアカデミックな日本語表現能力の涵養をめざす科目「専門学修のための日本語表現」を開設
	情報処理 情報処理技能の修得をめざす科目群
	キャリア キャリア形成の基礎として開設している科目群
	スポーツ スポーツの理論と実践を修得することをめざす科目
	日本事情 日本の文化・歴史・社会・経済等について理解を深める科目
	海外研修 外国語科目の実地研修と異文化理解をめざす科目
	大学コンソーシアム (財)大学コンソーシアム京都が運用している単位互換制度(p.168を参照)を活用して履修する科目
全学教養科目	人間を考える わたしたちの心を考察し、身体とことばによって表わされる思考の世界について考える科目群
	人間の歩み 現代社会の歴史的背景を理解し、現代社会を批判的に見る眼を養うことをめざす科目群
	人間と社会 人間の社会をさまざまな角度から考える科目群
	人間と自然 わたしたち人間の社会と自然との関わりを学ぶ科目群
+	
専門科目	学部基幹科目 学部における学修の基幹を認識してもらうための科目群
	学科基礎科目 学科における専門教育の基礎となる科目群
	学科専攻科目 学科における専門教育の学びの中核となる科目群
	関連科目 学部・学科の専門教育に特に関連する知識や考え方を学修するための科目群

必修科目・選択科目・自由科目の分類について

すべての授業科目は以下のいずれかに分類されています。

必修科目	卒業要件に必要で、必ず履修しなければならない科目
選択科目	卒業要件に含まれ、指定された科目群の中から選択して履修する科目
自由科目	卒業要件には含まれず、任意で履修する科目。履修登録単位上限には含まない

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴文

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

単 位

大学は、単位制となっています。各自履修登録した科目の授業を受講し、試験等を受け成績評価が合格となることによって、その授業科目に定められた単位の修得（単位認定）となります。

国が定める基準の1単位は、教室等での授業時間と準備学習や復習の時間を合わせて45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。

$$1 \text{ 単位} = \text{授業時間} + \text{準備学習 復習} = 45 \text{ 時間}$$

「講義・講読および演習」については、15時間から30時間までの範囲で大学が定める授業時間をもって1単位とする。

「実験・実習および実技」については、30時間から45時間までの範囲で大学が定める授業時間をもって1単位とする。

本学では、教室等での授業時間を以下の通り学則に定めています。

1学期あたり15週30時間の教室内における授業時間をもって単位計算の基本とし、計算上週1回の授業（1講義分）を2時間（実質90分）としますので、授業時間数と単位数については次表を基準とします。

《授業時間数と単位数》

授業科目	1週間当たりの授業時間	1学期の週数	修得単位数
講義・講読・演習	2時間（実質90分）	15週	2単位
		8週	1単位
外国語	2時間（実質90分）	15週	1単位
実験・実技・実習	2時間（実質90分）	15週	1単位

※教育実習等の学外で行われる実習（配属実習）は、上表の「実習」とは異なります。

セメスター制

セメスター（学期）制とは、15週（6ヶ月）を単位に1年を春学期と秋学期に分け、学期ごとに履修登録から単位認定までを完結させる制度です。

4年間は、合計8つの学期（第1セメスター～第8セメスター）に分けられることになります。

この制度では、集中したカリキュラムが展開でき、履修登録の機会が年2回になるため、年度途中において興味をもった学問領域への学修計画の修正も可能となります。また、学期制を採用する諸外国との対応を図ることもできるなど、集中的かつ学際的な学修効果が高められます。

学年・学期・セメスターの関係は次表のとおりです。

第1学年		第2学年		第3学年		第4学年	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター

シラバス

開講科目の授業テーマ・内容、到達目標や成績評価の基準、使用するテキストなど、授業に関する詳細な情報が書かれたものです。開講学期や曜日・講時、科目担当者も掲載されています。シラバスで科目の内容を必ず事前に確認し、学修計画を立ててください。シラバスはB-netより閲覧が可能です。

シラバスは、学期途中であってもやむを得ない事情により変更される場合があります。定期的に確認してください。

シラバスに掲載されている内容

授業のテーマ、授業の概要、授業の目的・ねらい、毎回の授業のテーマ・内容、到達目標、授業時間外の学修についての具体的な指示、受講にあたっての留意事項、成績評価の基準、テキスト、参考文献

シラバス確認の際は以下の点に注意してください。

- ・B-netでは全ての科目のシラバス検索が可能です。したがって、履修できない科目やクラスも表示されます。
- ・テキストの購入前には最新のシラバスにて、使用テキストを確認してください。

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

科目ナンバリング (学部)

1. 科目ナンバリングとは

本学では、科目の属性や望ましい履修順序、授業形態や難易度を明示し、より順次的で段階的な学習計画を立てることを目的に全開講科目に科目ナンバーを付与しています。

この科目ナンバーの情報を参考に履修計画を立てることにより、どの科目をどの順で学ぶのがよいのか、またその科目がカリキュラム上どのように位置づけられ、どの程度の難易度なのかを理解できるので、4年間の学修計画がよりデザインし易くなります。

学部ごとの科目ナンバリング表は以下のURL又はQRコードより確認してください。
<https://www.bukkyo-u.ac.jp/campuslife/course/numbering/>



2. 科目ナンバリングの見方

(例) his05-3001-ocLE1 の場合、以下のような意味となります。

his	05	-	3	001	-	oc	LE	1
①	②		③	④		⑤	⑥	⑦
歴史学科	学科専攻 科目		第3セメス ター推奨	通し番号		対面授業	演習科目	難易度1

① [科目所属学部・学科]

本学で開講している科目を開講している学部、または学科を示しています。

学部	コード	学科	コード
全学共通科目	ges	—	—
全学教養科目	lib	—	—
仏教学部	fbu	仏教学科	bud
文学部	fli	日本文学科	jal
		中国学科	chi
		英米学科	eng
歴史学部	fhi	歴史学科	his
		歴史文化学科	cul
教育学部	fed	教育学科	edu
		幼児教育学科	ear
		臨床心理学科	cli
社会学部	fso	現代社会学科	con
		公共政策学科	pub
社会福祉学部	fwe	社会福祉学科	wel
		理学療法学科	phy
保健医療技術学部	fhm	作業療法学科	occ
		看護学科	nur

② [科目区分]

その科目を開講するカリキュラムの中で、どの区分に配置されている科目かを示します。

区分	コード	区分	コード
全学共通科目	01	学科専攻科目	05
全学教養科目	02	関連科目	06
学部基幹科目	03	自由科目	07
学科基礎科目	04		

③ 【履修推奨セメスター】

各学科のカリキュラムにおいて、履修を推奨するセメスターを示します。STUDY GUIDE に示している履修開始セメスターとは異なる場合がありますので注意してください。

④ 【ナンバー】

カリキュラム表の科目区分における通し番号です。

⑤ 【授業形態】

対面授業や遠隔授業といった授業形態を示します。

授業形態	コード
対 面 授 業	oc
遠 隔 授 業（オンデマンド）	ol
遠 隔 授 業（同時双方向）	in
対面授業と遠隔授業（オンデマンド）のハイブリッド	hb
対面授業と遠隔授業（同時双方向）が選択できるハイフレックス	hf
そ の 他	ot

⑥ 【授業方法】

各科目がどのような授業方法で実施されるのかを示しています。科目によっては、複数の授業方法を織り交ぜて実施している科目もありますが、その場合は、主な授業方法を示しています。

授業方法	教授法	コード
語 学	講義法と演習を織り交ぜ、知識の定着とスピーキング、リスニング能力の向上を目指す教授法	LA
講 義	主に教員が知識や情報の伝達を目的に講演する教授法	LE
講 読	書物や論文を学問的に正確に読解し学ぶ教授法	RE
演習・実験・実技	ゼミ・実験・演習・フィールドワークなど、座学ではなくディスカッションや作業を通じて学ぶ教授法	AC
実 習	免許・資格取得に関し、法令上規定された教育実習や病院実習、施設実習など、学外施設で学ぶ科目	PR
卒 業 論 文	卒業論文・卒業研究・卒業レポート	GR

⑦ 【難易度】

各科目のカリキュラム上の難易度、履修を推奨している学年の目安を示しています。この情報を参考に、体系的な履修計画を立ててください。ただし、基礎的な内容だからといって、単位取得が容易な訳ではありません。

難易度	基準	コード
基礎的な内容	基礎的な科目です。1・2年次に履修することを推奨します。専門科目を理解する上で基盤となる基礎知識を学ぶことができます。全学教養科目の基礎領域も含まれます。	1
標準的な内容	中級のレベルの科目です。2・3年次で履修することを推奨します。レベル1の科目で基礎をかためた上で履修することが理想的です。全学教養科目の応用領域も含まれます。	2
高度な内容	発展的レベルの科目です。3・4年次で履修することを推奨します。4年次での卒業論文や卒業レポート、研究発表等に大きく関連する内容になります。また、4年間の学修成果となる（卒業論文や卒業レポート、研究発表）科目も含まれます。	3

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学修・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程



注意！

履修登録をしていない科目は単位認定を受けられません。



ポイント！

履修取消し制度について

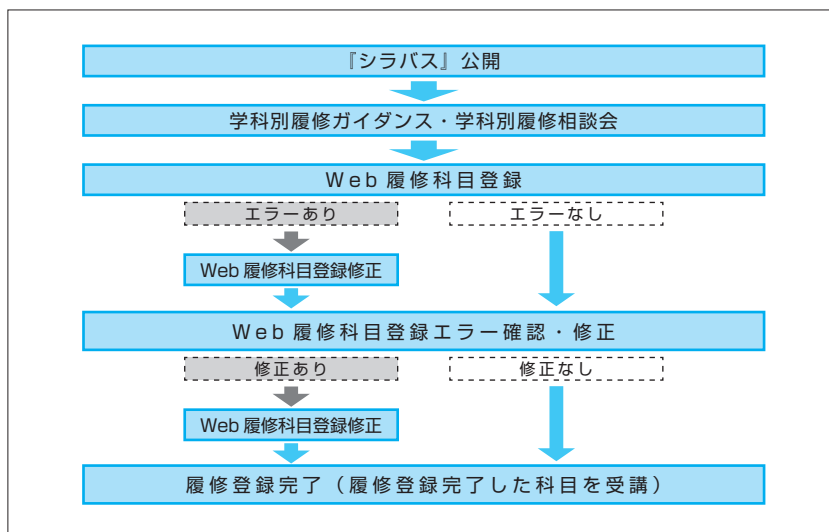
履修登録した科目を取消することができる制度があります。(p.35 参照)

履修登録

履修登録とは、自身の学修計画にもとづいた授業を受けるため、最初に行う手続きです。履修登録は、定められた期間および方法以外で行うことはできません。

したがって、オリエンテーション中のガイダンスには必ず出席し、学科の指導や指示事項、シラバスおよび本書の内容をもれなく確認することが大切です。特に、任意で選択する科目については、授業内容が自身にふさわしいもの（理解度含む）か、シラバスで必ず確認してください。なお、履修登録を行わないと授業を受けることができません。

履修登録の流れ



履修登録の流れ	オリエンテーション期間中の行事等	行事等の概要
学修の計画	「シラバス」公開	・「シラバス」をもとに学修計画を立てる
履修登録の手続き	学科別履修ガイダンス	・クラス指定表等の資料が配付される ・各学科からの注意事項等の説明がある
	学科別履修相談会	・学科の教員と個別の疑問や質問について対応相談できる
	Web 履修科目登録	・学科別履修ガイダンスでの指導内容に基づき、自身で学修計画を修正する ・B-net で履修する科目の登録を行う
履修登録状況の確認	Web 履修科目登録エラー確認・修正	・指定日時以降に B-net で履修登録した科目にエラーがないかを確認する ・エラー修正や科目変更は、期限までに B-net で履修科目登録修正を行う ・自身で登録した科目と相違なく、エラー表示もなければ履修登録完了！
履修登録の完了	—————	・履修登録した授業に出席することができる ・授業教室は B-net で確認することができる

オリエンテーション期間中の行事日については、別途B-netにてお知らせします。秋学期のオリエンテーション期間中に実習等（公欠）の期間が含まれる場合は、別途指示される内容にしたがってください。ただし、公欠に該当しない理由でのオリエンテーション行事欠席については、一切認められません。したがって、欠席による不利益については、各自の責任となりますので、スケジュール管理には充分に注意してください。

履修登録の留意事項

履修登録を行う前には、学修計画が必要不可欠です。

履修登録する科目によってはクラス指定をはじめ、制限や条件があるものもあり、注意が必要です。以下は、履修登録に必要な基礎知識として、各事項を説明しています。卒業までの間違いのない学修計画のため、必ず理解するようにしてください。

なお、講義の内容については、履修登録前にシラバスにて確認することが必要です。

開講科目と授業科目

学期中に、授業を受けている間の科目名称は、「開講科目」が用いられます。授業が終了し、単位を修得したものが成績表に記載されるのは「授業科目」となります。

(凡例)

授業科目：佛教大学概論 1

開講科目：佛教大学概論 1

Ha

授業科目の後ろに文字や数字が付加される。

①

Hは、春学期に開講する科目

②

aは、aクラスを示します。

①	開講学期	付加される記号
	春 学 期	H
	秋 学 期	A
	集 中	S

開講科目には開講学期が必ず付加されますが、クラスは付加されない場合があります。

② クラスは、数字やアルファベット等があるので留意してください。

履修科目表

履修する科目（授業科目）を記載したものが「履修科目表」（p.56～）です。

履修科目表には、系列区分、**授業科目**、その科目の**単位数**（単位）、**科目の分類**（必修・選択・自由別）、**履修登録開始時期**（履修開始セメスター）、**GPAの算出対象となるか**、そして**卒業するために必要な要件**（備考）が記載されています。

※ GPA 制度については、「GPA 制度」（p.47～）を参照

対象学部

仏教学部

文学部

歴史学部

教育学部

社会学部

社会福祉学部

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程



注意！

第1学年では、履修登録できる単位数が制限されています。



注意！

集中講義科目は春学期に履修登録を完了させること！

履修登録の手続き

履修登録上限単位数

年間の履修登録上限

年間の履修登録上限単位数は、以下のとおり定められています。また、各学期の履修登録上限単位数は、その2分の1です。

所属学部	年間登録上限
仏教学部・文学部・歴史学部・教育学部・社会学部・社会福祉学部	44単位

第1学年次の履修登録上限

「全学共通科目」・「全学教養科目」について履修登録できる単位数に上限があります。

学 年	セメスター	全学共通科目		全学教養科目
		必修外国語	選択外国語※	
1	第1セメスター	3単位	1 (2) 単位	4単位
	第2セメスター	3単位	1 (2) 単位	4単位

※選択外国語において2単位科目を履修登録する場合は、上限を2単位とします。

集中講義の履修登録取り扱い

- ・集中講義の履修登録は、春学期に行います。
- ・履修登録上限単位数の計算において、集中講義の単位数は、春学期（1セメスター）の履修登録上限単位数を超えて履修登録することができます。ただし、年間の履修登録上限単位数を超えることはできません。

卒業論文・卒業研究・卒業レポートの履修登録取り扱い

- ・「卒業論文」、「卒業研究」、「卒業レポート」（以下、卒業論文等という）の履修登録は、第8セメスターに行います。履修登録を完了しないと単位認定が受けられません。
- ・第8セメスターにおいても1セメスター分の履修登録上限単位数を超えることはできません。卒業要件に卒業論文等を必要とする場合、それらの単位数を念頭に学修計画を立てることが必要です。
- ・第8セメスター開始時の未修得単位が当該学期の登録単位上限以上ある場合で、卒業論文等の提出を延期する場合は、卒業論文等を登録する必要はありません。卒業論文等を提出するセメスターのみに登録が必要です。

履修登録できる単位数の上限

学年	春学期登録上限	秋学期登録単位【上限22単位】	年間登録上限
1	22単位+集中講義単位	44単位－（春学期登録単位）	44単位
2	22単位+集中講義単位	44単位－（春学期登録単位）	44単位
3	22単位+集中講義単位	44単位－（春学期登録単位）	44単位
4	22単位+集中講義単位	44単位－（春学期登録単位+卒業論文等単位(※)）	44単位

※「卒業論文等単位」とは、

各学部における「卒業論文」、「卒業研究」または「卒業レポート」の単位のことをいう。
（詳細については、p.49「各学部学科の卒業論文・卒業研究・卒業レポート」を参照）

履修登録上限単位数に含めないもの

以下のものは、履修登録上限単位数の計算から除外します。

- ・自由科目
- ・全学共通科目「インターンシップ」
- ・「大学コンソーシアム京都」における単位互換授業の単位
- ・短期海外語学研修によって認定される単位
- ・本学通信教育課程での併修履修科目の単位

抽選希望登録

「抽選対象科目」は、履修登録期間前の所定（事前登録）期間に、抽選希望登録が必要です。抽選結果は履修登録時に画面に表示されます。

抽選結果により、定員に余裕がある場合は、履修登録期間中に先着順で希望登録を受付けます。

※抽選希望登録で履修登録した科目の変更はできません。

再履修について

再履修とは、履修登録を行ったが、単位修得できなかった（不合格）科目を再度履修登録することです。

クラス指定のある科目については、「再履修」と指定されている科目を履修登録してください。「再履修」についての指定がない科目を再履修する場合は、任意の科目を履修登録してください。

ただし、履修登録上限が設定されている**第1学年においては、春学期に不合格となった必修外国語を秋学期に再履修することはできません。第2学年以降での再履修となりますので注意してください。**



注意！

登録できた「抽選対象科目」の変更、削除はできません。



注意！

第1学年における必修外国語の単位修得できなかった科目の再履修は、**第2学年以降**となります。

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴文

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

履修登録状況の確認

オリエンテーション期間中の「Web履修科目登録エラー確認・修正」指定期間に、履修登録を行った科目が正しく登録されているか、またエラー表示の有無の確認が必要です。

「Web履修科目登録エラー確認・修正」指定期間以外での修正はできませんので、各自責任を持って手続きを行ってください。

エラーがない／履修科目の変更がない場合

履修登録を行った科目が正しく登録されている場合、履修登録の完了となります。

エラーがある／履修科目の変更がある場合

正しく登録されていない場合のエラーおよび登録間違いについては、オリエンテーション期間中の「Web履修科目登録エラー確認・修正」指定期間に登録修正が必要です。

履修登録の完了

履修登録および登録修正によって履修登録を確定すると履修登録の完了となり、授業へ出席することができます。

したがって、正しく履修登録が完了していないと授業へ出席、課題提出、定期試験を受験しても履修者としてみなされず、単位認定も行われません。

※正しく履修登録が完了しているのか、必ずB-netの学生時間割表より確認してください。

履修取消し制度

「授業内容が想定していたものと異なっていた」、「授業についていけないだけの知識が不足していた」など、そのままでは単位を修得することが難しいと判断した場合、履修取消し期間内であれば、履修登録を取消することができます。

ただし、履修登録の取消しができる科目は、選択科目とし、**必修科目および自由科目は原則として履修取消しできません**。また、履修取消しができない授業科目を一部設定します（GPA算出の対象外となる諸資格科目等）。なお、履修登録後に当該セメスターに休学の申し出があった場合は、原則として当該セメスターの授業は、履修取消し扱いとします。

履修取消しの申請手続き

申請期間： 授業開始より7週目終了後から、原則5日間

申請方法： 学生支援課より、B-netにてお知らせします。

※集中講義等、通常の授業期間に授業が行われない科目については、開講初日の翌日の正午までに学生支援課へ申し出てください。

【注意事項】

履修取消し期間以外の申請は原則認めませんが、病気等のやむを得ない事由で、履修取消しの申請ができなかった場合や、「実習科目」「卒業論文」「卒業研究」「卒業レポート」は、申請期間外であっても履修取消しを認めることがあります。

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

対象学部

仏教学部

文学部

歴史学部

教育学部

社会学部

社会福祉学部

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

授業時間

授業は以下の時間帯で行います。

講時	1	2	3	4	5	6
時間	9:00 } 10:30	10:40 } 12:10	12:50 } 14:20	14:30 } 16:00	16:10 } 17:40	17:50 } 19:20

集中講義・実習

B-netの「学生時間割表」にて示される「集中講義」「実習」は特定の曜日講時で実施されない科目です。以下のいずれかに該当します。

1. 通年で開講する科目 (S)

表記方法	科目名 + S
開講時期	通年 ※授業カレンダーに記載されている集中講義期間（9月上旬）で多くは開講される。ただし、科目によっては異なるので、シラバス等必ず確認すること。
履修登録時期	春学期科目の履修登録と同じタイミング ※1
単位認定時期	秋学期科目の単位認定と同じタイミング

※1「履修登録できる単位数の上限 (p.33)」にある「集中講義単位」は、Sが付された科目を指します。

2. 個別の日程で行われる講義 (H・A)

表記方法	科目名 + H もしくは A
開講時期	履修登録した学期 ※一定の連続した期間や、不規則な日程で開講される。詳細な日程については、シラバスやB-netで通知されるので確認すること。
履修登録時期	各学期の履修登録と同じタイミング
単位認定時期	各学期の単位認定と同じタイミング

3. 遠隔授業 (H・A)

表記方法	科目名 + H もしくは A
開講時期	履修登録した学期 ※オンデマンド型の遠隔授業
履修登録時期	各学期の履修登録と同じタイミング
単位認定時期	各学期の単位認定と同じタイミング

4. 卒業論文／卒業研究／卒業レポート (H・A) ※対象学科のみ

表記方法	科目名 + H もしくは A
開講時期	履修登録した学期
履修登録時期	4年生8セメスターで、各学期の履修登録と同じタイミング ※4年生ゼミとは別に履修登録が必要です。
単位認定時期	各学期の単位認定と同じタイミング

休 講

本学または担当者にやむを得ない事情が発生した場合には、授業を休講することがあります。休講になる科目については、B-netの「休補講・教室変更」にて連絡します。

休講掲示がなく、20分経過しても授業が行われない場合は、必ず学生支援課に連絡し、その指示にしたがってください。なお、**自動的に休講とはなりません。**

補 講

補講とは、休講により授業日数が不足する場合や授業が予定の範囲まで終了しなかった場合に、それを補うために行う授業です。実施する場合は、所定の補講日（授業カレンダー参照）に行い、詳細はB-netにてお知らせします。

授業欠席

病気または事故等により授業欠席した場合は、所定の「授業欠席届」（巻末にあるものを複写して使用、またはB-netよりダウンロードして印刷）に必要事項を記入し、欠席事由を証明する書類（診断書等）を添えて、担当者（教員）へ届け出てください。

なお、「授業欠席届」は公欠として取り扱われるものではありません。

「授業欠席届」に
必要事項を記入

+

証明する書類
(診断書等)



担当者へ提出
(教員)

公 欠

公欠とは、カリキュラム上必要とされる実習等によって、やむを得ず授業を欠席しなければならない場合に適用されるものです。

しかし、公欠は出席としての扱いを保証されるものではありません。授業を欠席するという状況には変わりないので、**各自で担当者（教員）に授業欠席届を提出**のうえ、欠席した授業の振り返りを進めることはもちろん、担当者（教員）から課された学修にも必ず取り組みましょう。

次に、該当する事由における期間中に授業を欠席する場合は、公欠として取り扱います。ただし、本学の当該免許・資格取得課程受講者に限ります。

介護等体験

教育実習

ソーシャルワーク実習

精神保健福祉援助実習

伝宗伝戒道場入行

図書館実習

博物館実習

保育実習

心理実習

社会教育実習

なお、インターンシップ・課外活動・就職活動・ボランティア等は、公欠として取り扱いません。

※学校感染症罹患時の取扱い（p.44）をあわせて確認してください。

対象学部

仏教学部

文学部

歴史学部

教育学部

社会学部

社会福祉学部

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程



注意！

試験実施時間は、通常授業の時間と異なります。

試験の種類

定期試験

教室試験（筆記試験等）やレポート試験があります。

追試験

正当な事由で定期試験を受験できなかった場合、実施される試験です。

※定期試験に合格しなかった場合の救済措置として実施する試験ではありません。

※受験を希望する場合は、手続き等（p.42）が必要です。

定期試験について

定期試験は、セメスターごとに行われます。定期試験の実施方法には、教室試験（筆記試験等）、レポート試験があります。

また、定期試験の実施方法は定期試験期間の開始 1 ヶ月前頃に、時間割は開始 1 週間前頃に B-net にてお知らせします。

原則として、授業の曜日・講時と同一の曜日・時限で実施されますが、授業時間割とは異なる曜日・時限で実施される場合がありますので注意してください。

受験資格

次の事項に該当する場合は、受験資格がありません。

- 1 学生証または仮学生証を携帯していない場合
- 2 履修登録していない場合
- 3 科目の総授業日数の 3 分の 1 以上欠席した場合
- 4 学費未納の場合

教室試験

1. 定期試験時間

講時	1	2	3	4	5	6
時間	9:15 } 10:15	10:30 } 11:30	12:30 } 13:30	13:45 } 14:45	15:00 } 16:00	16:15 } 17:15



注意！

不正行為厳禁！

たった一つの不正行為でも、当該学期に履修登録した全ての科目が無効となる場合があります。

2. 受験上の注意

- 1 試験会場（教室）は当日、B-netで確認してください。
- 2 試験会場では必ず「学生証」を机上の通路側においてください。
携帯していない場合は、試験開始前に学生支援課で「仮学生証」の発行を受けてください。
ただし、「仮学生証」は発行日のみ有効（当日返却が必須）で、毎回手数料（300円）が必要です。
- 3 試験会場では、所持しているスマートフォン等通信機器の電源を切ってください。時計としての代用はできません。
- 4 試験開始後30分（30分00秒）以降退出することができます。
- 5 試験会場では、試験監督者の指示にしたがってください。
- 6 試験の遅刻は、20分（20分00秒）を経過すると、いかなる理由があっても入室できません。
- 7 次の場合は不正行為とみなし、学則により処分を行い当該学期に履修登録した科目の一部もしくは、全てがN評価（無効・評価対象外）となります。
 - a) 私語や態度について注意を与えても改めないとき。
 - b) 許可なくして物品や教科書・ノートを貸借したとき。
 - c) 許可された以外のものを参照したとき。
 - d) 身代わり受験をおこなったとき。または、おこなわせたとき。
 - e) その他、試験監督者の指示に直ちにしがわれないとき。

参 照 条 件 に つ い て

定期試験の受験に際して、自筆ノート、テキスト、参考文献等の持ち込み等が許可または指示される場合があります。それらについては「参照条件」として定期試験前に発表されます。

各々の注意点を下記のとおり認識しておく必要があります。万一、認識を誤ると不正行為とみなされるので充分注意してください。

「自筆ノート」とは？

OK!：自分で書いたノートのことです。

NG!：他人のノートをコピーしたもの、資料やコピーを貼り付けたノート、ワープロ等で作成されたノート、または自分で書いたノートのコピー等も含め一切認められません。

「テキスト・参考文献」とは？

OK!：シラバスに記載されたもの（担当者によって指定されたもの）。

NG!：シラバスに記載のないもの。

自身の判断による指定外のもの。

※参照条件の発表後、不安な場合は、試験実施までに直接担当者に確認してください。なお、担当者へ確認ができない場合、いかなる理由においても一切対応はできません。

対象学部

仏教学部

文学部

歴史学部

教育学部

社会学部

社会福祉学部

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

レポート試験

レポート試験の課題・提出期限等は定期試験期間の開始2週間前頃までにGoogle Classroom（以下、Classroom）に掲出されます。

レポート（卒業レポートのみ対象）の提出方法は①Classroomでの提出、②担当者に直接提出、③事務局に提出のいずれかとなります。出題時の指示に従い、期限内に提出してください。

Google Classroom とは

ClassroomはGoogle社のオンライン授業システムです。「Gmail」や「Googleドライブ」などと連携しており、課題の提出や質問といった機能を備えたツールです。佛教大学のアカウントでログインしてください。

B-net「お気に入り」からマニュアルをダウンロードできますので、事前に確認しておいてください。

事務局に提出の場合のレポート提出要領（卒業レポートのみ対象）

レポート提出先が事務局と指示されている場合、下記の要領にしたがってください。

- 1 特に指定のない場合は、A4版で作成する。
- 2 リポート提出票（上部）・受付票（下部）に必要事項を記入する。
（黒色ペン書き）
- 3 提出票上部2ヵ所をホッチキス留めする。
- 4 各自でキリトリ線に沿って、上部・下部を切り離し、両方とも受付に提出する。
- 5 リポート提出時に、受付印を押印し、リポート受付票（本人控）を返却しますので、成績確定時まで保管する。

※ホッチキス、ハサミ、筆記具の貸し出しは一切しません。提出する際は、事前に提出可能な状態にしておいてください。

リポート提出票は
卒業レポート提出時に
使用するもので、
B-netより
ダウンロード
できます。

提出票		受付票	
 佛教大学レポート提出票			
課 題 _____ _____ _____			
科 目 名 _____		担 当 者 _____	
リポート№ _____	所 属 学部 研究科 _____	学科 専攻 _____	受付印 _____
学籍番号 _____	氏 名 _____		
キリトリ ✂ キリトリ			
提出の際は、この受付票（本人控）を切り離してから、一緒に提出してください。受付印を押して返却します。			
提出方法 1. ペンにて必要事項を記入する。 2. リポートと提出票（上部）をホッチキスでとめる。 3. キリトリ線に沿って、リポート表紙と受付票（下部）を切り離す。 4. リポート受付票は、成績が確定するまで大切に保管すること。			
 リポート受付票（本人控）			
科 目 名 _____		担 当 者 _____	
リポート№ _____	所 属 学部 研究科 _____	学科 専攻 _____	受付印 _____
学籍番号 _____	氏 名 _____		
記入欄はすべてペン書（鉛筆記入では提出不可）			
リポート作成に当たっては以下の内容を熟読すること。 活字媒体・Webサイト等に公開された著作物を引用であることを明記せずに無断使用してはいけません。 なお、盗用・剽窃行為（他人の著作や論文を盗んで、自分のものとして発表すること）が発覚した場合、学則により、処分（当該学期の全履修可科目の成績が不合格または特に悪質な場合は学則に基づく懲戒）の対象となる ことがあります。処分対象は提供した者、および提供を受けた者双方となります。			

レポート作成時の注意事項

レポート作成にあたって、活字媒体・Webサイト・生成AI等に公開された著作物を引用であることを明記せずに無断使用をしてはいけません。なお、盗用・剽窃行為（他人の作品や論文を盗んで、自分のものとして発表すること）が発覚した場合、学則により、処分（当該学期の全履修科目の成績が不合格または特に悪質な場合は学則に基づく懲戒）の対象となることがあります。処分対象は提供した者、および提供を受けた者双方となります。

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴文

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

追試験について

正当な事由で定期試験（対面試験）を受験できなかった場合、願い出により欠席の妥当性が承認された場合に限り、追試験を受験することができます。

なお、寝過ごし、交通機関への乗り遅れ、自転車、バイク等の故障等、自己の責任による事由、および自宅療養等により医師の診断書等がない場合は、追試験受験許可事由とはなりません。

また、受験資格は定期試験の受験資格に準じます。正当な事由と手続き方法は次のとおりです。

1. 追試験受験許可事由

事 由	添付する書類	受験許可対象期間
公欠に該当する 実習等	添付書類不要	実習期間および実習地への往復に要すると判断される期間
交通機関の遅延	当該の交通機関が発行した遅延証明書を添付	遅延した当日限り
病気又は傷病	安静加療を要し、登校不能な状態である旨を明記した医師の診断書を添付	診断書に記載された期間
忌引き	3親等までの親族に限る。死亡に関する証明書（会葬礼状等日時が明示されたもの）を添付	7日以内とする（3親等の場合は3日）。帰省等のための往復に要する期間を別途定める
自己の責任によらない不慮の事故または災害	公共機関が発行する事故証明書または罹災証明書を添付	必要として認める期間
進路に関する試験 ※任意参加のセミナー等は不可	就職先・進学先等の証明書（受験票の写し等日時が明示されたもの）を添付	必要として認める期間
その他	本学がやむを得ないと認める場合は、指定する証明書を添付	必要として認める期間

2. 手続き

- 欠席した当該科目試験終了後、指定された期日以内に、指定された方法（詳細は B-net にてお知らせ）にて必要事項を入力し、証明する書類（診断書等）を添えて、申請してください。
- 学生支援課より指定された日時に受験の可否確認をしてください。
- 受験を許可され追試験を受験する場合は、受験手数料（1科目 500 円）の納入が必要です。ただし、公欠もしくは、学校感染症罹患（p.44）による欠席（診断書提出必須）に該当する場合の受験手数料は不要です。
- 追試験日は「学年暦」により定められています。その日に受験できない場合は、事由のいかんに関わらず、当該科目の受験資格を失います。



注意！

警報は特別警報、
暴風警報が対象です。

交通機関の不通、特別警報もしくは暴風警報発令時における授業および定期試験の取扱いは、次のとおりです。

休講および定期試験休止

次の1～3のいずれかの状況が発生した場合は、ただちに休講および定期試験の休止とします。

- 交通機関の不通の場合（a または b のいずれかの条件を満たす場合とします）
 - 京都市営バスと地下鉄が同時に全路線・全区間で不通
 - 下表の4交通機関（JR・阪急・京阪・近鉄）のうち、2交通機関の指定区間において、全てまたは一部が不通

交通機関	指定区間(路線)
J R ※JRの指定区間（5路線）において複数路線が不通となった場合でも、1交通機関とする。	京都～米原（琵琶湖線）
	京都～大阪（京都線）
	京都～堅田（湖西線）
	京都～奈良（奈良線）
	京都～園部（嵯峨野線）
阪 急	京都河原町～大阪梅田（京都線）
京 阪	出町柳～淀屋橋（京阪本線）
近 鉄	京都～奈良（京都線・奈良線）

- 京都府南部（南丹・京丹波、京都・亀岡、山城中部、山城南部のいずれか）に特別警報もしくは暴風警報（大雨・洪水・波浪・大雪警報は対象外）が発表された場合
- その他の状況において、休講および定期試験を休止することが適切であると学長が認めた場合

休講の解除および定期試験休止の解除

交通機関の運行再開および特別警報、暴風警報解除の場合は、下表のとおり取り扱います。

運行再開または警報解除の時刻	授業の取り扱い	定期試験の取り扱い
午前 6 時30分まで	1 講時から授業実施	1 時限から定期試験実施
午前 10 時00分まで	3 講時から授業実施	3 時限から定期試験実施
午前 10 時01分以降	終日休講	終日休止

その他の事項

- 授業中もしくは定期試験の実施中に、特別警報、暴風警報等が発表された場合は、その都度、警報の緊急性および交通機関の運行状況等を考慮の上、休講および定期試験の休止の実施時刻を指示します。
- 上記以外で、自身の居住地域に係る交通機関の不通および特別警報もしくは暴風警報等が発表された場合は自身の判断で安全確保に努め、欠席については、後日「授業欠席届」を担当者（教員）へ届け出てください。
- 「特別警報」が発表された場合、ただちに命を守る行動をとってください。

対象学部

仏教学部

文学部

歴史学部

教育学部

社会学部

社会福祉学部

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

学校保健安全法施行規則第18条・19条に基づき、下表の学校感染症に罹患した場合は、医師の指示に従い静養に努めてください。

治癒後、医師の診断書等を学生支援課へ提出し受理された場合、公欠と同様の扱いと証明できる「欠席事由確認証（感染症）」が交付されます。

但し第3種、その他の感染症に関しては、医師より登校禁止を指示された場合に限りま。

分類	感染症の種類
第1種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎（ポリオ）、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（SARS）、中東呼吸器症候群（MERS）、特定鳥インフルエンザ、指定感染症
第2種	インフルエンザ（特定鳥インフルエンザを除く）、百日咳、麻疹（はしか）、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）、風しん（三日はしか）、水痘（水ぼうそう）、咽頭結膜熱（プール熱）、結核、髄膜炎菌性髄膜炎、新型コロナウイルス感染症
第3種	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎（はやり目）、急性出血性結膜炎、その他の感染症 [溶連菌感染症（しょうこう熱）、ウィルス性肝炎、手足口病、伝染性紅斑（りんご病）、ヘルパンギーナ（夏かぜ）、マイコプラズマ肺炎、感染性胃腸炎、流行性嘔吐下痢症など]
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第6条第7項から第9項までに規定する新型インフルエンザ等感染症、指定感染症及び新感染症は、第1種の感染症とみなす。	

欠席の連絡方法について

静養を要する期間に出席できなかった授業

「授業欠席届」（p.37参照）に「欠席事由確認証（感染症）」、診断書等を添えて、当該の開講科目担当教員に提出してください。

静養を要する期間に出席できなかった試験（定期試験）

「試験欠席届」（p.42参照）に「欠席事由確認証（感染症）」、診断書等を添えて、学生支援課に提出し、追試験の手続きを行ってください（この場合追試験受験手数料は不要です）。



ポイント！

「成績証明書」

大学が対外的に発行するもので、就職先または他の研究機関等への提出等に使用するものです。

成 績

成績評価は、シラバスに記載された成績評価の基準に基づいて行われます。評価は以下の通りです。

「成績証明書」には合格科目のみが記載され、評価はS、A、B、C、認定のみが記載されます。

なお、単位認定は学期末となります。

点 数	成績通知書の表示	成績証明書の表示	評 価 の 基 準	判 定
100～90	S	S	到達目標をほぼ完全に達成しており、極めて優秀な成績を修めている	合格
89～80	A	A	到達目標を十分に達成し、優秀な成績を修めている	
79～70	B	B	不十分な点があるが、到達目標を相応に達成している	
69～60	C	C	到達目標の最低限は満たしている	
59～0	D	表示 されない	到達目標を達成できていない 単位を与えるためにはさらに学修が必要である	不合格
未受験	X		定期試験を受験していない	
評価対象外	N		評価対象外などの場合	
認定	認定	認定	※入学前に修得した単位が認定されたもの、および入学後に他大学等において修得したもの	合格
履修取消	—	表示されない		

成績の確認

成績は、次学期オリエンテーション1週間前を目途にB-netにて確認することができます（成績の開示日は、B-netにてお知らせします）。なお、春学期に履修登録を行う集中講義科目の成績確認は、秋学期の扱いとなります。

成績に関する調査申請（成績疑義）について

開示された成績について正当でないと考えられる場合、調査依頼を申請することができます。

申請について

申請期間・方法については、B-netにてお知らせします。

※注意事項※

申請によって成績が変更されることを保証するものではありません。

申請前には、自身に過失がないか、本当に成績に疑問があるのか十分に確認してください。

佛教大学以外で
単位を修得
できる制度

申請に対して、よくある担当者からの回答

- ・授業に出席していない(全体の1/3以上欠席している)。
 - ・提出された課題が、ほとんど引用(書籍、インターネットからコピー&ペースト等)で作成されていた。
 - ・提出された課題が、他人のものを一部又は全て複写。
 - ・授業中に指示した課題が提出されていない。
 - ・試験の答案が授業中の指示事項に従っていない。
- と、なっています。くれぐれも留意してください。

単位互換制度の単位認定

(財)大学コンソーシアム京都「単位互換制度」において修得した単位は、8単位を上限として、全学共通科目の単位として認定します。

ただし、**第4学年次において修得した単位は、卒業所要単位として認定することはできません。**「単位互換制度」については、p.168を参照してください。

通信教育課程との併修履修による単位認定

「免許併修」の場合、通信教育課程で修得した単位は、通学課程の自由科目として認定します(卒業要件には算入できません)。認定の時期は学期末となります。

「免許併修」については、p.171を参照してください。

他の大学・短期大学で修得した単位の認定

他の大学・短期大学に在籍(卒業・中退不問)し、単位の修得がある場合、それらが本学の単位として認定される場合があります。

該当する学生は、以前に在籍していた大学・短期大学の成績証明書を取り寄せ、学生支援課まで申し出てください。

なお、単位の認定にともない、履修方法が通常と異なる場合があります。オリエンテーション中に所属学科および学生支援課の指導を必ず受けてください。

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

GPA 制度

GPA（Grade Point Average）制度とは、科目ごとの成績評価からそれぞれのグレードポイント（GP）を求め、単位あたりの平均値を算出したものです。学期ごとおよび在籍期間中の通算のGPAを成績通知書、成績証明書に記載します。

このGPA制度の導入によって、学期ごとの学修成果と推移がより明確となり、さらに細やかな学習指導への活用と、学習意欲の向上、無理な履修計画や安易な履修登録の自己規制につながることを目的として導入しています。

本学の成績評価とグレードポイント（GP）との関係は次のとおりです。

点 数	成績評価	G P
100～90	S	4
89～80	A	3
79～70	B	2
69～60	C	1
59～ 0	D	0
未受験	X	0
評価対象外	N	0
認定	認定	対象外
履修取消	—	対象外

GPA（Grade Point Average）の算出方法

履修した科目の成績評価を上記の GP に置き換え算出します。算出方法については次のとおりです。

$$\text{学期 GPA} = \frac{(\text{当該学期の履修科目のGP} \times \text{当該科目の単位数})\text{の総和}}{\text{当該学期の履修科目の総単位数}}$$

$$\text{通算 GPA} = \frac{(\text{全学期の履修科目のGP} \times \text{当該科目の単位数})\text{の総和}}{\text{全学期の履修科目の総単位数}}$$

※計算値は小数点以下第3位を四捨五入して表記

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴文

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

GPA 算出科目と算出除外科目について

履修登録したすべての科目をGPAの算出対象科目とします。ただし、次にあげる①から⑤に該当する場合、GPA 算出除外科目とします。

- ①履修取消しを申請した科目
- ②「履修科目表」の「GPA 対象」欄に「×」の記載がある科目
- ③自由科目（卒業要件対象外）
- ④入学及び編入学前、又は転学部転学科前に修得し、各学部学科で単位認定された科目
※転学部転学科した学生で卒業要件として成績移行した科目は算出対象科目となります
- ⑤他大学等で履修（単位互換協定に基づく授業科目含む）し、各学部学科で単位認定された科目

なお、GPA算出対象科目は不合格となった場合でも、算出対象となります。したがって、自らの履修（履修登録を含む）に対して、より真剣に取り組むことが求められます。

対象学部

仏教学部

文学部

歴史学部

教育学部

社会学部

社会福祉学部

各学部学科の卒業論文・卒業研究・卒業レポート

卒業（学士の学位を取得）するためには、所属学科卒業所要単位の修得が必要です。

学科により「卒業論文」（6単位）または「卒業研究」・「卒業レポート」（4単位）の提出を必要とする場合や、所定科目の履修（単位修得）により「卒業論文」または「卒業研究」・「卒業レポート」を必要としない場合がありますので、各学部学科の詳細を十分に確認してください。

.....

「卒業論文」および「卒業研究」・「卒業レポート」作成についての詳細は、指導教員の指示を必ず受けてください。また各学部学科の詳細を確認してください。

〈各学部学科の一覧〉

学部	学科	卒業論文	卒業研究	卒業レポート	所定科目の履修
仏教学部	仏教学科	必修	—	—	—
文学部	日本文学科	選択可	選択可	—	—
	中国学科	選択可	選択可	—	—
	英米学科	必修	—	—	—
歴史学部	歴史学科	必修	—	—	—
	歴史文化学科	必修	—	—	—
教育学部	教育学科	必修	—	—	—
	幼児教育学科	必修	—	—	—
	臨床心理学科	必修	—	—	—
社会学部	現代社会学科	—	—	必修	—
	公共政策学科	—	—	必修	—
社会福祉学部	社会福祉学科	—	—	選択可	選択可

I
教育
目標II
履修
一般III
教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV
学籍・
学費V
キャンパス
ライフVI
進路・
就職支援VII
大学の
取り組みVIII
規程

対象学部

仏教学部

文学部

歴史学部

教育学部

社会学部

社会福祉学部

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴文

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

卒業所要単位と要件

本学が定める基準上、大学を卒業（学士の取得）するためには、4年以上在学し（休学期間を除く）、卒業要件に定められた合計124単位を修得しなければなりません。

卒業に必要な科目の系列区分は以下のようなイメージです。

全学共通科目		30 単位 まで	卒業所要 単位 124 単位 以上
全学教養科目			
専門科目		94 単位 以上	
		・ 学部基幹科目 ・ 学科基礎科目 ・ 学科専攻科目 ・ 関連科目（選択科目）	
		・ 教員免許や資格の 取得に関わる科目 ・ 関連科目（自由科目）	卒業所要単位には 含まない

ただし、学科ごとに詳細が異なりますので、必ず自身の学科の卒業所要単位と要件を確認し、履修計画を立ててください。



注意！

卒業可否、成績に関する問い合わせは、窓口（対面）以外できません。本人、保証人に関わらず電話での問い合わせには、一切答えられません。

卒業所要単位充足者発表

卒業所要単位充足者発表は、各学部教授会で、卒業が認められた学生（卒業所要単位充足者）を発表します。

該当者は、卒業式において卒業証書・学位記が授与され、所定の学士の学位を取得することになります。

なお、取得予定の教育職員免許状・資格の単位が充足されていない場合であっても、卒業所要単位が充足した場合は、卒業となります。

卒業に係わる日程、手続きの詳細については、下表のとおりB-netにて発表します。

卒業する月	詳細のお知らせ時期（予定）
9月	6月中旬
3月	12月中旬

詳細のお知らせ（予定内容）

1. 発表日時

具体的な日時を B-net にてお知らせします。

2. 発表方法

B-net での発表

※発表は、卒業単位充足者の学籍番号のみの表示とします。

3. 単位を充足した場合

- ・卒業証書授与式へ出席してください。
※式典当日の欠席は、事前に窓口へ申し出てください。
- ・「進路決定届」未提出者は、卒業証書授与式までに進路就職課へ提出が必要です。
- ・教育職員免許状および資格課程においては、課程受講料の納入が必要です。
指定期間に納入できない場合は、教員免許状・資格証書を卒業日にお渡しできません。

4. 単位を充足しなかった場合

- 発表時に別途指定する会場にて説明を受けてください。
※再試験が許可され、受験を希望する場合は次頁を確認してください。

対象学部

仏教学部

文学部

歴史学部

教育学部

社会学部

社会福祉学部

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴文

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程



注意！

指導日時については、
B-net でお知らせします。
再試験を受験するため
は、手続きが必要です！

再試験（卒業）

再試験とは、最終学年における3月または、9月卒業予定者で当該年度に履修登録した授業科目の内、4科目以内を合格すれば卒業の要件を充たす場合にのみ、学部教授会の議に基づき実施される試験です。ただし、次の各号に該当する科目は、再試験の対象となりません。

- (1) 卒業論文・卒業研究・卒業レポート
- (2) 定期試験を受験しなかった科目（評価：X）
- (3) 出席不良等により評価対象外となった科目（評価：N）

なお、該当者への通知は行いません。卒業所要単位充足者発表時に各自指導を受け、所定の手続きを行ってください。手続きには1科目5,000円の受験手数料が必要となります。

また、所定の手続きを行わない場合、再試験を受験しなかった場合は、いかなる理由においても当該科目の受験資格を失い、不合格となり、卒業することができません。

再試験の可否発表は、B-net にてお知らせします。また、電話、メール等でのお問い合わせにも答えられませんので、この時期の帰省、旅行、合宿等の日程調整には十分留意してください。

再試験を受け
なくても良い、
学修計画を！



Ⅲ. 教育課程

全学共通科目・全学教養科目 P.55

専門科目 P.58

大学コンソーシアム京都「単位互換制度」 P.168

短期海外語学研修 P.169

派遣留学・交換留学 P.170

通信教育課程との併修履修制度（「免許併修」） P.171





Ⅲ章を読んで、科目の特性などについて大事なポイントを確認しましょう。

1. 卒業をするには、卒業所要単位を充足させる必要がある。
合計（ 単位）以上必要で、全学共通・全学教養科目は（ 単位）
まで卒業所要単位として含む。…各学科の卒業所要単位と要件頁参照
2. 「卒業論文」「卒業研究」「卒業レポート」は、大学生活における集大成です！
提出期限は（ ）をみて（ ）へ提出する。…各学科の卒業論文・卒業研究・卒業レポート頁参照

MEMO



対象学部

仏教学部

文学部

歴史学部

教育学部

社会学部

社会福祉学部

外国語科目履修の注意点

【必修外国語】

「英語」または「中国語」または「朝鮮語」

「英語」・「中国語」・「朝鮮語」の中から1語種を選択し、指定された科目を8科目8単位修得すること。

※第1学年の春学期開始後での語種の変更は、第2学年以降のみ可能です。第1学年の秋学期に語種の変更はできません。

「日本語」（留学生のみ）

「日本語」を履修する場合は、指定された科目を8科目8単位修得すること。

必修外国語科目が不合格(単位未修得)となった場合の履修登録(再履修)

「英語」および「中国語」は、第2学年以降に任意（再履修）のクラスを登録すること。

「朝鮮語」は、オリエンテーション中の指示に従うこと。

「日本語」は、任意の開講科目を履修登録すること。

【選択外国語】

選択外国語の指定科目（文学部・歴史学部）

語種を選択し、2科目2単位修得すること。

「英語」	「中国語」	「朝鮮語」
「General English 1・2」	「初級中国語 1・2」	「初級朝鮮語 1・2」
「ドイツ語」	「フランス語」	「ベトナム語」
「初級ドイツ語 1・2」	「初級フランス語 1・2」	「初級ベトナム語 1・2」

※上記の学部以外は、任意で選択履修すること。

I
教育
目標II
履修
一般III
教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV
学籍・
学費V
キャンパス
ライフVI
進路・
就職支援VII
大学の
取り組みVIII
規程

対象学部

仏教学部

文学部

歴史学部

教育学部

社会学部

社会福祉学部

※各学科の専門科目の「卒業所要単位と要件」を併せて確認すること。

全学共通科目・全学教養科目 履修科目表 (1/2)

系列区分	授業科目の名称	単位数	必修 必修	選択 選択	履修開始 セメスター	GPA 対象	卒業所要単位		
							小計	中計	大計
仏教 自校教育	ブッダと法然	2	必		1		2単位	2単位	
	佛教大学の理念と歴史	2		選	1		0単位以上	0単位以上	
	Intensive Reading1	1		選	1				
	Intensive Reading2	1		選	2				
英語	Integrated Communication Skills1	1		選	1				
	Integrated Communication Skills2	1		選	1				
	Integrated Communication Skills3	1		選	2				
	Integrated Communication Skills4	1		選	2				
	Intermediate Reading1	1		選	3				
	Intermediate Reading2	1		選	4				
中国語	中国語1	1		選	1				
	中国語2	1		選	1				
	中国語3	1		選	1				
	中国語4	1		選	2				
	中国語5	1		選	2				
	中国語6	1		選	2				
	中国語7	1		選	3				
	中国語8	1		選	4				
朝鮮語	朝鮮語1	1		選	1				
	朝鮮語2	1		選	1				
	朝鮮語3	1		選	1				
	朝鮮語4	1		選	2				
	朝鮮語5	1		選	2				
	朝鮮語6	1		選	2				
	朝鮮語7	1		選	3				
	朝鮮語8	1		選	4				
日本語	日本語1	1		選	1				
	日本語2	1		選	1				
	日本語3	1		選	1				
	日本語4	1		選	2				
	日本語5	1		選	2				
	日本語6	1		選	2				
	日本語7	1		選	3				
	日本語8	1		選	4				
英語	General English1	1		選	1				
	General English2	1		選	1				
	Communication Seminar1	2		選	1				
	Communication Seminar2	2		選	1				
	English Lecture1	2		選	1				
	English Lecture2	2		選	1				
	初級英語会話1	1		選	1				
	初級英語会話2	1		選	1				
	Skill-building (TOEIC500) 1	1		選	1				
	Skill-building (TOEIC500) 2	1		選	1				
	Skill-building (TOEIC600) 1	1		選	1				
	Skill-building (TOEIC600) 2	1		選	1				
	Intensive Overseas Program (短期海外語学研修認定用)	2		選	1	×			
中国語	初級中国語1	1		選	1				
	初級中国語2	1		選	1				
	中級中国語1	1		選	1				
	中級中国語2	1		選	1				
朝鮮語	初級朝鮮語1	1		選	1				
	初級朝鮮語2	1		選	1				
	中級朝鮮語1	1		選	1				
	中級朝鮮語2	1		選	1				
ドイツ語	初級ドイツ語1	1		選	1				
	初級ドイツ語2	1		選	1				
	中級ドイツ語1	1		選	1				
	中級ドイツ語2	1		選	1				
フランス語	初級フランス語1	1		選	1				
	初級フランス語2	1		選	1				
	中級フランス語1	1		選	1				
	中級フランス語2	1		選	1				
ベトナム語	初級ベトナム語1	1		選	1				
	初級ベトナム語2	1		選	1				
	中級ベトナム語1	1		選	1				
	中級ベトナム語2	1		選	1				
	ベトナム語表現法 (短期海外語学研修認定用)	2		選	1	×			

※0単位以上

※文学部および歴史学部は「必修外国語」とは別の1語種を選択し、選択した語種のうちそれぞれ以下のとおり履修すること。

「英語」選択者は「General English1・2」の2科目2単位を履修すること。

「中国語」選択者は「初級中国語1・2」の2科目2単位を履修すること。

「朝鮮語」選択者は「初級朝鮮語1・2」の2科目2単位を履修すること。

「ドイツ語」選択者は「初級ドイツ語1・2」の2科目2単位を履修すること。

「フランス語」選択者は「初級フランス語1・2」の2科目2単位を履修すること。

「ベトナム語」選択者は「初級ベトナム語1・2」の2科目2単位を履修すること。

小計・中計を
満たし30単位小計を
満たし
8単位以上※卒業所要
単位には30単位
までしか算入
できません

全学共通科目・全学教養科目 履修科目表 (2/2)

系列区分		授業科目の名称	単位数	必修／選択 必修 選択	履修開始 セメスター	GPA 対象	卒業所要単位		
							小計	中計	大計
全学共通科目	日本語表現	専門学修のための日本語表現	2	必	1		2単位	2単位	
	必修情報処理	コンピュータ・リテラシー	2	必	1		2単位		
	選択情報処理	表計算と統計	2		選	1		小計を満たし 2単位以上	
		インターネット・プログラミング	2		選	1	0単位以上		
		マルチメディアプレゼンテーション	2		選	1			
	キャリア	キャリア形成	2		選	1			
		組織マネジメント論	2		選	1			
		表現技法とプレゼンテーション	2		選	3			
		リーダーシップ論	2		選	3			
		情報収集と問題解決	2		選	2			
		インターンシップ	2		選	3			
		地域活動1	1		選	3			
		地域活動2	1		選	3			
	スポーツ	スポーツ理論	1		選	1			
		スポーツ実技	1		選	1	0単位以上	0単位以上	
	日本事情	日本事情	2		選	1			
			2		選	1	0単位以上	0単位以上	
	海外研修	短期海外語学研修 (英語) 1	2		選	1	×		
		短期海外語学研修 (英語) 2	2		選	1	×		
		短期海外語学研修 (英語) 3	2		選	1	×		
		短期海外語学研修 (英語) 4	2		選	1	×		
		短期海外語学研修 (中国語) 1	2		選	1	×		
		短期海外語学研修 (中国語) 2	2		選	1	×		
		短期海外語学研修 (中国語) 3	2		選	1	×		
		短期海外語学研修 (中国語) 4	2		選	1	×		
		短期海外語学研修 (朝鮮語) 1	2		選	1	×		
		短期海外語学研修 (朝鮮語) 2	2		選	1	×		
		短期海外語学研修 (朝鮮語) 3	2		選	1	×		
		短期海外語学研修 (朝鮮語) 4	2		選	1	×		
		短期海外語学研修 (ベトナム語) 1	2		選	1	×		
		短期海外語学研修 (ベトナム語) 2	2		選	1	×		
		短期海外語学研修 (ベトナム語) 3	2		選	1	×		
		短期海外語学研修 (ベトナム語) 4	2		選	1	×		
	大学コンソーシアム		2		選	1	×	0単位以上	0単位以上
全学教養科目	基礎領域	くらしの中の仏教	2		選	1			
		人間を考える	2		選	1			
		ことばと文学	2		選	1			
		心の世界を考える	2		選	1			
		人間の仕組みと活動	2		選	1			
		前近代の世界	2		選	1			
		近現代の世界	2		選	1			
		宗教と人間の歩み	2		選	1			
		病と人間の歩み	2		選	1			
		日本国憲法	2		選	1			
		法律を知る	2		選	1			
		世界と日本の政治	2		選	1			
		くらしの中の経済	2		選	1			
		個人・集団・社会	2		選	1			
		数の世界	2		選	1			
		物質の世界	2		選	1			
	人間と自然	宇宙を考える	2		選	1			
		生物の世界	2		選	1			
		自然と地理	2		選	1			
		食と栄養	2		選	1			
		仏教の人間観と死生観	2		選	5			
		人間と思想	2		選	5			
		人種・民族・国家	2		選	5			
		世界の文化	2		選	5			
	応用領域	人間と経済活動	2		選	5			
		世界のニュースと日本	2		選	5			
		Global English Communication	2		選	5			
		現代社会と福祉	2		選	5			
		情報・メディアと社会	2		選	5			
		教育事情を知る	2		選	5			
		生命を考える	2		選	5			
		人間と自然	2		選	5			
		エコロジーを学ぶ	2		選	5			

小計・中計を
満たし30単位

※卒業所要
単位には30単位
までしか算入
できません

- I 教育目標
- II 履修一般
- III 教育課程
- 全学
- 仏教
- 日文
- 中国
- 英米
- 歴史
- 歴史文
- 教育
- 幼教
- 臨床
- 現社
- 公共
- 社福
- その他
- IV 学籍・学費
- V キャンパスライフ
- VI 進路・就職支援
- VII 大学の取り組み
- VIII 規程

Ⅰ

教育
目標

Ⅱ

履修
一般

Ⅲ

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

Ⅳ

学籍・
学費

Ⅴ

キャンパス
ライフ

Ⅵ

進路・
就職支援

Ⅶ

大学の
取り組み

Ⅷ

規程

仏教学部 仏教学科

仏教学科の教育研究上の目的

仏教学科では、使命と目的に基づいて、以下のように具体的な教育研究上の目的を設定しています。

人材養成の目的

- ① 仏教および仏教に関連する研究領域に関わる基礎的知識と専門的知識を修得し、それを表現し、発信していく力を身につけた人材を養成する。
- ② 社会人に必要とされる教養として、基礎的な読解力、歴史を正しく理解する力、問題を発見し解決策を検討する力、問題にアプローチするために資料を収集し、批判的に思考しながら読解する力、問題に多面的な検討を加えて解答を導き出し、それを論理的に表現する力を身につけた人材を養成する。
- ③ 以下の二つのうち、いずれか一つの力を身につけている人材を養成する。
 - ア 浄土宗教師（浄土宗僧侶）として、仏祖・宗祖の精神を備え、それを伝え広めていく力
 - イ 仏教を学ぶことで培われた知識や技能を、社会のさまざまな場所で積極的に発揮していく力
- ④ 現代社会が抱えるさまざまな問題を理解し対応する力を身につけた人材を養成する。
- ⑤ 仏教が日本を含むアジアの人々の生活文化の中で果たしてきた役割を再発見、再評価し、それを社会に発信する力を身につけた人材を養成する。

その他の教育研究上の目的

1) 教育

- ① 仏教および仏教に関連する研究領域に関わる基礎的知識と専門的知識を修得し、それを表現し、発信していく力を身につけるための教育を提供する。
- ② 社会人に必要とされる教養として、基礎的な読解力、歴史を正しく理解する力、問題を発見し解決策を検討する力、問題にアプローチするために資料を収集し、批判的に思考しながら読解する力、問題に多面的な検討を加えて解答を導き出し、それを論理的に表現する力を身につけるための教育を提供する。
- ③ 浄土宗教師（浄土宗僧侶）として、仏祖・宗祖の精神を備え、それを伝え広めていく力を身につけるための教育を提供する。
- ④ 現代社会が抱えるさまざまな問題を理解し対応する力を身につけるための教育を提供する。
- ⑤ 仏教が日本を含むアジアの人々の生活文化の中で果たしてきた役割を再発見、再評価し、それを社会に発信する力を身につけるための教育を提供する。

2) 研究

- ① 仏教学を基盤とする多角的・複合的な視座からの研究を遂行する。
- ② 最新の研究成果を共有し合い、それを教育の現場と社会に還元していく。

③他の諸科学との学際的な研究を進め、それを専門研究にフィードバックさせていく。

3) 社会貢献

- ①仏教の他者への思いやりの精神に基づく活動を通して、地域社会に貢献する。
- ②共生の精神を具現していく人材を社会に提供することで貢献する。
- ③多様な生涯学習の場と機会を社会に提供することで貢献する。
- ④宗教者としての自覚のもとに、さまざまな人々との対話を通して、成熟社会に向けた貢献を進める。

仏教学科の教育方針

仏教学科では、教育研究上の目的を達成するために、ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）を以下の通り定めます。

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

- ①仏教および仏教に関連する研究領域に関わる基礎的知識と専門的知識を修得し、それを表現し、発信していく力を身につけている。
- ②社会人に必要とされる教養として、基礎的な読解力、歴史を正しく理解する力、問題を発見し解決策を検討する力、問題にアプローチするために資料を収集し、批判的に思考しながら読解する力、問題に多面的な検討を加えて解答を導き出し、それを論理的に表現する力を身につけている。
- ③以下の二つのうち、いずれか一つの力を身につけている。
 - ア 浄土宗教師（浄土宗僧侶）として、仏祖・宗祖の精神を備え、それを伝え広めていく力
 - イ 仏教を学ぶことで培われた知識や技能を、社会のさまざまな場所で積極的に発揮していく力
- ④現代社会が抱えるさまざまな問題を理解し対応する力を身につけている。
- ⑤仏教が日本を含むアジアの人々の生活文化の中で果たしてきた役割を再発見、再評価し、それを社会に発信する力を身につけている。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

仏教学科では、仏教に関する体系的な学修を進めることができるように、段階的な科目開講を行い、基礎知識から専門知識まで着実に蓄積されるような教育課程を編成し、仏教および仏教に関連する研究領域に関わる基礎的科目ならびに専門的科目を配置する。

- ①仏教精神に基づいて、豊かな人間性、確固たる倫理観、智慧と慈悲を培うための科目を提供する。
- ②社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する。

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴文

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

③仏教精神を社会で活かすために、読解力から表現力に至るまでの、以下の科目群を提供する。

ア 仏教を学ぶに際して基本となる読解力を身につけるための基礎科目

イ 仏教の長期にわたる変容の歴史を正しく理解するための歴史科目

ウ 仏教に関わる多様な問題に多面的アプローチすることで、さまざまな問題を発見し、それを解決する方法を思索するための研究科目

エ 仏教に関わるさまざまな問題にアプローチするための方法として、関連する資料を収集し、批判的に思考しながら資料を読解する力を培う講読科目

オ 仏教に関わるさまざまな問題に関して、多面的な検討を加えるとともに、一定の解答を導き出し、それを論理的に表現する力（話す力・書く力）を培う演習科目

④以下の二つのうち、いずれか一つの力を身につけるためのカリキュラムを提供する。

ア 浄土宗教師（浄土宗僧侶）として、仏祖・宗祖の精神を備え、それを伝え広めていく力

イ 仏教を学ぶことで培われた知識や技能を、社会のさまざまな場所で積極的に発揮していく力

⑤現代社会が抱えるさまざまな問題を理解し対応する力を培うために、仏教と現代諸科学に関する科目や実践・体験に関わる科目を提供する。

⑥仏教が日本を含むアジアの人々の生活文化の中で果たしてきた役割を再発見、再評価し、それを社会に発信する力を培うための科目を提供する。

⑦卒業後の進路に応じた各種の免許状・資格を取得することができるカリキュラムの一部を提供する。

仏教学科の教育内容

仏教学科では学問の領域と性格に応じて、①思想・歴史コース②芸術・文学コース③僧侶養成コースの3コースを設定し、以下に示すようなカリキュラムを設定しています。（僧侶養成コース以外は中途のコース変更が可能です。）

1 年生

【全学共通科目・全学教養科目】

建学の精神に基づく科目、人間力の基盤をなす教養やリテラシーに関する科目、語学に関する科目などを受講し、幅広い教養と基礎的な語学力の獲得を目指します。

- ・ 建学の精神に基づく科目 「ブツタと法然」
- ・ 教養やリテラシーに関する科目 「全学教養科目（基礎領域）」
「コンピュータ・リテラシー」
「専門学修のための日本語表現」
- ・ 語学に関する科目 「必修外国語」（英語）

Ⅰ

教育
目標

Ⅱ

履修
一般

Ⅲ

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

Ⅳ

学籍・
学費

Ⅴ

キャンパス
ライフ

Ⅵ

進路・
就職支援

Ⅶ

大学の
取り組み

Ⅷ

規程

2 年生

【全学共通科目・全学教養科目】

人間力の基盤をなす教養やリテラシーに関する科目、語学に関する科目などを受講し、幅広い教養と基礎的な語学力の獲得を目指します。

- ・教養やリテラシーに関する科目 「全学教養科目（基礎領域）」
- ・語学に関する科目 「必修外国語」（英語）

【専門科目（学部基幹科目）】

「仏教研究への道案内」は必修です。専任教員全員から、それぞれの研究領域についての紹介があります。自らの興味・関心を具体化していくための講義です。

【専門科目（学科基礎科目）】

「基礎ゼミ」は必修です。仏教研究を進めていくために必要な研究技能を修得します。具体的には、辞典・目録・索引・年表・地図その他の種類と使用方法についての知識を修得します。また講義の終盤には、3年生以降で何を研究していくのかを問う調査を実施します。

語学は、「古文」「漢文」に加えて「サンスクリット語」の入門・上級が履修できます。インドやチベットの仏教に興味がある人は、受講しておくべき科目です。

【専門科目（学科専攻科目）】

全てのコース共通の選択科目として、「アジア仏教史（韓国）」「浄土教史」「浄土宗史」が履修可能となります。それぞれ朝鮮半島の仏教史、法然が浄土宗を開宗するまでの浄土教の歴史、浄土宗開宗以後の歴史についての基礎知識を修得します。とくに浄土宗教師（僧侶）資格取得を目指す人は「浄土教史」「浄土宗史」のうちいずれかの修得が必要です。

また研究科目と講読科目が履修可能となります。研究科目はそれぞれの領域に関する専門的な研究事例・動向についての講義、講読科目は履修した語学科目や研究科目をふまえ、各領域における典籍を実際に読解していく講義です。

3年生から履修可能となる演習科目も含め、各領域において研究・講読・演習がセットになっています。自分の興味・関心に沿った領域をセットで履修していくことを推奨します。

領域については、「仏教学研究（初期・部派）」のように授業科目名の後ろの（ ）内に示す場合と、「仏教文化研究／講読／演習」のように前に示す場合があります。

初期・部派	大乘仏教が成立するまでの仏教全般と、東南アジアに伝わった仏教
大乘・チベット	大乘仏教と、チベットに伝わった仏教
中国	中国仏教、朝鮮半島の仏教を含む
日本	日本仏教
仏教文化	仏教を背景とした、文学や異文化交流という文化現象について
仏教美術	仏教を背景とした、美術（絵画や彫刻）という文化現象について
浄土学	浄土教全般について
浄土宗学	法然を中心とした浄土宗の教えについて

【専門科目（関連科目）】

仏教に関わる周辺領域、「仏教哲学」や「仏教と文学」などの科目が履修できます。

系列区分

卒業所要単位修得にかかる要件

必要科目等

必要単位

修得単位

小計

中計

大計

総計

全学共通科目

全学共通科目および全学教養科目より 30 単位

仏教

■必修科目の 2 単位

・ ブッタと法然

2単位

2単位

2 単位

自校教育

□任意で選択の科目

0単位以上

0単位以上

外国語

■必修外国語科目の 1 語種 8 単位

・ Intensive Reading 1

・ Intensive Reading 2

・ Integrated Communication Skills 1

・ Integrated Communication Skills 2

・ Integrated Communication Skills 3

・ Integrated Communication Skills 4

・ Intermediate Reading 1

・ Intermediate Reading 2

・ 中国語 1

・ 中国語 2

・ 中国語 3

・ 中国語 4

・ 中国語 5

・ 中国語 6

・ 中国語 7

・ 中国語 8

・ 朝鮮語 1

・ 朝鮮語 2

・ 朝鮮語 3

・ 朝鮮語 4

・ 朝鮮語 5

・ 朝鮮語 6

・ 朝鮮語 7

・ 朝鮮語 8

8単位

8単位

1 語種から 8 単位

小計を満たし 8 単位以上

日本語表現

■必修科目の 2 単位を履修

・ 専門学修のための日本語表現

2単位

2単位

2 単位

情報処理

■必修科目の 2 単位を履修

・ コンピュータ・リテラシー

2単位

2単位

小計を満たし 2 単位以上

キャリア

□任意で選択の科目

0単位以上

0単位以上

スポーツ

□任意で選択の科目

0単位以上

0単位以上

日本事情

□任意で選択の科目

0単位以上

0単位以上

海外研修

□任意で選択の科目

0単位以上

0単位以上

大学コンソーシアム

□任意で選択の科目

0単位以上

0単位以上

全学教養科目

■基礎領域より任意で選択

4単位以上

■応用領域より任意で選択

4単位以上

小計を満たし 8 単位以上

専門科目

専門科目より 30 単位以上

学部基幹科目

■必修科目の 8 単位

・ ブッタの経典と教え

・ 法然の生涯と教え

・ 仏教研究への道案内

・ 仏教学の基礎

2単位

2単位

2単位

2単位

8 単位

学科基幹科目

■必修科目の 4 単位

・ 入門ゼミ

・ 履修ゼミ

2単位

2単位

4 単位

■任意で選択の科目

0単位以上

0単位以上

学科専攻科目

■すべてのコースにおいて履修が必要な 14 単位

・ 準備ゼミ 1

・ 準備ゼミ 2

・ 準備ゼミ 3

・ 準備ゼミ 4

・ 卒業論文

2単位

2単位

2単位

2単位

2単位

14 単位

■学科専攻共通科目の選択科目を任意で選択

0単位以上

0単位以上

① 思想・歴史コース

・ 仏教文化研究 (初期・部派)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 任意で選択の研究科目 (他コース)

・ 仏教文化研究 (初期・部派)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

1 0 単位以上

4 単位以上

② 言語・文学コース

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本)

・ 仏教文化研究 (大乗・チベット)

・ 仏教文化研究 (中国)

・ 仏教文化研究 (日本

系列区分	卒業所要単位修得に必要な要件			卒業所要単位			
	必要科目等	必要単位	修得単位	小計	中計	大計	総計
専門科目	専門科目より 94 単位以上						
	学部基礎科目						
	■必修科目の 8 単位						8 単位
	・フツダの生涯と教え		2 単位				
	・法然の生涯と教え		2 単位				
	・仏教研究への道案内		2 単位				
	・仏教学の基礎		2 単位				
	■任意で選択の科目						2 単位以上
	学科基礎科目						
	■必修科目の 4 単位						4 単位
	・入門ゼミ		2 単位				
	・基礎ゼミ		2 単位				
	■任意で選択の科目						6 単位以上
	学科専攻科目						
	■すべてのコースにおいて履修が必要な 14 単位						14 単位
	・予備ゼミ 1		2 単位				
	・予備ゼミ 2		2 単位				
	・卒論ゼミ 1		2 単位				
	・卒論ゼミ 2		2 単位				
	・卒業論文		6 単位				
	■学科専攻共通科目の選択科目を任意で選択						
	① 思想・歴史コース						
	・仏教学研究（初期・部派）		10 単位以上			①から③の選択したコースから、研究科目 10 単位以上、講読科目 4 単位以上、演習科目 4 単位以上、合計 18 単位以上 ※自身が選択したコースの演習科目を 1 科目以上含む。 ※異なるコースも履修可能	
	・仏教学研究（大乗・チベット）						
	・仏教学研究（中国）						
	・仏教学研究（日本）						
	■任意で選択の研究科目（他コース）		4 単位以上				
	・仏教学講読（初期・部派）						
	・仏教学講読（大乗・チベット）						
	・仏教学講読（中国）						
	・仏教学講読（日本）		4 単位以上				
	■任意で選択の講読科目（他コース）						
	・仏教学演習（初期・部派）						
	・仏教学演習（大乗・チベット）						
	・仏教学演習（中国）		4 単位以上				
	・仏教学演習（日本）						
	■任意で選択の演習科目（他コース）						
	② 文学・芸術コース						
	・仏教文化学研究（インド・中国）		10 単位以上			講読科目 4 単位以上、演習科目 4 単位以上、合計 18 単位以上 ※自身が選択したコースの演習科目を 1 科目以上含む。 ※異なるコースも履修可能	
	・仏教文化学研究（日本）						
	・仏教美術研究（インド・中国）						
	・仏教美術研究（日本）						
	・伝統文化研究（茶道）						
	・伝統文化研究（華道）						
	・伝統文化研究（書道）						
	・伝統文化研究（儀礼・音楽）						
	・仏教書誌学研究						
	■任意で選択の研究科目（他コース）						
	・仏教文化学講読		4 単位以上				
	■任意で選択の講読科目（他コース）		4 単位以上				
	・仏教文化学演習						
	■任意で選択の演習科目（他コース）						
	③ 僧侶養成コース						
	・浄土三部経研究 1（無量寿経）		10 単位以上			講読科目 4 単位以上、演習科目 4 単位以上、合計 18 単位以上 ※自身が選択したコースの演習科目を 1 科目以上含む。 ※異なるコースも履修可能	
	・浄土三部経研究 2（観経・阿弥陀経）						
	・浄土学研究						
	・浄土宗学研究						
	・選択集研究 1						
	・選択集研究 2						
	・法然門流研究						
	■任意で選択の研究科目（他コース）		4 単位以上				
	・浄土学講読						
	・浄土宗学講読						
	■任意で選択の講読科目（他コース）		4 単位以上				
	・浄土学演習						
	・浄土宗学演習						
	■任意で選択の演習科目（他コース）						
	関連科目						
	□任意で選択の科目				0 単位以上	0 単位以上	

※自由科目は卒業所要単位に算入できません。

I
教育
目標II
履修
一般III
教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV
学籍・
学費V
キャンパス
ライフVI
進路・
就職支援VII
大学の
取り組みVIII
規程

仏教学科 履修科目表 (1/2)

系 列 区 分	授 業 科 目	単 位	必修・選択・自由別 必修 選択 自由	履修開始 セメスター	GPA 対象	備 考
I 教育 目標 II 履修 一般 III 教育 課程 全学 仏教 日文 中国 英米 歴史 歴史文 教育 幼教 臨床 現社 公共 社福 その他 IV 学籍・ 学費 V キャンパス ライフ VI 進路・ 就職支援 VII 大学の 取り組み VIII 規程	学部基幹科目	ブッダの生涯と教え	2 必	1		必修科目4科目8単位および選択科目のうち1科目2単位以上、合計5科目10単位以上を履修すること。
		法然の生涯と教え	2 必	2		
		仏教研究への道案内	2 必	3		
		仏教学の基礎	2 必	1		
		浄土学の基礎	2 選	2		
		仏教文化学の基礎	2 選	2		
	学科基礎科目	入門ゼミ	2 必	1		必修科目2科目4単位および選択科目のうち3科目6単位以上、合計5科目10単位以上を履修すること。
		基礎ゼミ	2 必	4		
		古文入門	2 選	1		
		古文上級	2 選	2		
		漢文入門	2 選	1		
		漢文上級	2 選	2		
		サンスクリット語入門	2 選	3		
		サンスクリット語上級	2 選	4		
		パーリ語	2 選	5		
		チベット語	2 選	5		
	共通	予備ゼミ 1	2 必	5		必修科目5科目14単位を含み、合計9科目22単位以上を履修すること。
		予備ゼミ 2	2 必	6		
		卒論ゼミ 1	2 必	7		
		卒論ゼミ 2	2 必	8		
		卒業論文	6 必	8		
		宗教史	2 選	1		
		日本仏教史 (仏教伝来～平安)	2 選	1		
		日本仏教史 (鎌倉以降)	2 選	2		
		中国仏教史	2 選	1		
		インド仏教史	2 選	1		
		アジア仏教史 (チベット・東南アジア)	2 選	2		全コースの中から研究科目5科目10単位以上、講読科目2科目4単位以上、演習科目を2科目4単位以上、合計9科目18単位以上を履修すること。
		アジア仏教史 (韓国)	2 選	3		
		浄土教史	2 選	3		
		浄土宗史	2 選	4		
		仏教学研究 (初期・部派)	2 選	3		
		仏教学研究 (大乘・チベット)	2 選	3		
		仏教学研究 (中国)	2 選	4		
		仏教学研究 (日本)	2 選	4		
		仏教学講読 (初期・部派)	2 選	4		
		仏教学講読 (大乘・チベット)	2 選	4		
	思想・歴史コース	仏教学講読 (中国)	2 選	5		
		仏教学講読 (日本)	2 選	5		
		仏教学演習 (初期・部派)	2 選	5		
		仏教学演習 (大乘・チベット)	2 選	5		
		仏教学演習 (中国)	2 選	6		
		仏教学演習 (日本)	2 選	6		
		仏教文化学研究 (インド・中国)	2 選	3		文学・芸術コース
		仏教文化学研究 (日本)	2 選	4		
		仏教美術研究 (インド・中国)	2 選	4		
		仏教美術研究 (日本)	2 選	5		
		伝統文化研究 (茶道)	2 選	3		
		伝統文化研究 (華道)	2 選	3		
		伝統文化研究 (書道)	2 選	4		
		伝統文化研究 (儀礼・音楽)	2 選	4		
		仏教書誌学研究	2 選	3		
		仏教文化学講読	2 選	4		
	僧侶養成コース	仏教文化学演習	2 選	5		
		浄土三部経研究 1 (無量寿経)	2 選	3		
		浄土三部経研究 2 (観経・阿弥陀経)	2 選	4		
		浄土学研究	2 選	3		
		浄土宗学研究	2 選	4		
		選択集研究 1	2 選	4		
		選択集研究 2	2 選	5		
		法然門流研究	2 選	4		
		浄土学講読	2 選	4		
		浄土宗学講読	2 選	5		
		浄土学演習	2 選	5		
		浄土宗学演習	2 選	6		

仏教学科 履修科目表 (2/2)

系 列 区 分	授 業 科 目	単 位	必修・選択・自由別			履修開始 セメスター	GPA 対象	備 考
			必修	選択	自由			
専 門 科 目	哲学概論	2		選		2		
	仏教哲学 (インド)	2		選		3		
	仏教哲学 (中国・日本)	2		選		4		
	倫理学概論	2		選		1		
	宗教学概論	2		選		1		
	仏教と現代社会の諸問題	2		選		2		
	人権同和教育 (仏教と人権)	2		選		2		
	仏教と文学	2		選		3		
	仏教と文化財	2		選		4		
	宗派仏教	2		選		4		
	仏教フィールドワーク	2		選		3		
	開教概論1 (歴史と基礎知識)	2		選		3		
	開教概論2 (方法と実践)	2		選		4		
	開教英語	2		選		3		
	仏蹟研修	2		選		3		
	仏教インターンシップ	2		選		3		
	宗教法制	2		選		3		
	日本史概論	2		選		1		
	東洋史概論	2		選		1		
	西洋史概論	2		選		1		
	日本史特論	2		選		2		
	人文地理学1	2		選		3		
	人文地理学2	2		選		4		
	自然地理学1	2		選		3		
	自然地理学2	2		選		4		
	地誌学1	2		選		3		
	地誌学2	2		選		4		
	法学概論1	2		選		1		
	法学概論2	2		選		2		
	国際政治学	2		選		1		
	法式実習1	1			自	1	×	自由科目で修得した単位は卒業所要単位には算入できません。
	法式実習2	1			自	2	×	
	法務実習 (初級) 1	2			自	1	×	
	法務実習 (初級) 2	2			自	2	×	
	日常勤行式の解説	2			自	1	×	
	伝道学1 (念仏講話)	2			自	3	×	
	伝道学2	2			自	4	×	
	詠唱1	1			自	3	×	
	詠唱2	1			自	3	×	
	伝書1	2			自	4	×	
	伝書2	2			自	5	×	
	円頓戒1	2			自	4	×	
	円頓戒2	2			自	5	×	
	法務実習 (中級) 1	1			自	4	×	
	法務実習 (中級) 2	1			自	4	×	
	法務実習 (上級) 1	1			自	6	×	
	法務実習 (上級) 2	1			自	6	×	
	法務実習 (特級) 1	1			自	7	×	
	法務実習 (特級) 2	1			自	7	×	

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

仏教学科 提出までの手続き

履修登録

第4学年第8セメスターにおいて「卒業論文」の履修登録が必要です。ただし、以下の条件があるので留意してください。

- ・第4学年第7セメスターの履修登録時に卒業見込み（卒業所要単位を80単位以上修得）がないと「卒論ゼミ1」の履修登録ができません。
- ・第4学年第8セメスターの履修登録時に「卒論ゼミ1」の単位を修得済みでない「卒業論文」の履修登録ができません。

卒業論文題目 登録

題目登録の手続きについては、指導教員から「論文題目登録届」提出の指示を受け、所定の方法で「題目登録」手続きを行う必要があります。

提出日については、指導状況および指導教員により異なります。よって、学年暦掲載期限よりも早くなるので、期限については指導教員に確認することが必要です。

卒業論文 提出

【書 式】

学科	文字方向	手書き	ワープロ使用時の用紙書式		
仏教学科	横書き	400字詰 原稿用紙	40枚程度	A4判縦 (左綴じ)	14枚程度 1200字(40字×30行)/1枚 文字:10.5ポイント 余白(mm):上30・下30・左30・右30 外字手書き可
	縦書き	400字詰 原稿用紙	40枚程度	A4判横 (上綴じ)	14枚程度 1200字(40字×30行)/1枚 文字:10.5ポイント 余白(mm):上30・下30・左30・右30 外字手書き可

- ・原則として黒インクを使用し、ページ数を必ず記入

【指定表紙】・コクヨ・フラットファイル(フ-V10M) ※グレー色

【作 成】・正本と副本の2部作成が必要です。

- 〈 正 本 〉 1. 指導教員の提出許可を受けたら、「論文提出票」に捺印を受ける。
2. 清書した論文を指定表紙にてとじ込み、表紙に「論文提出票」を貼付する。
- 〈 副 本 〉 1. 清書した論文の複写を正本と同様にとじ込む。
2. 清書に貼付した「論文提出票」の記載事項に準じて表紙に、年度・学期・開講科目名(卒業論文)、論文題目、学籍番号、氏名等を記入する。

【提 出】・正本は、「受理票」を添えて期限(学年暦参照)までに学生支援課へ提出してください。

- ・副本は、指導教員へ直接提出してください。

卒業論文 口頭試問

口頭試問は、提出された論文に対して主査(指導教員)および副査の教員で行う口述試験(30分程度)です。したがって口頭試問に不合格の場合、または口頭試問を欠席した場合は、卒業論文の単位を修得することができません。

- ・実施日時および会場は、3月卒業の場合1月下旬、9月卒業の場合8月上旬にB-netにてお知らせします。なお、日時の変更はできません。
- ・正本は卒業式当日に返却します。

文学部 日本文学科

日本文学科の教育研究上の目的

日本文学科では、使命と目的に基づいて、以下のように具体的な教育研究上の目的を設定しています。

人材養成の目的

- ①日本文学・日本語学・日本語教育に関する専門的な知識・教養を備えた人材を養成する。
- ②書道文化に関する専門的な知識・技術を備えた人材を養成する。
- ③日本文学・日本文化に対する理解に基づき、広く社会に貢献できる人材を養成する。
- ④日本の文化と異文化を相対的に把握し、国際社会の中で活躍できる人材を養成する。

その他の教育研究上の目的

1) 教育

- ①知的好奇心と学修に対する主体的姿勢を育成するために、初年次より専門領域に触れる機会を提供する。
- ②日本文化の独自性に対する理解力と見識の育成のために、日本文学、日本語学、日本語教育、書道文化についての基礎知識を体系的に提供する。
- ③自己実現できる人間性の確立のために、教員や学生間の意見交換の場を提供する。
- ④学生の志望に応じた学修モデルを設定し、体系的なキャリア教育を行う。

2) 研究

- ①日本文学、日本語学、日本語教育、書道文化などの専門領域において最新の研究を行う。
- ②最新の研究成果をカリキュラムを通して教育に還元する。

3) 社会貢献

- ①出版などの形態によって最新の研究成果を公表し、社会に貢献する。
- ②最新の研究成果を教育の場に還元して学生の技能を向上させ、卒業後の社会貢献を促す。
- ③教員や専門職員等の資格取得課程においてすぐれた人材を育成し、社会に貢献する。
- ④実習やボランティアなどを通じて教育現場等において社会貢献をする。

日本文学科の教育方針

日本文学科では、教育研究上の目的を達成するために、ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）を以下の通り定めます。

Ⅰ

教育
目標

Ⅱ

履修
一般

Ⅲ

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

Ⅳ

学籍・
学費

Ⅴ

キャンパス
ライフ

Ⅵ

進路・
就職支援

Ⅶ

大学の
取り組み

Ⅷ

規程

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

- ①日本文学・日本語学・日本語教育についての専門的な知識・教養、あるいは書道文化についての専門的な知識・技術を社会の幅広い分野で役立てる力を備えている。
- ②日本以外も含めたさまざまな地域の歴史や文化と、文芸の関わりについて、知識と見識を備えている。
- ③口頭あるいは文章によって、適切な日本語を用い、的確に自己表現する力、他者の言葉を理解し、お互いを分かり合う力を備えている。
- ④日本の文化と異文化を相対的に把握でき、国際社会の中で相互理解する力を備えている。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

- ①社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する。
- ②日本の文化に対する高度な理解に基づき、異文化理解を含めた広い分野へと導く段階的な学修プログラムを提供する。
- ③日本文学・日本語学・日本語教育および書道文化について、専門的な知識・教養・技術を社会に役立てる力を、各自の興味・関心に応じて体系的に修得する科目を設ける。
- ④日本以外も含めたさまざまな地域の歴史や文化と、文芸の関わりについて、実践的な活動を通じて理解する科目を設ける。
- ⑤専門的知識や教養を現代社会に有機的に接続させるためにキャリアプログラム科目を設ける。

日本文学科の教育内容

1 年生

全学共通科目で建学の精神に基づく科目や、学力の基盤を養うためリテラシーに関する科目、語学関連科目等を受講し、幅広い教養の獲得を目指します。アカデミックスキルを身につける「入門ゼミ」（春学期）および「専門学修のための日本語表現」（秋学期）は必修科目で、日本文学科で今後学んでいくための基礎的能力を養います。そのほか、「日本文学初学び」で日本文学科における専門領域に触れ、「文献学入門（版本）」「文献学（古筆）」では、古典文学の原典に接触する喜びを感じるとともに、その意義を学習します。

2 年生

専門分野ゼミでの履修を開始します。「日文実践演習1」「日文実践演習2」では、日本文学科での学習のためには不可欠な文献資料を精読するための基本的なスキルと能力を修得し、3年生以降、各専門ゼミで本格的な専門領域での研究を始めるための基盤を形成します。また、学科専攻科目での履修が本格化します。卒業までに40単位以上履修することにより、日本文学科での多様な専門領域に触れ、視野を広げます。

3年生

卒業論文（卒業研究）作成を視野に入れた上で、学生の関心に応じて「専門ゼミ」の履修が始まります。3年生では専門領域で研究論文を提出するために必要な課題を発見し、先行論文を蒐集し批判的に検討する能力を養います。また、卒業を視野に入れ、キャリア形成をはかるべく「キャリアプログラム」を受講します。更に、2年生に引き続き、日本文学科での多様な専門領域に触れ、専門知識を発展させます。

4年生

これまでに培ってきた論理的思考力、課題発見能力、幅広い教養、深い専門知識をもとに「卒業研究ゼミ」で教員から指導を受けながら、卒業論文（卒業研究）を仕上げます。また、研究成果を発表する経験を通じて、社会で活躍するために不可欠なプレゼンテーションやコミュニケーション能力を養成します。

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

系列区分	卒業所要単位修得にかかる要件			卒業所要単位				
	必要科目等	必要単位	修得単位	小計	中計	大計	総計	
全学共通科目	全学共通科目および全学教養科目より 30 単位							
	仏教							
	■必修科目の 2 単位 ・ブツと法然			2単位	2単位	2単位		
	自校教育							
	□任意で選択の科目			0単位以上	0単位以上			
	外国語							
	■必修外国語科目の 1 語種 8 単位							
	・ Intensive Reading 1			8単位		1 語種から 8単位		
	・ Intensive Reading 2							
	・ Integrated Communication Skills 1							
	・ Integrated Communication Skills 2							
	・ Integrated Communication Skills 3							
	・ Integrated Communication Skills 4							
	・ Intermediate Reading 1							
	・ Intermediate Reading 2							
	・ 中国語 1			8単位				
	・ 中国語 2							
	・ 中国語 3							
	・ 中国語 4							
	・ 中国語 5							
	・ 中国語 6							
	・ 中国語 7							
	・ 中国語 8							
	・ 朝鮮語 1			8単位		小計を 満たし 10 単位 以上		
	・ 朝鮮語 2							
	・ 朝鮮語 3							
	・ 朝鮮語 4							
	・ 朝鮮語 5							
	・ 朝鮮語 6							
	・ 朝鮮語 7							
	・ 朝鮮語 8							
	■選択外国語科目の 1 語種 2 単位							
	・ General English1			2単位		1 語種から 2単位	※卒業所要 単位には 30 単位 までしか 算入でき ません。	
	・ General English2							
	・ 初級中国語 1			2単位				
	・ 初級中国語 2							
・ 初級朝鮮語 1			2単位					
・ 初級朝鮮語 2								
・ 初級ドイツ語 1			2単位					
・ 初級ドイツ語 2								
・ 初級フランス語 1			2単位		※必修外国語 とは別語種	※科目は pp.56・ 57 参照		
・ 初級フランス語 2			2単位					
・ 初級ベトナム語 1			2単位					
・ 初級ベトナム語 2			2単位					
□任意で選択の科目			0単位以上					
日本語表現								
■必修科目の 2 単位				2単位	2単位	2単位		
・ 専門学修のための日本語表現			2単位					
情報処理								
■必修科目の 2 単位				2単位	2単位	小計を満たし 2単位以上		
・ コンピュータ・リテラシー			2単位					
□任意で選択の科目			0単位以上					
キャリア						0単位以上		
□任意で選択の科目			0単位以上					
スポーツ						0単位以上		
□任意で選択の科目			0単位以上					
日本事情						0単位以上		
□任意で選択の科目			0単位以上					
海外研修						0単位以上		
□任意で選択の科目			0単位以上					
大学コンソーシアム						0単位以上		
□任意で選択の科目			0単位以上					
全学教養科目	全学教養科目							
	■基礎領域より任意で選択			4単位以上	4単位以上	小計を満たし 8単位以上		
	■応用領域より任意で選択			4単位以上	4単位以上			
専門科目	専門科目より 94 単位以上							
	「学部基礎科目」							
	■選択科目から 2 単位							
	・ 中国語と中国文化			2単位		2単位	小計を 満たし 6 単位 以上	
	・ 英語と英米文化			2単位				
	■選択科目から 4 単位							
	・ 世界の言語と文化（朝鮮語）			2単位		4単位 以上		
	・ 世界の言語と文化（ベトナム語）			2単位				
	・ 世界の言語と文化（フランス語）			2単位				
	・ 世界の言語と文化（ドイツ語）			2単位				
	学科基礎科目							
	■必修科目の 8 単位						小計を 満たし	
	・ 入門ゼミ			2単位				
	学科専攻	■必修科目の 12 単位				12単位	12単位	小計を 満たし 40 単位 以上
		・ 日本文学演習 1			2単位			
		・ 日本文学演習 2			2単位			
		・ 専門ゼミ 1			2単位			
		・ 専門ゼミ 2			2単位			
		・ 卒業研究ゼミ 1			2単位			
		・ 卒業研究ゼミ 2			2単位			
		■「卒業論文」「卒業研究」のいずれか			6単位		4単位 以上	
		・ 卒業論文						
		・ 卒業研究			4単位			
	■任意で選択の科目				22単位以上	22単位以上		
	関連科目							
	■キャリアプログラム科目				2単位以上	2単位以上	小計を満たし 2単位以上	
□任意で選択の科目				0単位以上	0単位以上			

専門科目については次頁参照

専門科目については次頁参照

I
教育
目標II
履修
一般III
教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・

学費

V

キャン

パス

ライフ

VI

進路・

就職支援

VII

大学の

取り組み

VIII

規程

系列区分	卒業所要単位修得にかかる要件			修得 単位	卒業所要単位					
	必要科目等		必要単位		小計	中計	大計	総計		
専門科目	専門科目より 94 単位以上									
	学部基礎科目									
	■選択科目から 2 単位				2単位	小計を 満たし 6 単位 以上	小計・ 中計を 満たし 94 単位 以上	小計・ 中計・ 大計を 満たし 124 単位 以上		
	・中国語と中国文化		2単位							
	・英語と英米文化		2単位							
	■選択科目から 4 単位				4単位 以上					
	・世界の言語と文化（朝鮮語）		2単位							
	・世界の言語と文化（ベトナム語）		2単位							
	・世界の言語と文化（フランス語）		2単位							
	・世界の言語と文化（ドイツ語）		2単位							
	学科基礎科目									
	■必修科目の 8 単位				8単位	小計を 満たし 18 単位 以上				
	・入門ゼミ		2単位							
	・日本文学初学び		2単位							
	・文献学入門（版本）		2単位							
	・文献学（古筆）		2単位							
	■任意で選択の科目				10単位以上					
	学科専攻科目									
	■必修科目の 12 単位				12単位	小計を 満たし 40 単位 以上				
	・日文実践演習 1		2単位							
	・日文実践演習 2		2単位							
	・専門ゼミ 1		2単位							
	・専門ゼミ 2		2単位							
	・卒業研究ゼミ 1		2単位							
	・卒業研究ゼミ 2		2単位							
	■「卒業論文」「卒業研究」のいずれか								4単位 以上	
・卒業論文		6単位								
・卒業研究		4単位								
■任意で選択の科目				22単位以上						
関連科目										
■キャリアプログラム科目				2単位以上	小計を満たし 2単位以上					
□任意で選択の科目				0単位以上						

※自由科目は卒業所要単位に算入できません。

Ⅰ

教育
目標

Ⅱ

履修
一般

Ⅲ

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

Ⅳ

学籍・
学費

Ⅴ

キャンパス
ライフ

Ⅵ

進路・
就職支援

Ⅶ

大学の
取り組み

Ⅷ

規程

日本文学科 履修科目表 (1/2)

系 列 区 分			授 業 科 目	単位	必修・選択・自由別 必修 選択 自由			履修開始 セメスター	GPA 対象	備 考		
専 門 科 目	学部 基幹科目	A 群	中国語と中国文化	2		選		1		「中国語と中国文化」または「英語と英米文化」 のいずれか1科目2単位および「世界の言語と 文化(朝鮮語)」・「世界の言語と文化(ベトナム 語)」・「世界の言語と文化(フランス語)」・「世 界の言語と文化(ドイツ語)」のうち2科目4単位 以上、合計3科目6単位以上を履修すること。		
			英語と英米文化	2		選		1				
			世界の言語と文化（朝鮮語）	2		選		1				
		B 群	世界の言語と文化（ベトナム語）	2		選		1				
			世界の言語と文化（フランス語）	2		選		1				
			世界の言語と文化（ドイツ語）	2		選		1				
	学 科 基 礎 科 目	入門ゼミ	2	必			1		必修科目4科目8単位および選択科目の うち5科目10単位以上、合計9科目18単 位以上を履修すること。			
		漢文学1	2		選		3					
		漢文学2	2		選		4					
		書道1	2		選		1					
		書道2	2		選		2					
		日本文学概論1	2		選		1					
		日本文学概論2	2		選		2					
		日本文学史1	2		選		3					
		日本文学史2	2		選		4					
		日本語学概論1	2		選		3					
		日本語学概論2	2		選		4					
		京都と文学（古典）	2		選		1					
		京都と文学（近・現代）	2		選		2					
		日文学初学び	2	必			1					
		文献学入門（版本）	2	必			1					
		文献学（古筆）	2	必			2					
		文学概論1	2		選		3					
		文学概論2	2		選		4					
		日本語文法1	2		選		1					
		日本語文法2	2		選		2					
		言語学概論1	2		選		3					
		言語学概論2	2		選		4					
		中国書道史	2		選		3					
		日本書道史	2		選		4					
		書道文化入門	2		選		1					
		ことばと表現（古典）	2		選		1					
		ことばと表現（近・現代）	2		選		2					
		科 目	学 科 専 攻 科 目	日本文学講読（上代）	2		選			2		必修科目6科目12単位および卒業論文 または卒業研究のいずれかを選択した うえで、卒業論文選択者は選択科目の うち11科目22単位以上、卒業研究選択 者は選択科目のうち12科目24単位以 上、合計40単位以上を履修すること。
				日本文学講読（中古）	2		選			2		
				日本文学講読（中世）	2		選			2		
				日本文学講読（近世）	2		選			2		
				日本文学講読（近・現代）	2		選			2		
	日本文学作品研究（上代）			2		選		2				
	日本文学作品研究（中古）			2		選		2				
	日本文学作品研究（中世）			2		選		2				
	日本文学作品研究（近世）			2		選		2				
	日本文学作品研究（近・現代）			2		選		2				
	漢文基礎			2		選		2				
	日本語学講読			2		選		2				
	日本語学作品研究			2		選		2				
書道文化講読	2				選		2					
書道文化作品研究	2				選		2					
日文学特講（上代）	2				選		3					
日文学特講（中古）	2				選		3					
日文学特講（中世）	2				選		3					
日文学特講（近世）	2				選		3					
日文学特講（近・現代）	2				選		3					
日文学特殊研究（上代）	2				選		3					
日文学特殊研究（中古）	2				選		3					
日文学特殊研究（中世）	2				選		3					
日文学特殊研究（近世）	2				選		3					
日文学特殊研究（近・現代）	2				選		3					
日本語学特講	2				選		3					
日本語学特殊研究	2				選		3					
書道文化特講	2				選		3					
書道文化特殊研究	2		選		3							
書論	2		選		3							
日文実践演習1	2	必			3							
日文実践演習2	2	必			4							

日本文学科 履修科目表 (2/2)

系列区分		授業科目	単位	必修・選択・自由別			履修開始 セメスター	GPA 対象	備考
専門科目	学科 専攻 科目	専門ゼミ1	2	必			5		
		専門ゼミ2	2	必			6		
		卒業研究ゼミ1	2	必			7		
		卒業研究ゼミ2	2	必			8		
		卒業論文	6		選		8		
		卒業研究	4		選		8		
		日本文学情報処理	2		選		2		
	関連 科目	比較文学	2		選		3		
		書道3	2		選		3		
		書道4	2		選		4		
		書誌学	2		選		3		
		美術史1	2		選		3		
		美術史2	2		選		4		
		日本語教育教材・教具法	2		選		3		
		日本語教授法1	2		選		4		
		日本語教授法2	2		選		5		
		日本語教育教壇実習1	1		選		5		
		日本語教育教壇実習2	1		選		6		
		日本語教育文法1	2		選		3		
		日本語教育文法2	2		選		4		
		日文キャリアプログラム (国語科教員系)	2		選		5		キャリアプログラム科目のうち1科目2単位を含み履修すること。
		日文キャリアプログラム (文芸創作系)	2		選		5		
		日文キャリアプログラム (書道創作系)	2		選		5		
		日文キャリアプログラム (日本語教員系)	2		選		5		
		日文キャリアプログラム (出版情報系)	2		選		5		

I
教育
目標II
履修
一般III
教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴文

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV
学籍・
学費V
キャンパス
ライフVI
進路・
就職支援VII
大学の
取り組みVIII
規程

Ⅰ

教育
目標

Ⅱ

履修
一般

Ⅲ

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

Ⅳ

学籍・
学費

Ⅴ

キャンパス
ライフ

Ⅵ

進路・
就職支援

Ⅶ

大学の
取り組み

Ⅷ

規程

日本文学科 提出までの手続き

履修登録

第4学年第8セメスターにおいて「卒業論文」または「卒業研究」の履修登録が必要です。ただし、以下の条件があるので留意してください。

- ・第4学年第7セメスターの履修登録時に卒業見込み（卒業所要単位を80単位以上修得）がないと「卒業研究ゼミ1」の履修登録ができません。

卒業論文・卒業研究題目 登録

題目登録の手続きについては、指導教員から「論文題目登録届」提出の指示を受け、所定の方法で「題目登録」手続きを行う必要があります。

提出日については、指導状況および指導教員により異なります。よって、学年暦掲載期限よりも早くなるので、期限については指導教員に確認することが必要です。

卒業論文 提出

【書 式】

学科	文字方向	手書き		ワープロ使用時の用紙書式		
日本文学科	横書き	400字詰 原稿用紙	50枚程度	A4判縦 (左綴じ)	17枚程度	1200字(40字×30行)/1枚 文字:10.5ポイント 余白(mm):上30・下30・左30・右30 外字手書き可
	縦書き	400字詰 原稿用紙	50枚程度	A4判横 (上綴じ)	17枚程度	1200字(40字×30行)/1枚 文字:10.5ポイント 余白(mm):上30・下30・左30・右30 外字手書き可

・原則として黒インクを使用し、ページ数を必ず記入

【指定表紙】・コクヨ・フラットファイル(フ-V10M) ※グレー色

【作 成】・正本と副本の2部作成が必要です。

〈正 本〉 1. 指導教員の提出許可を受けたら、「論文提出票」に捺印を受ける。
2. 清書した論文を指定表紙にてとじ込み、表紙に「論文提出票」を貼付する。

〈副 本〉 1. 清書した論文の複写を正本と同様にとじ込む。
2. 清書に貼付した「論文提出票」の記載事項に準じて表紙に、年度・学期・開講科目名(卒業論文)、論文題目、学籍番号、氏名等を記入する。

【提 出】・正本は、「受理票」を添えて期限(学年暦参照)までに学生支援課へ提出してください。

・副本は、指導教員へ直接提出してください。

卒業論文 口頭試問

口頭試問は、提出された論文に対して主査(指導教員)および副査の教員で行う口述試験(30分程度)です。したがって口頭試問に不合格の場合、または口頭試問を欠席した場合は、卒業論文の6単位を修得することができません。

・実施日時および会場は、3月卒業の場合1月下旬、9月卒業の場合8月上旬にB-netにてお知らせします。なお、日時の変更はできません。

・正本は卒業式当日に返却します。

Ⅰ

教育
目標

Ⅱ

履修
一般

Ⅲ

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

Ⅳ

学籍・
学費

Ⅴ

キャンパス
ライフ

Ⅵ

進路・
就職支援

Ⅶ

大学の
取り組み

Ⅷ

規程

卒業研究 提出

【書 式】

学科	文字方向	手書き		ワープロ使用時の用紙書式		
日本文学科	横書き	400字詰 原稿用紙	30枚程度	A4判縦 (左綴じ)	10枚程度	1200字(40字×30行)/1枚 文字:10.5ポイント 余白(mm):上30・下30・左30・右30 外字手書き可
	縦書き	400字詰 原稿用紙	30枚程度	A4判横 (上綴じ)	10枚程度	1200字(40字×30行)/1枚 文字:10.5ポイント 余白(mm):上30・下30・左30・右30 外字手書き可

・原則として黒インクを使用し、ページ数を必ず記入

【指定表紙】・コクヨ・フラットファイル(フ-V10M) ※グレー色

- 【作成】1. 指導教員の提出許可を受けたら、「論文提出票」に捺印を受ける。
2. 清書した研究を指定表紙にてとじ込み、表紙に「論文提出票」を貼付する。

【提出】・「受理票」を添えて期限(学年暦参照)までに学生支援課へ提出してください。

卒業研究 口頭試問

提出された研究に対しては、主査(指導教員)による15分程度の口頭試問を行います。口頭試問に不合格の場合、または口頭試問を欠席した場合は、卒業研究の4単位を修得することができません。

・実施日時および会場は、指導教員より直接お知らせします。

・正本は卒業式当日に返却します。

文学部 中国学科

中国学科の教育研究上の目的

中国学科では、使命と目的に基づいて、以下のように具体的な教育研究上の目的を設定しています。

人材養成の目的

- ①中国語の実践的な運用能力を有する人材を養成する。
- ②中国語圏の社会や文化について、深い理解力を有する人材を養成する。
- ③日中双方の文化や歴史などを踏まえ、日中交流において深い洞察力と自己表現のできる人材を養成する。
- ④国際交流の場において、相手の立場を理解する思考のできる人材を養成する。

その他の教育研究上の目的

1) 教育

- ①中国語学修時に少人数クラスによるきめ細かな指導を提供する。
- ②高い語学運用能力と国際感覚養成のために、中国の大学などへの海外研修・留学の機会を提供する。
- ③学生の学修や実践の成果を社会に向けて発信する機会を設ける。
- ④中国語の検定試験対策などによってキャリア形成支援を行う。

2) 研究

- ①中国の文学・思想・文化領域における最新の研究を行う。
- ②研究成果をカリキュラムを通して教育に還元する。

3) 社会貢献

- ①最新の研究成果を各種メディアで公開することによって社会に貢献する。
- ②日中交流の場にすぐれた人材を提供し社会に貢献する。
- ③中国語、国語の教員を養成することによって社会に貢献する。
- ④学生の学修成果を公表することによって社会に貢献する。

中国学科の教育方針

中国学科では、教育研究上の目的を達成するために、ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）を以下の通り定めます。

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

- ①中国語に関する知識と中国の社会や文化に対する理解を有し、相互理解の立場に立ったコミュニケーションができる。

Ⅰ

教育
目標

Ⅱ

履修
一般

Ⅲ

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴文

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

Ⅳ

学籍・
学費

Ⅴ

キャンパス
ライフ

Ⅵ

進路・
就職支援

Ⅶ

大学の
取り組み

Ⅷ

規程

- ②中国語圏に関する幅広い知識をベースに、国際交流に関わるさまざまな問題に対処する能力を身につけている。
- ③海外研修や留学の経験によって培われた自主性と異文化への理解力を、国際交流の場において役立てることができる。
- ④コミュニケーション系を選択した場合は、中・上級程度の中国語運用能力と表現力を身につけている。
- ⑤文献読解系を選択した場合は、設定したテーマについて調査した結果をまとめ、これについて自らの解釈や論証が記述できる。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

- ①社会人として必要な教養や知識・技能を修得するための全学共通科目および全学教養科目の履修を前提として専門科目を設定する。
- ②専門領域の学修の基盤となる中国語能力（聞く、読む、話す、書く）を修得するためのカリキュラムを提供する。
- ③人材養成の目的に応じて、中国語コミュニケーション系と文献読解系からなる二つの学修領域を設定する。
- ④主として中国語の実践的運用能力の修得を目指すために、中国コミュニケーション系科目群を提供する。
- ⑤主として中国の言語、文学、思想、文化に対する理解力の修得を目指すために、文献読解系科目群を提供する。
- ⑥中国語情報処理の能力を修得するための科目を設ける。
- ⑦中国の大学等における長期留学制度を設ける。
- ⑧学科の専門性に対応した教員免許状取得希望者のために関連する科目を提供する。

中国学科の教育内容

1 年生

全学共通科目・全学教養科目より、建学の精神に基づく科目や、人間力の基盤を成すリテラシー関連の科目、（中国語以外の）語学系科目などを受講し、幅広い教養と基礎的な語学力の獲得を目指します。それと同時に、中国学科で学ぶためには、中国語の基礎力と、中国語に関する知識とを身に付ける必要がありますので、「中国語 1～6」（全学共通科目）、「中国語入門 1・2」（学科基礎科目）、「中国語概論 1・2」（学科基礎科目）などを履修します。また、中国の基本的事項について知り、アカデミックスキルを修得するための「中国学科入門ゼミ」、「中国学科基礎ゼミ」（ともに学科基礎科目）や「専門学修のための日本語表現」（全学共通科目）を受講し、専門分野を学ぶための4年間の基礎をつくります。なお、中国現地で中国語の実践力を養成し、実際の中国を経験するために設けられた語学研修制度が各種ありますが、そのうちの1つである夏期（8月）の「短期海外語学研修（中国 ※北京語言大学）」（全学

共通科目)には、第1年次より参加することが可能です(複数回参加することができます)。卒業までに一度はリアルな中国に身を置き、自らの中国語能力を伸ばす機会を持つことが学科の方針ですので、積極的に参加して下さい。

2年生

専門科目の履修が本格的に始まります。学修を進めながら、将来、コミュニケーション系に進むか、文献系(現代・古典)に進むか、考え始める必要があります。第1年次に引き続き(「中国語1～6」を履修した場合は)「中国語7・8」(全学共通科目、必修)や、様々な全学共通科目・全学教養科目を履修しつつ、一方では学科基礎科目として、必修の「中国学科発展ゼミ」を受講し、中国語能力の基礎を固めると同時に、専門分野の研究を推進するための初歩的な力を身に付けます。その他、学科基礎科目(必修)には「中国語聴解1・2」「中国語基礎演習1・2」「中国思想史1・2」などがあります。学科基礎科目(選択)について言えば、「中国古典文学史1・2」、「中国現代文学史1・2」は、どちらかの組み合わせで1セットを履修せねばなりません。さらに、興味に応じて「漢語聴説実践」「現代名作導読」「古典名作導読」のうちの1科目以上を必ず履修してください。「中国文学研究基礎1・2」「中国思想研究基礎1・2」は、2科目4単位以上を履修する必要があります。その他、「中国近現代史」「中国語作文」「HSK演習(基礎)」などの科目がありますので、自分の関心や必要性に応じて選択履修して下さい。なお、吉林大学への留学を希望する人は、2年生秋(第4セメスター)から「中国語現地研修A」に参加することができます(参加には条件があります)。

3年生

コミュニケーション系か、あるいは文献系(現代・古典)かを選び、学科専攻科目より選択して履修します。コミュニケーション系を選んだ人は「漢語会話演習(〇〇〇級)1・2」から3科目6単位、「漢語表現法演習(〇〇)1・2」から3科目6単位、合計6科目12単位以上を選択履修します。文献系を選んだ人は「漢語現代文献演習(〇〇)1・2」「漢語古典文献演習(〇〇)1・2」から6科目12単位以上を選択履修します。また、「高級漢語聴説」「高級漢語読読(現代)」「高級漢語読読(古典)」のうちの1科目以上を必ず履修してください。さらに全員「卒業予備ゼミ」(第6セメスター)を履修し、第4年次にコミュニケーション系か、あるいは文献系かの、いずれに所属するかを最終的に決定します(第5セメスターで実施する「中国語実力テスト」の結果によっては、希望する系の「卒業予備ゼミ」に所属できないことがあります)。その他、「中国語情報処理演習」「HSK演習(発展)」などの科目がありますので、自分の関心や必要性に応じて選択履修して下さい。なお、吉林大学への留学を希望する人は、3年生春(第5セメスター)に「中国語現地研修B」に参加することができます(参加には条件があります)。

Ⅰ

教育
目標

Ⅱ

履修
一般

Ⅲ

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴文

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

Ⅳ

学籍・
学費

Ⅴ

キャンパス
ライフ

Ⅵ

進路・
就職支援

Ⅶ

大学の
取り組み

Ⅷ

規程

4年生

コミュニケーション系、文献系ともに、これまでに培ってきた中国語運用能力、文献読解能力、幅広い教養、課題発見能力、論理的思考力等を基に、「卒業研究ゼミ1・2」で担当教員より指導を受けながら、「卒業研究」または「卒業論文」を執筆します。「卒業研究」「卒業論文」に優劣はありませんが、その取り組み方の方向性が異なりますので、いずれを選ぶかは、ゼミの指導教員とよく相談して決めてください。コミュニケーション系の人は、「卒業研究ゼミ1・2」で、自らの研究を進めると同時に、中国語運用能力、中国語プレゼンテーション能力を鍛え高めるという課題があります。文献系の人は、設定したテーマについて調査した結果をまとめ、これについて自らの解釈や論証を明確に記述できるようになることを目指します。なお、「卒業研究」を執筆する際の言語ですが、コミュニケーション系を選んだ人は中国語で書くのがルールです（中国語で400字詰原稿用紙10枚程度）。文献系を選んだ人は、日本語・中国語、どちらの言語で書いてもかまいません（日本語で400字詰原稿用紙30枚程度、または中国語で同用紙10枚程度）。コミュニケーション系、文献系、どちらの系でも「卒業論文」を選択した場合は、日本語で400字詰原稿用紙50枚程度を執筆します。

系列区分	卒業所要単位修得にかかる要件			修得 単位	卒業所要単位																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	必要科目等				小計	中計	大計	総計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
全学共通科目	全学共通科目および全学教養科目より 30 単位																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	仏教																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	■必修科目の 2 単位				2単位	2 単位																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・ ブッタと法然			2単位		小計を 満たし 10 単位 以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	自校教育				0単位以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	□任意で選択の科目				0単位以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	外国語																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	■必修外国語科目の 1 語種 8 単位				1 語種から 8単位																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	・ Intensive Reading 1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・ Intensive Reading 2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・ Integrated Communication Skills 1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・ Integrated Communication Skills 2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・ Integrated Communication Skills 3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・ Integrated Communication Skills 4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・ Intermediate Reading 1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・ Intermediate Reading 2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・ 中国語 1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・ 中国語 2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・ 中国語 3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・ 中国語 4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・ 中国語 5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・ 中国語 6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・ 中国語 7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・ 中国語 8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・ 朝鮮語 1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・ 朝鮮語 2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・ 朝鮮語 3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・ 朝鮮語 4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・ 朝鮮語 5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・ 朝鮮語 6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・ 朝鮮語 7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・ 朝鮮語 8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	■選択外国語科目の 1 語種 2 単位				1 語種から 2単位																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	・ General English1			2単位																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・ General English2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・ 初級中国語 1			2単位																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・ 初級中国語 2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・ 初級朝鮮語 1			2単位																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・ 初級朝鮮語 2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・ 初級ドイツ語 1			2単位																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・ 初級ドイツ語 2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・ 初級フランス語 1			2単位																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・ 初級フランス語 2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・ 初級ベトナム語 1			2単位																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・ 初級ベトナム語 2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	□任意で選択の科目				0単位以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	日本語表現																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	■必修科目の 2 単位				2単位	2 単位																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・ 専門学修のための日本語表現			2単位		小計を満たし 2単位以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	情報処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	■必修科目の 2 単位				2単位																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	・ コンピュータ・リテラシー			2単位																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	□任意で選択の科目				0単位以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	キャリア																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	□任意で選択の科目				0単位以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	スポーツ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	□任意で選択の科目				0単位以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	日本事情																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	□任意で選択の科目				0単位以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	海外研修																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	□任意で選択の科目				0単位以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	大学コンソーシアム																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	□任意で選択の科目				0単位以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	全学教養科目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	■基礎領域より任意で選択				4単位以上	小計を満たし 8単位以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	■応用領域より任意で選択				4単位以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
全学教養科目	<table> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td><td>選択</td></tr> <tr><td>基礎領域</td><td>応用領域</td><td>単位</td></tr></table>	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位	選択	基礎領域	応用領域	単位
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位	選択																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基礎領域	応用領域	単位																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						

系列区分	卒業所要単位修得にかかる要件			卒業所要単位				
	必要科目等	必要単位	修得単位	小計	中計	大計	総計	
専門科目	専門科目より 94 単位以上							
	学部基幹科目							
	■必修科目の 2 単位			2単位			小計を満たし 6 単位以上	
	・英語と英米文化		2単位					
	■選択科目から 4 単位					4単位以上		
	・世界の言語と文化（朝鮮語）		2単位					
	・世界の言語と文化（ベトナム語）		2単位					
	・世界の言語と文化（フランス語）		2単位					
	・世界の言語と文化（ドイツ語）		2単位					
	学科基礎科目							
	■必修科目の 26 単位					26単位	小計を満たし 40 単位以上	
	・中国学科入門ゼミ		2単位					
	・中国学科基礎ゼミ		2単位					
	・中国語聴解 1		2単位					
	・中国語聴解 2		2単位					
	・中国語入門 1		2単位					
	・中国語入門 2		2単位					
	・中国語概論 1		2単位					
	・中国語概論 2		2単位					
	・中国語基礎演習 1		2単位					
	・中国語基礎演習 2		2単位					
	・中国思想史 1		2単位					
	・中国思想史 2		2単位					
	・中国学科発展ゼミ		2単位					
	■①または②の 4 単位					①または②の4単位		
	①の選択科目							
	・中国古典文学史 1		2単位					
	・中国古典文学史 2		2単位					
	②の選択科目							
	・中国現代文学史 1		2単位					
	・中国現代文学史 2		2単位					
	■選択科目から 2 単位					2単位以上		
	・漢語聴説実践		2単位					
	・現代名作導読		2単位					
	・古典名作導読		2単位					
	■選択科目から 4 単位					4単位以上		
	・中国文学研究基礎 1		2単位					
	・中国文学研究基礎 2		2単位					
	・中国思想研究基礎 1		2単位					
	・中国思想研究基礎 2		2単位					
	□任意で選択の科目					0単位以上		
	学科専攻科目							
	①または②のいずれかの同系から 12 単位以上							
	①コミュニケーション系							
	・漢語会話演習（HSK 5 級） 1				6単位以上	12単位以上	①か②の小計を満たし 26 単位以上	
	・漢語会話演習（HSK 5 級） 2							
	・漢語会話演習（中検 2 級） 1							
	・漢語会話演習（中検 2 級） 2							
	・漢語会話演習（HSK 6 級） 1							
	・漢語会話演習（HSK 6 級） 2							
	・漢語表現法演習（演講） 1							
	・漢語表現法演習（演講） 2							
	・漢語表現法演習（聴力） 1							
	・漢語表現法演習（聴力） 2							
	・漢語表現法演習（会話） 1							
	・漢語表現法演習（会話） 2							
	②文献系							
	・漢語現代文献演習（文学） 1				12単位以上	12単位以上		
	・漢語現代文献演習（文学） 2							
	・漢語現代文献演習（思想） 1							
	・漢語現代文献演習（思想） 2							
	・漢語現代文献演習（文化） 1							
	・漢語現代文献演習（文化） 2							
	・漢語現代文献演習（時事） 1							
	・漢語現代文献演習（時事） 2							
	・漢語古典文献演習（文学） 1							
	・漢語古典文献演習（文学） 2							
	・漢語古典文献演習（思想） 1							
	・漢語古典文献演習（思想） 2							
	・漢語古典文献演習（文化） 1							
	・漢語古典文献演習（文化） 2							
	・漢語古典文献演習（散文） 1							
	・漢語古典文献演習（散文） 2							
	各系（①・②）ともに履修が必要な選択科目							
	■必修科目の 6 単位					6単位		
	・卒業予備ゼミ		2単位					
	・卒業研究ゼミ 1		2単位					
	・卒業研究ゼミ 2		2単位					
	■選択科目から 2 単位					2単位以上		
	・高級漢語聴説		2単位					
	・高級漢語聞読（現代）		2単位					
	・高級漢語聞読（古典）		2単位					
	■選択科目から 4 単位以上					4単位以上		
	・卒業論文		6単位					
	・卒業研究		4単位					
	□任意で選択の科目					0単位以上		
	関連科目							
	□任意で選択の科目					0単位以上	0単位以上	

※自由科目は卒業所要単位に算入できません。

中国学科 履修科目表 (1/2)

系列区分			授業科目	単位	必修・選択・自由別			履修開始 セメスター	GPA 対象	備 考
専 門 科 目	学部基幹科目	A 群	中国語と中国文化	2		選		1		必修科目1科目2単位および「世界の言語と文化(朝鮮語)」・「世界の言語と文化(ベトナム語)」・「世界の言語と文化(フランス語)」・「世界の言語と文化(ドイツ語)」のうち2科目4単位以上、合計3科目6単位以上を履修すること。 なお、「中国語と中国文化」は履修できない。
			英語と英米文化	2	必			1		
		B 群	世界の言語と文化(朝鮮語)	2		選		1		
			世界の言語と文化(ベトナム語)	2		選		1		
			世界の言語と文化(フランス語)	2		選		1		
	学 科 基 礎 科 目		世界の言語と文化(ドイツ語)	2		選		1		必修科目13科目26単位および以下を含み、合計40単位以上を履修すること。 ・「中国古典文学史1」と「中国古典文学史2」または「中国現代文学史1」と「中国現代文学史2」のいずれか2科目を1セットとして4単位を履修すること。 ・「漢語聴説実践」・「現代名作導読」・「古典名作導読」のうち1科目2単位以上を履修すること。 ・「中国文学研究基礎1・2」「中国思想研究基礎1・2」のうち2科目4単位以上を履修すること。
			中国学科入門ゼミ	2	必			1		
			中国学科基礎ゼミ	2	必			2		
			中国語聴解1	2	必			3		
			中国語聴解2	2	必			4		
			中国語入門1	2	必			1		
			中国語入門2	2	必			1		
			中国語概論1	2	必			2		
			中国語概論2	2	必			2		
			中国語基礎演習1	2	必			3		
			中国語基礎演習2	2	必			4		
			中国思想史1	2	必			3		
			中国思想史2	2	必			4		
			中国学科発展ゼミ	2	必			3		
			中国古典文学史1	2		選		3		
			中国古典文学史2	2		選		4		
			中国現代文学史1	2		選		3		
			中国現代文学史2	2		選		4		
			中国近現代史	2		選		3		
			漢語聴説実践	2		選		4		
			現代名作導読	2		選		4		
			古典名作導読	2		選		4		
			中国文学研究基礎1	2		選		3		
			中国文学研究基礎2	2		選		3		
			中国思想研究基礎1	2		選		4		
			中国思想研究基礎2	2		選		4		
			中国語作文	2		選		4		
			HSK演習(基礎)	2		選		4		
			中国語現地研修A	2		選		4	×	
	学 科 専 攻 科 目	コミュニケーション系	A 群	漢語会話演習(HSK5級)1	2		選	5		「コミュニケーション系」または「文献系」のいずれかを選択したうえで、以下のとおり履修すること。 ・「コミュニケーション系」選択者は漢語会話演習のうち3科目6単位、漢語表現法演習のうち3科目6単位、合計12単位以上および共通科目の必修科目3科目6単位、「高級漢語聴説」・「高級漢語読解(現代)」・「高級漢語読解(古典)」のうち1科目2単位以上を含み、「卒業論文」または「卒業研究」を選択履修したうえで、合計26単位以上を履修すること。 ・「文献系」選択者は6科目12単位以上および共通科目の必修科目3科目6単位、「高級漢語聴説」・「高級漢語読解(現代)」・「高級漢語読解(古典)」のうち1科目2単位以上を含み、「卒業論文」または「卒業研究」を選択履修したうえで、合計26単位以上を履修すること。
				漢語会話演習(HSK5級)2	2		選	5		
				漢語会話演習(中検2級)1	2		選	5		
				漢語会話演習(中検2級)2	2		選	5		
				漢語会話演習(HSK6級)1	2		選	5		
				漢語会話演習(HSK6級)2	2		選	5		
		B 群		漢語表現法演習(演講)1	2		選	5		
				漢語表現法演習(演講)2	2		選	5		
				漢語表現法演習(聴力)1	2		選	5		
				漢語表現法演習(聴力)2	2		選	5		
				漢語表現法演習(会話)1	2		選	5		
				漢語表現法演習(会話)2	2		選	5		
				漢語現代文献演習(文学)1	2		選	5		
				漢語現代文献演習(文学)2	2		選	5		
				漢語現代文献演習(思想)1	2		選	5		
				漢語現代文献演習(思想)2	2		選	5		
				漢語現代文献演習(文化)1	2		選	5		
				漢語現代文献演習(文化)2	2		選	5		
				漢語現代文献演習(時事)1	2		選	5		
				漢語現代文献演習(時事)2	2		選	5		
				漢語古典文献演習(文学)1	2		選	5		
				漢語古典文献演習(文学)2	2		選	5		
				漢語古典文献演習(思想)1	2		選	5		
				漢語古典文献演習(思想)2	2		選	5		
				漢語古典文献演習(文化)1	2		選	5		
				漢語古典文献演習(文化)2	2		選	5		
				漢語古典文献演習(散文)1	2		選	5		
				漢語古典文献演習(散文)2	2		選	5		

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

中国学科 履修科目表 (2/2)

系列区分			授業科目	単位	必修・選択・自由別			履修開始 セメスター	GPA 対象	備考
学科	専攻科目	共通	高級漢語聴説	2		選		5		
			高級漢語閲読 (現代)	2		選		5		
専攻科目	共通		高級漢語閲読 (古典)	2		選		5		
			中国語情報処理演習	2		選		6		
専攻科目	共通		HSK演習 (発展)	2		選		5		
			中国語現地研修B	2		選		5	×	
専攻科目	共通		卒業予備ゼミ	2	必			6		
			卒業研究ゼミ1	2	必			7		
専攻科目	共通		卒業研究ゼミ2	2	必			8		
			卒業論文	6		選		8		
専攻科目	共通		卒業研究	4		選		8		
専攻科目	共通		中国語学研究1	2		選		3		
			中国語学研究2	2		選		3		
専攻科目	共通		異文化理解「中国」1	2		選		3		
			異文化理解「中国」2	2		選		4		
専攻科目	共通		日中比較文化研究1	2		選		3		
			日中比較文化研究2	2		選		3		
専攻科目	共通		中国文化研究1	2		選		3		
			中国文化研究2	2		選		3		
専攻科目	共通		東北アジア史	2		選		4		
			東洋文化史	2		選		3		
専攻科目	共通		西洋文化史	2		選		4		
			東洋史特講 (古代) 1	2		選		3		
専攻科目	共通		東洋史特講 (古代) 2	2		選		4		
			東洋史特講 (中世・近世) 1	2		選		3		
専攻科目	共通		東洋史特講 (中世・近世) 2	2		選		4		
			東洋史特講 (近代・現代) 1	2		選		3		
専攻科目	共通		東洋史特講 (近代・現代) 2	2		選		4		
専攻科目	共通		書道1	2		選		1		
			書道2	2		選		2		
専攻科目	共通		漢文学1	2		選		3		
			漢文学2	2		選		4		
専攻科目	共通		漢文講読	2		選		2		
			仏教と文学	2		選		3		
専攻科目	共通		言語学概論1	2		選		3		
			言語学概論2	2		選		4		
専攻科目	共通		日本語学概論1	2		選		3		
			日本語学概論2	2		選		4		
専攻科目	共通		日本語文法1	2		選		1		
			日本語文法2	2		選		2		
専攻科目	共通		日本文学史1	2		選		3		
			日本文学史2	2		選		4		
専攻科目	共通		文学概論1	2		選		3		
			文学概論2	2		選		4		
専攻科目	共通		中国仏教史	2		選		1		
			浄土教史	2		選		3		

I
教育
目標II
履修
一般III
教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV
学
籍・
学費V
キャン
パス
ライフVI
進路・
就職支援VII
大学
の
取
組
みVIII
規
程

中国学科 提出までの手続き

履修登録

<コミュニケーション系>

第4学年第8セメスターにおいて「卒業研究」の履修登録が必要です。ただし、以下の条件があるので留意してください。

- ・第4学年第7セメスターの履修登録時に卒業見込み（卒業所要単位を80単位以上修得）がないと「卒業研究ゼミ1」の履修登録ができません。

<文献系>

第4学年第8セメスターにおいて「卒業論文」または「卒業研究」の履修登録が必要です。ただし、以下の条件があるので留意してください。

- ・第4学年第7セメスターの履修登録時に卒業見込み（卒業所要単位を80単位以上修得）がないと「卒業研究ゼミ1」の履修登録ができません。

卒業論文・卒業研究題目 登録

題目登録の手続きについては、指導教員から「論文題目登録届」提出の指示を受け、所定の方法で「題目登録」手続きを行う必要があります。

提出日については、指導状況および指導教員により異なります。よって、学年暦掲載期限よりも早くなるので、期限については指導教員に確認することが必要です。

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴文

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

Ⅰ

教育
目標

Ⅱ

履修
一般

Ⅲ

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

Ⅳ

学籍・
学費

Ⅴ

キャンパス
ライフ

Ⅵ

進路・
就職支援

Ⅶ

大学の
取り組み

Ⅷ

規程

卒業論文 提出

【書 式】

学科	文字方向	手書き		ワープロ使用時の用紙書式		
中国学科	横書き	400字詰 原稿用紙	50枚程度	A4判縦 (左綴じ)	20枚程度	1,050字(35字×30行)/1枚 文字:12ポイント 余白(mm):上30・下30・左40・右20 外字作成すること(手書き不可)
	縦書き	400字詰 原稿用紙	50枚程度	A4判横 (上綴じ)	20枚程度	1,050字(35字×30行)/1枚 文字:12ポイント 余白(mm):上40・下20・左30・右30 外字作成すること(手書き不可)

・原則として黒インクを使用し、ページ数を必ず記入

【指定表紙】・コクヨ・フラットファイル(フ-V10M) ※グレー色

【作 成】・正本と副本の2部作成が必要です。

- 〈 正 本 〉 1. 指導教員の提出許可を受けたら、「論文提出票」に捺印を受ける。
2. 清書した論文を指定表紙にてとじ込み、表紙に「論文提出票」を貼付する。
- 〈 副 本 〉 1. 清書した論文の複写を正本と同様にとじ込む。
2. 清書に貼付した「論文提出票」の記載事項に準じて表紙に、年度・学期・開講科目名(卒業論文)、論文題目、学籍番号、氏名等を記入する

【提 出】・正本は、「受理票」を添えて期限(学年暦参照)までに学生支援課へ提出してください。

・副本は、指導教員へ直接提出してください。

卒業論文 口頭試問

口頭試問は、提出された論文に対して主査(指導教員)および副査の教員で行う口述試験(30分程度)です。したがって口頭試問に不合格の場合、または口頭試問を欠席した場合は、卒業論文の6単位を修得することができません。

- ・実施日時および会場は、3月卒業の場合1月下旬、9月卒業の場合8月上旬にB-netにてお知らせします。なお、日時の変更はできません。
- ・正本は卒業式当日に返却します。

卒業研究 提出

【書 式】

学科	文字方向	手書き	ワープロ使用時の用紙書式		
中国学科	横書き (日本語)	400字詰 原稿用紙	30枚程度	A4判縦 (左綴じ)	12枚程度 1,050字(35字×30行)/1枚 文字:12ポイント 余白(mm):上30・下30・左40・右20 外字作成すること(手書き不可)
	縦書き (日本語)	400字詰 原稿用紙	30枚程度	A4判横 (上綴じ)	12枚程度 1,050字(35字×30行)/1枚 文字:12ポイント 余白(mm):上40・下20・左30・右30 外字作成すること(手書き不可)
	横書き (中国語)	400字詰 原稿用紙	10枚程度	A4判縦 (左綴じ)	4枚程度 1,050字(35字×30行)/1枚 文字:12ポイント 余白(mm):上30・下30・左40・右20 外字作成すること(手書き不可)

・原則として黒インクを使用し、ページ数を必ず記入

【指定表紙】・コクヨ・フラットファイル(フ-V10M) ※グレー色

【作 成】1. 指導教員の提出許可を受けたら、「論文提出票」に捺印を受ける。
2. 清書した研究を指定表紙にてとじ込み、表紙に「論文提出票」を貼付する。

【提 出】・「受理票」を添えて期限(学年暦参照)までに学生支援課へ提出してください。

卒業研究 口頭試問

提出された研究に対しては、主査(指導教員)による15分程度の口頭試問を行います。口頭試問に不合格の場合、または口頭試問を欠席した場合は、卒業研究の4単位を修得することができません。

・実施日時および会場は、指導教員より直接お知らせします。
・正本は卒業式当日に返却します。

Ⅰ

教育
目標

Ⅱ

履修
一般

Ⅲ

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴文

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

Ⅳ

学籍・
学費

Ⅴ

キャンパス
ライフ

Ⅵ

進路・
就職支援

Ⅶ

大学の
取り組み

Ⅷ

規程

文学部 英米学科

英米学科の教育研究上の目的

英米学科では、使命と目的に基づいて、以下のように具体的な教育研究上の目的を設定しています。

人材養成の目的

- ①国際社会での活躍を保障する、レベルの高い英語の運用能力を備えた人材を養成する。
- ②英語圏の言語や文化について幅が広く、かつ奥行きのある知識を備えた人材を養成する。
- ③英語の優れた運用能力を活用して、異文化世界に身をおき、国際交流に携わることのできる人材を養成する。
- ④現代社会を取り巻く諸問題と向き合い、英語を使ってその解決に積極的に取り組むことのできる人材を養成する。
- ⑤東西文化の交流に貢献できる人材を養成する。

その他の教育研究上の目的

1) 教育

- ①英語圏文化にある国々への留学によって、知識を応用に活かす機会を提供する。
- ②さまざまな課外講座や英語圏の大学生と交流する機会を提供し、実質的な英語力養成支援を行う。
- ③TOEIC試験対策や英語科教員試験対策などのキャリア支援を行う。
また、正規留学希望者のためにはTOEFL試験対策を行い、内外の大学院進学希望者にはアカデミック・ライティングなど研究の基礎の指導を行う。
- ④英語を通して、京都をはじめとする日本文化を世界に発信するための試みを行う。

2) 研究

- ①イギリスとアメリカを中心とする英語圏の文学や、英語学、英語教育の領域において最新の研究を行う。
- ②高度なスキルをもった英語科教員養成のために、英米文学、英語学、英語教育の最新研究成果を内外に発信し、教育に還元する。

3) 社会貢献

- ①出版物を通して最新の研究成果を学会等で公表し、同時に市民講座によって広い範囲の人々にも知識と教養を提供することによって社会に貢献する。
- ②すぐれた英語科教員の養成によって、社会に貢献する。

英米学科の教育方針

英米学科では、教育研究上の目的を達成するために、ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）を以下の通り定めます。

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

- ①国際社会において通用する英語の運用能力と、異文化に対する柔軟な理解力を備えている。
- ②英語圏の文化についての専門的な知識を有し、異なった文化を理解し受け入れる包容力をもち、それらを応用して、問題を解決しようという前向きな姿勢を身につけている。
- ③英語と英語圏文化についての知識と理解力を諸外国とのさまざまな分野での交流に役立てることができる。
- ④文化、社会、歴史、政治などの最新の話題について、英語を使って自分の考えを表現することができる。
- ⑤文献検索の方法を熟知し、テキストの精緻な読解と分析を行い、そこから得られた独自の考えを英語によって表現できる。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

- ①社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する。
- ②英語とその関連科目および全学共通科目を体系的に履修しながら、問題発見から問題解決へ向かうプロセスを経て、英語検定試験準1級レベルの自己表現力を身につけるべく、段階的で相互関連的に科目を配置したカリキュラムを提供する。
- ③「読み・書き・聞き・話す」の4領域にわたる英語コミュニケーション能力を最大化することを目指して、体系的でかつ総合的な語学とその関連科目を提供する。
- ④コミュニケーション能力と内外の諸事象（歴史、文化、文学、政治、社会など）についての知識は密接不可分であるという認識のもとに、専門科目、関連科目、全学共通科目によって英語圏の文化を中心に幅広い教養科目を提供する。
- ⑤英語力と英語圏文化に関する知識・理解力を応用して、問題発見とその解決能力を養成する研究ゼミ科目を提供する。
- ⑥海外の企業との取引や英語圏大学での学修などでも通用する英語力を修得するための科目を提供する。
- ⑦英語圏での留学プログラムを提供する。
- ⑧英語教育を通して社会に貢献できる教員の養成のために、体系的な英語教育系科目を提供する。

Ⅰ

教育
目標

Ⅱ

履修
一般

Ⅲ

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴文

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

Ⅳ

学籍・
学費

Ⅴ

キャンパス
ライフ

Ⅵ

進路・
就職支援

Ⅶ

大学の
取り組み

Ⅷ

規程

英米学科の教育内容

1 年生

全学共通科目で建学の精神に基づく科目を履修しつつ、幅広く教養に触れて主体的に考察する力を身につけることを目指します。それと同時に英語力を向上させ、専門的な内容を受容しかつ発信するための基礎の定着が重視されます。英語力の面では、「English Writing」でアウトプットの能力を鍛え、ネイティブ・スピーカーの教員が担当する「English Conversation」では音声面の能力向上をはかります。こうして教養を身に付けつつ英語自体の基礎能力を底上げていくことで、留学プログラムへの準備をしていきます。また「専門学修のための日本語表現」や「英米学科入門ゼミ」を通じて、専門科目への接し方の基礎も学びます。このように英語力の基礎固めをしつつ、1年生の期間内にTOEFLなどの語学試験を受験します。その試験成績と学業成績などに加えて、留学先の希望調査を勘案して、留学先が決定されます。

2 年生

1年生時と同じく、英作文やリスニングを通じて、留学に対応できる英語の基礎力向上に重きがおかれます。それと同時に、留学先で日本や京都の歴史や文化について説明できることを目指して、「Japanese Studies」や「Kyoto Studies」が学科専攻科目で開講されます。これら英語力の基礎固めと並行して、英語という言語自体について深く考えることができるように「英文法」や「英語演習」も学科基礎科目で提供されます。こうして第3セメスターまでに留学への準備をしたのち、いよいよ第4セメスターには実際に留学（次ページ参照）に行くことになります。留学は、授業や毎日のやりとりで生の英語に触れるだけでなく、直に海外の生活習慣に親しむチャンスでもあります。これにより、血の通った英語力を鍛えることを目指します。また、留学延長を希望して、なおかつそれに合致した英語力や学力を有していると判定された場合には、第5セメスターまで留学することも可能です。

3 年生

留学で培った英語力をさらに向上させつつ、英語圏の文化や文学ならびに英語学などについての専門的な内容を学んでいきます。英語力の面では、読み書きに関しては「Academic Reading」や「Academic Writing」を通じて、より高度でまとまりのある英文に対処できる能力を伸ばしていきます。また音声に関しては「Advanced Conversation」を通じて、より中身の濃い会話ができる力を涵養します。これと同時に専門性の面では、「Advanced Grammar」で英語そのもののさらなる深い知識を身につけると同時に、「英語圏言語文化論」や「英語文学研究」、またネイティブ・スピーカーの担当する「Academic Seminar (Advanced)」などで英語圏の文化や文学等についての専門性を高めます。第6セメスターでは「卒業研究予備ゼミ」が開講され、4年生での卒業論文作成に向けて、文献の読みこみや意見を発信する力に磨きをかけていきます。

4年生

これまでに培った英語力、論理的思考力、課題発見能力や教養の総決算として、卒業論文執筆に取り組みます。それに際して、「卒業研究ゼミ」で文献の精査の仕方やプレゼンテーション能力をさらに練磨し、アカデミック・ライティングの基礎を踏まえた卒業論文の完成を目指します。

英語研修（留学）について

英米学科では、第4セメスター（2年生秋学期）に、全員英語研修（現地留学もしくはオンライン）への参加が必修となります。これにより総合的な英語力の向上、実用的な英語運用力の習得、英語圏文化の実体験等を通して異文化理解を図ります。

【研修期間】 第4セメスター（2年生秋学期）

現地留学の場合：10週間から16週間の間

オンライン研修の場合：オリエンテーション等で別途案内します。

【研 修 先】 ①現地留学の場合、アメリカ、カナダ、オーストラリア、マルタにある本学が指定する大学もしくは大学附属英語学校。なお留学先は学内選考により決定（希望調査・英語力・面接・学業成績などによる）

②オンライン研修の場合、自宅で受講

【研修内容】 ①語学力に応じて附属英語学校の提供する英語クラスを受講

②留学先の指定する条件（TOEFLスコア等）を満たせば大学正規課程も受講可能

【単位認定】 上限16単位（事前事後学習を含む）

●留学の延長について

大学正規課程を受講する場合に限り、第5セメスター（3年生春学期）の留学延長も可能です

※参加費用を含め、詳細はオリエンテーション等で案内します。

系列区分	卒業所要単位修得にかかる要件		修得 単位	卒業所要単位			
	必要科目等	必要単位		小計	中計	大計	総計
I 教育目標 II 履修一般 III 教育課程 全学 仏教 日文 中国 英米 歴史 歴史文 教育 幼教 臨床 現社 公共 社福 その他 IV 学籍・学費 V キャンパスライフ VI 進路・就職支援 VII 大学の取り組み VIII 規程	全学共通科目および全学教養科目より 30 単位						
	仏教						
	■必修科目の 2 単位			2 単位	2 単位	2 単位	
	・フッタと法然	2 単位					
	自校教育						
	□任意で選択の科目			0 単位以上	0 単位以上		
	外国語						
	■必修外国語科目の 1 語種 8 単位						
	・Intensive Reading 1						
	・Intensive Reading 2						
	・Integrated Communication Skills 1						
	・Integrated Communication Skills 2						
	・Integrated Communication Skills 3						
	・Integrated Communication Skills 4						
	・Intermediate Reading 1						
	・Intermediate Reading 2						
	・中国語 1						
	・中国語 2						
	・中国語 3						
	・中国語 4						
	・中国語 5						
	・中国語 6						
	・中国語 7						
	・中国語 8						
	・朝鮮語 1						
	・朝鮮語 2						
	・朝鮮語 3						
	・朝鮮語 4						
	・朝鮮語 5						
	・朝鮮語 6						
	・朝鮮語 7						
	・朝鮮語 8						
	■選択外国語科目の 1 語種 2 単位						
	・General English 1	2 単位					
	・General English 2						
	・初級中国語 1	2 単位					
	・初級中国語 2						
	・初級朝鮮語 1	2 単位					
	・初級朝鮮語 2						
	・初級ドイツ語 1	2 単位					
	・初級ドイツ語 2						
	・初級フランス語 1	2 単位					
	・初級フランス語 2						
	・初級ベトナム語 1	2 単位					
	・初級ベトナム語 2						
	□任意で選択の科目			0 単位以上			
	日本語表現						
	■必修科目の 2 単位			2 単位	2 単位	2 単位	
	・専門学修のための日本語表現	2 単位					
	情報処理						
	■必修科目の 2 単位			2 単位	小計を満たし 2 単位以上		
	・コンピュータ・リテラシー	2 単位					
	□任意で選択の科目			0 単位以上			
	キャリア						
	□任意で選択の科目			0 単位以上	0 単位以上		
	スポーツ						
	□任意で選択の科目			0 単位以上	0 単位以上		
	日本事情						
	□任意で選択の科目			0 単位以上	0 単位以上		
	海外研修						
	□任意で選択の科目			0 単位以上	0 単位以上		
	大学コンソーシアム						
	□任意で選択の科目			0 単位以上	0 単位以上		
	全学教養科目						
	■基礎領域より任意で選択	4 単位以上		小計を満たし 8 単位以上			
	■応用領域より任意で選択	4 単位以上					
専門科目	専門科目より 64 単位以上						
	学際基礎科目						
	■必修科目の 2 単位			2 単位	小計を 満たし 6 単位 以上		
	・中国語と中国文化	2 単位					
	■選択科目から 4 単位						
	・世界の言語と文化 (朝鮮語)	2 単位		4 単位 以上			
	・世界の言語と文化 (ベトナム語)	2 単位					
	・世界の言語と文化 (フランス語)	2 単位					
	・世界の言語と文化 (ドイツ語)	2 単位					
	学科基礎科目						
	■必修科目の 23 単位			23 単位	小計を 満たし 60 単位 以上		
	・英米学科入門 3	2 単位					
	・English Conversation 1	1 単位					
	・English Conversation 2	1 単位					
	・English Conversation 3	1 単位					
	・English Conversation 4	1 単位					
	・English Listening Skills 1	1 単位					
	・English Listening Skills 2	1 単位					
	■基礎領域より任意で選択	4 単位以上					
	・Academic Reading 1	2 単位					
	・Academic Reading 2	2 単位					
	・Academic Writing 1	2 単位					
	・Academic Writing 2	2 単位					
	・卒業研究予備ゼミ	2 単位					
	・卒業研究ゼミ 1	2 単位					
	・卒業研究ゼミ 2	2 単位					
	・卒業論文	6 単位					
	・Study Abroad 1	2 単位					
	・Study Abroad Project 1	2 単位					
	■任意で選択の科目			3 単位以上			

専門科目については次頁参照

系列区分	卒業所要単位修得にかかる要件			修得 単位	卒業所要単位				
	必要科目等	必要単位			小計	中計	大計	総計	
専門科目	専門科目より 94 単位以上								
	学部基幹科目								
	■必修科目の 2 単位			2 単位	小計を 満たし 6 単位 以上				
	・中国語と中国文化	2 単位							
	■選択科目から 4 単位			4 単位 以上					
	・世界の言語と文化 (朝鮮語)	2 単位							
	・世界の言語と文化 (ベトナム語)	2 単位							
	・世界の言語と文化 (フランス語)	2 単位							
	・世界の言語と文化 (ドイツ語)	2 単位							
	学科基礎科目								
	■必修科目の 28 単位			28 単位	小計を 満たし 28 単位 以上		小計・ 中計を 満たし 94 単位 以上	小計・ 中計・ 大計を 満たし 124 単位 以上	
	・英米学科入門ゼミ	2 単位							
	・English Conversation 1	1 単位							
	・English Conversation 2	1 単位							
	・English Conversation 3	1 単位							
	・English Conversation 4	1 単位							
	・English Listening Skills 1	1 単位							
	・English Listening Skills 2	1 単位							
	・English Listening Skills 3	1 単位							
	・English Writing 1	1 単位							
	・English Writing 2	1 単位							
	・English Writing 3	1 単位							
	・英語学概論	2 単位							
	・英語文学論 1	2 単位							
	・英語文学論 2	2 単位							
	・英文法	2 単位							
	・英語演習 1	2 単位							
	・英語演習 2	2 単位							
	・Advanced Conversation 1	2 単位							
	・Advanced Conversation 2	2 単位							
	学科専攻科目								
	■必修科目の 24 単位			24 単位	小計を 満たし 60 単位 以上				
	Academic Reading 1	2 単位							
	Academic Reading 2	2 単位							
	Academic Writing 1	2 単位							
	Academic Writing 2	2 単位							
	卒業研究予備ゼミ	2 単位							
	卒業研究ゼミ 1	2 単位							
	卒業研究ゼミ 2	2 単位							
	卒業論文	6 単位							
	Study Abroad 1	2 単位							
	Study Abroad Project 1	2 単位							
	■任意で選択の科目			36 単位以上					

※自由科目は卒業所要単位に算入できません。

Ⅰ
教育
目標

Ⅱ
履修
一般

Ⅲ
教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

Ⅳ
学籍・
学費

Ⅴ
キャンパス
ライフ

Ⅵ
進路・
就職支援

Ⅶ
大学の
取り組み

Ⅷ
規程

英米学科 履修科目表 (1/2)

系列区分		授業科目	単位	必修・選択・自由別 必修 選択 自由	履修開始 セメスター	GPA 対象	備 考
I 教育 目標 II 履修 一般 III 教育 課程 全学 仏教 日文 中国 英米 歴史 歴史文 教育 幼教 臨床 現社 公共 社福 その他 IV 学籍・ 学費 V キャンパス ライフ VI 進路・ 就職支援 VII 大学の 取り組み VIII 規程	学部 基幹科目	A 群	中国語と中国文化	2 必	1		必修科目1科目2単位および「世界の言語と文化(朝鮮語)」・「世界の言語と文化(ベトナム語)」・「世界の言語と文化(フランス語)」・「世界の言語と文化(ドイツ語)」のうち2科目4単位以上、合計3科目6単位以上を履修すること。なお、「英語と英米文化」は履修できない。
		A 群	英語と英米文化	2 選	1		
	B 群	B 群	世界の言語と文化(朝鮮語)	2 選	1		世界の言語と文化(ベトナム語)」・「世界の言語と文化(フランス語)」・「世界の言語と文化(ドイツ語)」のうち2科目4単位以上、合計3科目6単位以上を履修すること。なお、「英語と英米文化」は履修できない。
		B 群	世界の言語と文化(ベトナム語)	2 選	1		
	B 群	B 群	世界の言語と文化(フランス語)	2 選	1		世界の言語と文化(ドイツ語)」のうち2科目4単位以上、合計3科目6単位以上を履修すること。なお、「英語と英米文化」は履修できない。
		B 群	世界の言語と文化(ドイツ語)	2 選	1		
	専 門 科 目	学 科 基 礎 目	英米学科入門ゼミ	2 必	1		19科目28単位を履修すること。
			English Conversation 1	1 必	1		
			English Conversation 2	1 必	1		
			English Conversation 3	1 必	3		
			English Conversation 4	1 必	3		
			English Listening Skills 1	1 必	1		
			English Listening Skills 2	1 必	1		
			English Listening Skills 3	1 必	3		
			English Writing 1	1 必	1		
			English Writing 2	1 必	1		
			English Writing 3	1 必	3		
			英語学概論	2 必	1		
			英語文学論 1	2 必	1		
			英語文学論 2	2 必	1		
			英文法	2 必	3		
			英語演習 1	2 必	3		
			英語演習 2	2 必	3		
			Advanced Conversation 1	2 必	5		
			Advanced Conversation 2	2 必	5		
	学 科 専 攻 目	研究 演習	Academic Reading 1	2 必	5		必修科目10科目24単位および選択科目のうち36単位以上、合計60単位以上を履修すること。
			Academic Reading 2	2 必	5		
			Academic Writing 1	2 必	5		
			Academic Writing 2	2 必	5		
			卒業研究予備ゼミ	2 必	6		
			卒業研究ゼミ 1	2 必	7		
			卒業研究ゼミ 2	2 必	8		
			卒業論文	6 必	8		
		海外 研修	Study Abroad 1	2 必	3		
			Study Abroad 2	2 選	5		
			Study Abroad Project 1	2 必	4		
			Study Abroad Project 2	2 選	5		
		英語 文化 系	言語学概論	2 選	3		
			英語学研究	2 選	3		
			英語文学研究 1	2 選	3		
			英語文学研究 2	2 選	3		
			英語圏文化の理解	2 選	3		
			英語圏言語文化論	2 選	5		
			英語圏社会文化論	2 選	5		
			西洋言語文化論	2 選	3		
		英語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 系	西洋社会文化論	2 選	3		
			EAP (English for Academic Purposes) 1	2 選	1		
			EAP (English for Academic Purposes) 2	2 選	3		
			Kyoto Studies	2 選	3		
			Japanese Studies	2 選	3		
			フランス語コミュニケーション(初級)	2 選	3		
			フランス語コミュニケーション(中級)	2 選	3		
			Intensive English 1	1 選	4		
			Intensive English 2	1 選	4		
			Intensive English 3	1 選	4		
			Intensive English 4	1 選	4		
			Intensive Speaking 1	1 選	4		
			Intensive Speaking 2	1 選	4		
			Intensive Speaking 3	1 選	4		
			Intensive Speaking 4	1 選	4		
			Intensive Listening 1	1 選	4		
			Intensive Listening 2	1 選	4		
			Intensive Writing 1	1 選	4		
			Intensive Writing 2	1 選	4		
			Academic Lecture 1	2 選	4		

英米学科 履修科目表 (2/2)

系 列 区 分			授 業 科 目	単 位	必修・選択・自由別 必修 選択 自由	履修開始 セメスター	GPA 対象	備 考
専 門 科 目	学 科 専 攻 科 目	英 語 コ ミ ュ ニ ケー ション 系	Academic Lecture 2	2	選	4		
			Academic Lecture 3	2	選	4		
			Academic Lecture 4	2	選	4		
			Academic Lecture (Advanced) 1	2	選	5		
			Academic Lecture (Advanced) 2	2	選	5		
			Academic Lecture (Advanced) 3	2	選	5		
			Academic Lecture (Advanced) 4	2	選	5		
			Academic Seminar 1	2	選	4		
			Academic Seminar 2	2	選	4		
			Academic Seminar 3	2	選	4		
			Academic Seminar 4	2	選	4		
			Academic Seminar (Advanced) 1	2	選	5		
			Academic Seminar (Advanced) 2	2	選	5		
			Academic Seminar (Advanced) 3	2	選	5		
			Academic Seminar (Advanced) 4	2	選	5		
			Advanced TOEIC	2	選	5		
			Advanced TOEFL	2	選	5		
			Business Communication	2	選	5		
			通訳演習	2	選	5		
			Advanced Grammar	2	選	5		
			Media English	2	選	5		
		英 語 教 職 系	英語教育入門	2	選	1		
			英語科教職論	2	選	5		
			英語科教職演習	2	選	5		

I
教育
目標

II
履修
一般

III
教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴文

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV
学籍・
学費

V
キャンパス
ライフ

VI
進路・
就職支援

VII
大学の
取り組み

VIII
規程

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

英米学科 提出までの手続き

履修登録

卒業予定セメスターにおいて「卒業論文」の履修登録が必要です。

卒業論文題目 登録

題目登録の手続きについては、指導教員から「論文題目登録届」提出の指示を受け、所定の方法で「題目登録」手続きを行う必要があります。

提出日については、指導状況および指導教員により異なります。よって、学年暦掲載期限よりも早くなるので、期限については指導教員に確認することが必要です。

卒業論文 提出

【書 式】

学科	文字方向	手書き	ワープロ使用時の用紙書式		
英米学科	横書き (英文)	不可	A4判縦 (左綴じ)	15枚程度	60打×25行/1枚 文字：12ポイントの半角 フォントはTimes New Roman 余白(mm)：上30・下30・左30・右30 外字作成すること(手書き不可)

・原則として黒インクを使用し、ページ数を必ず記入

【指定表紙】・コクヨ・フラットファイル(フ-V10M) ※グレー色

【作 成】・正本と副本の2部作成が必要です。

- 〈正 本〉 1. 指導教員の提出許可を受けたら、「論文提出票」に捺印を受ける。
2. 清書した論文を指定表紙にてとじ込み、表紙に「論文提出票」を貼付する。
- 〈副 本〉 1. 清書した論文の複写を正本と同様にとじ込む。
2. 清書に貼付した「論文提出票」の記載事項に準じて表紙に、年度・学期・開講科目名(卒業論文)、論文題目、学籍番号、氏名等を記入する。

【提 出】・正本は、「受理票」を添えて期限(学年暦参照)までに学生支援課へ提出してください。

・副本は、指導教員へ直接提出してください。

卒業論文 口頭試問

口頭試問は、提出された論文に対して主査(指導教員)および副査の教員で行う口述試験(30分程度)です。したがって口頭試問に不合格の場合、または口頭試問を欠席した場合は、卒業論文の6単位を修得することができません。

・実施日時および会場は、3月卒業の場合1月下旬、9月卒業の場合8月上旬にB-netにてお知らせします。なお、日時の変更はできません。

・正本は卒業式当日に返却します。

歴史学部 歴史学科

歴史学科の教育研究上の目的

歴史学科では、使命と目的に基づいて、以下のように具体的な教育研究上の目的を設定しています。

人材養成の目的

- ①さまざまな地域や時期の人々が残した記録（文献史料）を通して、過去から現代に至る人間の営みを見つめることによって、「人間力」をもった人材を養成する。
- ②日本あるいは世界の歴史についての学修を通じて、社会人として必要な教養や技能を身につけた人材を養成する。
- ③日本あるいは世界の歴史を学ぶ中で、時間的・空間的な多様性を理解し、自己とそれを取り巻く社会・文化を客観的に理解できる人材を養成する。
- ④体験・実践を重視した学修を通して、広い歴史知識と技能、歴史の多様性に対する理解に裏打ちされた洞察力と判断力を備えた人材を養成する。
- ⑤学修の成果を活用して、現代社会と能動的に向き合い、問題解決のための多様な方法と実践力を備えた人材を養成する。

その他の教育研究上の目的

1) 教育

- ①人材養成の目的に基づき、日本あるいは世界の歴史に対する理解を深めるために、専門教育をはじめ、多様な教育課程を提供する。
- ②日本あるいは世界の歴史についての教養や技能を身につけ、それを活用できる人材を養成するために、多様な学修機会を提供する。
- ③専門の学修を深めるために、学生に対する支援を行う。
- ④学修の成果を活用して社会に貢献できる人材を養成するため、歴史学の学修成果を活用できるキャリア形成支援を推進する。

2) 研究

- ①文献史学を中心とした歴史学の各分野・領域における最新の研究を遂行する。
- ②それぞれの専門領域における研究成果を積極的に教育へ還元する。

3) 社会貢献

- ①体験・実践を重視した学修を通して、地域社会の課題の発見や解決に貢献する。
- ②教育・研究の成果を積極的に発信し、歴史学の諸分野・諸領域に関するさまざまな学修機会を提供し、社会に還元する。
- ③教員・学芸員など歴史と直接に関わる専門職をはじめ、行政や一般企業などにおいても、歴史および歴史学に関わる知見や思考を活かすことのできる人材を輩出して社会に貢献する。

Ⅰ

教育
目標

Ⅱ

履修
一般

Ⅲ

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史文

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

Ⅳ

学籍・
学費

Ⅴ

キャンパス
ライフ

Ⅵ

進路・
就職支援

Ⅶ

大学の
取り組み

Ⅷ

規程

歴史学科の教育方針

歴史学科では、教育研究上の目的を達成するために、ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）を以下の通り定めます。

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

- ①日本あるいは世界の歴史について基本的な知識と技能を有し、その重要性を理解している。
- ②学修を通して日本あるいは世界の歴史の時間的・空間的多様性を理解している。
- ③日本あるいは世界の歴史についての学修と現場での学修や体験の成果を統合し、その結果を言葉や文章によって論理的に提示することができる。
- ④学修成果を用いて、現代の地域社会や国際社会に内在する諸問題について考えることができる。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

歴史学科では、歴史の地域的な特性に応じた日本史・東洋史・西洋史の三つの領域を設定し、学位授与基準を満たす能力の修得を目指して、以下の方針のもとにカリキュラムを編成します。

- ①社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する。
- ②初年次には、各領域に通底する「日本史概論」・「日本史特論」、「東洋史概論」・「東洋史特論」および「西洋史概論」・「西洋史特論」を必修科目とする。これにより、学科に包摂される文献史学に基づく歴史学研究に関わる学問諸領域の基礎的な知識の修得を目指す。
- ③2学年以降に開始する専門的な学修は、文献史料を読解・分析する力を段階的に養うことを目的にする講読や演習科目、専門的なテーマに関する知識や研究方法などを学ぶ特講を中心に進める。
- ④2学年以降の専門的な学修において、学科が設置する三領域のうち一領域を主専攻として4学年まで継続して専攻科目を学修し、専門的な知識や技能の修得・深化をはかる。また、副専攻として異なる領域の専攻科目を学修することにより、多角的な視点からの学修を進めるとともに、異なる領域に関する知識・技能についても修得を目指す。
- ⑤2学年以降の専門的な学修においては関連科目を設定し、学生が自らの興味や関心に従い選択履修することにより幅広い教養と高度な能力の修得を目指す。関連科目は史料分析方法や文献の読解を目指す諸科目のほか、実践的な力を養うフィールドワーク科目、さまざまな文化に触れる研修などで構成する。
- ⑥2学年以降の専門的な学修で、研究法ゼミ（2学年）、発展研究ゼミ（3学年）、卒業研究ゼミ（4学年）と継続してゼミに所属することによって学修の深化をはかるとともに、学生自身による思考・判断、および表現する力の養成

をはかる。

- ⑦学修成果の総括として4学年において一つの課題に取り組んだ「卒業論文」の執筆を課す。卒業論文については複数の教員が審査（口頭試問）を行う。

歴史学科の教育内容

歴史学科では、歴史の地域的な特性に応じて日本史・東洋史・西洋史の三つの領域を設定し、以下に示すようなカリキュラムを設定しています。

1年生

- 全学共通科目や全学教養科目群の履修を通じて、歴史に限らず社会人として必要な基礎的な教養（知識や考え方）および技能の習得に努めてください。なお、全学教養科目には、学修のきっかけを提供する基礎科目と、専門学修が進む中で学ぶ応用科目があります。
- 初年次には歴史学科の学びの中核となる文献史学に関する基礎的知識の習得を目指す歴史学概論、日本史概論・日本史特論、東洋史概論・東洋史特論、西洋史概論・西洋史特論のほか、大学における学術的な作法や考え方を学ぶ「入門ゼミ」が設定されています。「専門学修のための日本語表現」（全学共通科目）による実践的な学びとともに、大学での学修の基礎を養ってください。

2年生・3年生

- 2年次以降は、それぞれの領域の学びを中心とした専門的な学修が始まります。各学年に設定された「歴史学研究法ゼミ」（2年）、「発展研究ゼミ」（3年）により、学修内容の定着、実践的な力への深化を図りながら、専門的な学修を進めてください。

日本史領域：日本列島で展開した政治・社会・文化などの歴史や、その展開のなかで関わりのあった周辺地域と日本との関係の歴史について文献をもとに考えます。

東洋史領域：中国大陸や朝鮮半島における政治・社会・文化などの歴史や、日本も含めた東アジア諸国の関係・交流の歴史について文献をもとに考えます。

西洋史領域：ヨーロッパやアメリカにおける政治・社会・文化などの歴史や、大航海時代以降に西洋世界が影響を与えた地域との関係や交流の歴史について文献をもとに考えます。

- 自らが選択した領域（主専攻）について、文献史料を読解・分析する力を段階的に養うことを目的とした「講読」や「演習」、専門領域の知識や研究方法を学ぶ「特講」科目が設定されています。

- 「講読」は学修の内容に応じて基礎史料講読（西洋史領域選択者は西洋史基

Ⅰ

教育
目標

Ⅱ

履修
一般

Ⅲ

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史文

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

Ⅳ

学籍・
学費

Ⅴ

キャンパス
ライフ

Ⅵ

進路・
就職支援

Ⅶ

大学の
取り組み

Ⅷ

規程

礎英語文献講読、または西洋史基礎演習)、史料講読(西洋史領域選択者は西洋史演習)からなり、史料の読解・分析にかかわる力を段階的に学びます。

- 多角的な視点を養うねらいから、異なる領域に関する最低限の知識や技能の習得を目指し、選択した領域以外の一つの領域(副専攻)についても、基礎史料講読(基礎英語文献講読)、「特講」科目を履修します。

より高度な学修を目指す方のために、発展科目を設定していますので、大学院への進学を検討する方やさらに学修を深めたい方は履修して下さい。

- 幅広い教養と高度な能力の習得を目指し、自らの興味や関心に従い選択履修できる「関連科目」が設定されています。専門学修が進むなかで自らの学修の進展に応じて、あるいは卒業後のキャリアを見据えて高度で実践的な学修を進めて下さい。

4年生

- 大学での学修の集大成として、「卒業研究ゼミ」での学修を中心にしながら、自らが設定した課題に取り組み「卒業論文」を執筆します。「卒業論文」は複数の教員による審査によって、学修の総括とともに学部および学科のディプロマポリシーに記した諸事項の習得を確認します。

その他

- 各学年で、自らの学修を振り返り、卒業後のキャリアを見据えることを目指したキャリア教育が設定されています。
- キャリアへの対応として、「教育職員免許状」、「博物館学芸員資格」、「図書館司書」、「学校図書館司書教諭」などの免許・資格にかかわる科目が設定されています。履修には一定の基準が設けられていますので、専門科目の学修を確実に進めることが必要です。

系列区分	卒業所要単位修得にかかる要件			卒業所要単位			
	必要科目等	必要単位	修得単位	小計	中計	大計	総計
全学共通科目	全学共通科目および全学教養科目より 30 単位						
	仏教						
	■必修科目の 2 単位			2 単位		2 単位	
	・ フッタと法然	2 単位					
	自校教育				0 単位以上		
	□任意で選択の科目			0 単位以上			
	外国語						
	■必修外国語科目の 1 語種 8 単位						
	・ Intensive Reading 1						
	・ Intensive Reading 2						
	・ Integrated Communication Skills 1						
	・ Integrated Communication Skills 2						
	・ Integrated Communication Skills 3						
	・ Integrated Communication Skills 4						
	・ Intermediate Reading 1						
	・ Intermediate Reading 2						
	・ 中国語 1						
	・ 中国語 2						
	・ 中国語 3						
	・ 中国語 4						
	・ 中国語 5						
	・ 中国語 6						
	・ 中国語 7						
	・ 中国語 8						
	・ 朝鮮語 1						
	・ 朝鮮語 2						
	・ 朝鮮語 3						
	・ 朝鮮語 4						
	・ 朝鮮語 5						
	・ 朝鮮語 6						
	・ 朝鮮語 7						
	・ 朝鮮語 8						
	■選択外国語科目の 1 語種 2 単位						
	・ General English 1	2 単位					
	・ General English 2						
	・ 初級中国語 1	2 単位					
	・ 初級中国語 2						
	・ 初級朝鮮語 1	2 単位					
	・ 初級朝鮮語 2						
	・ 初級ドイツ語 1	2 単位					
	・ 初級ドイツ語 2						
	・ 初級フランス語 1	2 単位					
	・ 初級フランス語 2						
	・ 初級ベトナム語 1	2 単位					
	・ 初級ベトナム語 2						
	□任意で選択の科目			0 単位以上			
	日本語表現						
	■必修科目の 2 単位			2 単位		2 単位	
	・ 専門学修のための日本語表現	2 単位					
	情報処理						
	■必修科目の 2 単位			2 単位			
	・ コンピュータ・リテラシー	2 単位					
	□任意で選択の科目			0 単位以上			
	キャリア						
	□任意で選択の科目			0 単位以上		0 単位以上	
	スポーツ						
	□任意で選択の科目			0 単位以上		0 単位以上	
	日本事情						
	□任意で選択の科目			0 単位以上		0 単位以上	
	海外研修						
	□任意で選択の科目			0 単位以上		0 単位以上	
	大学コンソーシアム						
	□任意で選択の科目			0 単位以上		0 単位以上	
	全学教養科目						
	■基礎領域より任意で選択			4 単位以上			
	■応用領域より任意で選択			4 単位以上			
全学専攻科目	全学専攻科目より 124 単位						
	基礎領域						
	応用領域						
	専門科目						
	選択科目						
	必修科目						
	選択科目						
	必修科目						
	選択科目						

系列区分	卒業所要単位修得にかかる要件			卒業所要単位						
	必要科目等	必要単位	修得単位	小計	中計	大計	総計			
専門科目より 94 単位以上	学部基礎科目									
	■必修科目の 10 単位			10単位	小計を 満たし 12 単位 以上					
	・歴史学概論		2単位							
	・歴史文化概論		2単位							
	・日本史概論		2単位							
	・東洋史概論		2単位							
	・西洋史概論		2単位							
	■任意で選択の科目			2単位以上						
	学科基礎科目									
	■必修科目の 14 単位			14単位	小計を 満たし 20 単位 以上					
	・入門ゼミ		2単位							
	・歴史学研究法ゼミ 1		2単位							
	・歴史学研究法ゼミ 2		2単位							
	・日本史特論		2単位							
	・東洋史特論		2単位							
	・西洋史特論		2単位							
	・日本文化史		2単位							
	■任意で選択の科目			6単位以上						
	学科専攻科目									
	■全ての領域において履修が必要な 14 単位			14単位						
	・発展研究ゼミ 1		2単位							
	・発展研究ゼミ 2		2単位							
	・卒業研究ゼミ 1		2単位							
	・卒業研究ゼミ 2		2単位							
	・卒業論文		6単位							
	①日本史領域			4単位 以上						
	・日本史基礎史料講読（古代・中世）		2単位 以上							
	・日本史基礎史料講読（近世）									
	・日本史基礎史料講読（近代・現代）									
	・日本史史料講読（古代・中世） 1									
	・日本史史料講読（古代・中世） 2									
	・日本史史料講読（近世） 1									
	・日本史史料講読（近世） 2									
	・日本史史料講読（近代・現代） 1									
	・日本史史料講読（近代・現代） 2									
	・日本史特講（古代・中世） 1									
	・日本史特講（古代・中世） 2									
	・日本史特講（近世） 1									
	・日本史特講（近世） 2									
	・日本史特講（近代・現代） 1									
	・日本史特講（近代・現代） 2									
	・日本史特講（宗教・文化） 1									
	・日本史特講（宗教・文化） 2									
	②東洋史領域			4単位 以上						
	・東洋史基礎史料講読		2単位							
	・東洋史史料講読（前近代） 1									
	・東洋史史料講読（前近代） 2									
	・東洋史史料講読（近現代） 1									
	・東洋史史料講読（近現代） 2									
	・東洋史特講（古代） 1									
	・東洋史特講（古代） 2									
	・東洋史特講（中世・近世） 1									
	・東洋史特講（中世・近世） 2									
	・東洋史特講（近代・現代） 1									
	・東洋史特講（近代・現代） 2									
	③西洋史領域			4単位 以上						
	・西洋史基礎英語文献講読		2単位 以上							
	・西洋史基礎演習									
	・西洋史演習（前近代） 1									
	・西洋史演習（前近代） 2									
	・西洋史演習（近現代） 1									
	・西洋史演習（近現代） 2									
	・西洋史特講（前近代） 1									
	・西洋史特講（前近代） 2									
	・西洋史特講（近現代） 1									
	・西洋史特講（近現代） 2									
	・西洋史特講（エリア） 1									
	・西洋史特講（エリア） 2									
	■選択科目を任意で選択							4単位以上	①から③の選 択した領域か ら10単位以 上、異なる領 域の特講4単 位を含み20 単位以上	小計を 満たし 34 単位 以上
	・選択した領域以外の「特講」									
	□発展			0単位以上						
	関連科目									
	■任意で選択の科目			8単位以上	8単位以上					

専門科目

小計・
中計・
大計を
満たし
124
単位
以上

小計・
中計を
満たし
94
単位
以上

※自由科目は卒業所要単位に算入できません。

I
教育
目標II
履修
一般III
教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・

学費

V

キャンパス

ライフ

VI

進路・

就職支援

VII

大学の

取り組み

VIII

規程

歴史学科 履修科目表 (1/2)

系列区分		授業科目	単位	必修・選択・自由別 必修 選択 自由	履修開始 セメスター	GPA 対象	備 考
専 門 科 目	学部 基幹 科目	歴史学概論	2	必		1	必修科目5科目10単位および選択科目のうち1科目2単位以上、合計6科目12単位以上を履修すること。
		外国の歴史と文化	2		選	2	
		歴史学とコンピュータ	2		選	2	
		歴史文化概論	2	必		3	
		日本史概論	2	必		1	
		東洋史概論	2	必		1	
		西洋史概論	2	必		1	
		歴史地理学	2		選	2	
	学科 基幹 科目	入門ゼミ	2	必		1	必修科目7科目14単位および選択科目のうち3科目6単位以上、合計10科目20単位以上を履修すること。
		歴史学研究法ゼミ1	2	必		3	
		歴史学研究法ゼミ2	2	必		4	
		日本史特論	2	必		2	
		東洋史特論	2	必		2	
		西洋史特論	2	必		2	
		日本文化史	2	必		4	
		東洋文化史	2		選	3	
		西洋文化史	2		選	4	
		日本思想史	2		選	3	
		東洋思想史	2		選	4	
		西洋思想史	2		選	3	
		東北アジア史	2		選	4	
		社会経済史	2		選	3	
		交渉・交流史	2		選	4	
	共通	発展研究ゼミ1	2	必		5	5科目14単位を履修すること。
		発展研究ゼミ2	2	必		6	
		卒業研究ゼミ1	2	必		7	
		卒業研究ゼミ2	2	必		8	
		卒業論文	6	必		8	
	日本 史 領 域	日本史基礎史料講読（古代・中世）	2		選	3	「日本史領域」・「東洋史領域」・「西洋史領域」のうち1領域を選択したうえで、以下のとおり履修すること。 ・「日本史領域」もしくは「東洋史領域」の選択者は、基礎史料講読1科目2単位以上、史料講読のうち2科目4単位以上、特講のうち2科目4単位以上および異なる領域の特講のうち2科目4単位以上を含み、合計10科目20単位以上を履修すること。 ・「西洋史領域」の選択者は、基礎英語文献講読もしくは基礎演習を1科目2単位以上、演習のうち2科目4単位以上、特講のうち2科目4単位以上および異なる領域の特講のうち2科目4単位以上を含み、合計10科目20単位以上を履修すること。
		日本史基礎史料講読（近世）	2		選	3	
		日本史基礎史料講読（近代・現代）	2		選	3	
		日本史史料講読（古代・中世）1	2		選	4	
		日本史史料講読（古代・中世）2	2		選	5	
		日本史史料講読（近世）1	2		選	4	
		日本史史料講読（近世）2	2		選	5	
		日本史史料講読（近代・現代）1	2		選	4	
		日本史史料講読（近代・現代）2	2		選	5	
		日本史特講（古代・中世）1	2		選	3	
		日本史特講（古代・中世）2	2		選	4	
		日本史特講（近世）1	2		選	3	
		日本史特講（近世）2	2		選	4	
		日本史特講（近代・現代）1	2		選	3	
		日本史特講（近代・現代）2	2		選	4	
	東 洋 史 領 域	日本史特講（宗教・文化）1	2		選	3	
		日本史特講（宗教・文化）2	2		選	4	
		東洋史基礎史料講読	2		選	3	
		東洋史史料講読（前近代）1	2		選	4	
		東洋史史料講読（前近代）2	2		選	5	
		東洋史史料講読（近現代）1	2		選	4	
		東洋史史料講読（近現代）2	2		選	5	
		東洋史特講（古代）1	2		選	3	
		東洋史特講（古代）2	2		選	4	
		東洋史特講（中世・近世）1	2		選	3	
	西 洋 史 領 域	東洋史特講（中世・近世）2	2		選	4	
		東洋史特講（近代・現代）1	2		選	3	
		東洋史特講（近代・現代）2	2		選	4	
		西洋史基礎英語文献講読	2		選	3	
		西洋史基礎演習	2		選	3	
		西洋史演習（前近代）1	2		選	4	
		西洋史演習（前近代）2	2		選	5	
		西洋史演習（近現代）1	2		選	4	
		西洋史演習（近現代）2	2		選	5	
		西洋史特講（前近代）1	2		選	3	
		西洋史特講（前近代）2	2		選	4	
		西洋史特講（近現代）1	2		選	3	

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

歴史学科 履修科目表 (2/2)

系列区分		授業科目	単位	必修	選択	自由別	履修開始 セメスター	GPA 対象	備考
I 教育 目標	西 洋 史 観	西洋史特講（近現代）2	2		選		4		
		西洋史特講（エリア）1	2		選		3		
		西洋史特講（エリア）2	2		選		4		
II 履修 一般	学 科 専 攻 科 目	日本古代中世古文書演習1	2		選		6		
		日本古代中世古文書演習2	2		選		7		
		日本近世古文書演習1	2		選		6		
III 教育 課程	発 展	日本近世古文書演習2	2		選		7		
		東洋史発展史料講読1	2		選		6		
		東洋史発展史料講読2	2		選		7		
全学	専 門 科 目	西洋史発展英語文献講読1	2		選		6		
		西洋史発展英語文献講読2	2		選		7		
		西洋史史料講読（外書）1	2		選		6		
仏教	関 連 目 的	西洋史史料講読（外書）2	2		選		7		
		歴史文化発展演習1	2		選		6		
		歴史文化発展演習2	2		選		7		
日文	科 目	史学史	2		選		3		4科目8単位以上を履修すること。
		西洋芸術史	2		選		3		
		和装の文化	2		選		3		
中国	連 目 的	古文書基礎演習1	2		選		4		
		古文書基礎演習2	2		選		5		
		英語文献講読1	2		選		4		
英米	目 的	英語文献講読2	2		選		5		
		古文書実習	2		選		6		
		伝統文化研修	2		選		3		
歴史	科 目	京都学研修	2		選		3		
		文化財学特論	2		選		3		
		京都学入門	2		選		5		
歴史文	連 目 的	京都学演習	2		選		6		
		地域文化概論	2		選		4		
		民俗文化概論	2		選		4		
教育	目 的	芸術文化概論	2		選		4		
		政治文化史	2		選		4		
		宗教文化	2		選		4		
幼教	科 目	地誌学1	2		選		3		
		地誌学2	2		選		4		
		自然地理学1	2		選		3		
臨床	連 目 的	自然地理学2	2		選		4		
		人文地理学1	2		選		3		
		人文地理学2	2		選		4		
現社	目 的	経済地理学	2		選		3		
		フィールドワーク入門	2		選		2		
		歴史学フィールドワーク	2		選		3		
公共	科 目	日本史臨地研修	2		選		3		
		外国史臨地研修	2		選		3		
		考古学	2		選		4		
社福	連 目 的	民俗学	2		選		3		
		文化人類学	2		選		4		
		法律学概論1	2		選		1		
その他	目 的	法律学概論2	2		選		2		
		国際政治学	2		選		1		
		哲学概論	2		選		2		
IV 学籍・ 学費	科 目	宗教学概論	2		選		1		
		倫理学概論	2		選		1		
		博物館学Ⅰ	2		選		3		
V キャンパス ライフ	連 目 的	生涯学習概論	2			自	2	×	自由科目で修得した単位は卒業所要単位には算入できません。
		博物館学Ⅱ	2			自	4	×	
		博物館学Ⅲ	2			自	5	×	
VI 進路・ 就職支援	目 的	博物館学Ⅳ	2			自	3	×	
		博物館学Ⅴ	2			自	4	×	
		博物館学Ⅵ	2			自	5	×	
VII 大学の 取り組み	科 目	博物館実習講義	1			自	6	×	
		博物館実習Ⅰ	1			自	7	×	
		博物館実習Ⅱ	1			自	7	×	
VIII 規程	連 目 的	博物館実習Ⅲ	1			自	8	×	
		視聴覚教育メディア論	2			自	3	×	

歴史学科 提出までの手続き

履修登録

第4学年第8セメスターにおいて「卒業論文」の履修登録が必要です。ただし、以下の条件があるので留意してください。

- ・第4学年第7セメスターの履修登録時に卒業見込み（卒業所要単位を80単位以上修得）がないと「卒業研究ゼミ1」の履修登録ができません。
- ・第4学年第8セメスターの履修登録時に「卒業研究ゼミ1」の単位を修得済みでないと「卒業研究ゼミ2」の履修登録と「卒業論文」の履修登録ができません。

卒業論文題目 登録

題目登録の手続きについては、指導教員から「論文題目登録届」提出の指示を受け、所定の方法で「題目登録」手続きを行う必要があります。

提出日については、指導状況および指導教員により異なります。よって、学年暦掲載期限よりも早くなるので、期限については指導教員に確認することが必要です。

卒業論文 提出

【書 式】

学科	文字方向	手書き	ワープロ使用時の用紙書式		
歴史学科	横書き	400字詰 原稿用紙	50枚程度	A4判縦 (左綴じ)	17枚程度 1200字(40字×30行)/1枚 文字:10.5ポイント 余白(mm):上30・下30・左30・右30 外字手書き可
	縦書き	400字詰 原稿用紙	50枚程度	A4判横 (上綴じ)	17枚程度 1200字(40字×30行)/1枚 文字:10.5ポイント 余白(mm):上30・下30・左30・右30 外字手書き可

- ・原則として黒インクを使用し、ページ数を必ず記入

【指定表紙】・コクヨ・フラットファイル(フ-V10M) ※グレー色

【作成】・正本と副本の2部作成が必要です。

- 〈正本〉 1. 指導教員の提出許可を受けたら、「論文提出票」に捺印を受ける。
2. 清書した論文を指定表紙にてとじ込み、表紙に「論文提出票」を貼付する。
- 〈副本〉 1. 清書した論文の複写を正本と同様にとじ込む。
2. 清書に貼付した「論文提出票」の記載事項に準じて表紙に、年度・学期・開講科目名(卒業論文)、論文題目、学籍番号、氏名等を記入する。

【提出】・正本は、「受理票」を添えて期限(学年暦参照)までに学生支援課へ提出してください。

- ・副本は、指導教員へ直接提出してください。

卒業論文 口頭試問

口頭試問は、提出された論文に対して主査(指導教員)および副査の教員で行う口述試験(30分程度)です。したがって口頭試問に不合格の場合、または口頭試問を欠席した場合は、卒業論文の単位を修得することができません。

- ・実施日時および会場は、3月卒業の場合1月下旬、9月卒業の場合8月上旬にB-netにてお知らせします。なお、日時の変更はできません。
- ・正本は卒業式当日に返却します。

Ⅰ

教育
目標

Ⅱ

履修
一般

Ⅲ

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴文

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

Ⅳ

学籍・
学費

Ⅴ

キャンパス
ライフ

Ⅵ

進路・
就職支援

Ⅶ

大学の
取り組み

Ⅷ

規程

歴史学部 歴史文化学科

歴史文化学科の教育研究上の目的

歴史文化学科では、使命と目的に基づいて、以下のように具体的な教育研究上の目的を設定しています。

人材養成の目的

- ①さまざまな時代や地域の人々が残した有形・無形の文化を通して、過去から現代に至る人間の営みを見つめることによって、「人間力」をもった人材を養成する。
- ②日本あるいは世界の歴史的な文化事象についての学修を通して、社会人として必要な教養や技能を身につけた人材を養成する。
- ③日本あるいは世界の歴史的な文化事象について学ぶ中で、時間的・空間的な多様性を理解し、自己とそれを取り巻く社会・文化を客観的に理解できる人材を養成する。
- ④フィールドワークをはじめとする体験・実践を重視した学修を通して、広い歴史知識と歴史的な文化事象の多様性に対する理解に裏打ちされた洞察力と判断力を備えた人材を養成する。
- ⑤学修の成果を活用して、現代社会と能動的に向き合い、問題解決のための多様な方法と実践力を備えた人材を養成する。

その他の教育研究上の目的

1) 教育

- ①人材養成の目的に基づき、日本あるいは世界の歴史的な文化事象に対する理解を深めるために、専門教育をはじめ、多様な教育課程を提供する。
- ②日本あるいは世界の歴史的な文化事象についての教養や技能を身につけ、それを活用できる人材を養成するために、多様な学修機会を提供する。
- ③専門の学修を深めるために、学生に対する支援を行う。
- ④学修の成果を活用して社会に貢献できる人材を養成するためにキャリア形成支援を推進する。

2) 研究

- ①歴史資料を対象とする歴史学の各分野・領域における最新の研究を遂行する。
- ②それぞれの専門領域における研究成果を積極的に教育へ還元する。

3) 社会貢献

- ①体験・実践を重視した学修を通して、地域社会の課題の発見や解決に貢献する。
- ②教育・研究の成果を積極的に発信し、歴史学の諸分野・諸領域に関するさまざまな学修機会を提供し、社会に還元する。
- ③教員・学芸員など歴史と直接に関わる専門職をはじめ、行政や一般企業などにおいても歴史および歴史学に関わる知見や思考を活かすことのできる人材を輩出して社会に貢献する。

歴史文化学科の教育方針

歴史文化学科では、教育研究上の目的を達成するために、ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）を以下の通り定めます。

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

- ①日本あるいは世界の歴史的な文化事象について基本的な知識と技能を有し、その重要性が理解できている。
- ②自らが専攻する分野・領域を中心に、歴史的な文化事象の時間的・空間的多様性について理解できている。
- ③日本あるいは世界の歴史的な文化事象に関する学修と現場での学修・活動の成果を統合し、その結果を言葉や文章によって論理的に提示できる。
- ④学修成果を用いて、現代の地域社会や国際社会に内在する諸問題について考えることができる。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

歴史文化学科では、歴史的な文化事象の特性に応じた地域文化・民俗文化・芸術文化の三つの文化領域を設定し、学位授与基準を満たす能力の修得を目指して、以下の方針のもとにカリキュラムを編成します。

- ①社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する。
- ②初年次には、各領域に通底する「歴史文化概論」および「地域文化」・「民俗文化」・「芸術文化」の概論を必修科目とする。これにより、学科に包摂される歴史文化の研究に関わる学問諸領域の基礎的な知識の修得を目指す。
- ③2学年以降に開始する専門的な学修は、資料読解・分析の力を段階的に養うことを目的にする演習科目や講読、専門的なテーマに関する知識や研究方法などを学ぶ特講、現場での学びを重視したフィールドワーク科目を中心に進める。
- ④2学年以降の専門的な学修において、学科が設置する三領域のうち一領域を主専攻として4学年まで継続して専攻科目を学修することで専門的な知識や技能の修得・深化をはかる。また、副専攻として異なる領域の専攻科目を学修することにより、多角的な視点からの学修を進めるとともに、異なる領域に関する知識・技能についても修得を目指す。
- ⑤2学年以降の専門的な学修においては関連科目を設定し、学生が自らの興味や関心に従い選択履修することにより幅広い教養と高度な能力の修得を目指す。関連科目は歴史学部における各領域の理解の深まりを学問分野に即して学ぶ科目のほか、フィールドワークの実践的な力を養う科目や研修などで構成する。
- ⑥2学年以降の専門的な学修で、研究法ゼミ（2学年）、発展研究ゼミ（3学年）、卒業研究ゼミ（4学年）と継続してゼミを設置することによって学修の深化をはかるとともに、学生自身による思考・判断、および表現する力の養成を図る。

Ⅰ

教育
目標

Ⅱ

履修
一般

Ⅲ

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史文

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

Ⅳ

学籍・
学費

Ⅴ

キャンパス
ライフ

Ⅵ

進路・
就職支援

Ⅶ

大学の
取り組み

Ⅷ

規程

- ⑦学修成果の総括として4学年において一つの課題に取り組んだ「卒業論文」の執筆を課す。卒業論文については複数の教員が審査（口頭試問）を行う。

歴史文化学科の教育内容

歴史文化学科では、歴史文化を理解する学問分野の性格に応じて地域文化・民俗文化・芸術文化の三つの領域を設定し、以下に示すようなカリキュラムを設定しています。

1年生

- 全学共通科目や全学教養科目群の履修を通じて、歴史に限らず社会人として必要な教養（知識や考え方）や技能の習得に努めてください。なお、全学教養科目には、学修のきっかけを提供する基礎科目と、専門学修が進む中で学ぶ応用科目があります。
- 初年次には歴史文化にかかわる基礎的知識の習得を目指す地域文化概論・民俗文化概論・芸術文化概論のほか、歴史文化臨地研修などが設定されています。歴史文化を探るための幅広く多岐にわたる学問分野の基礎的な知識を養うとともに、現場で考える歴史文化学科の特徴の理解につとめてください。なお、歴史学に関する基礎的知識を、また、大学における学術的な作法や考え方を学ぶ「入門ゼミ」が設定されています。「専門学修のための日本語表現」（全学共通科目）による実践的な学びとともに、大学での学修の基礎を養ってください。

2年生・3年生

- 2年次以降は、それぞれの領域の学びを中心とした専門的な学修が始まります。各学年に設定された「歴史文化研究法ゼミ」（2年）、「発展研究ゼミ」（3年）により、学修内容の定着、実践的な力への深化を図りながら、専門的な学修を進めてください。

地域文化領域：日本や世界を対象に、遺跡や遺物、地図や地形、生業のあり様などに注目して、人間と環境の相互作用から特定の範囲に成立する地域性と結びついた文化について、フィールドワークを重視しつつ考えます。

民俗文化領域：日本や世界において人々の日常生活や社会生活を基盤として成立した慣習、民間の風俗、伝承、知識などを研究する民俗学、文化人類学、神話・伝承学をもとに、フィールドワーク資料を重視しつつ文化の成立過程や変遷などから文化とは何かを考えます。

芸術文化領域：日本や東洋の芸術を中心に、絵画、彫刻、工芸、舞台芸能、民俗芸能等の芸術文化について、背景となる思想や文化を理解する能力を身につけるとともに、対象となる作例を正確に見る力を重視しつつ考えます。

- 自らが選択した領域（主専攻）について、歴史文化を探究する力を段階的に養うことを目的とした「基礎演習」および「演習」、専門領域の知識や研究方法を学ぶ「特講」科目、「フィールドワーク演習」科目を履修します。
- 「演習」は学修内容のレベルに応じ基礎演習、演習が設定されています。選択した領域にかかわる歴史文化資料の読解・分析する力を領域に分かれ段階的に学びます。
- 多角的な視点からの学修を進めるとともに、異なる領域に関する最低限の知識や技能の習得を目指し、選択した領域以外の一つの領域（副専攻）についても、「基礎演習」、「特講」科目を学びます。
より高度な学修を目指す方のために、発展科目を設定していますので、大学院への進学を検討する方やさらに学修を深めたい方は履修して下さい。
- 幅広い教養と高度な能力の習得を目指し、自らの興味や関心に従い選択履修できる「関連科目」が設定されています。専門学修が進む中で自らの学修の進展に応じて、あるいは卒業後のキャリアを見据えて高度で実践的な学修を進めてください。

4年生

- 大学での学修の集大成として、「卒業研究ゼミ」での学修を中心に、自らが設定した課題に取り組み「卒業論文」を執筆します。「卒業論文」は複数の教員による審査によって、学修の総括とともに学部および学科のディプロマポリシーに記した諸事項の習得を確認します。

その他

- 各学年で、自らの学修を振り返り、卒業後のキャリアを見据えることを目指したキャリア教育が設定されています。
- キャリアへの対応として、「教育職員免許状」、「博物館学芸員資格」、「図書館司書」、「学校図書館司書教諭」などの免許・資格にかかわる科目が設定されています。履修には一定の基準が設けられていますので、専門科目の学修を確実に進める必要があります。
- フィールドワークはそれぞれの領域の特徴を重視し、より実践的な力が身につくように工夫しています。
- 領域の特徴を生かした学修内容ですので、同一名称科目であっても、内容に違いがあります。

系列区分	卒業所要単位修得にかかる要件			卒業所要単位			
	必要科目等	必要単位	修得単位	小計	中計	大計	総計
全学共通科目	全学共通科目および全学教養科目より 30 単位						
	仏教				2 単位		
	■必修科目の 2 単位 ・ 仏教と法然 2単位				2 単位		
	自校教育				0 単位以上		
	□任意で選択の科目 0 単位以上						
	外国語				1 語種から 8 単位		
	■必修外国語科目の 1 語種 8 単位						
	・ Intensive Reading 1						
	・ Intensive Reading 2						
	・ Integrated Communication Skills 1						
	・ Integrated Communication Skills 2						
	・ Integrated Communication Skills 3						
	・ Integrated Communication Skills 4						
	・ Intermediate Reading 1						
	・ Intermediate Reading 2						
	・ 中国語 1						
	・ 中国語 2						
	・ 中国語 3						
	・ 中国語 4						
	・ 中国語 5						
	・ 中国語 6						
	・ 中国語 7						
	・ 中国語 8						
	・ 朝鮮語 1						
	・ 朝鮮語 2						
・ 朝鮮語 3							
・ 朝鮮語 4							
・ 朝鮮語 5							
・ 朝鮮語 6							
・ 朝鮮語 7							
・ 朝鮮語 8							
■選択外国語科目の 1 語種 2 単位				1 語種から 2 単位			
・ General English1 2単位							
・ General English2 2単位							
・ 初級中国語 1 2単位							
・ 初級中国語 2 2単位							
・ 初級朝鮮語 1 2単位							
・ 初級朝鮮語 2 2単位							
・ 初級ドイツ語 1 2単位							
・ 初級ドイツ語 2 2単位							
・ 初級フランス語 1 2単位							
・ 初級フランス語 2 2単位							
・ 初級ベトナム語 1 2単位							
・ 初級ベトナム語 2 2単位							
□任意で選択の科目 0 単位以上							
日本語表現				2 単位			
■必修科目の 2 単位 ・ 専門学修のための日本語表現 2単位				2 単位			
情報処理				小計を満たし 2 単位以上			
■必修科目の 2 単位 ・ コンピュータ・リテラシー 2単位				2 単位			
□任意で選択の科目 0 単位以上							
キャリア				0 単位以上			
□任意で選択の科目 0 単位以上							
スポーツ				0 単位以上			
□任意で選択の科目 0 単位以上							
日本事情				0 単位以上			
□任意で選択の科目 0 単位以上							
海外研修				0 単位以上			
□任意で選択の科目 0 単位以上							
大学コンソーシアム				0 単位以上			
□任意で選択の科目 0 単位以上							
全学教養科目				小計を満たし 8 単位以上			
■基礎領域より任意で選択 4 単位以上							
■応用領域より任意で選択 4 単位以上							
専門科目	専門科目は 20 単位以上						
	■必修科目の 1 語種 8 単位						
	・ 歴史学概論 2 単位						
	・ 歴史文化概論 2 単位						
	・ 日本史概論 2 単位						
	・ 中国史概論 2 単位						
	・ 西洋史概論 2 単位						
	・ 国際史概論 2 単位						
	■任意で選択の科目 0 単位以上						
	■必修科目の 1 語種 8 単位						
	・ 入門ゼミ 2 単位						
	・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位						
	・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位						
	・ 地域文化概論 2 単位						
	・ 民俗文化概論 2 単位						
	・ 歴史文化特講 1 2 単位						
	・ 歴史文化特講 2 2 単位						
	・ インドロウ・ク基礎論 2 単位						
	■任意で選択の科目 0 単位以上						
	■必修科目の 1 語種 8 単位						
	・ 入門ゼミ 2 単位						
	・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位						
	・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位						
	・ 地域文化概論 2 単位						
	・ 民俗文化概論 2 単位						
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 2 2 単位							
・ 地域文化概論 2 単位							
・ 民俗文化概論 2 単位							
・ 歴史文化特講 1 2 単位							
・ 歴史文化特講 2 2 単位							
・ インドロウ・ク基礎論 2 単位							
■任意で選択の科目 0 単位以上							
■必修科目の 1 語種 8 単位							
・ 入門ゼミ 2 単位							
・ 歴史文化研究法ゼミ 1 2 単位							

専門科目については次頁参照

専門科目

系列区分	卒業所要単位修得にかかる要件			卒業所要単位						
	必要科目等	必要単位	修得単位	小計	中計	大計	総計			
専門科目	専門科目より 94 単位以上									
	学部基幹科目									
	■必修科目の 10 単位			10単位	小計を 満たし 12 単位 以上					
	・ 歴史学概論		2単位							
	・ 歴史文化概論		2単位							
	・ 日本史概論		2単位							
	・ 東洋史概論		2単位							
	・ 西洋史概論		2単位							
	■任意で選択の科目			2単位以上						
	学科基礎科目									
	■必修科目の 16 単位			16単位	小計を 満たし 20 単位 以上					
	・ 入門ゼミ		2単位							
	・ 歴史文化研究法ゼミ 1		2単位							
	・ 歴史文化研究法ゼミ 2		2単位							
	・ 地域文化概論		2単位							
	・ 民俗文化概論		2単位							
	・ 芸術文化概論		2単位							
	・ 歴史文化臨地研修		2単位							
	・ フィールドワーク基礎論		2単位							
	■任意で選択の科目									4単位以上
	学科専攻科目									
	■全ての領域において履修が必要な 14 単位			14単位	小計・ 中計を 満たし 94 単位 以上	小計・ 中計・ 大計を 満たし 124 単位 以上				
	・ 発展研究ゼミ 1		2単位							
	・ 発展研究ゼミ 2		2単位							
	・ 卒業研究ゼミ 1		2単位							
	・ 卒業研究ゼミ 2		2単位							
	・ 卒業論文		6単位							
	①地域文化領域			14単位	小計を 満たし 34 単位 以上					
	・ 地域文化基礎演習		2単位							
	・ 地域文化演習 1		2単位							
	・ 地域文化演習 2		2単位							
	・ 地域文化特講 1		2単位							
	・ 地域文化特講 2		2単位							
	・ フィールドワーク演習（地域文化）		2単位							
	②民俗文化領域			14単位	小計を 満たし 34 単位 以上					
	・ 民俗文化基礎演習		2単位							
	・ 民俗文化演習 1		2単位							
	・ 民俗文化演習 2		2単位							
	・ 民俗文化特講 1		2単位							
	・ 民俗文化特講 2		2単位							
	・ フィールドワーク演習（民俗文化）		2単位							
	③芸術文化領域			14単位	小計を 満たし 34 単位 以上					
	・ 芸術文化基礎演習		2単位							
	・ 芸術文化演習 1		2単位							
	・ 芸術文化演習 2		2単位							
	・ 芸術文化特講 1		2単位							
	・ 芸術文化特講 2		2単位							
	・ フィールドワーク演習（芸術文化）		2単位							
	■選択科目を任意で選択			0単位以上	小計を 満たし 34 単位 以上					
	・ 選択した領域以外の「基礎演習」		2単位以上							
	・ 選択した領域以外の「特講」		2単位以上							
	□発展			0単位以上						
	関連科目									
	■任意で選択の科目			8単位以上	8単位以上					

※自由科目は卒業所要単位に算入できません。

I
教育
目標II
履修
一般III
教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

歴史

歴史

歴史

歴史

歴史

歴史

歴史

歴史

歴史

歴史

歴史

歴史

歴史

歴史

歴史

歴史

歴史

歴史

歴史

歴史

歴史

歴史

歴史

歴史

歴史

歴史

歴史文化学科 履修科目表 (1/2)

系 列 区 分		授 業 科 目	単位	必修・選択・自由別 必修 選択 自由	履修開始 セメスター	GPA 対象	備 考			
専 門 科 学 目 的	学 部 基 幹 科 目	歴史学概論	2	必		1		必修科目5科目10単位および選択科目のうち1科目2単位以上、合計6科目12単位以上を履修すること。		
		外国の歴史と文化	2		選		2			
		歴史学とコンピュータ	2		選		2			
		歴史文化概論	2	必			1			
		日本史概論	2	必			1			
		東洋史概論	2	必			3			
		西洋史概論	2	必			3			
		歴史地理学	2		選		2			
	学 科 基 礎 科 目	入門ゼミ	2	必			1		必修科目8科目16単位および選択科目のうち2科目4単位以上、合計10科目20単位以上を履修すること。	
		歴史文化研究法ゼミ1	2	必			3			
		歴史文化研究法ゼミ2	2	必			4			
		地域文化概論	2	必			2			
		民俗文化概論	2	必			2			
		芸術文化概論	2	必			2			
		歴史文化臨地研修	2	必			2			
		考古学	2		選		4			
		民俗学	2		選		3			
		文化人類学	2		選		4			
		西洋芸術史	2		選		3			
		政治文化史	2		選		4			
		フィールドワーク基礎論	2	必			3			
		人文地理学1	2		選		3			
		人文地理学2	2		選		4			
		経済地理学	2		選		3			
	専 門 科 学 目 的	共 通	発展研究ゼミ1	2	必		5		5科目14単位を履修すること。	
			発展研究ゼミ2	2	必		6			
			卒業研究ゼミ1	2	必		7			
			卒業研究ゼミ2	2	必		8			
			卒業論文	6	必		8			
			地 域 文 化 領 域	地域文化基礎演習	2		選			3
		地域文化演習1		2		選		4		
		地域文化演習2		2		選		5		
		地域文化特講1		2		選		3		
		地域文化特講2		2		選		4		
		フィールドワーク演習（地域文化）		2		選		5		
		民 俗 文 化 領 域	民俗文化基礎演習	2		選		3		
民俗文化演習1			2		選		4			
民俗文化演習2			2		選		5			
民俗文化特講1			2		選		3			
民俗文化特講2			2		選		4			
フィールドワーク演習（民俗文化）			2		選		5			
芸 術 文 化 領 域		芸術文化基礎演習	2		選		3			
		芸術文化演習1	2		選		4			
		芸術文化演習2	2		選		5			
		芸術文化特講1	2		選		3			
		芸術文化特講2	2		選		4			
		フィールドワーク演習（芸術文化）	2		選		5			
専 攻 科 目		歴 史 文 化 資 料 研 究	歴史文化資料研究1	2		選		6		
	歴史文化資料研究2		2		選		7			
	歴史文化発展演習1		2		選		6			
	歴史文化発展演習2		2		選		7			
	日本史基礎史料講読（古代・中世）		2		選		5			
	日本史基礎史料講読（近世）		2		選		5			
	日 本 史 基 礎 史 料 講 読	日本史基礎史料講読（近代・現代）	2		選		5			
		日本古代中世古文書演習1	2		選		6			
		日本古代中世古文書演習2	2		選		7			
		日本近世古文書演習1	2		選		6			
		日本近世古文書演習2	2		選		7			
		東洋史基礎史料講読	2		選		5			
	東 洋 史 発 展 史 料 講 読	東洋史発展史料講読1	2		選		6			
		東洋史発展史料講読2	2		選		7			
		西洋史基礎英語文献講読	2		選		5			
		西洋史発展英語文献講読1	2		選		6			
		西洋史発展英語文献講読2	2		選		7			
		西洋史史料講読（外書）1	2		選		6			
西洋史史料講読（外書）2	2		選		7					

I
教育
目標

Ⅱ 履修一般

全学

仙教

日文

中国

苗半

天中

历史

历史

教月

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

—

IV

学籍、
学费

子貝

 $(v$

キャンパス

ライノ

(VI

進路・

就職支援

VII

大学の

取り組み

VIII

VIII
+ 日 記

Ⅰ

教育
目標

Ⅱ

履修
一般

Ⅲ

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史文

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

Ⅳ

学籍・
学費

Ⅴ

キャンパス
ライフ

Ⅵ

進路・
就職支援

Ⅶ

大学の
取り組み

Ⅷ

規程

歴史文化学科 提出までの手続き

履修登録

第4学年第8セメスターにおいて「卒業論文」の履修登録が必要です。ただし、以下の条件があるので留意してください。

- ・第4学年第7セメスターの履修登録時に卒業見込み（卒業所要単位を80単位以上修得）がないと「卒業研究ゼミ1」の履修登録ができません。
- ・第4学年第8セメスターの履修登録時に「卒業研究ゼミ1」の単位を修得済みでないと「卒業研究ゼミ2」の履修登録と「卒業論文」の履修登録ができません。

卒業論文題目 登録

題目登録の手続きについては、指導教員から「論文題目登録届」提出の指示を受け、所定の方法で「題目登録」手続きを行う必要があります。

提出日については、指導状況および指導教員により異なります。よって、学年暦掲載期限よりも早くなるので、期限については指導教員に確認することが必要です。

卒業論文 提出

【書 式】

学科	文字方向	手書き	ワープロ使用時の用紙書式
歴史文化 学科	横書き	400字詰 原稿用紙 50枚程度	A4判縦 (左綴じ) 17枚程度 1200字(40字×30行)/1枚 文字:10.5ポイント 余白(mm):上30・下30・左30・右30 外字手書き可
	縦書き	400字詰 原稿用紙 50枚程度	A4判横 (上綴じ) 17枚程度 1200字(40字×30行)/1枚 文字:10.5ポイント 余白(mm):上30・下30・左30・右30 外字手書き可

・原則として黒インクを使用し、ページ数を必ず記入

【指定表紙】・コクヨ・フラットファイル(フ-V10M) ※グレー色

【作成】・正本と副本の2部作成が必要です。

- 〈正本〉 1. 指導教員の提出許可を受けたら、「論文提出票」に捺印を受ける。
2. 清書した論文を指定表紙にてとじ込み、表紙に「論文提出票」を貼付する。
- 〈副本〉 1. 清書した論文の複写を正本と同様にとじ込む。
2. 清書に貼付した「論文提出票」の記載事項に準じて表紙に、年度・学期・開講科目名(卒業論文)、論文題目、学籍番号、氏名等を記入する。

【提出】・正本は、「受理票」を添えて期限(学年暦参照)までに学生支援課へ提出してください。

・副本は、指導教員へ直接提出してください。

卒業論文 口頭試問

口頭試問は、提出された論文に対して主査(指導教員)および副査の教員で行う口述試験(30分程度)です。したがって口頭試問に不合格の場合、または口頭試問を欠席した場合は、卒業論文の単位を修得することができません。

- ・実施日時および会場は、3月卒業の場合1月下旬、9月卒業の場合8月上旬にB-netにてお知らせします。なお、日時の変更はできません。
- ・正本は卒業式当日に返却します。

教育学部 教育学科

教育学科の教育研究上の目的

教育学科では、使命と目的に基づいて、以下のように具体的な教育研究上の目的を設定しています。

人材養成の目的

- ①教員養成課程を柱として、教育現場における児童生徒の生活指導力、教科指導力、幅広い年齢層の人たちとのコミュニケーション力を有する人材を養成する。
- ②個々の学習者の状況に応じて、必要な資質・能力を高める指導が可能な人材を養成する。
- ③学習者の感情や思考を深く理解し、あらゆる教育の場面で冷静に判断・対処することができる人材を養成する。
- ④学校、家庭、地域社会間の連携を深め、組織内での自身の役割の自覚と、組織全体の問題解決能力の向上に貢献することのできる人材を養成する。

その他の教育研究上の目的

1) 教育

- ①教育学に関わる理論的知識と学習指導に関わる実践的知識を両輪とした、体系的な教育の機会を提供する。
- ②各講義を通して、教育現場で適切に学習指導ができる能力を養う。
- ③在学時から教育現場での実習の場を提供し、諸問題に対して適切に理解・判断・対応する力を養う。
- ④教員間の情報交換を恒常的に行い、各学生の状況を正確に把握し、学生支援を充実する。
- ⑤教員養成を中心としたキャリア指導を体系的に進めるとともに、キャリア指導の意義と役割を理解させる。

2) 研究

- ①教育学における原理系と教科教育系の最新の研究を遂行するとともに、両者を横断する融合的研究領域を開拓する。
- ②教育における現在の諸問題を発掘し、そのメカニズムの解明と、打開の方策のための理論を構築し、教育現場との共同研究のもと問題の解決にあたる。

3) 社会貢献

- ①地域における教育資源の一つとしての大学の役割を自覚し、共同研究やボランティア活動などを通して教育現場へ貢献する。
- ②教育現場や教育関連施設等に、優れた人材を輩出し貢献する。

Ⅰ

教育
目標

Ⅱ

履修
一般

Ⅲ

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

Ⅳ

学籍・
学費

Ⅴ

キャンパス
ライフ

Ⅵ

進路・
就職支援

Ⅶ

大学の
取り組み

Ⅷ

規程

教育学科の教育方針

教育学科では、教育研究上の目的を達成するために、ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）を以下の通り定めます。

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

- ①子どもの内面を深く理解し、その成長に寄り添い、自立させていくことのできる能力を身につけている。
- ②教育学に関わる理論的知識と学習指導に関わる実践的知識を有し、教育現場での問題の解決に取り組むことができる。
- ③教育職の重要性を自覚し、学校教員として自律でき、範を垂れる人間性を有している。
- ④社会的な常識や幅広い年齢層の人たちとのコミュニケーション能力を有し、諸問題に忍耐強く取り組むことができる。
- ⑤教育現場をはじめチーム学校の一員として、他者と協働しながら業務を円滑に遂行することのできる能力を身につけている。
- ⑥教育学研究の基礎的方法論を会得し、学んだ知識を集大成して卒業論文にまとめる能力、また大学院進学希望者においては、より質の高い研究を遂行するための能力を身につけている。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

- ①社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する。
- ②教育学の理論的知識と実践的知識に関わる科目を系統的に配置し、免許状取得に必要な科目を体系的に履修することができるよう、カリキュラムを編成する。
- ③初等教育、中等教育、特別支援教育といった領域を設定し、教育現場での実践的な教員養成カリキュラムを編成する。
- ④教育現場が必要とする、教科指導力、生活指導力、コミュニケーション力を育成するための科目を設ける。
- ⑤主体的な学習により、論理的思考力、言語活用能力、問題発見解決能力、情報活用能力、外国語指導能力などグローバル社会で必要とされる能力を育成する科目を設ける。
- ⑥情報基盤社会で必須となる情報通信技術の技能の修得、および教育への活用法についての科目を設ける。
- ⑦教育学分野の論文作成能力育成のため、研究方法を学ぶ科目を設ける。
- ⑧理論的な学修を実践的に検証するため、教育現場教員、学生、大学教員の三者が協力して教育改善に取り組む科目を設ける。

教育学科の教育内容

オリジナルでユニークなプログラムを編成し、魅力あるカリキュラムになっています。

このカリキュラムでは将来の進路に応じて、次の4つの領域を設定しています。

初等教育	感性豊かな学級経営力と確実な教科指導力を身につけた小学校教諭を養成します
中等教育	感性豊かな学級経営力と各専門教科の高い指導力を身につけた中学校（社会・数学）・高校（数学）教諭を養成します
特別支援教育	障がいのある幼児・児童・生徒やその保護者を対象とする、専門的な知識と技能を備えた特別支援学校教諭を養成します。 ※幼・小・中・高、いずれかの教育職員免許状の取得が条件
教育学	教育を取り巻くさまざまな課題の考察を通してその本質を追究し、公務員や企業、研究者への道を拓きます。 ※社会教育主事・図書館司書・博物館学芸員等の資格取得も可能

1. 教員をめざすみなさんへ

現場で求められている教員像

- ①現場の課題に適切に対応できる教員。高度な実践力と協働性を持つ教員。
- ②得意分野を持ち、それを活かした指導を実践することができる個性豊かな教員。



～対応したプログラム～

- ・教育委員会との連携等にもとづく教育体験学習
- ・通学課程で中学校社会科、中・高等学校数学科、特別支援学校教諭の教育職員免許状が取得可能



本学の大きな特色である通信教育課程との併修により、上記以外の教育職員免許状も取得可能

今教育現場で求められている教員像には大きく2つあります。①現場の課題に適切に対応できる力量がある教員。つまり、高度な実践力と協働性を持つ教員。②得意分野を持つ個性豊かな教員。例えば、近年小学校でも、音楽や保健体育だけではなく、算数や理科等の教科担任制を導入する動きがありますし、特別支援を要する子どもたちへの対応ニーズの増大や英語の教科化など、教師に求められる資質・能力はより多様化、専門化しています。

教育学科のカリキュラムには、こうした教員像にマッチしたプログラムが備わっていることは言うまでもありません。例えば、①については教育委員会との連携等にもとづく教育体験学習プログラムを幅広く展開しています。②についても、通学課程で中学校社会科、中・高等学校数学科の教育職員免許状に加え、特別支援学校の教育職員免許状も取得可能です。また、本学の大きな特色である通信教育課程との併修により、中・高等学校の国語科や英語科などそれ以外の教育職員免許状を取得する道も用意されています。

Ⅰ

教育
目標

Ⅱ

履修
一般

Ⅲ

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

Ⅳ

学籍・
学費

Ⅴ

キャンパス
ライフ

Ⅵ

進路・
就職支援

Ⅶ

大学の
取り組み

Ⅷ

規程

2. 小学校教諭、中学校・高等学校教諭、特別支援学校教諭をめざすみなさんへ

教育学科への入学者の多くが教員採用試験に現役合格していくためにも、教育職員免許状を取得するために必要な科目を計画的に履修することはいうまでもありませんが、教育職インターンシップの履修、学校ボランティアへの参加、状況に応じて併修制度にも積極的に取り組み、教員としての能力を伸ばして卒業することが大切です。

教育学科では、今日の教育事情・動向をふまえ、社会的要請に応えるべく様々な教育職員免許状や諸資格が取得可能なプログラムを整備してきました。皆さんの多くは、小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭のいずれかを狙っているはずです。本学では、小学校教諭免許状、中学校教諭免許状「社会」、中学校教諭免許状「数学」、高等学校教諭免許状「数学」が取得可能です。また近年、教育現場ではASD（自閉スペクトラム症）・LD・ADHD等様々な障がいのある子どもたちへの支援の要請が高まっています。教育職員免許法が改正され、特別支援学校教諭養成プログラムが新たに策定されました。その内容は知的障がい・肢体不自由・病弱虚弱・視覚障がい・聴覚障がい等障がいの種類や程度に応じて細かく対応する技量を培うものとなっています。小学校あるいは中学校の教員免許を基礎としており、特別支援学校教諭免許状も取得可能です。

3. 教育学・生涯教育に関わる職をめざす皆さんへ

学校教育だけではなく図書館や博物館など生涯教育の分野において社会に貢献したいと考えている人もいるでしょう。従来から現代社会は「生涯学習の時代」と言われています。生涯学習は、生まれてから死ぬまで、学校も含めた様々な場で学ぶことができる、これからの高齢化時代にもまさしく適合する学びのスタイルです。こうした生涯学習のコーディネーターを目指して、「社会教育主事」の資格を取得することができます。また、生涯学習の基本的な場である図書館や博物館の専門職員をめざして、図書館司書や博物館学芸員の資格取得にもチャレンジしてみても良いでしょう。

※ 教育学部「初等教育」副免許取得プログラムについて

小学校教諭免許状と幼稚園教諭免許状の取得を希望する方を対象に「初等教育」副免許取得プログラムを用意しています。詳細は、B-netにて案内します。

4年間の学びの流れ

1年生

全学共通科目・全学教養科目で、建学の精神に基づく科目や人間力の基盤をなすリテラシーに関する科目、心に関する科目などを受講し、幅広い教養と基礎的な学力の獲得をめざします。アカデミックスキルを身に付ける「入門ゼミ」や「専門学修のための日本語表現」は必修で、4年間の学びの基礎をつくります。「入門ゼミ」では合宿研修を行い、教師になるための心構えや、教師にとって必要な同僚性の礎を築きます。また教育学の根幹をなす「教育原論」「教育心理学」「教育社会学」の科目が必修として設けられています。

2年生

本格的に専門科目の履修が始まります。「初等外国語教育法」「中等教科教育法数学」などの教科の教育法で教科・領域の指導法を学びます。また「教育学基礎演習」では少人数で特定の領域について深く学びます。さらに「特別な教育的ニーズの理解とその支援」「ICTの活用及び教育」「国際理解教育演習」をはじめ、現代的教育課題を学ぶ科目も複数設けられています。

3年生

教職につくための大切な現場での学び「教育実習」が始まります。その前後には「教育実習指導」が設けられており、事前、事後の指導を通して現場に直結した学びを深めます。2年生までの知識を活かしながら、実践的教育課題に多角的に対応できる力量の形成をめざします。また、4年生での卒業論文の作成に向け「教育学演習」では、文献の読み込みや研究発表を通じて研究力に磨きをかけます。

4年生

これまでに培った論理的思考力、課題発見能力、幅広い教養を基に、「卒業論文演習」では、教員に個別指導を受けながら卒業論文を仕上げます。その過程では、研究成果をまとめて発表するという経験を通じて、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を高めます。また教職につくための4年間の総括として、「教職実践演習」などが設けられています。

対象学部

仏教学部

文学部

歴史学部

教育学部

社会学部

社会福祉学部

Ⅰ

教育
目標

Ⅱ

履修
一般

Ⅲ

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴文

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

Ⅳ

学籍・
学費

Ⅴ

キャンパス
ライフ

Ⅵ

進路・
就職支援

Ⅶ

大学の
取り組み

Ⅷ

規程

第1～第4学年
までの履修科目
の柱。少人数の
徹底した指導

その他

小学校教諭、中学校教諭(社会科・数学科)、高等学校教諭(数学科)、特別支援学校教諭に加え、社会教育主事やレクリエーションインストラクター等の免許・資格に必要な科目も用意しています。

大学院修士課程(教育学研究科)を開設し、専修免許状の取得も可能です。さらに、博士後期課程も開設しています。

この他に教育学科のカリキュラムの特色としては以下のことが指摘できます。

- a) 実技教科は言うに及ばず、すべての教科教育の授業を少人数編成で行うことにより実践力の養成を目指します。
- b) 公立小学校と連携して、小学校に行き、現場の生きた実践から学びます。そして、それらの現場体験と大学での講義・演習を結びつけることにより、理論と実践とを相互作用的に積み上げていきます。

系列区分	卒業所要単位修得にかかる要件			卒業所要単位			
	必要科目等	必要単位	修得単位	小計	中計	大計	総計
全学共通科目	全学共通科目および全学教養科目より 30 単位						
	仏教				2 単位		
	■必修科目の 2 単位			2 単位	2 単位		
	・ブッタと法然			2 単位			
	自校教育				0 単位以上		
	□任意で選択の科目				0 単位以上		
	外国語				1 語種から 8 単位		
	■必修外国語科目の 1 語種 8 単位						
	・Intensive Reading 1			8 単位			小計を 満たし 8 単位 以上
	・Intensive Reading 2						
	・Integrated Communication Skills 1						
	・Integrated Communication Skills 2						
	・Integrated Communication Skills 3						
	・Integrated Communication Skills 4						
	・Intermediate Reading 1						
	・Intermediate Reading 2						
	・中国語 1			8 単位			
	・中国語 2						
	・中国語 3						
	・中国語 4						
	・中国語 5						
	・中国語 6						
	・中国語 7						
	・中国語 8						
	・朝鮮語 1			8 単位			
	・朝鮮語 2						
	・朝鮮語 3						
・朝鮮語 4							
・朝鮮語 5							
・朝鮮語 6							
・朝鮮語 7							
・朝鮮語 8							
□任意で選択の科目				0 単位以上			
日本語表現				2 単位			
■必修科目の 2 単位			2 単位	2 単位			
・専門学修のための日本語表現			2 単位				
情報処理				小計を満たし 2 単位以上			
■必修科目の 2 単位			2 単位	2 単位			
・コンピュータ・リテラシー			2 単位				
□任意で選択の科目				0 単位以上			
キャリア				0 単位以上			
□任意で選択の科目				0 単位以上			
スポーツ				0 単位以上			
□任意で選択の科目				0 単位以上			
日本事情				0 単位以上			
□任意で選択の科目				0 単位以上			
海外研修				0 単位以上			
□任意で選択の科目				0 単位以上			
大学コンソーシアム				0 単位以上			
□任意で選択の科目				0 単位以上			
全学教養科目	全学教養科目				小計を満たし 8 単位以上		
	■基礎領域より任意で選択			4 単位以上	4 単位以上		
	■応用領域より任意で選択			4 単位以上	4 単位以上		
専門科目	専門科目より 94 単位以上						
	学部基幹科目						
	■必修科目の 5 単位			5 単位			
	・教育原論			2 単位			5 単位
	・教育相談の理論及び方法			2 単位			
	・特別な教育的ニーズの理解とその支援			1 単位			
	学科基礎科目						
	■必修科目の 10 単位			10 単位			
	・入門ゼミ			2 単位			小計を 満たし 64 単位 以上
	・教育学基礎演習 1			2 単位			
	・教育学基礎演習 2			2 単位			
	・教育心理学			2 単位			
	・教育社会学			2 単位			
	■任意で選択の科目				10 単位以上		
	学科専攻科目						
	■必修科目の 14 単位			14 単位			
	・教育学演習 1			2 単位			14 単位
	・教育学演習 2			2 単位			
	・卒業論文演習 1			2 単位			
	・卒業論文演習 2			2 単位			
・卒業論文			6 単位				
■任意で選択の科目				16 単位以上			
関連科目							
□任意で選択の科目				0 単位以上			
0 単位以上							
小計・中計・大計を満たし 124 単位以上							

※自由科目は卒業所要単位に算入できません。

I
教育
目標

II
履修
一般

III
教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴文

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV
学籍・
学費

V
キャンパス
ライフ

VI
進路・
就職支援

VII
大学の
取り組み

VIII
規程

教育学科 履修科目表 (1/3)

系列区分		授 業 科 目	単位	必修・選択・自由別			履修開始 セメスター	GPA 対象	備 考		
	幹学 部基 礎科 目	教育原論	2	必			1		必修科目3科目5単位を履修すること。		
		教育相談の理論及び方法	2	必			3				
		特別な教育的ニーズの理解とその支援	1	必			3				
専 門 科 学 目 的 攻 撃 科 目	学 科 基 礎 科 目	入門ゼミ	2	必			1		必修科目5科目10単位および選択科目のうち5科目10単位以上、合計10科目20単位以上を履修すること。		
			教育学基礎演習 1	2	必			3			
			教育学基礎演習 2	2	必			4			
			教育心理学	2	必			1			
			教育心理学 2	2		選		2			
			教育社会学	2	必			1			
			教育社会学 2	2		選		2			
			教育哲学	2		選		2			
			教育史	2		選		1			
			教育人間学	2		選		3			
			教育行政学	2		選		1			
			教育行政学 2	2		選		2			
			臨床教育学	2		選		3			
			学校経営論	2		選		3			
			学級経営論	2		選		3			
			発達心理学	2		選		3			
			比較教育学	2		選		3			
			教育法規	2		選		3			
			教育評価論	2		選		3			
			学校教育職入門	2		選		1			
			特別支援教育総論	2		選		3			
			学 科 目 的 攻 撃 科 目	教育学演習 1	2	必			5		必修科目5科目14単位を含み30単位以上を履修すること。
				教育学演習 2	2	必			6		
				卒業論文演習 1	2	必			7		
				卒業論文演習 2	2	必			8		
				卒業論文	6	必			8		
				人権（同和）教育	2		選		3		
				ICT の活用及び教育	2		選		3		
				学校教育課程論	2		選		3		
				教育方法論（ICT 活用含む）	2		選		3		
				教育方法論（ICT 活用含む） 2	2		選		4		
				生徒指導・進路指導の理論及び方法	2		選		2		
				特別活動の指導法	2		選		3		
				道徳の理論及び指導法	2		選		3		
			総合的な学習の時間の指導法	2		選		3			
			国際理解教育演習	2		選		3			
			初等教育内容国語	2		選		1			
			初等教育内容社会	2		選		1			
			初等教育内容算数	2		選		1			
		初等教育内容理科	2		選		1				
		初等教育内容生活	2		選		1				
		初等教育内容音楽	2		選		1				
	初等教育内容図画工作	2		選		1					
	初等教育内容家庭	2		選		1					
	初等教育内容体育	2		選		1					
	初等教育内容外国語	2		選		1					
	初等国語教育法	2		選		3					
	初等社会教育法	2		選		3					
	初等算数教育法	2		選		3					
	初等理科教育法	2		選		3					
	初等生活教育法	2		選		3					
	初等音楽教育法	2		選		3					
	初等図画工作教育法	2		選		3					
	初等家庭教育法	2		選		3					
	初等体育教育法	2		選		3					
	初等外国語教育法	2		選		3					
	中等教科教育法社会 1	2		選		3					
	中等教科教育法社会 2	2		選		4					
	中等教科教育法社会 3	2		選		3					
	中等教科教育法社会 4	2		選		4					
	中等教科教育法数学 1	2		選		3					
	中等教科教育法数学 2	2		選		4					

教育学科 履修科目表 (2/3)

系列区分	授 業 科 目	単位	必修・選択・自由別 必修選択自由	履修開始 セメスター	GPA 対象	備 考
専 門 科 目	中等教科教育法数学 3	2	選	3		
	中等教科教育法数学 4	2	選	4		
	日本史概論	2	選	1		
	日本史特論	2	選	2		
	東洋史概論	2	選	1		
	西洋史概論	2	選	1		
	法律学概論 1	2	選	1		
	法律学概論 2	2	選	2		
	国際政治学	2	選	1		
	社会学概論	2	選	1		
	経済学概論	2	選	1		
	哲学概論	2	選	2		
	宗教学概論	2	選	1		
	倫理学概論	2	選	1		
	代数学概論 1	2	選	1		
	代数学概論 2	2	選	2		
	代数学特論 1	2	選	3		
	代数学特論 2	2	選	4		
	代数学演習	2	選	3		
	幾何学概論 1	2	選	1		
	幾何学概論 2	2	選	2		
	幾何学特論 1	2	選	3		
	幾何学特論 2	2	選	4		
	幾何学演習	2	選	3		
	解析学概論 1	2	選	1		
	解析学概論 2	2	選	2		
	解析学特論 1	2	選	3		
	解析学特論 2	2	選	4		
	解析学演習	2	選	3		
	確率論 1	2	選	1		
	確率論 2	2	選	2		
	基礎統計学 1	2	選	3		
	基礎統計学 2	2	選	4		
	確率論演習	2	選	3		
	基礎統計学演習	2	選	5		
	プログラミング 1	2	選	3		
	プログラミング 2	2	選	3		
	データ解析演習	2	選	4		
	数学特別演習	2	選	5		
	特別支援教育基礎理論	2	選	3		
	特別支援教育基礎理論 2	2	選	3		
	知的障害児の心理	2	選	3		
	知的障害児の生理・病理	2	選	3		
	肢体不自由児の心理・生理・病理	2	選	3		
	病弱虚弱児の心理・生理・病理	2	選	3		
	知的障害教育 I	2	選	3		
	知的障害教育 II	2	選	3		
	肢体不自由児の指導法	2	選	3		
	病弱虚弱児の指導法	2	選	3		
	視覚障害教育総論	2	選	3		
	聴覚障害教育総論	2	選	3		
	重複障害・発達障害児の指導法	2	選	3		
	教育原論 2	2	選	2		
関 連 科 目	現場体験実習 1	1	選	1	×	
	現場体験実習 2	1	選	2	×	
	現場体験実習 3	1	選	3	×	
	現場体験実習 4	1	選	4	×	
	教職実践演習 (教諭)	2	選	8		
	教育職インターンシップ 1	2	選	3		
	教育職インターンシップ 2	2	選	5		
	教育職インターンシップ・イクステンション 1	2	選	4		
	教育職インターンシップ・イクステンション 2	2	選	6		
	臨床心理学	2	選	3		
目	ピアノ指導 1	1	選	1		
	ピアノ指導 2	1	選	2		

- I 教育目標
- II 履修一般
- III 教育課程
- 全学
- 仏教
- 日文
- 中国
- 英米
- 歴史
- 歴史文
- 教育
- 幼教
- 臨床
- 現社
- 公共
- 社福
- その他
- IV 学籍・学費
- V キャンパスライフ
- VI 進路・就職支援
- VII 大学の取り組み
- VIII 規程

教育学科 履修科目表 (3/3)

系列区分	授業科目	単位	必修・選択・自由別 必修選択自由	履修開始 セメスター	GPA 対象	備考
専 門 科 目	ピアノ指導3	1	選	3		
	ピアノ指導4	1	選	4		
	生涯学習概論	2	選	2		
	生涯学習概論2	2	選	3		
	社会教育演習	2	選	5		
	社会教育課題研究	2	選	3		
	社会教育特殊講義	2	選	3		
	男女共同参画論	2	選	3		
	NPO 法人マネジメント論	2	選	3		
	図書館概論	2	選	3		
	博物館学 I	2	選	3		
	図書館情報技術論	2	選	3		
	図書館制度・経営論	2	選	3		
	図書館サービス概論	2	選	3		
	情報サービス論	2	選	3		
	児童サービス論	2	選	3		
	情報サービス演習 1	2	選	5		
	情報サービス演習 2	2	選	5		
	図書館情報資源概論	2	選	3		
	情報資源組織論	2	選	3		
	情報資源組織演習 1	2	選	5		
	情報資源組織演習 2	2	選	5		
	図書・図書館史	2	選	3		
	図書館情報資源特論	2	選	3		
	図書館サービス特論	2	選	3		
	図書館総合演習	2	選	5		
	図書館基礎特論	1	選	7		
	学校経営と学校図書館	2	選	3		
	学校図書館メディアの構成	2	選	3		
	学習指導と学校図書館	2	選	3		
	読書と豊かな人間性	2	選	3		
	情報メディアの活用	2	選	3		
	レクリエーション実技	1	選	3		
	レクリエーション指導実習	1	選	3	×	
	レクリエーション概論	2	選	3		
	宗教教育論	2	選	3		
	視聴覚教育メディア論	2	選	3		
	仏教音楽教育論	2	選	1		
	教育実習（幼・小）1	2	自	5	×	
	教育実習（幼・小）2	2	自	5	×	
	教育実習指導（幼・小）	1	自	5	×	
	教育実習（小・中）1	2	自	5	×	
	教育実習（小・中）2	2	自	5	×	
	教育実習指導（小・中）	1	自	5	×	
	教育実習（中・高）1	2	自	6	×	
	教育実習（中・高）2	2	自	6	×	
	教育実習指導（中・高）	1	自	5	×	
	教育実習（特支）	2	自	6	×	
	教育実習指導（特支）	1	自	5	×	
	社会教育実習	1	自	5	×	
	図書館実習	1	自	7	×	
	介護等体験指導	1	自	3	×	
	介護等体験	1	自	4	×	

I
教育
目標II
履修
一般III
教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV
学籍・
学費V
キャンパス
ライフVI
進路・
就職支援VII
大学の
取り組みVIII
規程

教育学科 提出までの手続き

履修登録

第4学年第8セメスターにおいて「卒業論文」の履修登録が必要です。

卒業論文題目 登録

題目登録の手続きについては、指導教員から「論文題目登録届」提出の指示を受け、所定の方法で「題目登録」手続きを行う必要があります。

提出日については、指導状況および指導教員により異なります。よって、学年暦掲載期限よりも早くなるので、期限については指導教員に確認することが必要です。

卒業論文 提出

【書 式】

学科	文字方向	手書き	ワープロ使用時の用紙書式		
教育学科	横書き	不可	A4判縦 (左綴じ)	17枚程度	1200字(40字×30行)/1枚 文字:10.5ポイント 余白(mm):上30・下30・左30・右30 外字手書き可
	縦書き	不可	A4判横 (上綴じ)	17枚程度	1200字(40字×30行)/1枚 文字:10.5ポイント 余白(mm):上30・下30・左30・右30 外字手書き可

・原則として黒インクを使用し、ページ数を必ず記入

【指定表紙】・コクヨ・フラットファイル(フ-V10M) ※グレー色

【作成】・正本と副本の2部作成が必要です。

〈正本〉 1. 指導教員の提出許可を受けたら、「論文提出票」に捺印を受ける。
2. 清書した論文を指定表紙にてとし込み、表紙に「論文提出票」を貼付する。

〈副本〉 1. 清書した論文の複写を正本と同様にとし込む。
2. 清書に貼付した「論文提出票」の記載事項に準じて表紙に、年度・学期・開講科目名(卒業論文)、論文題目、学籍番号、氏名等を記入する。

【提出】・正本は、「受理票」を添えて期限(学年暦参照)までに学生支援課へ提出してください。

・副本は、指導教員へ直接提出してください。

卒業論文 口頭試問

口頭試問は、提出された論文に対して主査(指導教員)および副査の教員で行う口述試験(30分程度)です。したがって口頭試問に不合格の場合、または口頭試問を欠席した場合は、卒業論文の単位を修得することができません。

・実施日時および会場は、3月卒業の場合1月下旬、9月卒業の場合8月上旬にB-netにてお知らせします。なお、日時の変更はできません。

・正本は卒業式当日に返却します。

Ⅰ

教育
目標

Ⅱ

履修
一般

Ⅲ

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

Ⅳ

学籍・
学費

Ⅴ

キャンパス
ライフ

Ⅵ

進路・
就職支援

Ⅶ

大学の
取り組み

Ⅷ

規程

教育学部 幼児教育学科

幼児教育学科の教育研究上の目的

幼児教育学科では、使命と目的に基づいて、以下のように具体的な教育研究上の目的を設定しています。

人材養成の目的

- ①保育者養成課程を柱として、幼児教育・保育現場における乳幼児の基本的な生活習慣の確立、領域に係る指導力、幅広い年齢層の人たちとのコミュニケーション力を有する人材を養成する。
- ②個々の子どもの状況に応じて、必要な資質・能力を高める指導が可能な人材を養成する。
- ③子どもの感情や思考を深く理解し、あらゆる幼児教育・保育の場面で冷静に判断・対応することができる人材を養成する。
- ④幼稚園・保育園・認定こども園、家庭、地域社会間の連携を深め、組織内での自身の役割の自覚と、組織全体の問題解決能力の向上に貢献することのできる人材を養成する。

その他の教育研究上の目的

1) 教育

- ①幼児教育学・保育学に関わる理論知識と幼児教育・保育に関わる実践的知識を両輪とした、体系的な幼児教育・保育の機会を提供する。
- ②各講義を通して、幼児教育・保育現場で適切に保育ができる能力を養う。
- ③在学時から幼児教育・保育現場での実習の場を提供し、諸問題に対して適切に理解・判断・対応する力を養う。
- ④教員間の情報交換を恒常的に行い、各学生の状況を正確に把握し、学生支援を充実する。
- ⑤保育者養成を中心としたキャリア指導を体系的に進めるとともに、キャリア指導の意義と役割を理解させる。

2) 研究

- ①幼児教育学・保育学における最新の研究を遂行するとともに、本学が有する諸学との融合的研究領域を開拓する。
- ②幼児教育・保育における現代的諸問題を発掘し、そのメカニズムの解明と、打開の方策のための理論を構築し、幼児教育・保育現場との共同研究のもと問題の解決にあたる。

3) 社会貢献

- ①地域における教育資源の一つとしての大学の役割を自覚し、共同研究やボランティア活動などを通して幼児教育・保育現場へ貢献する。
- ②幼児教育・保育現場や教育関連施設等に、優れた人材を輩出し貢献する。

幼児教育学科の教育方針

幼児教育学科では、教育研究上の目的を達成するために、ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）を以下の通り定めます。

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

- ①子どもの内面を深く理解し、その成長に寄り添い、自立させていくことのできる能力を身につけている。
- ②幼児教育学・保育学に関わる理論的知識と保育に関わる実践的知識を有し、幼児教育・保育現場での問題の解決に取り組むことができる。
- ③保育職の重要性を自覚し、保育者として自律でき、範を垂れる人間性を有している。
- ④社会的な常識や幅広い年齢層の人たちとのコミュニケーション能力を有し、諸問題に忍耐強く取り組むことができる。
- ⑤幼児教育・保育現場をはじめ幼稚園・保育園・認定こども園の一員として、他者と協働しながら業務を円滑に遂行することのできる能力を身につけている。
- ⑥幼児教育学・保育学研究の基礎的方法論を会得し、学んだ知識を集大成して卒業論文にまとめる能力、また大学院進学希望者においては、より質の高い研究を遂行するための能力を身につけている。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

- ①社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する。
- ②幼児教育学・保育学の理論的知識と実践的知識に関わる科目を系統的に配置し、免許状・資格取得に必要な科目を体系的に履修することができるよう、カリキュラムを編成する。
- ③幼児教育・保育現場での実践的な保育者養成カリキュラムを編成する。
- ④幼児教育・保育現場が必要とする、保育力、保育技術、コミュニケーション力を育成するための科目を設ける。
- ⑤主体的な学習により、論理的思考力、言語活用能力、問題発見解決能力、情報活用能力、外国語指導能力などグローバル社会で必要とされる能力を育成する科目を設ける。
- ⑥情報基盤社会で必須となる情報通信技術の技能の修得、および教育への活用法についての科目を設ける。
- ⑦幼児教育学・保育学分野の論文作成能力育成のため、研究方法を学ぶ科目を設ける。
- ⑧理論的な学修を実践的に検証するため、幼児教育・保育現場の保育者、学生、大学教員の三者が協力して教育改善に取り組む科目を設ける。

Ⅰ

教育
目標

Ⅱ

履修
一般

Ⅲ

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴文

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

Ⅳ

学籍・
学費

Ⅴ

キャンパス
ライフ

Ⅵ

進路・
就職支援

Ⅶ

大学の
取り組み

Ⅷ

規程

幼児教育学科の教育内容

理論知と実践知を融合した幼児教育・保育現場に有用な教育内容を構成し、将来を見据えた魅力あるカリキュラムを編成しています。

このカリキュラムを、卒業後の進路に即して説明しましょう。

保育者（幼稚園教諭・保育士）をめざすみなさんへ

現場で求められている保育者像

どちらに就職するにしても幼稚園教諭免許状と保育士資格の両方をもっていることが求められる。また自治体によっては、幼稚園教諭の募集要件として、小学校教諭免許状をもっていることを求められることもある。



～対応したプログラム～

- ・幼稚園教諭免許状【一種】と保育士資格の両方を取得。
- ・幼稚園教諭免許状【一種】と小学校教諭免許状【一種】の両方を取得。
- ・4年制大学であるメリットを生かした、確かな人間観（子ども観）と教育観（保育観）の提供と豊かな教育・保育実習経験・ていねいな指導。

保育の世界では、現在、こども園の増加に象徴されるように、幼稚園と保育所のあいだの垣根がますます低くなってきています。実際、どちらに就職するにしても、幼稚園教諭免許状と保育士資格の両方をもっていることが求められる時代になっているのです。また、幼小連携などの観点から、幼稚園教諭の採用試験受験資格において、小学校教諭免許状を取得していることを条件とする自治体もあります。幼児教育学科では、それらの動向に対応できるよう教育学部「初等教育」副免取得プログラム^{※1}が用意されています。一種免許状を取得できる4年制大学のメリットを生かして、単なる保育技術の所有者ではなく、確かな人間観（子ども観）と教育観（保育観）に裏打ちされた大きな構想力・発想力を備えた保育者、現場での保育経験を通して、子どもと共にみずからも育っていくような保育者の育成をめざしています。

※1 教育学部「初等教育」副免取得プログラムについて

小学校教諭免許状と幼稚園教諭免許状の取得を希望する方を対象に「初等教育」副免取得プログラムを用意しています。詳細は、B-netにて案内します。

4年間の学びの流れ

1年生

全学共通科目・全学教養科目で、建学の精神に基づく科目や人間力の基盤をなすリテラシーに関する科目、心に関する科目などを受講し、幅広い教養と基礎的な学力の獲得をめざします。アカデミックスキルを身につける「入門ゼミ」や「専門学修のための日本語表現」は必修で、4年間の学びの基礎をつくります。「入門ゼミ」では、保育現場に出向き、保育者になるための心構えや、保育者にとって必要な同僚性の礎を築きます。また幼児教育・保育学の根幹をなす「教育原論」「教育心理学」「教師・保育者論」の科目が必修として設けられています。

2年生

本格的に専門科目の履修が始まります。「子どもの保健」「保育内容の理論と方法」などで保育内容・領域の指導法を学びます。「社会福祉援助技術論1」「子ども家庭支援の心理学」といった福祉系科目を学ぶことにより、教育系と福祉系を横断する融合的な視点から子どもの健全な発達を捉え、親子関係や家族関係に関する現代的課題解決のための基礎知識の習得をめざします。また、「特別な教育ニーズの理解とその支援」「ICTの活用及び教育」「国際理解教育演習」をはじめ、現代的な教育課題を学ぶ科目も複数設けられています。

3年生

保育職につくための大切な現場での学び「教育実習」「保育実習」が始まります。その前後には「教育実習指導」「保育実習指導」が設けられており、事前、事後の指導を通して現場に直結した学びを深めます。2年生までの知識を活かしながら、実践的保育課題に多角的に対応できる力量の形成をめざします。また、4年生での卒業論文の作成に向け「教育学演習」では、文献の読み込みや研究発表を通じて研究力に磨きをかけます。

4年生

これまで培った論理的思考力、課題発見能力、幅広い教養を基に、「卒業論文演習」では、教員に個別指導を受けながら卒業論文を仕上げます。その過程では、研究成果をまとめて発表するという経験を通じて、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を高めます。また保育職につくための4年間の総括として、「教職実践演習」「保育実践演習」などが設けられています。

系列区分	卒業所要単位修得にかかる要件			卒業所要単位			
	必要科目等	必要単位	修得単位	小計	中計	大計	総計
全学共通科目	全学共通科目および全学教養科目より 30 単位						
	仏教						
	■必修科目の 2 単位			2 単位	2 単位	2 単位	
	・ブツと法然	2 単位					
	自校教育				0 単位以上	0 単位以上	
	□任意で選択の科目			0 単位以上			
	外国語						
	■必修外国語科目の 1 語種 8 単位						
	・Intensive Reading 1						
	・Intensive Reading 2						
	・Integrated Communication Skills 1						
	・Integrated Communication Skills 2						
	・Integrated Communication Skills 3						
	・Integrated Communication Skills 4						
	・Intermediate Reading 1						
	・Intermediate Reading 2						
	・中国語 1						
	・中国語 2						
	・中国語 3						
	・中国語 4						
	・中国語 5						
	・中国語 6						
	・中国語 7						
	・中国語 8						
	・朝鮮語 1						
	・朝鮮語 2						
	・朝鮮語 3						
	・朝鮮語 4						
	・朝鮮語 5						
	・朝鮮語 6						
	・朝鮮語 7						
	・朝鮮語 8						
	□任意で選択の科目			0 単位以上			
	日本語表現						
	■必修科目の 2 単位			2 単位	2 単位	2 単位	
	・専門学修のための日本語表現	2 単位					
	情報処理						
	■必修科目の 2 単位			2 単位	2 単位	2 単位	
	・コンピュータ・リテラシー	2 単位					
	□任意で選択の科目			0 単位以上			
	キャリア						
	□任意で選択の科目			0 単位以上			
	スポーツ						
	□任意で選択の科目			0 単位以上			
	日本事情						
	□任意で選択の科目			0 単位以上			
	海外研修						
	□任意で選択の科目			0 単位以上			
	大学コンソーシアム						
	□任意で選択の科目			0 単位以上			
全学教養科目	全学教養科目						
	■基礎領域より任意で選択			4 単位以上	4 単位以上	4 単位以上	
	■応用領域より任意で選択			4 単位以上	4 単位以上	4 単位以上	
専門科目	専門科目より 94 単位以上						
	学部基幹科目						
	■必修科目の 5 単位			5 単位			
	・教育原論	2 単位					
	・教育相談の理論及び方法	2 単位					
	・特別な教育的ニーズの理解とその支援	1 単位					
	学科基礎科目						
	■必修科目の 16 単位			16 単位			
	・入門ゼミ	2 単位					
	・教育学基礎演習 1	2 単位					
	・教育学基礎演習 2	2 単位					
	・教育心理学	2 単位					
	・教育社会学	2 単位					
	・教師・保育者論	2 単位					
	・幼児教育・保育課程論	2 単位					
	・幼児理解及び保育相談	2 単位					
	■任意で選択の科目			4 単位以上			
	学科専攻科目						
	■必修科目の 28 単位			28 単位			
	・教育学演習 1	2 単位					
	・教育学演習 2	2 単位					
	・卒業論文演習 1	2 単位					
	・卒業論文演習 2	2 単位					
	・卒業論文	6 単位					
	・保育の内容及び方法	2 単位					
	・保育内容の理論と方法「健康」	2 単位					
	・保育内容の理論と方法「人間関係」	2 単位					
	・保育内容の理論と方法「環境」	2 単位					
	・保育内容の理論と方法「言葉」	2 単位					
	・保育内容の理論と方法「造形表現」	2 単位					
	・保育内容の理論と方法「音楽表現」	2 単位					
	■選択科目から 10 単位			10 単位以上			
	・幼児と健康	2 単位					
	・幼児と人間関係	2 単位					
	・幼児と環境	2 単位					
	・幼児と言葉	2 単位					
	・幼児と表現（造形）	2 単位					
	・幼児と表現（音楽）	2 単位					
	・幼児と表現（身体）	2 単位					
	■任意で選択の科目			0 単位以上			
	関連科目						
	□任意で選択の科目			0 単位以上			

※自由科目は卒業所要単位に算入できません。

幼児教育学科 履修科目表 (1/2)

系列区分	授 業 科 目	単位	必修・選択・自由別 必修 選択 自由	履修開始 セメスター	GPA 対象	備 考
専 門 科 目	幹学 科目基	教育原論	2 必		1	必修科目3科目5単位を履修すること。
		教育相談の理論及び方法	2 必		3	
		特別な教育的ニーズの理解とその支援	1 必		3	
	学 科 基 礎 科 目	入門ゼミ	2 必		1	必修科目8科目16単位および選択科目のうち2科目4単位以上、合計10科目20単位以上を履修すること。
		教育学基礎演習 1	2 必		3	
		教育学基礎演習 2	2 必		4	
		教育心理学	2 必		1	
		教育心理学 2	2 選		2	
		教育社会学	2 必		1	
		教育社会学 2	2 選		2	
		教師・保育者論	2 必		2	
		幼児教育・保育課程論	2 必		2	
		幼児理解及び保育相談	2 必		3	
		保育原理	2 選		1	
		教育哲学	2 選		2	
		教育史	2 選		1	
		教育人間学	2 選		3	
		教育行政学	2 選		1	
		教育行政学 2	2 選		2	
		臨床教育学	2 選		3	
		学校経営論	2 選		3	
		学級経営論	2 選		3	
		発達心理学	2 選		3	
		比較教育学	2 選		3	
		教育法規	2 選		3	
		教育評価論	2 選		3	
		障害教育総論	2 選		3	
		教育学演習 1	2 必		5	必修科目12科目28単位および○印科目のうち5科目10単位を含み38単位以上を履修すること。
		教育学演習 2	2 必		6	
		卒業論文演習 1	2 必		7	
		卒業論文演習 2	2 必		8	
		卒業論文	6 必		8	
		保育の内容及び方法	2 必		3	
		○ 幼児と健康	2 選		1	
		○ 幼児と人間関係	2 選		1	
		○ 幼児と環境	2 選		1	
		○ 幼児と言葉	2 選		1	
		○ 幼児と表現 (造形)	2 選		1	
		○ 幼児と表現 (音楽)	2 選		1	
		○ 幼児と表現 (身体)	2 選		1	
		保育内容の理論と方法「健康」	2 必		3	
		保育内容の理論と方法「人間関係」	2 必		3	
		保育内容の理論と方法「環境」	2 必		3	
		保育内容の理論と方法「言葉」	2 必		3	
		保育内容の理論と方法「造形表現」	2 必		3	
		保育内容の理論と方法「音楽表現」	2 必		3	
		保育内容の理論と方法「身体表現」	2 選		3	
		人権(同和)教育	2 選		3	
		ICT の活用及び教育	2 選		3	
	学 科 攻 撃 目	国際理解教育演習	2 選		3	
		子ども家庭福祉	2 選		2	
		社会福祉援助技術論 1	2 選		3	
		子ども家庭支援論	2 選		5	
		社会的養護 1	2 選		3	
		子ども家庭支援の心理学	2 選		3	
		子どもの保健	2 選		3	
		子どもの食と栄養	2 選		5	
		乳児保育 1	2 選		3	
		乳児保育 2	1 選		5	
		子どもの健康と安全	1 選		5	
		障害児保育	2 選		3	
		社会的養護 2	1 選		5	
		子育て支援	1 選		3	
		保育実習 1 A	2 選		6	×
		保育実習 1 B	2 選		6	×

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

幼児教育学科 履修科目表 (2/2)

系列区分	授 業 科 目	単位	必修・選択・自由別			履修開始 セメスター	GPA 対象	備 考
			必修	選択	自由			
I 教育 目標 II 履修 一般 III 教育 課程 全学 仏教 日文 中国 英米 歴史 歴史文 教育 幼教 臨床 現社 公共 社福 その他 IV 学籍・ 学費 V キャンパス ライフ VI 進路・ 就職支援 VII 大学の 取り組み VIII 規程	専 門 科 目	保育実習指導 1 (事前)	1	選		5		
		保育実習指導 1 (事後)	1	選		6		
		保育実践演習	2	選		8		
		ピアノ指導 1	1	選		1		
		ピアノ指導 2	1	選		2		
		ピアノ指導 3	1	選		3		
		ピアノ指導 4	1	選		4		
		保育実習 2	2	選		7	×	
		保育実習指導 2	1	選		7		
		保育実習 3	2	選		7	×	
		保育実習指導 3	1	選		7		
		教育原論 2	2	選		2		
	関 連 科 目	教育実習 (幼・小) 1	2	選		5	×	
		教育実習 (幼・小) 2	2	選		5	×	
		教育実習指導 (幼・小)	1	選		5	×	
		教職実践演習 (教諭)	2	選		8		
		保育・教職実践演習 (教諭)	2	選		8		
		現場体験実習 1	1	選		1	×	
		現場体験実習 2	1	選		2	×	
		現場体験実習 3	1	選		3	×	
		現場体験実習 4	1	選		4	×	
		教育職インターンシップ 1	2	選		3		
		教育職インターンシップ 2	2	選		5		
		教育職インターンシップ・イクステンション 1	2	選		4		
		教育職インターンシップ・イクステンション 2	2	選		6		
		レクリエーション実技	1	選		3		
		レクリエーション指導実習	1	選		3	×	
		レクリエーション概論	2	選		3		
		宗教教育論	2	選		3		
		視聴覚教育メディア論	2	選		3		
		仏教音楽教育論	2	選		1		

幼児教育学科 提出までの手続き

履修登録

第4学年第8セメスターにおいて「卒業論文」の履修登録が必要です。

卒業論文題目 登録

題目登録の手続きについては、指導教員から「論文題目登録届」提出の指示を受け、所定の方法で「題目登録」手続きを行う必要があります。

提出日については、指導状況および指導教員により異なります。よって、学年暦掲載期限よりも早くなるので、期限については指導教員に確認することが必要です。

卒業論文 提出

【書 式】

学科	文字方向	手書き	ワープロ使用時の用紙書式		
幼児教育 学科	横書き	不可	A4判縦 (左綴じ)	17枚程度	1200字(40字×30行)/1枚 文字:10.5ポイント 余白(mm):上30・下30・左30・右30 外字手書き可
	縦書き	不可	A4判横 (上綴じ)	17枚程度	1200字(40字×30行)/1枚 文字:10.5ポイント 余白(mm):上30・下30・左30・右30 外字手書き可

・原則として黒インクを使用し、ページ数を必ず記入

【指定表紙】・コクヨ・フラットファイル(フ-V10M) ※グレー色

【作 成】・正本と副本の2部作成が必要です。

- 〈正 本〉 1. 指導教員の提出許可を受けたら、「論文提出票」に捺印を受ける。
2. 清書した論文を指定表紙にてとし込み、表紙に「論文提出票」を貼付する。
- 〈副 本〉 1. 清書した論文の複写を正本と同様にとし込む。
2. 清書に貼付した「論文提出票」の記載事項に準じて表紙に、年度・学期・開講科目名(卒業論文)、論文題目、学籍番号、氏名等を記入する。

【提 出】・正本は、「受理票」を添えて期限(学年暦参照)までに学生支援課へ提出してください。

・副本は、指導教員へ直接提出してください。

卒業論文 口頭試問

口頭試問は、提出された論文に対して主査(指導教員)および副査の教員で行う口述試験(30分程度)です。したがって口頭試問に不合格の場合、または口頭試問を欠席した場合は、卒業論文の単位を修得することができません。

・実施日時および会場は、3月卒業の場合1月下旬、9月卒業の場合8月上旬にB-netにてお知らせします。なお、日時の変更はできません。

・正本は卒業式当日に返却します。

Ⅰ

教育
目標

Ⅱ

履修
一般

Ⅲ

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

Ⅳ

学籍・
学費

Ⅴ

キャンパス
ライフ

Ⅵ

進路・
就職支援

Ⅶ

大学の
取り組み

Ⅷ

規程

教育学部 臨床心理学科

臨床心理学科の教育研究上の目的

臨床心理学科では、使命と目的に基づいて、以下のように具体的な教育研究上の目的を設定しています。

人材養成の目的

- ①人間の成長可能性を信じ、豊かな人間性、確固たる倫理観、心の一般原理としての基礎心理学の知識、個々の人間に寄り添う臨床心理学の知識・技能を身につけた人材を養成する。
- ②基礎心理学・臨床心理学の知識・技能に基づき、教育・医療・福祉・司法矯正・行政・企業など、それぞれの分野での心に関わる諸問題の解決・支援に貢献できる人材を養成する。
- ③社会人として必要な教養や知識・技能を身につけた人材を養成する。
- ④基礎心理学・臨床心理学の知識・技能に基づき、謙虚に自己をみつめ自己を理解する力、周囲の環境や他者を理解する力、根拠に基づいた情報を発信する力を有する人材を養成する。
- ⑤基礎心理学・臨床心理学の知識・技能を修得し、自ら問題を発見し、他者と協働してその解決に積極的に取り組み、解決策を提示できる人材を養成する。

その他の教育研究上の目的

1) 教育

- ①人材養成の目的に基づいた教育課程を提供する。
- ②基礎心理学・臨床心理学の知識・技能を活用することができるキャリア形成支援を推進する。

2) 研究

- ①基礎心理学・臨床心理学における最新の研究を遂行する。
- ②基礎心理学・臨床心理学における研究成果を積極的に教育へ還元する。

3) 社会貢献

- ①基礎心理学・臨床心理学に関わる実践や実習、ボランティアを通じて地域社会に貢献する。
- ②基礎心理学・臨床心理学の研究成果を積極的に社会に還元し貢献する。
- ③教育・医療・福祉・司法矯正・行政・企業などさまざまな領域に基礎心理学・臨床心理学の知識・技能を有する優れた人材を輩出し社会に貢献する。

臨床心理学科の教育方針

臨床心理学科では、教育研究上の目的を達成するために、ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）を以下の通り定めます。

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

- ①人間の成長可能性を信じ、豊かな人間性、確固たる倫理観、心の一般原理としての基礎心理学の知識、個々の人間に寄り添う臨床心理学の知識・技能を身につけている。
- ②基礎心理学・臨床心理学の知識・技能に基づき、教育・医療・福祉・司法矯正・行政・企業など、それぞれの分野での心に関わる諸問題の解決・支援に貢献できる力を有している。
- ③社会人として必要な教養や知識・技能を身につけている。
- ④基礎心理学・臨床心理学の知識・技能に基づき、謙虚に自己をみつめ自己を理解する力、周囲の環境や他者を理解する力、根拠に基づいた情報を発信する力を有している。
- ⑤基礎心理学・臨床心理学の知識・技能を修得し、自ら問題を発見し、他者と協働してその解決に積極的に取り組み、解決策を提示できる力を有している。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

- ①人間の成長可能性を信じ、豊かな人間性、確固たる倫理観、心の一般原理としての基礎心理学の知識、個々の人間に寄り添う臨床心理学の知識・技能を身につけるための科目を提供する。
- ②基礎心理学・臨床心理学の知識・技能に基づき、教育・医療・福祉・司法矯正・行政・企業など、それぞれの分野での心に関わる諸問題の解決・支援に貢献できる力を涵養するための科目を提供する。
- ③社会人として必要な教養や知識・技能を身につけるための全学共通科目群と全学教養科目群を提供する。
- ④基礎心理学・臨床心理学の知識・技能に基づき、謙虚に自己をみつめ自己を理解する力、周囲の環境や他者を理解する力、根拠に基づいた情報を発信する力を涵養する科目を提供する。
- ⑤基礎心理学・臨床心理学の知識・技能を修得し、自ら問題を発見し、他者と協働してその解決に積極的に取り組み、解決策を提示できる力を涵養するための科目を提供する。

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

Ⅰ

教育
目標

Ⅱ

履修
一般

Ⅲ

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴文

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

Ⅳ

学籍・
学費

Ⅴ

キャンパス
ライフ

Ⅵ

進路・
就職支援

Ⅶ

大学の
取り組み

Ⅷ

規程

臨床心理学科の教育内容

1年生

全学共通科目の必修科目（仏教、外国語、リテラシー）に加え、専門科目への準備として、全学教養科目「心の世界を考える」等の履修をします。1年生の専門科目では、心理学をはじめて学ぶ学生に必要な4つの基礎を習得します。つまり心理学の基礎「心理学概論」「心理学史」「基礎心理学」・臨床心理学の基礎「臨床心理学史」「臨床心理学概論」・臨床心理学研究法の基礎「心理学統計法」「心理学研究法」・心理臨床実践の基礎「入門ゼミ」によって、心理学と臨床心理学の全体像や研究姿勢、心理臨床実践の基礎資質を身につけます。

2年生

臨床心理学に関する様々な考え方に基づく科目が幅広く用意されています。必修となる「臨床心理学基礎ゼミ」に加え、学科専攻科目を軸に様々な科目を履修するようにしてください。臨床心理士・公認心理師資格取得のためには、大学院進学が基本となります。そして、公認心理師の国家試験受験資格のためには、指定科目を全て履修することが必須です。特に、3年生からの心理実習に関しては履修者選考があります。対象の科目を必ず確認し、2年生の間に単位を取得するようにしてください。また、教員免許取得を希望する場合、専門科目群から教職の必修科目および「少年法」「家族関係論」などの教職の専門科目を履修してください。

3年生

「質問紙法実習」「心理学実験2」「臨床心理学ゼミ」で卒業研究の準備を進めます。また心理臨床の理論に関して、「カウンセリング論」「心理学的支援法（行動的アプローチ）」などの科目で学びます。研究テーマと進路選択を絞って、進路準備のための履修を計画してください。公務員や民間企業就職のためには、専門科目に加え、全学の共通科目（キャリア）などを選択して履修してください。3年生から4年生にかけては、「心理演習」「心理実習」（原則として公認心理師の国家試験受験資格取得希望者が履修）など心理臨床実践の実習を行い、また「教育・学校心理学」「地域支援論」「心理療法論（箱庭療法論）」「心理療法論（応用行動分析）」など、専門領域に特化した講義科目を選択できます。

4年生

これまでの研究の総決算として学士卒業研究にあたる「卒業論文」を作成します。その指導は「卒業研究ゼミ」において少人数制で行います。

履修モデル

・オリエンテーション時に指導します。

第2学年～第4学年：臨床心理士・公認心理師関連大学院を受験する場合のモデル

学年	セメスター	全学共通科目	全学教養科目	学科基礎科目	学科専攻科目
2	3 4	外国語や日本語表現・情報処理など必修科目を中心に履修する	基礎領域は第1学年次から、第3学年次からは応用領域からも履修する	臨床心理学基礎ゼミ 1・2	心理学実験 1、知覚・認知心理学、学習・言語心理学、感情・人格心理学、神経・生理心理学、社会・集団・家族心理学、発達心理学、心理的アセスメント、心理学的支援法（力動的アプローチ）、健康・医療心理学、産業・組織心理学、人体の構造と機能及び疾患、関係行政論、心理演習 1 など
3	5 6			臨床心理学ゼミ 1・2	公認心理師の職責、心理学実験 2、障害者・障害児心理学、心理学的支援法（行動的アプローチ）、福祉心理学、教育・学校心理学、司法・犯罪心理学、精神疾患とその治療、心理演習 2、心理実習 1・2 など
4	7 8			卒業研究ゼミ 1・2 卒業論文	*学科専攻科目の全てを履修するのが望ましい

第1学年～第4学年：教員免許（中学「社会」、高校「公民」、特別支援学校教諭）を取得する場合のモデル

学年	セメスター	全学共通科目	全学教養科目	学科基礎科目	学科専攻科目	教員免許の取得に関わる科目
1	1 2	外国語や日本語表現・情報処理など必修科目を中心に履修する	基礎領域は第1学年次から、第3学年次からは応用領域からも履修する	心理学史、基礎心理学、臨床心理学史、臨床心理学概論、心理学研究法、心理学統計法 1・2		教育原論、日本国憲法、スポーツ理論、スポーツ実技など
2	3 4			臨床心理学基礎ゼミ 1・2	心理学実験 1、発達心理学、心理的アセスメント、思春期の心、非行臨床心理学、心理学外書講読など	学部学科の専門科目に加え、自由科目からも必要な科目を修得する
3	5 6			臨床心理学ゼミ 1・2	福祉心理学、教育・学校心理学、心理演習 2 など	
4	7 8			卒業研究ゼミ 1・2 卒業論文		教育実習（中・高） 教育実習指導（中・高） 教職実践演習（教諭） 教育実習（特支） 教育実習指導（特支）

※幼稚園教諭、小学校教諭などの免許状を通信教育課程の併修履修により取得する場合、第2～第4学年で必要な科目（教育実習含む）を修得する必要があります。

Ⅰ

教育
目標

Ⅱ

履修
一般

Ⅲ

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

Ⅳ

学籍・
学費

Ⅴ

キャンパス
ライフ

Ⅵ

進路・
就職支援

Ⅶ

大学の
取り組み

Ⅷ

規程

学部における公認心理師になるために必要な科目

公認心理師の国家試験受験資格を取得希望する学生は、下記の表を参照してください（なお、学部のみでの履修では公認心理師の国家試験受験資格を得ることはできません）。

法定基準		本学基準		
指定科目名		授業科目	単位 ※ 2	
			必修	選択
1	公認心理師の職責	公認心理師の職責	2	
2	心理学概論	心理学概論	2	
3	臨床心理学概論	臨床心理学概論	2	
4	心理学研究法	心理学研究法	2	
5	心理学統計法	心理学統計法 1	2	
		心理学統計法 2	2	
6	心理学実験	心理学実験 1	1	
		心理学実験 2	1	
7	知覚・認知心理学	知覚・認知心理学	2	
8	学習・言語心理学	学習・言語心理学	2	
9	感情・人格心理学	感情・人格心理学	2	
10	神経・生理心理学	神経・生理心理学	2	
11	社会・集団・家族心理学	社会・集団・家族心理学	2	
12	発達心理学	発達心理学	2	
13	障害者・障害児心理学	障害者・障害児心理学	2	
14	心理的アセスメント	心理的アセスメント	2	
15	心理学的支援法 ※ 1	心理学的支援法（力動的アプローチ）		2
		心理学的支援法（行動的アプローチ）		2
16	健康・医療心理学	健康・医療心理学	2	
17	福祉心理学	福祉心理学	2	
18	教育・学校心理学	教育・学校心理学	2	
19	司法・犯罪心理学	司法・犯罪心理学	2	
20	産業・組織心理学	産業・組織心理学	2	
21	人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病	2	
22	精神疾患とその治療	精神疾患とその治療	2	
23	関係行政論	関係行政論	2	
24	心理演習	心理演習 1	1	
		心理演習 2	1	
25	心理実習	心理実習 1	1	
		心理実習 2	1	

※1 心理学的支援法（力動的アプローチ）又は心理学的支援法（行動的アプローチ）のうち、1科目2単位以上を選択し履修すること。

※2 ここでの必修単位・選択単位とは、卒業のための必修・選択の単位とは異なり、公認心理師の国家試験受験資格を得るための単位となります。

系列区分	卒業所要単位修得にかかる要件			修得 単位	卒業所要単位			
	必要科目等	必要単位			小計	中計	大計	総計
全学共通科目	全学共通科目および全学教養科目より 30 単位							
	仏教							
	■必修科目の 2 単位				2 単位	2 単位	2 単位	
	・ ブッタと法然			2 単位				
	自校教育						0 単位以上	
	□任意で選択の科目					0 単位以上		
	外国語							
	■必修外国語科目の 1 語種 8 単位							
	・ Intensive Reading 1							
	・ Intensive Reading 2							
	・ Integrated Communication Skills 1							
	・ Integrated Communication Skills 2							
	・ Integrated Communication Skills 3							
	・ Integrated Communication Skills 4							
	・ Intermediate Reading 1							
	・ Intermediate Reading 2							
	・ 中国語 1							
	・ 中国語 2							
	・ 中国語 3							
	・ 中国語 4							
	・ 中国語 5							
	・ 中国語 6							
	・ 中国語 7							
	・ 中国語 8							
	・ 朝鮮語 1							
	・ 朝鮮語 2							
	・ 朝鮮語 3							
	・ 朝鮮語 4							
	・ 朝鮮語 5							
	・ 朝鮮語 6							
	・ 朝鮮語 7							
	・ 朝鮮語 8							
	□任意で選択の科目					0 単位以上		
日本語表現								
■必修科目の 2 単位				2 単位	2 単位	2 単位		
・ 専門学修のための日本語表現			2 単位					
情報処理								
■必修科目の 2 単位				2 単位	2 単位	小計を満たし 2 単位以上		
・ コンピュータ・リテラシー			2 単位					
□任意で選択の科目					0 単位以上			
キャリア						0 単位以上		
□任意で選択の科目					0 単位以上			
スポーツ						0 単位以上		
□任意で選択の科目					0 単位以上			
日本事情						0 単位以上		
□任意で選択の科目					0 単位以上			
海外研修						0 単位以上		
□任意で選択の科目					0 単位以上			
大学コンソーシアム						0 単位以上		
□任意で選択の科目					0 単位以上			
全学教養科目								
■基礎領域より任意で選択				4 単位以上	小計を満たし 8 単位以上			
■応用領域より任意で選択				4 単位以上				
専門科目	専門科目より 94 単位以上							
	学部基幹科目							
	■必修科目の 5 単位				5 単位	5 単位		
	・ 教育原論			2 単位				
	・ 教育相談の理論及び方法			2 単位				
	・ 特別な教育的ニーズの理解とその支援			1 単位				
	学科基礎科目							
	■必修科目の 22 単位				22 単位	22 単位		
	・ 入門ゼミ			2 単位				
	・ 心理学史			2 単位				
	・ 基礎心理学			2 単位				
	・ 心理学概論			2 単位				
	・ 臨床心理学史			2 単位				
	・ 臨床心理学概論			2 単位				
	・ 心理学研究法			2 単位				
	・ 心理学統計法 1			2 単位				
	・ 心理学統計法 2			2 単位				
	・ 臨床心理学基礎ゼミ 1			2 単位				
	・ 臨床心理学基礎ゼミ 2			2 単位				
	学科専攻科目							
	■必修科目の 14 単位				14 単位	小計を 満たし 67 単位 以上		
	・ 臨床心理学ゼミ 1			2 単位				
	・ 臨床心理学ゼミ 2			2 単位				
・ 卒業研究ゼミ 1			2 単位					
・ 卒業研究ゼミ 2			2 単位					
・ 卒業論文			6 単位					
■任意で選択の科目					53 単位以上			
関連科目						0 単位以上		
□任意で選択の科目					0 単位以上			
							小計・ 中計を 満たし 124 単位 以上	

※自由科目は卒業所要単位に算入できません。

I
教育
目標II
履修
一般III
教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴文

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV
学籍・
学費V
キャンパス
ライフVI
進路・
就職支援VII
大学の
取り組みVIII
規程

臨床心理学科 履修科目表 (1/2)

系列区分	授 業 科 目	単位	必修・選択・自由別			履修開始 セメスター	GPA 対象	備 考
			必修	選択	自由			
I 教育 目標	学部基幹科目	教育原論	2	必		1		必修科目3科目5単位を履修すること。
		教育相談の理論及び方法	2	必		3		
		特別な教育的ニーズの理解とその支援	1	必		3		
II 履修 一般	学 科	入門ゼミ	2	必		1		11科目22単位を履修すること。
		心理学史	2	必		1		
		基礎心理学	2	必		1		
III 教育 課程	基 礎 科 目	心理学概論	2	必		1		
		臨床心理学史	2	必		1		
		臨床心理学概論	2	必		1		
全学	目	心理学研究法	2	必		1		
		心理学統計法 1	2	必		1		
		心理学統計法 2	2	必		2		
仏教	専 門 科 目	臨床心理学基礎ゼミ 1	2	必		3		
		臨床心理学基礎ゼミ 2	2	必		4		
		公認心理師の職責	2		選	5		必修科目14単位を含み67単位以上を履修すること。
中国	学 科	心理学実験 1	1		選	3		
		心理学実験 2	1		選	5		
英米	目	知覚・認知心理学	2		選	3		
		学習・言語心理学	2		選	3		
		感情・人格心理学	2		選	3		
歴史	専 門 科 目	神経・生理心理学	2		選	3		
		社会・集団・家族心理学	2		選	3		
		発達心理学	2		選	3		
歴史文	学 科	障害者・障害児心理学	2		選	5		
		心理的アセスメント	2		選	3		
		心理学的支援法（力動的アプローチ）	2		選	3		
教育	目	心理学的支援法（行動的アプローチ）	2		選	5		
		健康・医療心理学	2		選	3		
		福祉心理学	2		選	5		
幼教	専 門 科 目	教育・学校心理学	2		選	5		
		司法・犯罪心理学	2		選	5		
		産業・組織心理学	2		選	3		
臨床	学 科	人体の構造と機能及び疾病	2		選	3		
		精神疾患とその治療	2		選	5		
		関係行政論	2		選	3		
現社	目	心理演習 1	1		選	3		
		心理演習 2	1		選	5		
		心理演習 3	1		選	5		
公共	専 門 科 目	心理演習 4	1		選	5		
		心理実習 1	1		選	6		
		心理実習 2	1		選	7		
社福	学 科	少年法	2		選	3		
		家族関係論	2		選	3		
		地域支援論	2		選	5		
その他	目	カウンセリング論	2		選	5		
		思春期の心	2		選	3		
		非行臨床心理学	2		選	3		
IV 学籍・ 学費	専 門 科 目	子どもの心理臨床	2		選	3		
		心理療法論（箱庭療法論）	2		選	5		
		心理療法論（応用行動分析）	2		選	5		
V キャンパス ライフ	学 科	臨床心理学特殊講義	2		選	5		
		質問紙法実習	1		選	5		
		統計リメディアル	2		選	7		
VI 進路・ 就職支援	目	心理学外書講読	2		選	3		
		臨床心理学ゼミ 1	2	必		5		
		臨床心理学ゼミ 2	2	必		6		
VII 大学の 取り組み	専 門 科 目	卒業研究ゼミ 1	2	必		7		
		卒業研究ゼミ 2	2	必		8		
		卒業論文	6	必		8		
VIII 規程	学 科							

臨床心理学科 履修科目表 (2/2)

系列区分	授 業 科 目	単位	必修・選択・自由別			履修開始 セメスター	GPA 対象	備 考
			必修	選択	自由			
専 門 科 目	日本史概論	2		選		1		
	東洋史概論	2		選		1		
	西洋史概論	2		選		1		
	日本史特論	2		選		2		
	法律学概論 1	2		選		1		
	法律学概論 2	2		選		2		
	倫理学概論	2		選		1		
	哲学概論	2		選		2		
	宗教学概論	2		選		1		
	国際政治学	2		選		1		
	社会学概論	2		選		1		
	経済学概論	2		選		1		
	自然地理学 1	2		選		3		
	自然地理学 2	2		選		4		
	地誌学 1	2		選		3		
	地誌学 2	2		選		4		

I
教育
目標

II
履修
一般

III
教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴文

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV
学籍・
学費

V
キャンパス
ライフ

VI
進路・
就職支援

VII
大学の
取り組み

VIII
規程

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

臨床心理学科 提出までの手続き

履修登録

第4学年第8セメスターにおいて「卒業論文」の履修登録が必要です。ただし、以下の条件があるので留意してください。

- ・第4学年第7セメスターの履修登録時に卒業見込み（卒業所要単位を80単位以上修得）がないと「卒業研究ゼミ1」の履修登録ができません。
- ・第4学年第8セメスターの履修登録時に「卒業研究ゼミ1」の単位を修得済みでないと「卒業研究ゼミ2」の履修登録と「卒業論文」の履修登録ができません。

卒業論文題目 登録

題目登録の手続きについては、指導教員から「論文題目登録届」提出の指示を受け、所定の方法で「題目登録」手続きを行う必要があります。

提出日については、指導状況および指導教員により異なります。よって、学年暦掲載期限よりも早くなるので、期限については指導教員に確認することが必要です。

卒業論文 提出

【書 式】

学科	文字方向	手書き	ワープロ使用時の用紙書式		
臨床心理 学科	横書き	不可	A4判縦 (左綴じ)	17枚以内	1200字(40字×30行)/1枚 文字:10.5ポイント 余白(mm):上30・下30・左30・右30 外字作成すること(手書き不可)

- ・原則として黒インクを使用し、ページ数を必ず記入

【指定表紙】・コクヨ・フラットファイル(フ-V10M) ※グレー色

【作成】・正本と副本の2部作成が必要です。

- 〈正本〉 1. 指導教員の提出許可を受けたら、「論文提出票」に捺印を受ける。
2. 清書した論文を指定表紙にてとじ込み、表紙に「論文提出票」を貼付する。
- 〈副本〉 1. 清書した論文の複写を正本と同様にとじ込む。
2. 清書に貼付した「論文提出票」の記載事項に準じて表紙に、年度・学期・開講科目名(卒業論文)、論文題目、学籍番号、氏名等を記入する。

【提出】・正本は、「受理票」を添えて期限(学年暦参照)までに学生支援課へ提出してください。

- ・副本は、指導教員へ直接提出してください。

卒業論文 口頭試問

口頭試問は、提出された論文に対して主査(指導教員)および副査の教員で行う口述試験(30分程度)です。したがって口頭試問に不合格の場合、または口頭試問を欠席した場合は、卒業論文の単位を修得することができません。

- ・実施日時および会場は、3月卒業の場合1月下旬、9月卒業の場合8月上旬にB-netにてお知らせします。なお、日時の変更はできません。
- ・正本は卒業式当日に返却します。

社会学部 現代社会学科

現代社会学科の教育研究上の目的

現代社会学科では、使命と目的に基づいて、以下のように具体的な教育研究上の目的を設定しています。

人材養成の目的

- ①社会学の幅広い知識を修得し、共生社会の形成に資する人材を養成する。
- ②社会人としての良識を備え、不透明性を増す現代社会においても自己を見失わない自覚の人材を養成する。
- ③社会の一員として求められる総合的な教養を身につけた人材を養成する。
- ④現代社会の諸課題に積極的に取り組むために必要な専門性を備えた人材を養成する。

その他の教育研究上の目的

1) 教育

- ①差異や多様性の尊重、社会問題の解明、情報社会への対応のために必要な学力の形成に資する学修環境を整備し、学生支援を充実させる。
- ②学生自身が社会現象に関心をもち、社会関係や社会構造を総合的に理解できるように、多様な臨床的・実践的学習機会を提供する。
- ③世界的な視野から地域の課題に取り組むことができる人材を育成し、多様な進路希望に対応したキャリア形成支援を積極的に進める。

2) 研究

- ①社会学を中心として各専門領域における最新の研究を遂行する。
- ②それぞれの専門領域における研究の成果を積極的に教育に還元する。

3) 社会貢献

- ①体験活動やボランティアなどを通じて地域社会への貢献を行う。
- ②研究成果を積極的に社会に還元する。
- ③多様な学習機会を社会に提供する。

現代社会学科の教育方針

現代社会学科では、教育研究上の目的を達成するために、ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）を以下の通り定めます。

Ⅰ

教育
目標

Ⅱ

履修
一般

Ⅲ

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

Ⅳ

学籍・
学費

Ⅴ

キャンパス
ライフ

Ⅵ

進路・
就職支援

Ⅶ

大学の
取り組み

Ⅷ

規程

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

- ①社会学の基礎的知識を修得したうえで、変転する現代社会におけるさまざまな社会現象や社会問題に対して、自己を見失わず常識にとらわれない柔軟な見方ができる。
- ②グローバル化、多文化化する世界の中で、異なる文化や宗教に対して開かれた態度をとり、地域の課題に対して的確な判断が下せる。
- ③差別やマイノリティの問題、さまざまな社会問題について幅広い知見を有し、共生社会の実現に寄与する力を備えている。
- ④現代社会において必要とされる情報リテラシーを身につけ、情報の賢明な受け手としてだけでなく、送り手としてのコミュニケーション能力も有している。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

- ①社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する。
- ②人材養成の目的に応じて、文化・国際コース、共生・臨床社会コース、情報・メディアコースを設定する。
- ③社会学の基礎知識を修得させる科目を提供する。
- ④さまざまな社会現象や社会問題に対する常識にとらわれない柔軟な見方を養うため、学生自身が手を動かし、足を運び、討議する、各種の実習科目・演習科目を提供する。
- ⑤グローバル化する世界と国内外の多様な文化について理解を深め、現代社会における人間の存在や個人のあり方について根本的に考えさせる科目を提供する。
- ⑥共生の理念のもと、より良い社会を構想するため、マイノリティやジェンダーの問題、家族、学校、職場、地域などで発生する諸問題について理解を深めるための科目を提供する。
- ⑦情報社会における多様なコミュニケーションを社会的に考えるとともに、メディアの活用方法の修得を通して、情報収集能力、情報発信能力を高める科目を提供する。
- ⑧希望する学生に学科の専門領域に応じた教員免許や諸資格が取得できるカリキュラムを提供する。

現代社会学科の教育内容

1年生

全学共通科目で建学の精神に基づく科目や人間力の基礎をなすリテラシーに関する科目、語学に関する科目を受講し、幅広い教養と基礎的な語学力の獲得を目指します。アカデミックスキルを身につける「現代社会学入門ゼミ」や「専門学修のための日本語表現」は必修で、専門分野を学ぶための基礎をつくります。そのほか、必修である「現代社会論」と「公共性と社会」を含む学部基幹科目を受講し、社会学部に共通する基礎的知識・視点を身につけます。

2年生

本格的に専門科目の履修が始まります。必修となっている「社会学史」の受講により社会学の基礎的知識を身につけ、学科基礎科目や「文化・国際」「共生・臨床社会」「情報・メディア」の3コースから関心のあるコースを中心に専門的な学科専攻科目を受講します。関連科目の「プロジェクト演習」は少人数クラスで、複数の研究テーマの中から任意のプロジェクトを選択して、問題発見や課題解決のための方法を学びます。「京都の産業」では地域社会の現況について洞察を深めます。

3年生

「現代社会学ゼミ」の履修が始まります。テキストの読解、グループ・ワーク、各自が調べたことの発表など、ゼミの授業形態は教員によって様々ですが、ゼミの履修をとおして各自の問題意識を深め、主体的に学習する態度を身につけます。それと並んで、学科専攻科目や「グローバル人材PBL」、「社会調査士」等の資格関係の科目も受講し、現代社会の状況・諸課題、それへの対応策などを学び、社会学の理解をより深めます。

4年生

これまでに身につけてきた、幅広い教養、課題発見能力、論理的思考力を活用し、「現代社会学卒業研究ゼミ」で教員の指導を受けながら、卒業レポートを完成させます。研究成果を発表する機会もあり、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力の涵養に役立ちます。

系列区分	卒業所要単位修得にかかる要件			卒業所要単位			
	必要科目等	必要単位	修得単位	小計	中計	大計	総計
全学共通科目	全学共通科目および全学教養科目より 30 単位						
	仏教				2		
	■必修科目の 2 単位			2 単位			
	・ブツダと法然	2 単位					
	自校教育				0 単位以上		
	□任意で選択の科目			0 単位以上			
	外国語						
	■必修外国語科目の 1 語種 8 単位						
	・Intensive Reading 1						
	・Intensive Reading 2						
	・Integrated Communication Skills 1						
	・Integrated Communication Skills 2						
	・Integrated Communication Skills 3						
	・Integrated Communication Skills 4						
	・Intermediate Reading 1						
	・Intermediate Reading 2						
	・中国語 1						
	・中国語 2						
	・中国語 3						
	・中国語 4						
	・中国語 5						
	・中国語 6						
	・中国語 7						
	・中国語 8						
	・朝鮮語 1						
	・朝鮮語 2						
	・朝鮮語 3						
	・朝鮮語 4						
	・朝鮮語 5						
	・朝鮮語 6						
	・朝鮮語 7						
	・朝鮮語 8						
	□任意で選択の科目			0 単位以上			
	日本語表現				2		
	■必修科目の 2 単位			2 単位			
	・専門学修のための日本語表現	2 単位					
	情報処理				小計を満たし 2 単位以上		
	■必修科目の 2 単位			2 単位			
	・コンピュータ・リテラシー	2 単位					
	□任意で選択の科目			0 単位以上			
	キャリア				0 単位以上		
	□任意で選択の科目			0 単位以上			
	スポーツ				0 単位以上		
	□任意で選択の科目			0 単位以上			
	日本事情				0 単位以上		
	□任意で選択の科目			0 単位以上			
	海外研修				0 単位以上		
	□任意で選択の科目			0 単位以上			
	大学コンソーシアム				0 単位以上		
	□任意で選択の科目			0 単位以上			
専門科目	全学教養科目				小計を満たし 8 単位以上		
	■基礎領域より任意で選択	4 単位以上					
	■応用領域より任意で選択	4 単位以上					
	専門科目より 94 単位以上						
	学部基幹科目				小計を満たし 8 単位以上		
	■必修科目の 4 単位			4 単位			
	・現代社会論	2 単位					
	・公共性と社会	2 単位					
	■任意で選択の科目			4 単位以上			
	学部基礎科目				小計を満たし 18 単位以上		
	■必修科目の 6 単位			6 単位			
	・現代社会学入門ゼミ	2 単位					
	・社会学史 (古典)	2 単位					
	・社会学史 (現代)	2 単位					
	■任意で選択の科目			12 単位以上			
	学科専攻科目				小計を満たし 94 単位以上		
	■全てのコースにおいて履修が必要な 12 単位			12 単位			
	・現代社会学ゼミ 1	2 単位					
	・現代社会学ゼミ 2	2 単位					
	・現代社会学卒業研究ゼミ 1	2 単位					
	・現代社会学卒業研究ゼミ 2	2 単位					
	・卒業レポート	4 単位					
	①文化・国際コース				小計を満たし 38 単位以上		
	・文化社会学	4 単位					
	・国際社会論						
	・任意で選択の科目	12 単位以上					
	②共生・臨床社会コース				①～③の いずれか 同コースから 16 単位以上		
	・共生の社会学	4 単位					
	・臨床社会学						
	・任意で選択の科目	12 単位以上					
	③情報・メディアコース						
	・情報・メディアとコミュニケーション	4 単位					
	・情報社会論						
	・任意で選択の科目	12 単位以上					
	■①②③のコースすべてから任意で選択の科目			10 単位以上			
	関連科目				0 単位以上		
	□任意で選択の科目			0 単位以上			

※自由科目は卒業所要単位に算入できません。

I
教育
目標II
履修
一般III
教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・

学費

V

キャンパス

ライフ

VI

進路・

就職支援

VII

大学の

取り組み

VIII

規程

現代社会学科 履修科目表 (1/2)

系列区分		授業科目	単位	必修・選択・自由別 必修 選択 自由	履修開始 セメスター	GPA 対象	備 考
専 門 科 目	学部基幹科目	現代社会論	2	必		2	必修科目2科目4単位および選択科目のうち2科目4単位以上、合計4科目8単位以上を履修すること。
		公共性と社会	2	必		1	
		現代思想	2		選	1	
		環境社会システム論	2		選	1	
		現代日本社会史	2		選	2	
		現代市民論	2		選	2	
		20世紀の歴史	2		選	1	
	学科基礎科目	現代社会学入門ゼミ	2	必		1	必修科目3科目6単位および選択科目のうち6科目12単位以上、合計9科目18単位以上を履修すること。
		社会学史 (古典)	2	必		3	
		社会学史 (現代)	2	必		4	
		現代社会学講読	2		選	3	
		社会学原論	2		選	3	
		社会思想史	2		選	3	
		社会心理学	2		選	3	
		家族社会学	2		選	3	
		文化人類学	2		選	3	
		コミュニケーションと社会	2		選	3	
		社会調査論 1	2		選	3	
		社会調査論 2	2		選	4	
		現代社会学特殊講義 1	2		選	3	
		現代社会学特殊講義 2	2		選	4	
		現代社会学外国文献研究 1	2		選	3	
		現代社会学外国文献研究 2	2		選	4	
	共通	現代社会学ゼミ 1	2	必		5	5科目12単位を履修すること。
		現代社会学ゼミ 2	2	必		6	
		現代社会学卒業研究ゼミ 1	2	必		7	
		現代社会学卒業研究ゼミ 2	2	必		8	
		卒業レポート	4	必		8	
	文化・国際コース	○文化社会学	2		選	3	「文化・国際コース」・「共生・臨床社会コース」・「情報・メディアコース」のいずれか1コースを選択し、選択したコースのうち○印科目を含み8科目16単位以上を履修したうえで、合計13科目26単位以上を履修すること。
		現代文化論	2		選	3	
		消費文化論	2		選	3	
		社会意識論	2		選	3	
		宗教社会学	2		選	3	
		現代宗教論	2		選	3	
		○国際社会論	2		選	3	
		現代国家論	2		選	3	
		異文化理解	2		選	3	
		エリアスタディ	2		選	3	
		グローバル化論	2		選	3	
		文化・国際特殊講義 1	2		選	3	
		文化・国際特殊講義 2	2		選	3	
	攻 科 目	文化・国際特殊講義 3	2		選	3	
		文化・国際特殊講義 4	2		選	3	
	共生・臨床社会コース	○共生の社会学	2		選	3	
		社会階層論	2		選	3	
		ジェンダー論	2		選	3	
		マイノリティ論	2		選	3	
		○臨床社会学	2		選	3	
		社会病理学	2		選	3	
		逸脱行動論	2		選	3	
		家族病理と臨床	2		選	3	
		学校病理と臨床	2		選	3	
		地域病理と臨床	2		選	3	
		保健医療社会学	2		選	3	
		カウンセリング論	2		選	3	
		共生・臨床社会特殊講義 1	2		選	3	
	情報・メディアコース	共生・臨床社会特殊講義 2	2		選	3	
		共生・臨床社会特殊講義 3	2		選	3	
		共生・臨床社会特殊講義 4	2		選	3	
		○情報・メディアとコミュニケーション	2		選	3	
		○情報社会論	2		選	3	
		マスコミ論	2		選	3	
		地域情報論	2		選	3	
		広告・広報論	2		選	3	
		メディア・リテラシー	2		選	3	

I

教育目標

II

履修一般

III

教育課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・学費

V

キャンパスライフ

VI

進路・就職支援

VII

大学の取り組み

VIII

規程

現代社会科学 履修科目表 (2/2)

系列区分			授業科目	単位	必修	選択	自由別	履修開始 セメスター	GPA 対象	備考
I 教育目標 II 履修一般 III 教育課程 全学 仏教 日文 中国 英米 歴史 歴文 教育 幼教 臨床 現社 公共 社福 その他 IV 学籍・学費 V キャンパスライフ VI 進路・就職支援 VII 大学の取り組み VIII 規程	専 門 科 目	学 科 専 攻 科 目	情報・メディアコース							
			デジタル・メディア論	2		選		3		
			メディア文化論	2		選		3		
			情報通信ネットワーク論	2		選		3		
			情報システム論	2		選		3		
			情報・メディア特殊講義 1	2		選		3		
			情報・メディア特殊講義 2	2		選		3		
			情報・メディア特殊講義 3	2		選		3		
			情報・メディア特殊講義 4	2		選		3		
			情報・メディア実習 1	1		選		3		
			情報・メディア実習 2	1		選		4		
		関 連 科 目	日本史概論	2		選		1		
			東洋史概論	2		選		1		
			西洋史概論	2		選		1		
			日本史特論	2		選		2		
			人文地理学 1	2		選		3		
			人文地理学 2	2		選		4		
			自然地理学 1	2		選		3		
			自然地理学 2	2		選		4		
			地誌学 1	2		選		3		
			地誌学 2	2		選		4		
			社会学概論	2		選		1		
			法学概論 1	2		選		1		
			法学概論 2	2		選		2		
			倫理学概論	2		選		1		
			哲学概論	2		選		2		
			宗教学概論	2		選		1		
			経済学概論	2		選		1		
			プロジェクト演習	2		選		3		
			社会調査法演習 1	2		選		5		
			社会調査法演習 2	2		選		5		
			基礎統計学 1	2		選		3		
			基礎統計学 2	2		選		4		
			データ解析演習	2		選		6		
			調査研究演習 1	2		選		5		
			調査研究演習 2	2		選		6		
			調査研究演習 3	1		選		5		
			グローバル人材 PBL	2		選		5		
			地域経済論	2		選		3		
			NPO 法人マネジメント論	2		選		3		
			中小企業論	2		選		3		
			女性史	2		選		3		
			現代社会と女性	2		選		3		
			情報産業と職業	2		選		3		
			情報メディアと社会	2		選		3		
			ジャーナリズム論	2		選		3		
			放送論	2		選		3		
			情報システム実習	1		選		5		
			情報ビジネス	2		選		5		
			情報犯罪論	2		選		3		
			情報通信ネットワーク実習	1		選		5		
			コンピュータ論	2		選		1		
			京都の産業	2		選		3		
			国際政治学	2		選		1		
			日本仏教史 (仏教伝来～平安)	2		選		1		
			日本仏教史 (鎌倉以降)	2		選		2		
			中国仏教史	2		選		1		

現代社会学科 提出までの手続き

履修登録

第4学年第8セメスターにおいて「卒業レポート」の履修登録が必要です。ただし、以下の条件があるので留意してください。

- ・第4学年第7セメスターの履修登録時に卒業見込み（卒業所要単位を80単位以上修得）がないと「現代社会学卒業研究ゼミ1」の履修登録ができません。

卒業レポート 提出

【書 式】

学科	文字方向	手書き	ワープロ使用時の用紙書式	
現代社会学科	横書き	不可	A4 判縦 (上綴じ)	1,200字(40字×30行)/1枚 10枚(12,000字)～17枚(20,000字) 文字ポイント・余白・外字等の詳細は、 指導教員の指示を受けること

- ・作成にあたっては、指導教員の指示にしたがってください。

- 【提出】**・レポートの体裁は、「レポート提出票」を表紙とし（p.40 参照）、期限（学年暦参照）までに学生支援課へ提出してください。
- ・口頭試問は実施しません。

Ⅰ

教育
目標

Ⅱ

履修
一般

Ⅲ

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

Ⅳ

学籍・
学費

Ⅴ

キャンパス
ライフ

Ⅵ

進路・
就職支援

Ⅶ

大学の
取り組み

Ⅷ

規程

社会学部 公共政策学科

公共政策学科の教育研究上の目的

公共政策学科では、使命と目的に基づいて、以下のように具体的な教育研究上の目的を設定しています。

人材養成の目的

- ①社会、特に地域社会の課題を幅広い見地から洞察し、多文化共生社会の形成に資する人材を養成する。
- ②地域社会において自ら問題を発見し、その解決に取り組む積極的な意志を備えた実行力ある人材を養成する。
- ③社会の一員として求められる総合的な教養を身につけた人材を養成する。
- ④社会、特に地域社会の諸課題に積極的に取り組むための公共政策にかかる諸科学の専門性を備えた人材を養成する。

その他の教育研究上の目的

1) 教育

- ①社会、特に地域社会の課題に取り組むために必要な学力の形成に資する教育環境を整備し、学生支援を充実させる。
- ②学生自身が幅広い知識を基礎に、総合的かつグローバルな視点から現代社会の問題を発見し問題解決に取り組めるように、実習や地域社会の人々との交流の機会を提供する。
- ③企業人や公務員として社会に貢献できる分野をはじめとして多様な進路希望に対応したキャリア形成支援を積極的に進める。

2) 研究

- ①政治学、経済学および関連する諸科学の各専門領域における最新の研究を遂行する。
- ②それぞれの専門領域における研究の成果を積極的に教育に還元する。

3) 社会貢献

- ①体験活動やボランティアなどを通じて地域社会への貢献を行う。
- ②研究成果を積極的に社会に還元する。
- ③多様な学習機会を社会に提供する。

公共政策学科の教育方針

公共政策学科では、教育研究上の目的を達成するために、ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）を以下の通り定めます。

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

- ①社会、特に地域社会の課題に取り組むために必要な、政治学、経済学および関連する諸科学に関する基本的な学力を備えている。
- ②地域社会の担い手としての自覚をもち、地域の課題に積極的に取り組む意志と実行力を備えている。
- ③自己を見つめる力、自分の考えを伝え他者の考えを理解する力、他者を尊重しともに行動する力を有している。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

- ①社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する。
- ②人材養成の目的に応じて、地域政治コースと地域経済コースを設定する。
- ③公共政策に関する基礎知識を修得させる科目を提供する。
- ④地域社会の課題発見や政策形成に関する専門的な学修に資するために、政治学、経済学および関連する諸科学に関わる科目を提供する。
- ⑤コミュニティ・キャンパスをはじめとするさまざまな地域社会と連携して取り組む課題解決型科目を提供する。
- ⑥主体的、能動的な学習機会を確保するために、すべての学年に少人数、双方向の演習科目を提供する。
- ⑦希望する学生に学科の専門領域に関連する資格に対応したカリキュラムを提供する。

Ⅰ

教育
目標

Ⅱ

履修
一般

Ⅲ

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

Ⅳ

学籍・
学費

Ⅴ

キャンパス
ライフ

Ⅵ

進路・
就職支援

Ⅶ

大学の
取り組み

Ⅷ

規程

公共政策学科の教育内容

1 年生

全学共通科目で建学の精神に基づく科目や人間力の基礎をなすリテラシーに関する科目、語学に関する科目などを受講し、幅広い教養と基礎的な語学力の獲得を目指します。アカデミックスキルを身に付ける「公共政策学入門ゼミ」や「専門学修のための日本語表現」は必修で、専門分野を学ぶための4年間の学びの基礎をつくります。そのほか専門科目「法学入門1」「法学入門2」「経済学入門1」「経済学入門2」などで政治学ないし経済学のための基礎を学びます。

2 年生

本格的に専門科目の履修が始まります。4年生までに、学科専攻科目の2コースから任意で選択科目26単位以上、ただし選択したコースから「地域政策論」または「地域経済論」を含む20単位以上の履修が必要です。希望する進路に対応したキャリア形成のために、「公務員演習」や「社会調査論」を履修することができるようになります。関連科目の「プロジェクト演習」は少人数クラスで、複数の研究テーマの中から任意のプロジェクトを選択して、問題発見や課題解決のための方法を学びます。「京都の産業」では地域社会の現況について洞察を深めます。

3 年生

専門性を深めるため、引き続き学科専攻科目を履修します。2年生までに獲得した幅広い知識を基礎に、特殊講義科目や「グローバル人材PBL」を履修することによって、総合的かつグローバルな視点から地域社会の問題発見や課題解決に取り組むことができます。「公共政策学ゼミ」では、より専門的な立場から現代社会の課題発見や政策形成のための学修に努め、プレゼンテーションのために必要な知識や能力を修得することができます。

4 年生

引き続き専門科目の履修に努めます。「公共政策学卒業研究ゼミ」では、これまでに培った専門的知識や課題発見能力を基に卒業レポートを作成します。これによって論理的思考力や説得力をさらに身に付け、社会人として必要な、専門性に裏付けられた幅広い教養と技能の獲得が促されることになります。

系列区分	卒業所要単位修得にかかる要件			卒業所要単位				
	必要科目等	必要単位	修得単位	小計	中計	大計	総計	
全学共通科目	全学共通科目および全学教養科目より 30 単位							
	仏教				2 単位			
	■必修科目の 2 単位 ・ブッタと法然				2 単位			
	自校教育				0 単位以上			
	□任意で選択の科目				0 単位以上			
	外国語				1 語種から 8 単位			
	■必修外国語科目の 1 語種 8 単位				8 単位			
	・Intensive Reading 1							
	・Intensive Reading 2							
	・Integrated Communication Skills 1							
	・Integrated Communication Skills 2							
	・Integrated Communication Skills 3							
	・Integrated Communication Skills 4							
	・Intermediate Reading 1							
	・Intermediate Reading 2							
	・中国語 1							
	・中国語 2							
	・中国語 3							
	・中国語 4							
	・中国語 5							
	・中国語 6							
	・中国語 7							
	・中国語 8							
	・朝鮮語 1							
・朝鮮語 2								
・朝鮮語 3								
・朝鮮語 4								
・朝鮮語 5								
・朝鮮語 6								
・朝鮮語 7								
・朝鮮語 8								
□任意で選択の科目				0 単位以上				
日本語表現				2 単位				
■必修科目の 2 単位 ・専門学修のための日本語表現				2 単位	2 単位			
情報処理				小計を満たし 2 単位以上				
■必修科目の 2 単位 ・コンピュータ・リテラシー				2 単位	2 単位			
□任意で選択の科目				0 単位以上				
キャリア				0 単位以上				
□任意で選択の科目				0 単位以上				
スポーツ				0 単位以上				
□任意で選択の科目				0 単位以上				
日本事情				0 単位以上				
□任意で選択の科目				0 単位以上				
海外研修				0 単位以上				
□任意で選択の科目				0 単位以上				
大学コンソーシアム				0 単位以上				
□任意で選択の科目				0 単位以上				
全学教養科目				小計を満たし 8 単位以上				
■基礎領域より任意で選択				4 単位以上				
■応用領域より任意で選択				4 単位以上				
専門科目	専門科目より 94 単位以上							
	学部基幹科目				小計を満たし 8 単位以上			
	■必修科目の 4 単位 ・現代社会論				2 単位	4 単位		
	・公共性と社会				2 単位			
	■任意で選択の科目				4 単位以上			
	学科基礎科目				小計を満たし 18 単位以上			
	■必修科目の 6 単位 ・公共政策学入門ゼミ				2 単位	6 単位		
	・公共政策学（概論）				2 単位			
	・公共政策学（各論）				2 単位			
	■任意で選択の科目				12 単位以上			
	学科専攻科目				小計を満たし 38 単位以上			
	■全てのコースにおいて履修が必要な 12 単位 ・公共政策学ゼミ 1				2 単位	12 単位		
	・公共政策学ゼミ 2				2 単位			
	・公共政策学卒業研究ゼミ 1				2 単位			
	・公共政策学卒業研究ゼミ 2				2 単位			
	・卒業レポート				4 単位			
	①地域政治コース				①、②のいずれか			
	・地域政策論				2 単位	同コースから		
	・任意で選択の科目				10 単位以上	20 単位以上		
	②地域経済コース				同コースから			
	・地域経済論				2 単位	20 単位以上		
	・任意で選択の科目				10 単位以上			
	■①②のコースすべてから任意で選択の科目				6 単位以上			
	関連科目				0 単位以上			
□任意で選択の科目				0 単位以上				
※卒業所要単位には 30 単位までしか算入できません。								
※科目は pp.56・57 参照								
小計・中計・大計を満たし 124 単位以上								

※自由科目は卒業所要単位に算入できません。

I
教育
目標II
履修
一般III
教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴文

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV
学籍・
学費V
キャンパス
ライフVI
進路・
就職支援VII
大学の
取り組みVIII
規程

公共政策学科 履修科目表 (1/2)

系 列 区 分		授 業 科 目	単位	必修・選択・自由別			履修開始 セメスター	GPA 対象	備 考
専 門 科 学 科 目	学 部 基 幹 科 目	現代社会論	2	必			2		必修科目2科目4単位および選択科目のうち2科目4単位以上を履修すること。
		公共性と社会	2	必			1		
		現代思想	2		選		1		
		環境社会システム論	2		選		1		
		現代日本社会史	2		選		2		
		現代市民論	2		選		2		
		20 世紀の歴史	2		選		1		
	学 科 基 礎 科 目	公共政策学入門ゼミ	2	必			1		必修科目3科目6単位および選択科目のうち6科目12単位以上を履修すること。
		公共政策学（概論）	2	必			3		
		公共政策学（各論）	2	必			4		
		法学入門 1	2		選		1		
		法学入門 2	2		選		2		
		経済学入門 1	2		選		1		
		経済学入門 2	2		選		2		
		公共政策学特殊講義 1	2		選		3		
		公共政策学特殊講義 2	2		選		4		
		公共政策学外国文献研究 1	2		選		3		
		公共政策学外国文献研究 2	2		選		4		
		公共政策学講読	2		選		3		
		公共政策学フィールドワーク入門	2		選		3		
	公共政策学フィールドワーク実習 1	1		選		5			
	公共政策学フィールドワーク実習 2	1		選		6			
	地 域 政 治 コ ー ス	公共政策学ゼミ 1	2	必			5		5科目12単位を履修すること。
		公共政策学ゼミ 2	2	必			6		
		公共政策学卒業研究ゼミ 1	2	必			7		
		公共政策学卒業研究ゼミ 2	2	必			8		
		卒業レポート	4	必			8		
		行政法（総論）	2		選		3		「地域政治コース」・「地域経済コース」のいずれかを選択し、選択したコースのうち○印科目を含み20単位以上を履修したうえで、合計13科目26単位以上を履修すること。
		行政法（行政救済法・行政組織法）	2		選		3		
		民法（総則・物権）	2		選		3		
		民法（債権・親族・相続）	2		選		3		
		労働法（集团的労働関係法）	2		選		3		
		労働法（個別的労働関係法）	2		選		3		
		社会保障法	2		選		3		
		地域社会学	2		選		3		
		刑法	2		選		5		
		商法	2		選		5		
		○地域政策論	2		選		3		
		地方自治法	2		選		3		
		行政学（概論）	2		選		3		
行政学（各論）		2		選		3			
政治社会学		2		選		3			
政治過程論		2		選		3			
住民自治論		2		選		3			
コミュニティ論		2		選		3			
地域政治特殊講義 1		2		選		3			
地域政治特殊講義 2		2		選		3			
地域政治特殊講義 3		2		選		3			
地域政治特殊講義 4		2		選		3			
地 域 経 済 コ ー ス		ミクロ経済学 1	2		選		3		
		ミクロ経済学 2	2		選		3		
		マクロ経済学 1	2		選		3		
	マクロ経済学 2	2		選		3			
	地方財政論	2		選		3			
	財政学	2		選		3			
	公共経済学	2		選		3			
	○地域経済論	2		選		3			
	社会的企業論	2		選		3			
	社会政策	2		選		3			
	会計学	2		選		5			
	経営学	2		選		5			
	環境政策論	2		選		3			
	環境社会学	2		選		3			
	環境技術論	2		選		3			
地球環境論	2		選		3				

公共政策学科 履修科目表 (2/2)

系 列 区 分		授 業 科 目	単 位	必修・選択・自由別 必修 選択 自由	履修開始 セメスター	GPA 対象	備 考
専 門 科 目	学 科 専 攻 科 目	地域経済コース	環境評価論	2	選	3	
		都市環境論	2	選	3		
		都市計画論	2	選	3		
		地域経済特殊講義1	2	選	3		
		地域経済特殊講義2	2	選	3		
		地域経済特殊講義3	2	選	3		
		地域経済特殊講義4	2	選	3		
	関 連 科 目	日本史概論	2	選	1		
		東洋史概論	2	選	1		
		西洋史概論	2	選	1		
		日本史特論	2	選	2		
		人文地理学1	2	選	3		
		人文地理学2	2	選	4		
		自然地理学 1	2	選	3		
		自然地理学 2	2	選	4		
		地誌学1	2	選	3		
		地誌学2	2	選	4		
		法律学概論1	2	選	1		
		法律学概論2	2	選	2		
		哲学概論	2	選	2		
		宗教学概論	2	選	1		
		倫理学概論	2	選	1		
		政治学概論	2	選	1		
		経済学概論	2	選	1		
		社会学概論	2	選	1		
		公務員演習1 (数的推理・判断推理)	2	選	3		
		公務員演習2 (文章理解・資料解釈)	2	選	3		
		公務員演習3 (社会・人文・自然)	2	選	3		
		中小企業論	2	選	3		
		プロジェクト演習	2	選	3		
		異文化理解	2	選	3		
		グローバル化論	2	選	3		
		コミュニケーションと社会	2	選	3		
		共生の社会学	2	選	3		
		グローバル人材PBL	2	選	5		
		社会調査論1	2	選	3		
		社会調査論2	2	選	4		
		社会調査法演習1	2	選	5		
		社会調査法演習2	2	選	5		
		基礎統計学1	2	選	3		
		基礎統計学2	2	選	4		
		データ解析演習	2	選	6		
		調査研究演習1	2	選	5		
		調査研究演習2	2	選	6		
		調査研究演習3	1	選	5		
		国際政治学	2	選	1		
		NPO法人マネジメント論	2	選	3		
		民法概論	2	選	5		
		労働法概論	2	選	5		
		刑法概論	2	選	5		
		京都の産業	2	選	3		
		日本仏教史 (仏教伝来～平安)	2	選	1		
		日本仏教史 (鎌倉以降)	2	選	2		
		中国仏教史	2	選	1		

I
教育
目標

II
履修
一般

III
教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴文

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV
学籍・
学費

V
キャンパス
ライフ

VI
進路・
就職支援

VII
大学の
取り組み

VIII
規程

Ⅰ

教育
目標

Ⅱ

履修
一般

Ⅲ

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

Ⅳ

学籍・
学費

Ⅴ

キャンパス
ライフ

Ⅵ

進路・
就職支援

Ⅶ

大学の
取り組み

Ⅷ

規程

公共政策学科 提出までの手続き

履修登録

第4学年第8セメスターにおいて「卒業レポート」の履修登録が必要です。ただし、以下の条件があるので留意してください。

- ・第4学年第7セメスターの履修登録時に卒業見込み（卒業所要単位を80単位以上修得）がないと「公共政策学卒業研究ゼミ1」の履修登録ができません。

卒業レポート 提出

【書 式】

学科	文字方向	手書き	ワープロ使用時の用紙書式	
公共政策学科	横書き	不可	A4 判縦 (上綴じ)	1,200字(40字×30行)/1枚 10枚(12,000字)～17枚(20,000字) 文字ポイント・余白・外字等の詳細は、 指導教員の指示を受けること

- ・作成にあたっては、指導教員の指示にしたがってください。

- 【提出】・レポートの体裁は、「レポート提出票」を表紙とし（p.40 参照）、期限（学年暦参照）までに学生支援課へ提出してください。
- ・口頭試問は実施しません。

社会福祉学部 社会福祉学科

社会福祉学科の教育研究上の目的

社会福祉学科では、使命と目的に基づいて、以下のように具体的な教育研究上の目的を設定しています。

人材養成の目的

社会福祉学科は、建学の理念に基づき、福祉の理念・思想・価値を踏まえ基本的人権が尊重され、差別や抑圧がない平和で安全な社会、多様な人々がともに生きられる社会を実現するため、社会福祉、保育をはじめ教育、行政、企業等のさまざまな領域で活動できる、次のような人材を養成する。

- ①現実を冷静にとらえる視点を持ち、自ら考え行動する力を身につけ、社会福祉、保育をはじめ教育、行政、企業等のさまざまな領域で共感的理解、個人の尊重、社会正義を基本に活動できる人材の養成を基本とする。
- ②社会経済の仕組みとその変動をつかみ、多様な専門職・専門機関や市民活動、住民活動とつながり、多様で異なる文化や背景をもつ人々がともに生きられる地域社会や「まちづくり」のために、ソーシャル・アクションを含めさまざまな活動を推進する人材を養成する。
- ③福祉固有の視点から社会問題・生活問題を分析し、援助の対象となる人々と共感的理解にもとづく信頼関係を形成し、個人の尊重という社会的使命のために援助を実践できる福祉専門職を養成する。
- ④基本的人権・多様性・ウェルビーイングなど福祉の理念を尊重するとともに、共感的理解にもとづいて子ども・家族との信頼関係を築き、保育の専門職として責任をもった支援を提供できる人材を養成する。
- ⑤社会経済の仕組みとその変動の中で乳幼児期から青年期、高齢期まですべての人々の家庭の生活と発達をとらえ、それぞれのライフステージに応じた援助ができる力を身につけた社会福祉、保育、教育等の専門的人材を養成する。

その他の教育研究上の目的

1) 教育

- ①子どもの発達の理解、子ども・家族の生活理解、対人援助における専門的力量とともに、現場における実践と運営を総合的に担える人材育成のための教育課程を提供する。
- ②生涯発達の視点から当事者をとらえ、地域社会を構成する一員として位置づけ、その人らしく主体性をもって生活し続けることを支援する力を育む教育プログラムを提供する。
- ③地域住民の主体性に着目した地域福祉活動を展開するための援助ができる力を養成する教育課程を提供する。
- ④多職種とのチームケア、関係機関・関係者や地域住民との連携・協働を実践する力を育成する機会を提供する。

Ⅰ

教育
目標

Ⅱ

履修
一般

Ⅲ

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴文

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

Ⅳ

学籍・
学費

Ⅴ

キャンパス
ライフ

Ⅵ

進路・
就職支援

Ⅶ

大学の
取り組み

Ⅷ

規程

2) 研究

- ①現場と共同して、実践に基づく科学的支援方法の研究を進める。
- ②職能組織との協働に取り組みながら、福祉専門職の専門性の向上と確立に向けた研究を進める。
- ③関連領域の国際的な研究成果に広く学び、教育プログラムの開発に資する研究を進める。

3) 社会貢献

- ①地域産業や地域資源との関係から地域生活問題を把握し、幅広い分野で活躍できる人材を輩出し、社会に貢献する。
- ②福祉関連領域における専門職のニーズに対応した現任訓練・リカレント教育を含む人材育成に貢献する。
- ③地域と共同して活性化やまちづくりの支援活動に取り組み、社会に貢献する。

社会福祉学科の教育方針

社会福祉学科では、教育研究上の目的を達成するために、ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）を以下の通り定めます。

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

- ①基本的人権や社会正義、発達の考え方に基づく福祉の価値を理解し、多様な状況におかれている当事者を共感的に理解し、実践に真摯に向き合うことができる。
- ②豊かなコミュニケーション、他者や異なる集団を理解し共感できる力およびニーズを把握する力を基礎に、社会問題・生活問題を解決・軽減する専門的技能を用いられるようになる。
- ③社会のさまざまな領域において、当事者が主体性を発揮できるよう援助し、人間らしい生活を実現するための実践ができる。
- ④主体的に多様な人々や組織と協働して、全ての人が安心してともに生活ができ、平和でよりよい社会を創り出す知恵と実践力を身につけている。
- ⑤社会福祉・保育の基本的な役割や構成を理解し、人間の行動や社会構造に関わる知見に即して福祉あるいは保育の制度と実践を体系的に理解できている。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

- ①専門知識を得て主体的で探求心あふれる学習ができるよう、社会福祉に関わる思想・歴史、原理を重視し、対象理解と実践、制度理解と運営、地域を基盤にした展開や国際的な視点について順次性をもって学修できるように、相互関連的に科目を配置し、教育課程を編成する。

- ②専門職養成の目的に応じて、社会福祉士・精神保健福祉士・保育士養成に関する講義・演習系科目、学科専門を基礎にした教科の免許に関する講義科目を含んだ学士課程を提供する。
- ③演習・ゼミおよび専門資格に関わる実習系科目において、必要な知識、態度、技能を確実に習得できるよう少人数教育を重視する。
- ④対人援助に関する基本的な方法や法制度について学び、乳幼児期から青年期、高齢期までの生活課題に関する援助のあり方や福祉職・保育職の資質・専門性、多様な専門職間での連携を身につけ、ソーシャル・アクションを含めた専門職の社会活動の意義をとらえる科目を配置する。
- ⑤以上の学部学科専門科目の順次性のある学修と全学共通科目・全学教養科目を関連づけ、専門学修を深めながら、その基盤となる教養を学修できるカリキュラムを編成する。

社会福祉学科の教育内容

社会福祉学部社会福祉学科のカリキュラムは、世の中（私たちが生きる社会）とそこで生活する人々への「まなざし」を深めつつ、専門的な学びが積み重なるよう設定しています。以下、学びの道すじを示しますので、4年間での自分自身の成長や変化を期待したり、立ちどまって見つめ直したりする手がかりにしてください。

1年生

すべての学生が「学部基幹科目」（3科目）を必ず履修し、社会問題と人権のつながりを福祉の観点でとらえながら、個人の生活を守り支えていくための基本的視点を学びます。あわせて福祉の対象が、実に広くかつ生活と密接につながっていることを、「学科基礎科目」の履修を通じて理解していきます。また少人数クラスのゼミでは、大学での学びの土台になる物事を読み解く力（リテラシー）とその内容を的確に表現する方法を確立していきます。こうした学部学科独自の学びを支えるものとして、「全学教養科目（基礎領域）」を履修します。

2年生

1年生での学びの成果をもとにしながら、一人ひとりの関心を掘り下げていきます。「学科基礎科目」の履修では分野ごとの大前提となる内容や考え方を押さえ、「学科専攻科目」の履修では領域ごとの重点事項を具体的な方法論とあわせる形で学んでいきます。また少人数クラスのゼミでは一人ひとりの進路の見通しに応じて、社会との接点を意識した学びを文献の読解や調査などによって深めたり（「社会福祉学専門ゼミ1・2」）、個人の豊かな生活を保障する福祉援助職に求められる資質を身につけたりします（「ソーシャルワーク演習」「ソーシャルワーク演習（専門）1」）。なお、学部学科で取得可能な資格や免許を志望する人は、現場での実習および事前・事後の学習をもとに、責任と実感の伴った専門的な認識を確かにしていきます。

Ⅰ

教育
目標

Ⅱ

履修
一般

Ⅲ

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

Ⅳ

学籍・
学費

Ⅴ

キャンパス
ライフ

Ⅵ

進路・
就職支援

Ⅶ

大学の
取り組み

Ⅷ

規程

3年生

1・2年生での学びを基盤にした上で、一人ひとりの学びの全体像を内容ごとの関連性から意識できるよう「学科基礎科目」と「学科専攻科目」を履修していきます。あわせて3年生から履修可能となる「全学教養科目（応用領域）」を受講する中で、学部学科での専門的な学びとそれを支える見識のつながりを一段階上の水準に高めていきます。また少人数クラスのゼミでは一人ひとりの進路の見通しに応じて、2年生までの到達点を踏まえた専門的学習を進めていきます（「社会福祉学専門ゼミ3」または「ソーシャルワーク演習（専門）2」）。なお、学部学科で取得可能な資格や免許を志望する人は、現場での実習および事前・事後の学習をもとに、責任と実感の伴った専門的な認識を確かにしていきます。

4年生

1年生で学んだ基本的事項（「社会問題と人権のつながりを福祉の観点でとらえながら、個人の生活を守り支えていくための基本的視点」、「福祉の対象が、実に広くかつ生活と密接につながっていること」）が、相互に関連し合う専門的な学習を通じて、社会で生活する個人の権利を尊重する一市民としての成長につながっていくよう、一人ひとりの進路に沿った4年生での学びを進めていきます。また少人数クラスのゼミ（卒業研究ゼミ1・2）では、社会福祉学部社会福祉学科での学びの成果を、各自の関心に応じながら卒業研究にまとめるなど論理的かつ具体的な形で深めていきます。なお、学部学科で取得可能な資格や免許を志望する人は、現場での実習および事前・事後の学習をもとに、責任と実感の伴った専門的な認識を確かにしていきます。

免許・資格の取得について（『STUDY GUIDE（免許・資格）』の該当ページを参照のこと）

あなたは何のために免許・資格の取得を考えていますか。とりあえずといった安易な気持ちでの履修や、多くの免許・資格の取得だけが目的の履修は避けてください。どのような福祉専門職や教員として活躍したいのかという専門職像・教師像を抱きながら履修するよう努めてください。

社会福祉士、精神保健福祉士、保育士の資格は、学部学科の学びを深めながら取得を目指すことができます。これらの資格には現場での実習が必須です。その上で、保育士資格は所定の課程において単位を修得すれば、卒業と同時に資格を取得することができます。社会福祉士、精神保健福祉士は、さらに国家試験に合格して初めて資格を取得することができます。したがって明確な目的意識がない場合には、資格取得のための履修継続が困難となることが予想されます。なお、精神保健福祉士と保育士の両方を取得することはできません。

教員免許（中学「社会」、高校「地理・歴史」「公民」「福祉」、特別支援）も、学部学科の学びを深めながら取得を目指すことができます。これらの免許には現場での教育実習が必須です。その上で、所定の課程において単位を修得すれば、卒業と同時に免許を取得することができますが、各自治体で実施される教員採用試験に合格しなければ学校現場で継続的に働くことは困難となります。

なお、それぞれの免許・資格に応じて各種ガイダンスが実施されますので、各自で連絡事項を確認し必ず参加するようにしてください。

系列区分	卒業所要単位修得にかかる要件			卒業所要単位				
	必要科目等	必要単位	修得単位	小計	中計	大計	総計	
全学共通科目	全学共通科目および全学教養科目より 30 単位							
	仏教				2 単位			
	■必修科目の 2 単位 ・ブッタと法然				2 単位			
	自校教育				0 単位以上			
	□任意で選択の科目				0 単位以上			
	外国語				1 語種から 8 単位			
	■必修外国語科目の 1 語種 8 単位				8 単位			
	・ Intensive Reading 1							
	・ Intensive Reading 2							
	・ Integrated Communication Skills 1							
	・ Integrated Communication Skills 2							
	・ Integrated Communication Skills 3							
	・ Integrated Communication Skills 4							
	・ Intermediate Reading 1							
	・ Intermediate Reading 2							
	・ 中国語 1							
	・ 中国語 2							
	・ 中国語 3							
	・ 中国語 4							
	・ 中国語 5							
	・ 中国語 6							
	・ 中国語 7							
	・ 中国語 8							
	・ 朝鮮語 1							
	・ 朝鮮語 2							
	・ 朝鮮語 3							
	・ 朝鮮語 4							
・ 朝鮮語 5								
・ 朝鮮語 6								
・ 朝鮮語 7								
・ 朝鮮語 8								
□任意で選択の科目				0 単位以上				
日本語表現				2 単位				
■必修科目の 2 単位 ・ 専門学修のための日本語表現				2 単位				
情報処理				小計を満たし 2 単位以上				
■必修科目の 2 単位 ・ コンピュータ・リテラシー				2 単位				
□任意で選択の科目				0 単位以上				
キャリア				0 単位以上				
□任意で選択の科目				0 単位以上				
スポーツ				0 単位以上				
□任意で選択の科目				0 単位以上				
日本事情				0 単位以上				
□任意で選択の科目				0 単位以上				
海外研修				0 単位以上				
□任意で選択の科目				0 単位以上				
大学コンソーシアム				0 単位以上				
□任意で選択の科目				0 単位以上				
全学教養科目	全学教養科目				小計を満たし 8 単位以上			
	■基礎領域より任意で選択				4 単位以上			
	■応用領域より任意で選択				4 単位以上			
専門科目	専門科目より 94 単位以上							
	学部基幹科目							
	■必修科目の 6 単位							
	・ 現代の社会問題							
	・ 福祉とケアの倫理							
	・ 人権と福祉							
	学科基礎科目							
	■必修科目の 6 単位							
	・ 社会福祉入門ゼミ							
	・ 社会福祉原論							
	・ 社会福祉史							
	■①または②の 4 単位							
	①の選択科目							
	・ 社会福祉学専門ゼミ 1							
	・ 社会福祉学専門ゼミ 2							
	②の選択科目							
	・ ソーシャルワーク演習							
	・ ソーシャルワーク演習（専門）1							
	■任意で選択の科目							
	14 単位以上							
	学科専攻科目							
	■必修科目の 4 単位							
	・ 卒業研究ゼミ 1							
	・ 卒業研究ゼミ 2							
	■①または②の 2 単位							
	①の選択科目							
	・ 社会福祉学専門ゼミ 3							
②の選択科目								
・ ソーシャルワーク演習（専門）2								
■任意で選択の科目								
16 単位以上								
関連科目								
□任意で選択の科目								
0 単位以上								
0 単位以上								
小計・中計を満たし 30 単位								
※卒業所要単位には 30 単位までしか算入できません。								
※科目は pp.56・57 参照								
小計・中計・大計を満たし 124 単位以上								

※自由科目は卒業所要単位に算入できません。

I
教育
目標II
履修
一般III
教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴文

教育

幼教

臨床

現社

公共

福祉

その他

IV
学籍・
学費V
キャンパス
ライフVI
進路・
就職支援VII
大学の
取り組みVIII
規程

社会福祉学科 履修科目表 (1/3)

系列区分	授業科目	単位	必修・選択・自由別 必修選択自由	履修開始 セメスター	GPA 対象	備 考
I 教育 目標	学	現代の社会問題	2 必	1		3科目6単位を履修すること。
	部	福祉とケアの倫理	2 必	1		
	科	人権と福祉	2 必	1		
II 履修 一般	学	社会福祉入門ゼミ	2 必	1		必修科目3科目6単位および選択科目のうち「社会福祉学専門ゼミ1.2」または「ソーシャルワーク演習」「ソーシャルワーク演習(専門)1」のいずれか2科目4単位を含み9科目18単位以上、合計12科目24単位以上を履修すること。
		社会福祉原論	2 必	2		
		社会福祉史	2 必	2		
III 教育 課程	学	ソーシャルワークの基盤と専門職	2 選	1		
		ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	2 選	2		
		ソーシャルワークの理論と方法1	2 選	3		
全学	学	ソーシャルワークの理論と方法2	2 選	4		
		社会福祉援助技術論1	2 選	3		
		社会的養護1	2 選	3		
仏教	学	教育と福祉	2 選	4		
		社会福祉法	2 選	3		
		社会保障論1	2 選	3		
日文	学	社会保障論2	2 選	4		
		高齢者福祉論	2 選	2		
		障害児者福祉論	2 選	2		
中国	学	児童・家庭福祉論	2 選	2		
		貧困に対する支援	2 選	3		
		精神保健福祉の原理1	2 選	1		
英米	学	精神保健福祉の原理2	2 選	2		
		精神保健の課題と支援1	2 選	1		
		精神保健の課題と支援2	2 選	2		
歴史	学	人間発達論	2 選	2		
		現代家族論	2 選	2		
		仏教福祉論	2 選	2		
歴史文	学	保育福祉入門	1 選	1		
		保育原理	2 選	2		
		教育原論	2 選	3		
教育	学	保育の心理学	2 選	2		
		子ども家庭福祉	2 選	2		
		社会福祉学専門ゼミ1	2 選	3		
幼教	学	社会福祉学専門ゼミ2	2 選	4		
		ソーシャルワーク演習	2 選	3		
		ソーシャルワーク演習(専門)1	2 選	4		
臨床	学	卒業研究ゼミ1	2 必	7		必修科目2科目4単位および選択科目のうち「社会福祉学専門ゼミ3」または「ソーシャルワーク演習(専門)2」のいずれか1科目2単位を含み9科目18単位以上、合計11科目22単位以上を履修すること。
		卒業研究ゼミ2	2 必	8		
		卒業レポート	4 選	8		
現社	学	社会福祉学専門ゼミ3	2 選	5		
		ソーシャルワーク演習(専門)2	2 選	5		
		ソーシャルワーク演習(専門)3	2 選	7		
公共	学	ソーシャルワーク演習(専門)4	2 選	7		
		教育福祉演習	2 選	6		
		キャリアスタディ	1 選	6		
社福	学	精神保健福祉援助演習1	2 選	5		
		精神保健福祉援助演習2	2 選	5		
		精神保健福祉援助演習3	2 選	7		
その他	学	社会福祉調査の基礎	2 選	3		
		医学概論	2 選	5		
		保健医療と福祉	2 選	3		
IV 学籍・ 学費	学	地域福祉と包括的支援体制1	2 選	3		
		地域福祉と包括的支援体制2	2 選	4		
		ソーシャルワークの理論と方法3	2 選	5		
V キャンパス ライフ	学	ソーシャルワークの理論と方法4	2 選	7		
		福祉行財政と福祉計画	2 選	3		
		福祉サービスの組織と経営	2 選	5		
VI 進路・ 就職支援	学	社会福祉の原理と政策1	2 選	7		
		社会福祉の原理と政策2	2 選	8		
		権利擁護を支える法制度	2 選	5		
VII 大学の 取り組み	学	刑事司法と福祉	2 選	5		
		アジアの社会と福祉	2 選	2		
		欧米の社会と福祉	2 選	3		
VIII 規程	学	高齢者ケア論	2 選	3		

社会福祉学科 履修科目表 (2/3)

系列区分	授 業 科 目	単位	必修・選択・自由別			履修開始 セメスター	GPA 対象	備 考
			必修	選択	自由			
専 門 科 目	障害児者ケア論	2		選		3		
	児童ケア論	2		選		3		
	精神保健福祉制度論	2		選		5		
	精神医学1	2		選		3		
	精神医学2	2		選		4		
	ソーシャルワークの理論と方法 (専門) 1	2		選		5		
	ソーシャルワークの理論と方法 (専門) 2	2		選		7		
	精神障害リハビリテーション論	2		選		7		
	介護概論	2		選		4		
	障害児臨床論	2		選		3		
	医療福祉論	2		選		4		
	福祉と協同の思想	2		選		3		
	現代福祉社会論	2		選		3		
	社会政策論1	2		選		3		
	社会政策論2	2		選		4		
	自治体福祉政策論	2		選		3		
	医療政策	2		選		4		
	日本社会福祉史	2		選		3		
	欧米社会福祉史	2		選		3		
	リハビリテーション論	2		選		5		
	心身ケア論	2		選		3		
	居住福祉論	2		選		3		
	国際福祉論	2		選		3		
	保育者論	2		選		3		
	子ども家庭支援の心理学	2		選		3		
	子どもの理解と援助	1		選		3		
	子どもの保健	2		選		3		
	子どもの食と栄養	2		選		5		
	子ども家庭支援論	2		選		5		
	保育の計画と評価	2		選		5		
	保育内容総論	1		選		3		
	保育内容演習「健康」	1		選		3		
	保育内容演習「人間関係」	1		選		3		
	保育内容演習「環境」	1		選		3		
	保育内容演習「言葉」	1		選		3		
	保育内容演習「表現」	1		選		3		
	乳児保育1	2		選		3		
	乳児保育2	1		選		5		
	子どもの健康と安全	1		選		5		
	障害児保育	2		選		3		
	社会的養護2	1		選		5		
	子育て支援	1		選		3		
	保育内容の理解と方法1	1		選		2		
	保育内容の理解と方法2	1		選		3		
	保育内容の理解と方法3	1		選		2		
	保育内容の理解と方法4	1		選		3		
	保育実践演習	2		選		8		
	心理学と心理的支援	2		選		3		
	社会学と社会システム	2		選		3		
	介護技術指導	1		選		5		
	学童保育概論	2		選		3		
	社会福祉特別講義	2		選		7	×	
関 連 科 目	ピアノ1	1		選		2		
	ピアノ2	1		選		3		
	ピアノ3	1		選		4		
	仏教保育論	2		選		3		
	保育内容特別演習1	2		選		3		
	保育内容特別演習2	2		選		7		
	国際社会福祉特殊講義	2		選		1	×	
	国際社会福祉研修1	2		選		1	×	
	国際社会福祉研修2	2		選		3	×	
	社会福祉総合実習	2		選		5	×	
	社会福祉総合実習指導	2		選		5	×	
	職業指導	2		選		3		
	教育心理学	2		選		2		

- I 教育目標
- II 履修一般
- III 教育課程
- 全学
- 仏教
- 日文
- 中国
- 英米
- 歴史
- 歴史文
- 教育
- 幼教
- 臨床
- 現社
- 公共
- 社福
- その他
- IV 学籍・学費
- V キャンパスライフ
- VI 進路・就職支援
- VII 大学の取り組み
- VIII 規程

社会福祉学科 履修科目表 (3/3)

系列区分	授 業 科 目	単位	必修・選択・自由別			履修開始 セメスター	GPA 対象	備 考
			必修	選択	自由			
専 門 科 目	発達心理学	2		選		3		
	日本史概論	2		選		1		
	日本史特論	2		選		2		
	東洋史概論	2		選		1		
	西洋史概論	2		選		1		
	地誌学 1	2		選		3		
	地誌学 2	2		選		4		
	自然地理学 1	2		選		3		
	自然地理学 2	2		選		4		
	人文地理学 1	2		選		3		
	人文地理学 2	2		選		4		
	法学概論 1	2		選		1		
	法学概論 2	2		選		2		
	国際政治学	2		選		1		
	社会学概論	2		選		1		
	経済学概論	2		選		1		
	哲学概論	2		選		2		
	宗教学概論	2		選		1		
	倫理学概論	2		選		1		
	社会心理学	2		選		3		
	日本仏教史 (仏教伝来～平安)	2		選		1		
	日本仏教史 (鎌倉以降)	2		選		2		
	中国仏教史	2		選		1		
	ソーシャルワーク実習指導 1	2			自	4	×	自由科目で修得した単位は卒業所要単位には算入できません。
	ソーシャルワーク実習指導 2	2			自	5	×	
	ソーシャルワーク実習指導 3	2			自	6	×	
	ソーシャルワーク実習 1	2			自	4	×	
	ソーシャルワーク実習 2	4			自	5	×	
	精神保健福祉援助実習指導 1	2			自	5	×	
	精神保健福祉援助実習指導 2	2			自	7	×	
	精神保健福祉援助実習指導 3	2			自	8	×	
	精神保健福祉援助実習 1	3			自	6	×	
	精神保健福祉援助実習 2	2			自	7	×	
	保育実習 1 A	2			自	6	×	
	保育実習 1 B	2			自	6	×	
	保育実習指導 1 (事前)	1			自	5	×	
	保育実習指導 1 (事後)	1			自	6	×	
	保育実習 2	2			自	7	×	
	保育実習 3	2			自	7	×	
	保育実習指導 2	1			自	7	×	
	保育実習指導 3	1			自	7	×	

I
教育
目標II
履修
一般III
教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV
学籍・
学費V
キャンパス
ライフVI
進路・
就職支援VII
大学の
取り組みVIII
規程

社会福祉学科 提出までの手続き

大学院進学希望者は、「卒業レポート」が必修です。

履修登録

第4学年第8セメスターにおいて「卒業レポート」の履修登録が必要です。

卒業レポート 提出

【書 式】

学科	文字方向	手書き	ワープロ使用時の用紙書式	
社会福祉学科	横書き	不可	A4判縦 (上綴じ)	1,200字(40字×30行)/1枚 10枚(12,000字)以上 文字ポイント・余白・外字等の詳細は、 指導教員の指示を受けること

・作成にあたっては、指導教員の指示にしたがってください。

- 【提出】**・レポートの体裁は、「レポート提出票」を表紙とし（p.40 参照）、期限（学年暦参照）までに学生支援課へ提出してください。
- ・口頭試問は実施しません。

Ⅰ

教育
目標

Ⅱ

履修
一般

Ⅲ

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

Ⅳ

学籍・
学費

Ⅴ

キャンパス
ライフ

Ⅵ

進路・
就職支援

Ⅶ

大学の
取り組み

Ⅷ

規程

第4学年に
おいて修得した
単位は、本学の卒業
所要単位として認定
することは
できません。

大学コンソーシアム京都「単位互換制度」

単位互換制度とは、他大学の科目を履修し、その単位を所属大学の単位として認定する制度です。学生の幅広い関心と興味に応じて、文化、芸術、政治、経済、自然科学など、ほぼ全ての学問分野にわたる科目が9テーマに分類され提供されています。自分の専攻を深めたい人、いろいろな可能性にチャレンジしてみたい人、自分の大学にない分野の科目を学んでみたい人など、毎年様々な動機で多くの学生が履修しています。本学の学生もこの制度により他大学の単位互換科目を受講することができます。受講料は無料（ただし科目により、所定の実習費等実費が必要となる場合があります）です。詳細については、『単位互換・京カレッジポータルサイト』（財）大学コンソーシアム京都）を参照してください。

なお、本学における出願要項は次のとおりです。

出 願 要 項

出 願 期 間 (追加出願期間)	B-netおよび掲示板にてお知らせします。（3月下旬～4月初旬）
出 願 先	本学学生支援課
出 願 方 法	出願期間内に大学コンソーシアム京都のホームページ内「単位互換・京カレッジポータルサイト」にて出願票を作成し、学生支援課に提出する。
履 修 許 可	受け入れ大学（以下「科目開設大学」）で出願が受理された学生に、履修が許可されます。申込みが多数の場合は、科目開設大学で書類選考等が行われます。なお、履修許可された授業科目の単位数は、「履修登録上限」の単位数に含めません。
履修許可通知	「単位互換・京カレッジポータルサイト」にて登録したメールアドレス宛に、履修可否を通知します。 ※出願された科目について、履修可否の通知までは、科目開設大学にて仮受講を許可していますので、必ず出席してください。
履 修 手 続 き	履修許可を受けた学生は、科目開設大学から指示された所定の手続きを行ってください。
身 分 証 明 書	手続きを完了した学生に、科目開設大学から身分証明書（単位互換履修生証等）が交付されます。 ※大学によっては、交付されない場合がありますので、科目開設大学の指示にしたがってください。
履 修 方 法	科目開設大学の指示に従ってください。 受講日等は『単位互換制度特設サイト』で確認してください。
単 位 の 認 定	大学コンソーシアム京都単位互換履修生として修得した単位は、8単位を上限として、本学の全学共通科目の単位として認定します。なお、単位認定は年度末となります。但し、 <u>第4学年次において修得した単位は、本学の卒業所要単位として認定することはできません。</u>
そ の 他	出願の際には、提供科目の開講日時が本学のオリエンテーション期間や、大学行事等に重ならないように留意してください。万一、重なった場合も、オリエンテーションや大学行事等への不参加の理由として認められません。

単位互換科目に関する諸連絡について

単位互換に関する諸連絡および科目開設大学から履修生への諸連絡（授業に関するお知らせ・休講・補講・試験等）については、出願時に登録したメールアドレスへ通知されます。詳細は以下のホームページにて、各自で確認してください。

大学コンソーシアム京都 単位互換・京カレッジポータルサイト

検索

(参考 URL)

<https://tg-kyoto.consortium.or.jp/>

<http://www.consortium.or.jp/project/tg/details>

短期海外語学研修

国際化する現代社会では、国際感覚を身につけることはもはや特別なことではありません。しかし、一言で国際感覚と言っても、その内容は多岐にわたります。諸外国の文化・歴史・社会情勢・価値観等を理解することで日本との相違を認識し、その国の人々と積極的に交流できることが、身につけておくべき重要な要素です。そのためには、生きた外国語の修得が求められることは言うまでもなく、実際に海外で地域文化に直に触れ、現地の人々とコミュニケーションをとることによって見聞を広めることは、国際感覚を磨くための体験として重要です。

本学が実施する短期海外語学研修は全学部の学生を対象としており、研修先は全学共通科目の必修外国語科目である「英語」、「中国語」、「朝鮮語」に対応した各国およびベトナムです。語学研修は「国際人の育成」を目的として独自に作成されたもので、現地講師の授業だけでなく、さまざまなアクティビティが設定されており、これらを通して貴重な体験が得られる機会を提供しています。

短期海外語学研修一覧（予定）

言語	国・地域	研修先	研修期間（日数）
英語	マルタ共和国	マルタ大学	8月上旬～8月下旬（約20日間）
	ニュージーランド	カンタベリー大学	8月上旬～8月下旬（約25日間）
	カナダ	ナイアガラカレッジ	8月上旬～8月下旬（約20日間）
	アメリカ	College of the Desert (C.O.D.)	3月上旬～3月下旬（約20日間）
	オーストラリア	ディーキン大学	2月上旬～3月中旬（約40日間）
中国語	中国	北京語言大学	8月上旬～8月中旬（約10日間）
	台湾	慈済大学	2月中旬～2月下旬（約20日間）
	台湾	東海大学	3月上旬～3月下旬（約20日間）
韓国語	韓国	東國大学校	8月上旬～8月下旬（約15日間）
ベトナム語	ベトナム	ホーチミンテクノロジー大学 (HUTECH)	2月下旬～3月上旬（約10日間）

○各プログラムの詳細は、B-net および掲示にてお知らせします。

※応募人数や国際情勢により、これらのプログラムを中止、もしくは内容を変更する場合があります。

対象学部

仏教学部

文学部

歴史学部

教育学部

社会学部

社会福祉学部

Ⅰ

教育
目標

Ⅱ

履修
一般

Ⅲ

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

Ⅳ

学籍・
学費

Ⅴ

キャンパス
ライフ

Ⅵ

進路・
就職支援

Ⅶ

大学の
取り組み

Ⅷ

規程

派遣留学・交換留学

本学が海外の大学との間で交わした学術交流協定に基づき、実施する留学制度です。
全学部生が対象です。

派遣留学・交換留学一覧

国・地域	留学先	期間※
韓国	圓光大学校	2月～翌年3月
	東國大学校	2月～翌年3月
	江南大学校	2月～翌年3月
中国	西北大学	2月～翌年3月
台湾	東海大学	9月～翌年6月
	慈済大学	9月～翌年6月
ベトナム	ホーチミン市外国語情報技術大学 (HUFLIT)	9月～翌年6月
アメリカ	College of the Desert (C.O.D.)	8月～翌年6月

※留学中は留学先の履修に専念し、本学開講科目（オンライン含む）を履修することはできません。

通信教育課程との併修履修制度（「免許併修」）

担当：教職支援課

「免許併修」とは

通学課程で在籍する学部・学科では取得できない教員免許状を、通信教育課程で履修することにより取得する制度です。在籍する通学課程の学部・学科で取得できる教員免許状は、通信教育課程の履修では取得できません。

- ①「免許併修」で取得可能な教員免許状は、下表の【「免許併修」で取得可能な教員免許状一覧】に掲載されている中から一種類となります。
- ②「免許併修」は、第2学年もしくは第3学年の4月から履修開始となります。入学手続きを履修開始前年度の所定期間に行うことが必要です。
- ③「免許併修」の履修開始前年度に以下のとおり説明会を行います。
【6月】履修方法や諸経費等に関する説明
【12月】入学手続きに関する説明
※日時はB-netでお知らせします。
- ④第3学年から「免許併修」を開始する場合は、履修期間が実質1年半程度しかありません。通学課程の学修と両立させながら通信教育課程の学修を進めるためには、入念な履修計画を立て、科目の合格を目指す必要があります。
- ⑤「免許併修」において修得した単位は、通学課程の自由科目として単位認定されるため、卒業要件には算入できません。また、「免許併修」の履修単位は、通学課程の年間の履修登録上限単位数には含まれません。
- ⑥通学課程における学籍異動がある場合、「免許併修」の学籍は以下のようになります。
イ)「免許併修」には休学制度がありませんので、通学課程を休学する場合でも「免許併修」の学籍は継続（在学）となります。
ロ) 通学課程を退学・除籍となった場合は、「免許併修」の学籍も退学になります。
ハ)「免許併修」で取得可能な教員免許状は通学課程の在籍する学部・学科によって限られているため、通学課程の転学部・転学科を希望する場合には注意が必要です。
- ⑦通学課程を卒業すると「免許併修」の学籍は退学になります。「免許併修」で教員免許状の取得に必要な科目を履修できずに通学課程を卒業した場合、卒業後新たに通信教育課程に入学し、教員免許状の取得に向けて科目を履修することができます。

【「免許併修」で取得可能な教員免許状一覧】

通学在籍学科	仏教	日本文学	中国語	英語	歴史	歴史文化	教育	幼児教育	臨床心理	現代社会	公共政策	社会福祉
免許の種類												
幼稚園1種	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
小学校1種	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
国語／中学校1種・高校1種	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
社会／中学校1種 地理歴史／高校1種		○	○	○				○				
社会／中学校1種 公民／高校1種		○	○	○				○				
地理歴史・公民／高校1種		○	○	○			○	○				
地理歴史／高校1種		○	○	○			○	○	○			
公民／高校1種		○	○	○			○	○				
数学／中学校1種・高校1種	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
英語／中学校1種・高校1種	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
中国語／中学校1種・高校1種	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
宗教／中学校1種・高校1種		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
書道／高校1種	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
情報／高校1種	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○
福祉／高校1種	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

IV. 学籍・学費

学籍情報変更の手続き

P.175

学籍異動

P.176

学費

P.179

奨学金・支援制度

P.180



学籍情報変更の手続き

担当：学生支援課

本学に登録している住所や連絡先等、学籍情報（学生本人・保証人・学費負担者）に変更が生じた場合はすみやかにB-net より学籍情報変更申請を行ってください。変更手続きを怠ると、大学からの重要書類や「学費納付等通知書」が届かないなどのトラブルが生じます。

なお、未手続きにより生じる不利益は、学生自身の責任となりますので注意してください。

変更手続きが必要な情報

学生本人 → 「氏名」「住所」「電話番号」「本籍地（都道府県）」
保証人 → 「氏名」「住所」「電話番号」（保証人変更含む）
学費負担者 → 「氏名」「住所」「電話番号」（学費納付通知書の送付先）
※「電話番号」には「携帯電話番号」を含む

手続方法

学生本人情報 → B-net> 情報照会 > 個人情報照会 > 学籍情報変更申請の「学生情報変更届」（本籍地の変更は「本籍地情報変更届」）

保証人・学費負担者情報 → B-net> 情報照会 > 個人情報照会 > 学籍情報変更申請の「保証人情報変更届（保証人 1）」、「学費負担者情報変更届（保証人 2）」

※「学生情報変更届」、「保証人情報変更届（保証人 1）」、「学費負担者情報変更届（保証人 2）」、「本籍地情報変更届」は同時に申請できません。

それぞれの変更届下の「申請内容確認」を押し、申請内容の確認後、「この内容で申請」ボタンを押してください。

※詳細は、B-net ホーム画面の「お気に入り」より『B-net（通学課程）【学生】利用ガイド』の「9. 学籍情報（住所・連絡先等）の変更申請」を参照してください。

申請時の留意事項

- ・住所変更に伴い、マンション・アパートにお住まいの場合、建物名および部屋番号を正しく入力すること。
- ・電話番号はハイフンを含めて入力すること。
- ・固定電話の解約等により電話番号の削除を希望する場合、変更内容欄に「0」を入力し、変更理由欄に削除を希望する旨入力してください。

本人氏名を変更する場合

B-net の学籍情報変更申請では手続きできません。学生支援課へ来課してください（所定様式での申出と「戸籍抄本」の提出が必要です）。

保証人を変更する場合

B-net の学籍情報変更申請のみでは手続きは完了しません。学生支援課へ来課してください（所定様式での申出と「誓約証書」の再提出が必要です）。

I
教育
目標

II
履修
一般

III
教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV
学籍・
学費

V
キャンパス
ライフ

VI
進路・
就職支援

VII
大学の
取り組み

VIII
規程

学籍異動 ※手続方法が変更となる可能性があります。詳細は、B-net または学生支援課窓口で確認するようにしてください。

担当：学生支援課

休 学

やむをえない事情により学業継続が困難な場合、休学することができます。

休学期間	手続期間*	備考
年 間（4月1日～3月31日）	1月6日～4月30日	左記手続期間内に下記注意点1について完了する必要があります。
春学期（4月1日～9月19日）	1月6日～4月30日	
秋学期（9月20日～3月31日）	7月1日～9月30日	

※手続期間最終日が学生支援課事務休止日の場合、前日の事務終了時間までとなります。

■注意点

1. 学生支援課職員との面談後、教員面談を行い、「**休学願（本学所定用紙）**」を期間内に学生支援課または二条キャンパス事務課まで提出してください。
（学籍異動をするにあたり、事前に B-net での面談予約が必要です）

2. 休学可能年数について

課程	休学可能年数※通算	備考
学部	4 年	編入学・再入学の場合は、別途確認が必要です。 学生支援課までご連絡ください。
修士	2 年	
博士	3 年	

3. 休学期間の学費は徴収しません。ただし、**在籍料（半期につき 6,000 円）**の納入が必要です。
4. 次の場合、別途必要書類を提出してください。
病気・ケガ等→医師の診断書（3か月以内）
留学等 →「海外渡航届（本学所定用紙）」
5. 休学期間終了後は、**自動的に復学**となります。引き続き休学する場合は「再休学」の手続きが必要です。なお、休学期間終了前に関連する通知をお届けいたします。

再 休 学

休学している学生が**休学期間を延長する場合**、再休学の手続きを行う必要があります。

休学期間	手続期間*	備考
年 間（4月1日～3月31日）	2月1日～2月20日	休学期間終了前に保証人住所へ「学籍異動願」（本学所定様式）をお届けします。
春学期（4月1日～9月19日）	2月1日～2月20日	
秋学期（9月20日～3月31日）	8月1日～8月20日	

※手続期間最終日が学生支援課事務休止日の場合、前日の事務終了時間までとなります。

■注意点

1. 休学可能年数については、ご自身でご確認ください。残りの休学可能年数や在籍年数について、本人、保証人に問わずお電話での回答はできませんので留意してください。
2. 休学期間の学費は徴収しません。ただし、**在籍料（半期につき 6,000 円）**の納入が必要です。
3. 次の場合、別途必要書類を再提出してください。
病気・ケガ等で休学期間を延長する場合→医師の診断書（3か月以内）
留学している場合 →「海外渡航届（本学所定用紙）」
4. 休学期間終了後は、**自動的に復学**となります。引き続き休学する場合は「再休学」の手続きが必要です。なお、休学期間終了前に関連する通知をお届けいたしますので期日を守って手続きをしてください。

復 学

休学期間終了後は、**自動的に復学となる**ため、復学の手続きは必要ありません。ただし、病気により休学していた場合は、必ず医師の診断書を提出してください。

その他の詳細については、休学期間終了前に送付する通知にて確認してください。

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

依 願 退 学

退学を願い出る場合は、学生支援課職員と面談後、教員面談を行い、「学生証」を添付のうえ、「退学願」（**本学所定用紙**）を学生支援課または二条キャンパス事務課に提出する必要があります。

■注意点

1. 依願退学の手続きを行うには、学費を納入していることが条件となります。
ただし、学費納入期間内の提出および休学からの退学は除きます。
2. 学期末での依願退学を希望する場合、以下のとおり別途手続期間を定めます。

退学日付	手続期間*	備考
春学期末（9月19日付）	7月1日～9月30日 （休学者8月1日～8月20日）	学籍異動をするにあたり、事前にB-netでの面談予約が必要です（休学中の方は「学籍異動願」（本学所定用紙）を提出してください）。
秋学期末（3月31日付）	1月6日～4月30日 （休学者2月1日～2月20日）	

※手続期間最終日が学生支援課事務休止日の場合、前日の事務終了時間までとなります。

その他の退学

退学には依願退学以外に、通知退学・処分退学があります。この場合、本学の全ての課程に再び入学することはできません。

○通知退学→在学年数もしくは在籍年数を超える場合

○処分退学→性行不良等により大学の秩序を乱し、学生の本分に反した場合

除 籍

期間内*に学費（休学者は在籍料）を完納しなかった場合、除籍となります。

※学費の納入期限については、p.179を参照

○春学期末納者→前年度3月31日付

○秋学期末納者→当年度9月19日付

復 籍

学費未納により除籍になった学生で、学業継続を希望する場合は、復籍することができます。下記期間内に**学費の完納**と「**復籍願**」（**本学所定用紙**）の提出（学生支援課宛）をしてください。

学期	復籍手続期間*
春学期末納者	7月11日～7月31日
秋学期末納者	12月11日～12月25日

※手続期間については、復籍手続案内時の記載をご確認ください。

再 入 学

依願退学・満期退学・除籍した学生が再び就学を希望する場合、期間内の申請手続と面接選考合格によって、修学を再開し継続することができます。

受験資格	退学・除籍日より3年以内
申請手続	学生支援課に連絡し、学生支援課職員との面談後、「再入学願」（本学所定用紙）を学生支援課に提出する。
申請と選考の期間	再入学希望年度の前年度1月16日～2月28日 ※選考があります。2月初旬までに学生支援課へ問い合わせてください。
選考方法	教員面接

■注意点

1. 再入学は4月入学のみで、離籍前と同一学科・同一専攻に限ります。秋学期の再入学はできません。
2. 再入学時は再入学料が必要となります。詳細は、教員面接後にお知らせします。
3. 病気により依願退学した場合は、必ず医師の診断書を提出してください。
4. 教員免許・諸資格を取得希望の場合、法令改正等により修得科目数や修業年限等変更される場合があります。

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

転 籍

転籍とは、通学課程の学生が通信教育課程に学籍を異動することです。

転籍を願い出る場合は、学生支援課職員と面談後、教員面談を行い、「学生証」を添付の上「**転籍願**」(本学所定用紙)を学生支援課または二条キャンパス事務課へ提出する必要があります。

※事前に B-net での面談予約が必要です(休学中の方は「学籍異動願」(本学所定用紙)で転籍を申し出のうえ面談を実施します)。

申請手続	学生支援課職員との面談後、「転籍願」(本学所定用紙)を学生支援課または二条キャンパス事務課へ提出する。
申請と学内審議の期間	転籍希望年度の前年度2月1日～3月14日 ※学内での審議が必要です。 2月中旬 までに学生支援課に申し出てください。

※手続期間最終日が学生支援課事務休止日の場合、前日の事務終了時間までとなります。

■注意点

1. 通信教育課程へは4月1日付で異動となります。秋学期の転籍はできません。
2. 通学課程での在籍年数および修得単位数により通信教育課程への転籍年次が決定します。
3. 通学課程と異なる学科へ転籍することも可能です(ただし、認定できない単位が多く生じる可能性があります)。
4. 通信教育課程へ転籍することにより、卒業要件科目(単位)や免許・資格取得要件科目(単位)が増える可能性があります。
5. 通学課程と通信教育課程とでは学修スタイルが大きく異なります。通信教育課程へ転籍する可否か十分に検討してください。
6. 転籍後に再度通学課程へ転籍することはできません。

転学部・転学科

転学部・転学科とは、現在所属している学部・学科から、他の学部・学科へ**移籍**することです。

なお、移籍を希望する方には2月に「**選考試験**」が行われ、合格することにより移籍することができます。不合格の場合には、現在所属する学部・学科に在籍することになります。

●手続方法

■資格：1年次または2年次に在学中の学部生(休学中は申請不可)

■期間：1月6日～1月31日

※手続きがありますので、**1月中旬**までに学生支援課へ申し出てください。

■備考：詳細については、**学生支援課**にて確認してください。

【注意事項】

- **保健医療技術学部(理学療法学科・作業療法学科・看護学科)**への転学部・転学科はできません。
- **宗門後継者入試による入学者**の転学部・転学科はできません。

〈資格取得について〉※現学科での履修状況により、異なる場合があります

- 図書館司書、博物館学芸員、社会教育主事資格、浄土宗教師資格については、2年間で取得することはできません。
- 幼児教育学科に転学部・転学科する場合
幼稚園教諭免許状と保育士資格の両方を、2年間で取得することはできません。
- 臨床心理学科に転学部・転学科する場合
公認心理師については、資格に必要な単位を2年間で取得することはできません。
なお、公認心理師試験受験資格は、4年制大学卒業のみでは取得することはできません。
(大学院において公認心理師資格取得に関する単位の修得、または公認心理師法で定める施設での必要期間以上の実務経験が必要)
- 社会福祉学科に転学部・転学科する場合
保育士、精神保健福祉士国家試験受験資格については、取得することはできません。
社会福祉士国家試験受験資格については、選考試験があり合格した者のみ履修できます。
なお、2年間で取得することはできません。

学費

学費・諸費

当該年度の学費・諸費については、本学 HP で確認してください。

URL : <https://www.bukkyo-u.ac.jp/campuslife/scholarship/enumeration/>

学費納入

財務課より、B-net に登録された「学費負担者」宛に学費納付通知書（振込依頼書）を普通郵便で送付します。

送付時期	送付内容	納入期間
4 月初旬	振込依頼書（年間分） 振込依頼書（春学期分）	4 月 1 日～ 4 月 30 日
9 月初旬※年間学費納入でなかった場合	振込依頼書（秋学期分）	9 月 1 日～ 9 月 30 日

■注意点

1. 振込依頼書が届かない場合は、財務課まで連絡してください。
2. 納入期間内に金融機関より振り込んでください（ATM 不可）。
3. 納入期間最終日が金融機関休業日にあたる場合は、翌営業日を最終日とします。
4. 4 月にお届けする振込依頼書は、年間分あるいは春学期分のいずれか一方を使って学費を納入してください。
「振込依頼書（春学期分）」を利用して学費を納入した場合、9 月初旬に「振込依頼書（秋学期分）」を送付します。
5. 振込依頼書の受領書をもって領収書とします。大切に保管してください。
6. 「学費負担者」の住所変更は、送付時期の前月初旬までの手続き分まで反映します。以降の住所変更時は、郵便物転送処理などの対応をお願いします。

学費納入の延期・分納

学費納入期間内に納入できない場合は、学費納入期間の延期や、分割納入を申請することができます。

申請期間	納入期間（延期・分納許可者）	備考
4 月 1 日～ 4 月 30 日	4 月 1 日～ 6 月 30 日	申請方法は B-net にて案内します。
9 月 1 日～ 9 月 30 日	9 月 1 日～ 11 月 30 日	

■注意点

1. 分割納入を希望した場合、申請に応じて振込依頼書を「学費負担者」へ送付します。
2. 分割納入を希望した場合でも、納入期間は上記のとおりです。

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

奨学金・支援制度

POINT! 各制度の詳細は、本学 HP にて『Campus Life Plan ～佛大奨学金ナビ～』を参照してください。
募集時期になりましたら、B-net で案内しますので、必ず確認してください。



奨学金とは

大学生活を充実させ、発展させていくためには経済的負担を伴います。これらの**経済的負担**を**軽減**し、キャンパスライフをサポートするための制度です。

給付・貸付

給付型制度：返還の必要がない奨学金。

貸与型制度：返還の義務がある奨学金。

貸与型には「有利子（利子を付けて返す）」と「無利子（利子がつかない）」の区別があります。

高等教育修学支援制度と日本学生支援機構奨学金

授業料・入学金の減免と給付型奨学金の支給の2つの支援により、大学で安心して学んでいただく制度です
(**本学は、一旦授業料等を納付いただき、学期末ごろに減免分を返金する還付方式です**)。

対象となる世帯や受けられる給付型奨学金については、日本学生支援機構ホームページにてご確認ください。



「進学資金シュミレーター」

<https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp>

また、日本学生支援機構では「第一種奨学金（無利子）」「第二種奨学金（有利子）」の貸与型制度もあります。



「日本学生支援機構奨学金」

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/index.html>

佛敎大学の奨学金制度

○大学推薦制奨学金

人物ならびに学業成績優秀者に対して佛敎大学が推薦する給付型制度です。

○公募制奨学金

佛敎大学や佛敎大学外郭団体である教育後援会・同窓会が支援する給付型制度です。

○その他の奨学金

民間育英団体や地方公共団体、企業などによって設立された奨学金制度です。

教育ローン

本学では金融機関と提携し、一般より**低い利率など有利な条件で融資**を受けることができる教育ローンを紹介しています。
詳細は金融機関へ直接お問い合わせください。

機関名	ローン名
三井住友銀行	佛敎大学提携教育ローン
滋賀銀行	佛敎大学提携教育ローン
三井住友カード株式会社	C-Web 学費ローン
株式会社オリエントコーポレーション	Orico 学費サポートプラン
日本政策金融公庫	国の教育ローン

※上記以外に利用可能な教育ローンがある場合は、B-net やホームページでお知らせします。

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャン
パス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

V. キャンパスライフ

学生証／学籍番号	P.182
災害時ガイドブック／安否確認	P.184
健康管理	P.185
救急発生時の対処	P.186
医療機関を知りたい	P.186
大学生活の心得	P.187
困ったとき、悩んでいるときの相談	P.189
障害学生支援	P.190
ハラスメントの防止	P.191
人権啓発	P.192
盗難・忘れ物	P.192
各種証明書（学割証）・願書・届出一覧	P.193
通学	P.196
傷害保険	P.197
在学中の ICT サービス	P.198
キャンパスマップ	P.201
学内の店舗等	P.206
図書館・図書室	P.207
ボランティア	P.209
海外渡航	P.210
留学生支援	P.211
課外活動	P.212
備品の貸出／施設利用	P.213
更衣室・ロッカー利用	P.215
トレーニングルーム	P.216
アルバイト	P.217
部屋探し	P.218

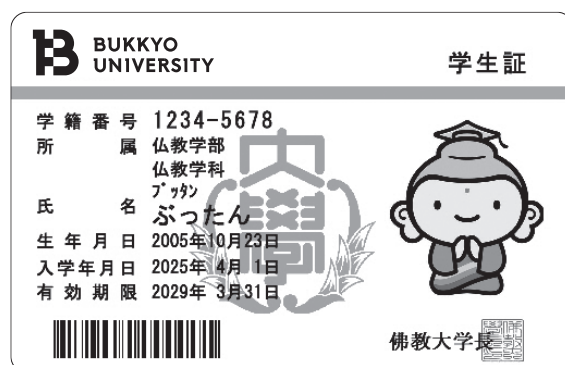
学生証

学生証は常に携帯してください！

学生証は佛教大学の学生であることを**証明**するものです。
学内外を問わず**常に携帯**してください。

●どんなとき必要？

- 本学教職員から提示の指示があったとき
- **授業**を受けるとき
- **定期試験**を受けるとき
- 学内の**プリンター**を利用するとき
- **各種証明書・学割証**の交付を受けるとき
- **通学定期乗車券**または学生割引乗車券の**購入**および
それを利用して乗車・乗船し係員から提示を求められたとき
- **図書館・図書室**を利用するとき
- **二条キャンパス**を利用するとき（1階以外への入館等）
etc.



注意！ ・常に携帯してください！
・ICチップが内蔵されていますので、取り扱いには
十分注意してください。

学生証を失くしたり破損したときは・・・★

学生証の紛失等により再発行を希望する場合、**学生支援課または二条キャンパス事務課**で手続きをしてください。
また、紛失・盗難の場合は悪用による被害を避けるため最寄りの警察に届け出てください。
※落とし物として大学に届いている可能性があるため、事前に学生支援課または二条キャンパス事務課窓口で確認してください。

学生証の顔写真を変更したいときは・・・★

就職活動などで学生証の顔写真による本人確認において支障がある場合は、学生証の再発行時に顔写真の変更が可能です。学生支援課または二条キャンパス事務課にて手続きをしてください。

定期試験時に学生証を忘れてしまったときは・・・

定期試験時に学生証を忘れた場合は、試験開始前に**学生支援課または二条キャンパス事務課**にて「**仮学生証**」の交付を受けてください。なお、「仮学生証」の発行には毎回手数料（300円）が必要となり、**発行日のみ有効**です。使用後は必ず**当日返却**してください。返却がない場合は、次回より「仮学生証」の発行はできません。

新入生は必ず！！

利用確認期間として、**4月末日**までに図書館入館や証明書自動発行機の利用で学生証のデータ不良がないか確認してください。データ不良のある場合は**学生支援課**にて**交換**します。なお、5月以降の申し出については、再発行手数料が必要となります。

★学生証の再発行には手数料（2,000円）が必要です。

学籍番号

学籍番号の見方

学籍番号は次のような意味をもっています。自分の番号を覚えると同時に、その意味を理解してください。特に**個人番号**は授業のクラス分け等によく使われますので覚えておいてください。

2025 年度入学者

2	5	0	1	-	1	2	3	4
入学年度		所属コード			個人番号			

●所属コード一覧（参考）

コード	学部	学科	コード	学部	学科
01	仏教	仏教	22	修士	文学
02	文	日本文	24	修士	教育学
03	文	中国	25	修士	社会学
04	文	英米	26	修士	社会福祉学
05	歴史	歴史	32	博士後期	文学
06	歴史	歴史文化	34	博士後期	教育学
07	教育	教育	35	博士後期	社会学
15	教育	幼児教育	36	博士後期	社会福祉学
08	教育	臨床心理	41	別科（仏教専修）	
09	社会	現代社会	51	科目履修生	
10	社会	公共政策	61	研究員・研究生	研究生
11	社会福祉	社会福祉	62	研究員・研究生	研究員
12	保健医療技術	理学療法			
13	保健医療技術	作業療法			
14	保健医療技術	看護			

在籍確認兼通学証明シール 学生証裏面に貼付してください

必要事項を記入のうえ、**学生証裏面**の所定欄に貼付してください（毎年度更新が必要です）。

通学定期券の購入が必要な場合は、**現住所から大学までの最短距離**（現住所の最寄駅、停留所）での通学区間を記入し、該当する交通機関の販売窓口へ学生証と合わせて提示してください。なお、現住所が変わった場合は、速やかに**B-netにて学籍情報の変更手続き**が必要です。未手続きのまま通学定期券を購入し不正が認められた場合は、厳しい処分が科せられます。

2025年度
在籍確認兼通学証明シール（学生証裏面貼付用）

学籍番号	—	学部・別科・大学院	学年	
氏名			有効期限	2025年4月1日から 2026年3月31日まで有効
現住所				
区間	～ 間	～ 間	～ 間	
通学定期券発行控	発行年月日 年 月 日	適用区間 ～ 間	発行駅	
学部	別科／修士	博士	卒業・修了予定年月日	※該当に○すること
1年			2029年3月31日	○
2年		1年	2028年3月31日	
3年	1年	2年	2027年3月31日	
4年	2年	3年	2026年3月31日	
所在地	（紫野キャンパス）京都市北区紫野北花／坊町96 （二条キャンパス）京都市中京区西ノ京東桐尾町7 TEL 075（491）2141（代表）			



注意！ 必要事項を記入のうえ、学生証裏面に貼付すること
※毎年度当初に学生支援課にて交付

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

教育

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

災害時ガイドブック

防火・防災についての基礎的な知識と行動をまとめ、火災・地震・風水害、その他の災害発生時に学生ひとりひとりの命を守ると同時に、物的被害を軽減することを目的とした『災害時ガイドブック』を B-net に掲出しています。

本学では、災害発生時には「危機対策本部」が組織的に設置され、みなさんの安全な避難誘導に努めます。

みなさんも「自分の命は自分が守る」という意識の中で、いざという時に適切な行動（状況に応じては自身の安全確保が最優先）がとれるように普段から心がけてください。

● 掲出場所

B-net > その他 > 災害時ガイドブック

安否確認

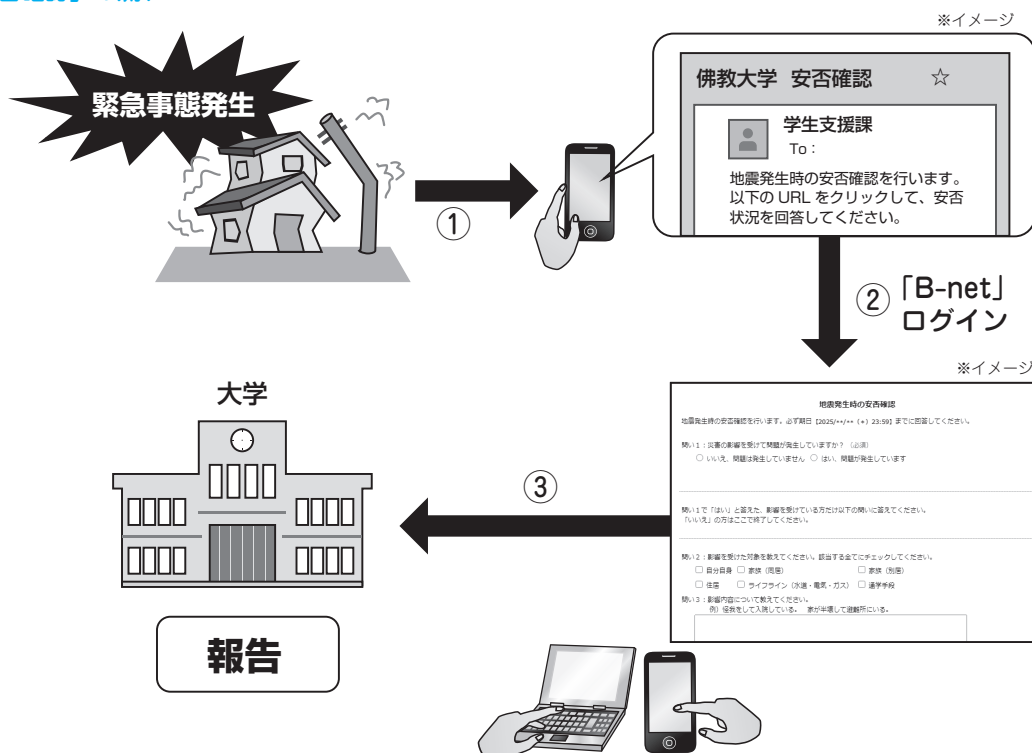
災害など予期せぬ事態が発生した場合、皆さんの安否や被災状況を把握することを目的に、「B-net」より「安否確認」のメールを配信します。

簡単な内容としておりますので、受信を確認しましたら、「B-net」（パソコン・スマートフォンどちらでも可）にログインしてください。

ログイン後、TOP 画面には安否確認画面が表示されますので、期日までに安否確認アンケートに回答してください。

※「安否確認」のメールは「B-net」のお知らせ情報と同様、大学が付与しているメールアドレス（Gmail）へ自動的に配信されます（各自で Gmail の転送設定を行ってください）。

● 「安否確認」の流れ



※「安否確認」運用テストを行います。メール受信後「B-net」にログインして、必ず回答してください。

運用テストの状況によっては、学生支援課から確認の連絡をする場合があります。

健康管理センター

気軽に利用して健康管理に役立ててください。

- 開室時間：月曜～土曜 9:00～17:00
＊日曜・祝祭、大学が定めた休日は閉室

●健康診断

春学期オリエンテーション期間中に、全学生を対象に健康診断を実施しますので受診してください。特に実習、就職、進学等で証明書が必要な場合は、決められた項目を必ず受診してください。

●抗体検査

本学では麻疹等の抗体検査を実施しています。特に、各種実習・インターンシップ等を行う学生は、「麻疹に対する免疫がある」ことが求められます。対象者の方は受検を心がけてください。実施日時は B-net でお知らせします。

●健康診断証明書

当該年度の健康診断を受けた方に限り、**証明書自動発行機**にて健康診断証明書を発行します。以下の場合には証明書を発行できませんので注意してください。

- 必要項目が未受検の場合
- 再検査や学医診察を要する場合
- 胸部レントゲン検査のみ受検の場合

●健康相談

健康管理センターでは**学医**による健康相談を行っています（予約を優先）。

- 身体に関する相談 … 内科医
紫野キャンパス：火曜・水曜・金曜 14:00～16:00
二条キャンパス：月曜 14:00～16:00
- メンタルヘルス相談 … 精神科医
紫野キャンパス：第1・第3木曜 予約制

●禁煙サポート

通学生の方を対象に『**禁煙サポート**』を行っています。禁煙を希望される方は、健康管理センターへ相談してください。

●「新型コロナウイルス感染症」「インフルエンザ」と診断されたら、医師の指示に従い療養に努めましょう

学校保健安全法では、出席停止期間の基準を以下のように定めています。症状が治まったとしても、周囲への感染力は残っています。自己判断をせず、医師の指示に従い療養に努めてください。

- 新型コロナウイルス感染症：発症した日を0日と数えて『発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで』
- インフルエンザ：発症した日を0日と数えて『発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで』

※「新型コロナウイルス感染症」「インフルエンザ」と診断され、授業や試験に支障をきたす場合は、p.44を参照。

健康管理センターの場所

紫野キャンパス：
鷹陵館1階
二条キャンパス：
1号館2階

一人暮らしの方へ

医療機関で診療を受ける時には、**健康保険証**が必要です。持っていない場合は、治療費の全額が自己負担となります。また、コピーは通用しません。

保護者の方と離れて大学生活を送る方は、「**マイナンバーカード**」、「**個人の保険証**」または「**遠隔地被保険者証（※）**」を準備してください。

※交付申請の方法は、保護者の方が加入している保険機関に問い合わせてください。

救急発生時の対処

救急発生

学内でケガ人・急病人発生。動けない。
救急車を要請するほどではない。

月曜～金曜 9:00～17:00	時間外（夜間・休日）
健康管理センター ●紫野・二条 ☎ 075-491-2141（代）	紫野キャンパス ●警備室 ☎ 075-491-0236 二条キャンパス ●防災監視室 ☎ 075-491-0236

園部・岩倉・広沢グラウンドの場合、
グラウンド管理室もしくは顧問・指導者へ連絡。

- 状況説明
いつ・だれが・どこで・どのような状況なのか、
慌てず伝える。
- 応急処置・医療機関搬送

一刻を争う場合（意識がない、呼吸をしていない、
心臓が止まっている、出血がひどいなど）救急車が必要！！

- 救急車要請
・携帯電話等で「☎ 119」・内線からは「☎ 0119」
- 必要時、心肺蘇生法を。 [AED 設置場所参照。](#)

- 消防に状況説明
・佛教大学〇〇キャンパス〇号館〇階です。
- ・どのような状況なのか、慌てず伝える。
- 誘導者を出しておく

月曜～金曜 9:00～17:00	時間外（夜間・休日）
健康管理センター ●紫野・二条 ☎ 075-491-2141（代）	紫野キャンパス ●警備室 ☎ 075-491-0236 二条キャンパス ●防災監視室 ☎ 075-491-0236

AED（自動体外式除細動器）

●設置場所

大学ホームページ>アクセス・キャンパス一覧>紫野キャンパス
(キャンパスマップ) に A E D 設置場所を掲載しています。

医療機関を知りたい

京都健康医療よろずネット（京都府ホームページ）

京都府内の病院・診療所・薬局・救急告示病院等が検索できます。
受診する時は必ずマイナンバーカードまたは健康保険証を持参してください。

<https://www.mfis.pref.kyoto.lg.jp/ap/qq/men/pwtpmenuult01.aspx>



携帯電話サービス
(携帯に URL を送信します)

【休日診療所】

京都市急病診療所

場所：京都市中京区西ノ京東柵尾町
京都府医師会館 1 階（佛教大学二条キャンパス 1 号館北側）
TEL：075-354-6021

診療科目	診療日	受付時間
内 科	土曜	18:00～22:00
	日曜・祝日	10:00～17:00
	お盆 (8/15,16) 年未年始 (12/29～1/3)	18:00～22:00
眼 科	日曜・祝日	10:00～17:00
耳鼻咽喉科	お盆 (8/15,16) 年未年始 (12/29～1/3)	10:00～17:00

京都市休日急病歯科中央診療所

場所：京都市中京区西ノ京東柵尾町
京都府歯科医師会口腔保健センター 1 階
(JR 二条駅東口ロータリー北側)
TEL：075-812-8493

診療科目	診療日	受付時間
歯 科	日曜・祝日 お盆 (8/15,16) 年未年始 (12/29～1/4)	10:00～17:00

※診療日、受付時間の最新情報は各自で確認してください。

大学生活の心得

大学生としてのモラル・マナー

佛教大学の学生であることを誇りとし、**社会の一構成員**としての**自覚**をもって行動してください。また、安全で快適な学生生活のために必要なマナーやモラルを掲載した『GUIDE TO GOOD MANNERS』（学生支援課刊）を必ず読んでください。

●飲酒にかかわる禁止

法律違反！→20歳未満の飲酒、飲酒運転
アルコールハラスメント！→一気飲みの強要

●喫煙にかかわる禁止

法律違反！→20歳未満の喫煙、他者の敷地内への無断立ち入り
条例違反！→大学周辺での路上喫煙や歩きタバコ、吸い殻のポイ捨て
ルール違反！→キャンパス内の喫煙

●携帯電話、スマートフォン、電子機器にかかわる禁止

法律違反！→歩行中・車両運転中（自転車含む）の使用
マナー違反！→授業中の着信音・通話

●授業中のマナー違反

出席不良！→ピー逃げ
姿勢不良！→無許可での、板書の撮影・録音・着帽（帽子をかぶったまま）・飲食
やる気不良！→授業を邪魔する私語・遅刻・早退、担当教員の指示を無視する行為



注意！

※学生が本学の学則および諸規程に背き、学生の本分に反し、懲戒を要すると認められるときは、教授会の議を経て学長がこれを懲戒する。

（佛教大学学則第12章第79条・第80条、佛教大学大学院学則第12章第83条・第84条）

ソーシャルメディア

ソーシャルメディアの発達によって、個人であっても容易に情報発信が行える時代となりました。また、各サービスの利用者の増加とその利便性から、コミュニケーションにおいても魅力的な手段となっていますが、一方で発信した情報をもとで発信者がトラブルに巻き込まれたり、周囲の人々や社会へ多大な影響を及ぼす事例もみられます。

佛教大学の組織、教職員および学生に対してソーシャルメディアの適正な利用を促すことを目的に、ガイドラインを策定し、佛教大学ホームページに掲載しています。内容を確認して、適正にソーシャルメディアを利用してください。

佛教大学ソーシャルメディアの利用に関するガイドライン
<https://www.bukkyo-u.ac.jp/social.html>

●守るべき事項

- 法令を遵守しなければならない
- 他者の著作権、肖像権、商標権等の権利を侵害する情報を発信してはならない
- 本学の学生として自覚と責任を持った内容とする
- 他者の名誉を棄損する情報を発信してはならない
- 発信する情報は、事実に基づく正確な内容とする
- 大学における諸活動で知り得た秘密や個人情報を発信してはならない
- 発信する情報の責任は、発信者が負う
- その他公序良俗に反する情報を発信してはならない
- 意図せずして誤った情報を発信した場合は、速やかに訂正する

ブラックバイト

ブラックバイトとは、学業や学生生活に深刻な影響を与える悪質なアルバイトです。「困ったな」と思う場合は、各種相談窓口にご相談してください。

闇バイト

SNSなどでみられる「高報酬」「楽して稼げる」などに誘われて応募した大学生による強盗事件とその摘発が相次いでいます。

＃即日即金、＃渡すだけ、といった募集や、免許証を持った自撮りの送付、知らないアプリでのやりとりを促されたら要注意です。それは「バイト」ではなく犯罪の可能性がります。

少しでも不安に感じたら警察相談窓口「＃9110」へ電話をしてください。

参考：政府広報オンライン



I
教育
目標

II
履修
一般

III
教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV
学籍・
学費

V
キャン
パス
ライフ

VI
進路・
就職支援

VII
大学の
取り組み

VIII
規程

悪質商法

悪質商法は、**巧妙な手口**で学生を狙っています。**旨い儲け話**は、まず疑ってみてください！

●キャッチセールス

街頭で呼び止め、別の場所に連れていき、高額な商品の購入を迫る

●ネットオークション詐欺

代金を前払いしたのに**商品の引き渡し**がされず連絡が取れないなど、ネットオークションを利用した詐欺。また、個人情報悪用し、**他人になりすまして詐欺**をはたらく場合もある

●アポイントメント商法

電話やハガキで「当選しました」などと呼び出し、商品売りつける

●マルチ・マルチまがい商法

商品を購入し販売会社等の会員になり、**他人を紹介**することで購入代金が無料になる、または紹介料がもらえるなどと勧誘する

振り込め詐欺

「振り込め詐欺」は**融資保証金詐欺**、**架空請求詐欺**など、振込を要求されるものをいいます。身に覚えのない、利用したことのないものについては、すぐに振り込んだり相手の指示する連絡先に問い合わせたりせず、まず**事実確認**をしてください。冷静に記憶をたどり、心あたりのないものは無視してください。ただし、裁判所等からの通知については、すぐに**各種相談窓口**に相談してください。

また、SNS 上には「受け子」「出し子」等の犯罪の勧誘が「高額バイト」として紹介されている例がありますので、注意してください。

被害に遭わないために

- 要らないものは、「**要らない**」とはっきり断わりましょう
- 契約を即決せずに、**説明内容**と**契約内容**をよく理解しましょう
- 署名・押印**は慎重に行いましょう

トラブルにまきこまれたときには…

ひとりで悩まずに**相談**してください。京都市消費生活総合センターでは、消費生活相談以外にも法律相談や交通事故相談なども行っています。

●クーリングオフ制度

訪問販売等で購入契約をかわした場合に一定の期間内であれば消費者が事業者との間で申込みまたは契約を理由なくかつ無条件で撤回・解除できる制度です。ただし、全ての契約について適用されるわけではありません。

■京都市消費生活総合センター（消費生活相談）

月曜～金曜
9:00～17:00
TEL 075-366-1319

薬物乱用の防止

薬物の乱用は個人の精神や身体に悪影響を与えるだけでなく、**暴力や殺人、放火**などの事件への引き金となり、**社会問題へと発展**します。軽い気持ちで「一度だけ」がいつの間にか中毒となり、一度しかない人生が取り返しのつかないものになります。そのような**誘惑に負けない理性と勇気**を持ち、佛教大学生として**良識ある行動**を期待します。

【精神的影響】

- ①強い**不安**や**パニック発作**
- ②**幻覚**、**妄想**、**フラッシュバック**
- ③**そう状態・統合失調症**の発症

【社会的影響】

- ①情緒障害、幻覚や被害妄想が強くなり、**家族や友人へ暴力**を振るう
- ②幻覚や妄想による殺人、放火、監禁、傷害などの**凶悪な事件**を引き起こす
- ③薬代欲しさの**窃盗**、**恐喝**事件や**強盗**事件を引き起こす

困ったとき、悩んでいるときの相談

担当：学生支援課・学生相談センター

オフィスアワー

佛教大学では、全専任教員が原則として週1回（休暇中をのぞく）オフィスアワーを設けています。

オフィスアワーとは、教員が研究室などに待機し、学生皆さんの相談に応じる時間帯のことです。特に不在であることや、時間の変更が研究室の扉に掲示されない限り、予告なく訪問していただいてもかまいません。

オフィスアワーは本来訪問の目的は限定しませんが、教員の時間的制約、対応の限界などにより、今年度の相談を「学習方法や授業に関する質問・相談を中心とした内容」に限定します。したがって、学生生活における就職活動・課外活動・履修登録等に関する個別質問は、専門の先生や担当事務局に相談してください。

この時間帯を積極的に活用し、学業の向上に役立ててください。

なお、実施日時等の詳細については、B-net > 授業情報 > 時間割 > 教員時間割表より確認できます。

学生生活全般についてのなんでも相談

落とし物をした、休学・退学を考えている、奨学金について教えてほしい、部活・サークルのことを知りたい、履修登録・B-netについて分からないところがあるなど、学生生活についてなんでも相談できる窓口です。職員が相談に応じます。窓口で気軽に声をかけてください。

●利用案内

■場所 学生支援課内（1号館2階）

■開室時間 月曜～金曜 9:00～13:00 / 14:00～17:00

土 曜 9:00～13:00 *日曜・祝祭、大学が定めた休日は閉室



ひとりで悩まずに、 気軽に相談してください

学生相談センターは、佛教大学生の身近な**相談相手**です。学業や進路の不安、日常生活で困ったこと、対人関係など、どんな小さなことでも、**ひとりで悩まずに**、気軽に相談してください。カウンセラー（臨床心理士等）が相談に応じます。

●利用案内

■場所 学生相談センター（1号館1階）

■開室時間

月曜～土曜 9:30～17:00 *日曜・祝祭、大学が定めた休日は閉室

■申し込み

直接、**相談室**まで来室してください。**電話や申し込みフォーム**でも受け付けています。できる限りその場で相談できるようにしています。

〈学生相談センター直通電話〉075-493-9095（開室時間のみ対応）

〈学生相談センター申し込みフォーム〉<https://forms.gle/ECKbc6dwZQk5Sx1D7>

●いろいろな活動をしています

■心理テスト・性格テスト

■図書の貸出 絵本、小説、コミック、心理学関連図書書籍 etc.

■ランチタイム 月曜～金曜の昼休みにゆっくり過ごせるお部屋を用意しています。

■グループワーク 1人でも、友人とでも参加できます。例）「アロマセラピー入門」

●二条キャンパス分室

二条キャンパスにも学生相談センターの分室があります。気軽に相談してください。

■場所 二条キャンパス1号館2階

■開室時間 月曜・木曜 9:30～17:00 *祝日、大学が定めた休日は閉室

●学生相談センターサイト <https://sites.google.com/bukkyo-u.ac.jp/gakusou>
（学生相談センターが発信する様々なコンテンツを見ることができます。）



I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

障害のある学生とともに

本学における障害のある学生への修学支援は、ダイバーシティ&インクルージョンの理念に基づき、障害のある学生の学ぶ権利を保障するために合理的配慮を含めた必要な措置を講じています。

ダイバーシティの主体は学生・教職員一人ひとりです。みなさんが協働し「開かれたキャンパス」を目指しましょう！

※合理的配慮…障害のある学生が公平に教育を受けられるために行なう必要かつ適当な調整・変更

※ダイバーシティ&インクルージョン…すべての人がそれぞれの個性を発揮して活躍できる社会の実現を目指す考え方

実施している主な支援

障害のある学生によりニーズが異なるため、支援内容は学生と相談のうえ決定し、支援を実施しています。

●授業に関する支援

- 教室・座席位置の配慮
- 支援機器の貸与（デジタル補聴援助システム等）
- パソコンノートテイク等人的サポートの配置
- 一時保管ロッカーの貸与
- 車両入構許可
- 伝達方法の変更等コミュニケーションの配慮
- 特性や障害に関する情報提供

※学生のニーズに合わせて、上記以外の支援も行っています。

●定期試験に関する支援

- 別室受験
- 座席位置の配慮
- 時間延長
- PC等の機器での受験

障害のある学生の修学に関する相談窓口

●利用案内

障害があるなどの理由により、修学上の様々な困難や悩みを抱えている学生の相談窓口として、担当者が相談に応じています。特に修学支援については授業や試験を中心に学生からの申請に基づき、十分に希望を聞いたうえで、関係部署、教職員と連携しながら、支援内容を決定していきます。また、保護者や教職員からの相談も可能です。

■申し込み

直接、学生支援センターまでお越しください。できる限りその場で相談できるようにしていますが、予約優先のため、別の日に来ていただくこともあります。予約は電話やメールでも受け付けています。

学生支援センター TEL：075-493-9057（直通） E-mail：sss@bukkyo-u.ac.jp

学生サポーター募集！！

支援が必要な学生に対して、一緒にサポート活動を行なう学生サポーター（有償）を随時募集しています。興味のある方はぜひ問い合わせてください。

【活動内容の紹介】

パソコンノートテイク：聴覚障害等のある学生が授業を受講する際、学生サポーターがPCを使用して音声情報を文字化します。

※そのほかにも支援が必要な学生のニーズに沿ったサポート活動があります。

※活動内容によって、養成講座等を行っています。



ハラスメントの防止

担当：人権教育センター

ハラスメント防止のために

佛教大学は、すべての構成員が個人として尊重され、安心して就学・就労できるような環境をつくり、維持していくことを何よりも重要と考えています。ハラスメント等の行為は、人としての尊厳や人格を深く傷つけるものであり、本学の建学の精神にも反し、絶対にあってはならないものです。佛教大学は、人権を侵害する行為であるハラスメントを決して容認しません。

ハラスメントとは

ハラスメント (Harassment) には、「苦しめる・悩ませる・迷惑」という意味があります。

『セクシュアル・ハラスメント』『アカデミック・ハラスメント』『パワー・ハラスメント』『マタニティ・ハラスメント』の4つがよく知られています。何気ない言葉・行為・視線・動作などは、人によって受け取り方が異なります。その人にとって不快であったり傷つくこともあります。

●セクシュアル・ハラスメント

性的な言動によって、心身を不快や不安な状況に追い込み、苦痛を与えることをいいます。

●アカデミック・ハラスメント

教員等の上位・優位にある人が、その立場や権限を利用し、または逸脱して、下位にある人や指導を受ける人の学習・研究意欲および学習・研究環境を著しく阻害する不適切な言動をいいます。

●パワー・ハラスメント

地位・立場や人間関係等の優位性を背景に、業務や指導等の適正な範囲を超えて、身体的・精神的苦痛を与える行為、または環境を悪化させる行為をいいます。

●マタニティ・ハラスメント

妊娠・出産・育児をきっかけに職場等で精神的・肉体的な嫌がらせを受けたり、妊娠・出産・育児等を理由とした解雇や雇止め、自主退職の強要等不利益を被ったりする等の不当な扱いをいいます。

ハラスメント等の相談

●相談窓口

【佛教大学 人権教育センター】

場 所：紫野キャンパス 7 号館 5 階

開 室 日：月曜日～金曜日（土・日・祝日、大学が定めた休日は閉室）

※大学が通常授業日とした祝日は開室しています。

開室時間：9：30～17：00

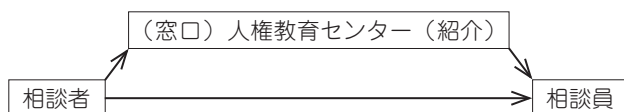
U R L：https://www.bukkyo-u.ac.jp/campuslife/support/sodan/humanrights/

〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町 96

TEL：(075) 493-9109（事務室直通）

●相談の流れ

ハラスメント学内相談員・学外専門相談員が、相談に応じます。相談員の氏名・メールアドレス等は、B-net にてお知らせします。



I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパ
スライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

人権啓発

担当：人権教育センター

●人権教育センター「資料室」

人権教育センターでは「資料室」を設け、人権関係資料の閲覧・貸出を行っています。

場 所：紫野キャンパス 7 号館 5 階

開 室 日：月曜日～金曜日（土・日・祝日、大学が定めた休日は閉室）

※大学が通常授業日とした祝日は開室しています。

開室時間：9：30～17：00

収蔵資料：図書約 4,800 冊 DVD・ビデオ約 300 本 雑誌約 30 タイトル

貸出期間：図書類 30 日（5 冊まで）DVD・ビデオ 14 日（3 本まで）

※図書館ポータルサイト（BIRD）において、蔵書資料（図書・DVD・雑誌）を検索できますので参照してください。

<https://bird.bukkyo-u.ac.jp>

●人権啓発活動

■人権に関するセミナー・研修会の開催 ■人権啓発冊子『ひとのみち』の刊行

■ハラスメント防止リーフレット「なくそうハラスメント」の発行 ■人権侵害等に関する相談

盗難・忘れ物

担当：学生支援課

盗難に注意！

学内での盗難被害で多く報告されるのは以下のケースです。貴重品・手荷物の**管理は各自の責任**のもと行ってください。

●鷹陵館更衣室内の**ロッカー**に荷物を入れて、**施錠しないまま**その場を離れて盗まれる

●図書館、食堂、喫茶、屋外ベンチ、駐輪場で、荷物を置いたまま**その場を離れて**置き引きに遭う

※万が一、学内で盗難に遭った場合は、直ちに以下のことをしてください。

①キャッシュカード・クレジットカードが盗まれたら、発行元の金融機関・カード会社に連絡する

②警察に「被害届」を提出する【紫野キャンパス最寄り→大徳寺交番、二条キャンパス最寄り→二条駅前交番】

③学生支援課または二条キャンパス事務課に「盗難届」を提出する

忘れ物に注意！

大学内での拾得物は、学生支援課（紫野キャンパス）・二条キャンパス事務課（二条キャンパス）に届けられます。心あたりのある方は学生証持参のうえ、各担当窓口に出してください。**保管期間（3ヶ月）**を過ぎたものは処分します。

また、財布、キャッシュカード、定期券、学生証など氏名のわかるものは大学届出の電話番号に電話連絡をします。

なお、忘れ物が未拾得で希望される方は、「**遺失届**」を提出してください。後日、届け出の内容と合致するものが届けられた場合、電話や B-net にて連絡をします。

授業をはじめ、学内を移動する時、その場を離れる際は、忘れ物がないか、確認するように心がけましょう。

I
教育
目標

II
履修
一般

III
教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV
学籍・
学費

V
キャンパス
ライフ

VI
進路・
就職支援

VII
大学の
取り組み

VIII
規程

各種証明書（学割証）・願書・届出一覧

証明書が必要な場合は、キャンパス内設置の【証明書自動発行機】または【証明書 Web 申込サイト】より申込みが可能です。ただし、事務局窓口での申込みのみの取り扱いとなる証明書もありますので、下表を確認してください。

各種証明書一覧

証明書種類 / 証明書手数料（円） ●印：卒業年次の4月以降に発行可能		発行日数				取扱窓口	
		大学学内申込		Web 申込 利用料：300 円			
		証明書 発行機	事務局 窓 口	コンビニ 発行	郵送 受取		
在学証明書	300	即時		即時 印刷代： 60円/1枚	2 業務日	学生支援課	
在籍証明書(休学者用)	300		2 業務日				
●卒業見込証明書	300	即時					
成績証明書	300						
健康診断証明書	300				健康管理センター		
英文在学証明書	500						
英文成績証明書	500		2 業務日				
●教員免許状取得見込証明書(1免許ごと)	300		2 業務日 ※通信併修 は3 業務日	2 業務日 ※通信併修 は3 業務日		学生支援課	
●各種資格取得見込証明書(1資格ごと)	300						
調査書(進学用)・推薦書	500				1 週間～ 10 日程度		
課外活動証明書	300				2 業務日		
学生証再発行	2,000		即日			教職支援課	
教育実習受講証明書	300		2 業務日				
介護等体験受講証明書	300		1 週間後				
学長推薦状	300		2 週間後				
指導教授推薦状	300					進路就職課	
人物証明書	300						
学割証(学校学生生徒旅客運賃割引証)(※1)	無料	即時					2 業務日
実習用通学証明書(※2)	無料		約2 か月後				

(※1) 年間発行上限枚数は10枚です。

(※2) 実習用通学証明書について、詳細は p.197 を必ず確認してください。

申込方法

【証明書自動発行機からの申込み】

紫野キャンパス1号館2階、二条キャンパス1階に「証明書自動発行機」を設置しています。発行には学生証が必要です。利用方法は発行機横に掲出しています。

利用対象者：学部・大学院在籍者（科目履修生、研究員・研究生、別科生は利用不可）

※証明書自動発行機にて発行した証明書の厳封を希望する場合は、事務取扱時間内に学生支援課または二条キャンパス事務課へ持参してください。

【証明書 Web 申込サイトからの申込み】

必要な証明書をオンラインで申請、クレジット決済またはコンビニエンスストアで現金決済し、コンビニの各店舗に設置されているマルチコピー機を利用して証明書を印刷することができます。利用方法の詳細はホームページから確認してください。コンビニにて印刷できない証明書は Web にて申込み、郵送受取りが可能です（別途送料が必要）。

利用対象者：学部・大学院在籍者（科目履修生、研究員・研究生、別科生は利用不可）

※コンビニにて印刷した証明書は厳封できません。

（注意）・証明書手数料とは別に、システム利用料（1回300円）、コンビニ印刷の場合は印刷代（1枚60円）が必要です。

・現金決済が可能なコンビニは、ファミリーマート、ローソン、セブンイレブンです。

【大学学内での窓口申込み】

「証明書自動発行機」より発行できない証明書は、窓口での申込みが必要です。申込方法については、各取扱窓口を確認してください。

※窓口申込の証明書は、二条キャンパスでも申請・受取りができます。ただし、事務取扱時間内に限ります。

POINT!

証明書発行機稼働時間

（紫野キャンパス1号館2階・

二条キャンパス1号館1階）

【月～金】9：00～18：00

【土】9：00～13：00

※事務取扱休止等の場合は利用できません。



I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

各種願書・届出一覧

	種 類	提出期限	取扱窓口	備 考
I 教育 目標	授業欠席届	早急に科目担当者へ提出	科目担当者	証明となるものを添付 (p.37、p.42 参照)
	試験欠席届	指定された期日	学生支援課	
II 履修 一般	休学願 ☐	(春) 1月6日～4月30日 (秋) 7月1日～9月30日	学 生 支援課	学費納入にかかわるので 早めに相談してください。
	学籍異動願 (休学者用) ☐	(春) 2月1日～2月20日 (秋) 8月1日～8月20日		
	退学願 ☐	随時 (学費納入学期内)		
	再入学願	1月16日～2月28日		
	復籍願	(春) 7月11日～7月31日 (秋) 12月11日～12月25日		
	転籍願 ☐	2月1日～3月14日		
	転学部・転学科願	1月6日～1月31日		
	他大学受験許可願 ★	当該大学受験日まで		
III 教育 課程	盗難届 ★	随時	学 生 支援課	証明となるものを添付
	遺失届 ★			
	拾得届 ★			
	海外渡航届			
	進路希望登録	3年生	進 路 就職課	・会員登録 (1・2年生) ・「B-net・お気に入り」→ 「求人検索NAVI」より登録
	進路報告登録	4年生		
IV 全学 仏教 日文 中国 英米 歴史 歴史 教育 幼教 臨床 現社 公共 社福 その他	学費納入延期・分納願	(春) 4月1日～4月30日 (秋) 9月1日～9月30日	学 生 支援課	※提出期限最終日が日・ 祝日にあたる場合は、 翌事務取扱日が締切 日となります。
	学資給付金願書	(春) 4月1日～4月30日 (秋) 9月1日～9月30日		
	佛教大学育英奨学生願書	6月1日～6月30日		
	佛教大学課外活動奨学生願書	6月1日～6月30日		
	佛教大学教育後援会育英奨学生願書	(春) 4月1日～4月30日 (秋) 9月1日～9月30日		
	佛教大学同窓会奨学生願書	9月1日～9月30日		
	佛教大学教職員互助会奨学生願書	(春) 4月1日～4月30日 (秋) 9月1日～9月30日		
	傷害事故報告書	事故後7日以内に提出		
	傷害治療費等申請書	完治後30日以内に領収書の 写しと共に提出		

※「★」の願書・届出は二条キャンパスでも書類の受渡しができます。

※「□」の願書は提出のみ二条キャンパスでも可能です。

学校学生生徒旅客運賃割引証 (学割証)

学割証は、**片道101km**を超える区間を乗車・乗船する場合、普通乗車券の運賃が**2割引**となります。紫野キャンパス1号館2階・二条キャンパス1号館1階に設置の**証明書自動発行機**(p.193 参照)にて発行できます(無料)。

なお、営業距離が片道101kmを超える乗車券の**有効期間**は、次の表のとおりです。有効期間内に、乗車駅～降車駅間の往復乗車券を購入する場合、学割証は**1枚(往復分)**で足りませんが、**有効期間を過ぎて往復する場合**等で、**2枚以上**の学割証が必要となる場合があります。購入する駅の窓口であらかじめ枚数を確認し、乗車券の有効期間も調べたうえで必要最低限の枚数を発行してください。

営業 km	200km まで	400km まで	600km まで	800km まで	1,000km まで	1,200km まで	1,400km まで	1,600km まで	1,800km まで
有効期間	2日間	3日間	4日間	5日間	6日間	7日間	8日間	9日間	10日間

※1,801km以上は、200kmごとに1日を加えます。

有効期間と、それに対応する地名は、次の表のとおりです。**(基点：京都駅)**

有効期間 2日間	岐阜・名古屋・姫路・豊岡・浜坂・福井・和歌山・御坊・小松
有効期間 3日間	静岡・岡山・広島・鳥取・高山・松本・長野・金沢・富山・高松・新居浜・今治・白浜
有効期間 4日間	熱海・東京・宮島口・下関・小倉・松江・浜田・松山・宇和島
有効期間 5日間	水戸・大分・博多・熊本・新潟
有効期間 6日間	仙台・長崎・宮崎・鹿児島
有効期間 7日間	盛岡・八戸・秋田
有効期間 8日間	函館・青森
有効期間 9日間	登別
有効期間 10日間	札幌

※**往復乗車券の有効日数**は、**片道乗車券の2倍**となります。

※経由駅によって有効期間は異なります。

学割証の発行、使用にあたっては、以下の点に注意してください。

- POINT!**
- **記名本人**のみ使用可能。※不正使用が認められた場合は厳しい処分が科せられます
 - 一人あたりの**年間**発行枚数は**10枚**(10枚以上発行が必要な場合は、学生支援課へ相談してください)
 - **有効期限**は発行日から**3ヶ月**
 - **休学中**は発行**不可**

学生団体割引乗車券

学生団体割引乗車券は、本学学生**8名以上**が**本学教職員に引率**され、ゼミ合宿や課外活動などで旅行する場合、運賃(乗車券のみ)が5割引となります。申し込みは、駅窓口(みどりの窓口)または旅行代理店備え付けの「**団体旅行申込書**」を学生支援課窓口提出してください。申し込みから発行まで数日を要します。

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

自動車での通学は禁止！

学生の**自動車**での通学および構内乗り入れは**禁止**しています。また、**大学周辺の違法駐車**も固く禁じます。遵守しない場合は大学として**厳重な処分**を行います。

障害のある方、病気、ケガにより公共交通機関での通学が困難な方で、自動車通学構内乗り入れを希望する場合は学生支援課まで相談してください。

自転車・バイクのマナー

通学にはできる限り**公共交通機関**を利用してください。やむをえず自動二輪車等で通学する場合は以下の点に留意してください。

- 自転車は必ず自転車保険もしくは自転車事故に対応した保険に加入してください。
- 自転車や自動二輪車等は必ず**学内駐輪場**に止めてください。**近隣住宅の駐輪場や道路への駐輪は、絶対行わないでください。**
- 二条キャンパス駐輪場は、**保健医療技術学部生のみ**利用可能です（**入場時に学生証が必要**）。
- 駐輪場入口付近は**警備員の誘導**にしたがってください。
- 駐輪場内の**盗難等**には各自十分**注意・管理**してください。なお、発生した盗難等に対し、本学は一切責任を負いません。
- 授業終了後の車両出入り口は大変混み合います。一般道の歩行者および車両を最優先するため、本学の出入り車両の規制を行います。時間をずらして退出するなど**時差退出**に協力してください。
- 駐輪場は、授業や課外活動等のため登校した場合に利用できる施設です。体調不良等でやむを得ず留め置きする場合は、複数日の連続駐輪は禁止とします。夜間に留め置きされた車両は整理のため移動しますのでご留意ください。なお、**一週間以上**の長期にわたる**放置車両**は、**撤去**（廃棄処分）します。実習等へ行く場合は、駐輪場に放置せず、自宅等で保管するようにしてください。
- 乗車マナー**を遵守してください。**走行スピード**や**歩行者**等には十分注意し、安全運転に努めてください。
- 運転中の通話・メールは法律・規則により禁止されています。
- 中道・8,10,11号館前道路（紫野キャンパス）**は通行しないでください。

POINT!

※本学の駐輪場を利用する場合は「安全運転講習および駐輪場利用説明会」の動画を視聴し、学生支援課にて配付される「駐輪場利用許可証」（シール）を二輪車に貼付する必要があります。貼付がない場合は、撤去の対象となります。

詳細は、B-netにて案内します。

公共交通機関（電車・バス）乗車のマナー

公共交通機関利用の際には以下の点に留意してください。

- 駅、バス停留所では通行の妨げにならないように並ぶ。
- 到着した電車・バスに乗車しない場合は、乗車する方のために乗車口をあける。
- 優先座席を必要とされているお年寄りの方、身体の不自由な方、妊娠している方、乳幼児をお連れの方、障害のある方などに**座席を譲る**。
- 入口付近に立ち止まらず奥から詰めて乗車**し、座席の譲り合いを心がける。
- 大声での会話**は慎む。
- リュックサック**は背負わず、**前で抱える**。

保健医療技術学部連絡バス 【キャンパス間（紫野⇄二条）移動用】

保健医療技術学部の学生が授業出席のためキャンパス間（紫野⇄二条）を移動する際に、連絡バスを利用できます（乗車時に学生証の提示が必要）。

通学証明書

POINT! 学生証裏面に貼付したシールが通学証明となります。

通学証明書（見本は p.183 参照）は **通学定期券の購入** に必要です。通学証明書は年度初めのオリエンテーション期間に学生支援課にて交付します。なお、**休学中**は通学定期券を**購入できません**。

通学定期券の購入にあたっては以下の点に留意してください。

- 通学区間は、**自宅最寄駅**から**大学最寄駅**までの**最短区間**とし、遠回りや自宅、大学最寄駅を越える区間の定期券は購入できません。
- ※阪急電鉄利用者は、京都市内の降車駅として「西院」・「大宮」・「烏丸」の各駅のいずれかを指定してください。ただし、「烏丸」を降車駅として選択できるのは、京都市営地下鉄利用者に限ります。
- 購入の際は、**学生証**と**通学証明書**の両方を提示してください。
- 研究員・研究生、科目履修生は通学証明書の発行ができません。

実習用通学証明書

各種実習やインターンシップ先までの定期券を購入する場合は、別途申請（B-net>Web 申請 > 学生生活 > 「実習用通学証明書交付願」）し、許可されることにより通学証明書を発行します。希望する方は、実習あるいはインターンシップ開始の**2ヶ月前**を目途に申請してください。申請が遅くなった場合、開始までに通学証明書の発行が間に合わない可能性があります。

※申請する前に、自身で定期代を確認し、定期を購入する公共交通機関分のみ申請してください。

- 実習用通学定期券が必要な場合のみ申請し、定期券は必ず使用すること。
- 申請後に実習先や実習期間が変更となった場合は、速やかに学生支援課へ連絡すること。
- 申請内容に対し、不備や確認事項等がある場合、学生支援課から電話あるいは B-net にて連絡します。

傷害保険

担当：学生支援課

授業中・課外活動中・通学途中等に事故に遭ってケガをしたとき

授業中、課外活動中または通学途中等に被った傷害（急激かつ偶然な外来の事故）に対し、その**治療費の援助**を行っています。事故発生後 **1週間以内に B-net > Web 申請 > 学生生活 > 「傷害・事故報告届」**にて申請してください。制度の概要や手続きの詳細は学生支援課まで問い合わせてください。

●学生教育研究災害傷害保険

大学生活中の事故等に備えて、全学生を被保険者とする「**学生教育研究災害傷害保険（学研災）**」に加入しています。詳細は、入学時に配付している加入者のしおりを確認してください。以下の項目に該当する傷害を負った際は完治後に、学生支援課にて保険金請求の手続きを行ってください。

- 正課中・学校行事中に被った傷害治療日数（実通院日数）が**1日以上**の傷害
- 通学中・学校施設等相互間の移動中（キャンパス内移動を除く）に被った傷害治療日数（実通院日数）が**4日以上**の傷害
- 本学が認めた学内外での課外活動中・学校施設内で被った傷害治療日数（実通院日数）が**14日以上**の傷害
- 上記活動中に負った**入院**を伴う傷害

●Will（保健医療技術学部）

保健医療技術学部の方は、医療系実習時の感染事故にも対応した傷害保険「**Will**」に加入しています。

●傷害治療費・修理費給付制度

「**学研災**」が指定する**治療日数に満たない傷害**については、本学がその治療費の一部を援助します。

また、身体の一部とみなしえる眼鏡、コンタクトレンズ、補聴器、義歯等を**上記事由により破損**した場合も、本学がその**修理費の一部**を援助します。

実習中等、他人にケガを負わせたとき

正課中、学校行事中、本学が認めたインターンシップやボランティア活動中およびその往復（通学中等）に、他人にケガをさせたり、他人の物を壊すなど法律上の**損害賠償責任**を伴う事故が発生した場合に備えて、全学生を被保険者とする「**学研災付帯賠償責任保険（付帯賠償）**」に加入しています（保健医療技術学部の学生は「Will」にて対応）。詳細は、入学時に配付している加入者のしおりを確認してください。ただし、自動車、原付やバイクによるものは対象外です。なお、インターンシップやボランティア活動については、内容により、保険の対象外となる場合もありますので、詳しくは、事前に学生支援課まで問い合わせてください。

I
教育
目標

II
履修
一般

III
教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV
学籍・
学費

V
キャンパス
ライフ

VI
進路・
就職支援

VII
大学の
取り組み

VIII
規程

在学中の ICT サービス

学内情報機器・ネットワーク関連の情報やシステムの利用方法については、情報システム課特設サイト「SYSTEM NAVIGATION (https://b-sysnavi.bukkyo-u.ac.jp)」に掲載しています。その他不明な点は情報システム課（紫野キャンパス 1 号館 2 階）または二条キャンパス事務課（二条キャンパス 1 号館 1 階）まで問い合わせてください。

※「SYSTEM NAVIGATION」は B-net ログイン画面最下段、またはログイン後 TOP ページの「お気に入り」にリンクがあります。



アカウント（ユーザー ID）とパスワード

入学時に全学生に配付しています。

学内の様々なサービスを利用する際に必要となりますので、取り扱いには十分注意し、各自責任を持って管理してください。また、パスワードは定期的に変更してください。

（パスワードの変更は、「B-net」ログイン画面最下段「◆パスワードについて」のリンクから行ってください。）

※パスワードを忘れた場合に備えて「B-net」ログイン画面最下段「◆パスワードについて」のリンクより「**パスワードリセット初期設定**」を行ってください。

「パスワードリセット初期設定」を行っておらず、パスワードを忘れてしまった場合は、学生証を持参のうえ、情報システム課にて再発行を受けてください。

対象サービス

- | | |
|------------------|--------------------------|
| ■ 通学課程 B-net | ■ 学内パソコン・プリンター・複合機 |
| ■ メールシステム（Gmail） | ■ 証明書発行機 |
| ■ Wi-Fi サービス | ■ 図書館 LiBon・リモートアクセスサービス |

<注意>

アカウント（ユーザー ID）・パスワードは共通です。パスワードを変更した場合、全てのサービスのパスワードが変更されます。

※「eduroam」へのログインのアカウント（ユーザー ID）は大学のメールアドレスを入力してください。

パスワード設定のルール

「SYSTEM NAVIGATION」→「在学生の方へ」→「学内サービスとアカウント」の中段「パスワードの変更について」を確認してください。

アカウント（ユーザー ID）、大学メールの有効期限について

アカウント（ユーザー ID）や大学メールアドレスの有効期限は**在籍期間内**です。それ以降は予告なく使用できなくなります。

POINT! 卒業・修了などを迎えられると、大学のアカウントの Gmail や「Microsoft 365」、「ESET」（セキュリティソフト）など、各 ICT サービスの利用もできなくなりますので、注意してください。

詳細は、「SYSTEM NAVIGATION」を確認してください。

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

B-net

パソコン・スマートフォンから、「大学からのお知らせ」「休講・補講情報」「教室・時間割変更情報」「成績照会、履修登録」などの情報を確認できる本学学生専用のポータルサイトです。利用方法については、「SYSTEM NAVIGATION」(<https://b-sysnavi.bukkyo-u.ac.jp>) → 「在学生の方へ」より、マニュアルを確認してください。

●ログイン方法

2通りあります。

- ①下記アドレスを直接入力するか、「佛教大学」ホームページトップ最下部右側のポータルサイト「B-net」からログインします。

B-net Portal ログイン画面

<https://b-netrx.bukkyo-u.ac.jp/>



- ②「B-net」スマホアプリからワンタップでスマホサイトにログイン。

スマホアプリではそのほか、休講や補講、教室変更、時間割変更、休講取消の掲示情報のプッシュ通知や、アプリ起動後すぐに時間割が表示され、授業をタップすると、出欠情報や、掲示情報、シラバスが確認できます。アプリのダウンロードや設定方法は、「SYSTEM NAVIGATION」 → 「在学生の方へ」を確認してください。

B-net ログイン画面



「SYSTEM NAVIGATION」へは、最下段のリンクをクリックしてください。

利用上の注意点

- ブラウザのポップアップブロックを無効にしてください。
- ブラウザの「戻る」・「進む」ボタンは使用しないでください。
- 無操作のまま 30 分以上放置するとタイムアウトになります。
- 毎日システムを停止してメンテナンスを行なっております。停止時間帯はログイン画面を確認してください。

●安否確認

緊急事態発生時には、「安否確認」のメールを大学から付与しているメールアドレス（Gmail）へ配信します。個人のメールアドレスで受信したい場合は、各自で Gmail の転送設定を行ってください。詳細は、p.184 を確認してください。

推奨動作環境

「B-net」ログイン画面を確認してください。

メールシステム（Gmail）

在籍期間中、就職活動時や学生間のコミュニケーションツールとして活用いただくことを目的に、メールアドレス（Gmail）を付与しています。B-net のお知らせ（休講・補講、教室変更等）は、このメールアドレスに配信されます。また、「Classroom」などアカウント（ユーザー ID・パスワード）を使った Google アプリを利用する入口にもなります。利用方法については、「SYSTEM NAVIGATION」 → 「在学生の方へ」より、マニュアルを確認してください。

●ログイン方法

下記アドレスを直接入力するか、「佛教大学」ホームページトップ最下部右側の「学生・教職員 Webmail」からログインします。

佛教大学メールログイン画面

<https://mail.google.com/a/bukkyo-u.ac.jp/>

Gmail ログイン画面



●転送設定

個人のメールアドレスで受信したい場合は、マニュアルを確認し、各自で Gmail の転送設定を行ってください。

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学
籍・
学費

V

キャン
パス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

Wi-Fi サービス

教育環境の整備を目的とし、教室をはじめ、ラウンジや図書館などキャンパス内のさまざまな場所にアクセスポイントを設置しています。Wi-Fi に接続することにより、ご自身のノートパソコンやタブレット等をインターネットに繋いで利用することが出来ます。

接続方法の詳細については、「SYSTEM NAVIGATION」→「在学生の方へ」を確認してください。

● Wi-Fi サービス (eduroam)

「eduroam」(エデュローム)とは、国内外の大学等教育研究機関の間で Wi-Fi の相互利用ができるサービスで、本学も「eduroam」に加入しております。

他の eduroam 加盟機関でも本学のキャンパスと同じ ID・パスワードで Wi-Fi に接続できます。また、逆に eduroam 参加機関に所属されている方が本学を訪問された際も本学の Wi-Fi に接続できます。

※「eduroam」へのログインのユーザー名(ユーザー ID)は大学のメールアドレスを入力してください。

※パスワードを変更すると「eduroam」の接続設定も再度必要となります。

Microsoft 365 App (Office ソフト)

本学在学中は個人のパソコンやタブレットなどに、Word、Excel、PowerPoint などの Office ソフトを無料でインストールし、利用することができます。

利用方法については、「SYSTEM NAVIGATION」→「在学生の方へ」より、マニュアルを確認してください。

● 利用可能台数

1 人あたり、パソコン (Windows・Mac)、タブレット、スマートフォンそれぞれ 5 台の合計 15 台

ESET (セキュリティソフト)

「ESET」は、本学の包括ライセンスに基づき、本学の通学課程の学生、および専任教職員が個人購入機器へ無料でインストールし、利用することができます。ウイルス対策ソフトウェアです。

利用方法については、「SYSTEM NAVIGATION」→「在学生の方へ」より、マニュアルを確認してください。

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

キャンパスマップ

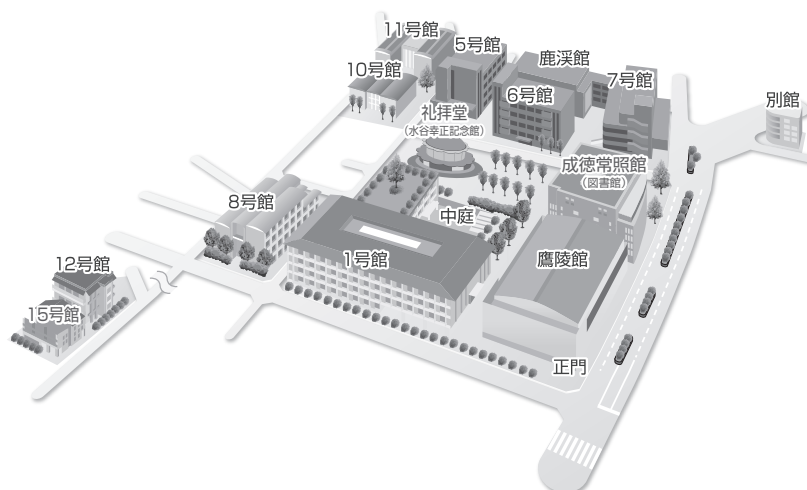


紫野キャンパス



注意!

変更となる場合は、B-netにてお知らせいたします。



●主な事務局など (2025年2月時点)

- 1号館 (地下)** カフェテリア・カフェ＆ベーカリー・
コンビニエンスストア(セブンイレブン)
- (1階)** 企画課・広報課・総務課・人事課・財務課・
生涯学習部(通信教育課程)事務局・学生相談センター
- (2階)** 学生支援課・学生支援センター・進路就職課・
教職支援課・資格課・情報システム課・国際交流課・
社会連携課・学術支援課・教育推進課・学務課・
学部事務課
- (3階)** サンサラー^{※1}・国際交流プラザ
- (5階)** サンサラー^{※1}
- 5号館 (地下)** カフェテリア
- (屋外)** ATM(ゆうちょ銀行)
- 7号館 (2.3階)** 学習情報プラザ
- (2階)** 学生ボランティア室
- (3階)** サンサラー^{※1}
- (5階)** 研究室^{※2}・人権教育センター・ハラスメント相談室

※1 サンサラー…自主学習スペース

- 8号館** 研究室^{※2}・資料室
- 10号館** 研究室^{※2}・資料室
- 11号館** 研究室^{※2}・資料室
- 12号館 (1階)** 校友課
- (2階)** 研究室^{※2}・法然仏教学研究センター・総合研究所
- 15号館 (1階北側)** 臨床心理学研究センター
- (2階南側)** オープンラーニングセンター (O.L.C.)
- 礼拝堂** 宗教課
- (水谷幸正記念館)** 図書課
- 成徳常照館** 健康管理センター・入学課・施設課・講師控室・
体育研究室・体育準備室・喫茶店・
ATM(三井住友銀行・京都銀行)
- 鷹陵館 (1階)** カフェ・書籍・売店(大垣書店)
- 鹿溪館 (1階)** カフェ・書籍・売店(大垣書店)

※2 研究室の詳細は学生支援課掲示板(1号館2階)にて確認してください。

教室番号の見方・教室一覧

教室番号は次のように決まっています。
授業教室掲示等を確認するときに注意してください。

※二条キャンパスは建物に「N」が付きます。

教室名称			
建物	階数	室番号	
5	- 1	0 1	
⋮	⋮		
5号館	1階		

教室名称			
建物	階数	室番号	
N1	- 7	0 1	
⋮	⋮		
二条キャンパス 1号館	7階		

●教室・体育施設一覧(紫野キャンパス)

	1号館	5号館	6号館	7号館	12号館	鷹陵館
5階	1-502 1-509 1-503 1-510 1-504 1-511 1-505 1-512 1-506 1-513 1-507 1-514 1-508 1-517	5-501 5-502 5-503 5-504 5-505 5-506 5-507	6-501 6-502 6-503			
4階	1-401 1-411 1-402 1-412 1-403 1-413 1-404 1-414 1-405 1-415 1-406 1-416 1-407 1-417 1-408 1-418 1-409 1-419 1-410 1-420	5-401 5-402 5-403	6-401 6-402 6-403	7-401 7-402 7-403 7-404 7-405 7-406 7-407	12-401 12-402 12-403 12-404 12-405 12-406 12-407 12-408	
3階	1-301 1-309 1-302 1-310 1-303 1-311 1-304 1-312 1-305 1-313 1-306 1-314 1-307 1-315 1-308 1-316	5-301 5-302 5-303 5-304	6-301 6-302 6-303 6-304		12-301 12-302 12-303 12-304 12-306 12-309	
2階		5-201 5-202 5-203 5-204 5-205	6-201 6-202 6-203 6-204			メインホール
1階		5-101	6-101 6-102 6-103	7-101 7-102	12-104 12-106	多目的ホール
地下1階	1-001 1-002 ピアノレッスン室		6-001		12-004 12-005	第1体育室 第2体育室 第3体育室

- I 教育目標
- II 履修一般
- III 教育課程
- 全学
- 仏教
- 日文
- 中国
- 英米
- 歴史
- 歴史
- 歴史
- 教育
- 幼教
- 臨床
- 現社
- 公共
- 社福
- その他

- IV 学籍・学費
- V キャンパスライフ
- VI 進路・就職支援
- VII 大学の取り組み
- VIII 規程

NIIO 二条キャンパス

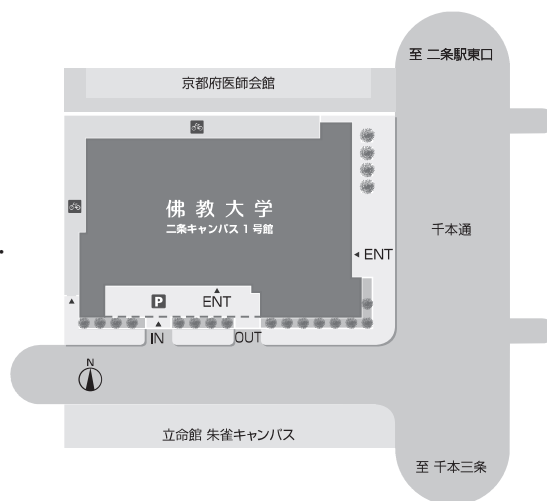
●主な事務局など

- 1号館（1階）** 二条キャンパス事務局・講師控室・カフェテリア（あむりた）・書籍・売店（大垣書店）
- （2階）** サンサーラ※・ラウンジ・学生相談センター・健康管理センター・面談室・資料室
- （3階）** 研究室・ラウンジ
- （4階）** 研究室
- （5階）** 研究室・ラウンジ
- （6階）** 研究室・ラウンジ
- （7階）** 図書室

※サンサーラ…自主学習スペース

●教室一覧(二条キャンパス1号館)

地下1階	1 階	2 階	3 階	4 階	5 階	6 階	7 階
N1-001 N1-002 N1-003 N1-004		N1-201 N1-202 N1-203 N1-204 N1-207 N1-208 N1-209 N1-211	N1-301 N1-302 N1-303 N1-304 N1-305 N1-306 N1-307 N1-308 N1-309 N1-310 N1-311 N1-323	N1-401 N1-403 N1-410 N1-413 N1-417	N1-502 N1-503 N1-515 N1-522	N1-601 N1-602 N1-603 N1-616 N1-617 N1-623	N1-701

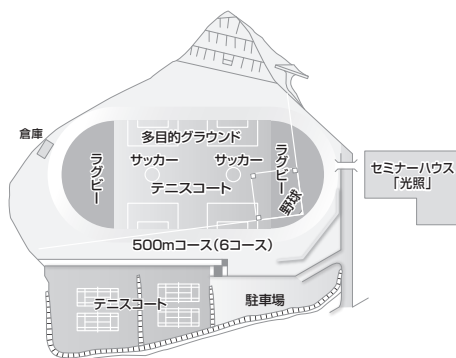


IWAKURA 岩倉総合グラウンド

〒606-0017 京都市左京区岩倉上蔵町222
(075)707-9110

●紫野キャンパスより

- 【市バス】 「千本北大路」より市バス12号系統以外で「北大路バスターミナル」〈約8分〉下車。
- ↓
- 【地下鉄】 「北大路駅」より「国際会館駅」〈約6分〉下車。
- ↓
- 【京都バス】 「国際会館前」より岩倉実相院行(24号系統)で「岩倉実相院」〈約10分〉下車→北へ徒歩1.6Km 〈約20分〉。



HIROSAWA 広沢グラウンド

〒616-8306 京都市右京区嵯峨広沢西裏町5-26
(090)7555-8434

●JR 京都駅より

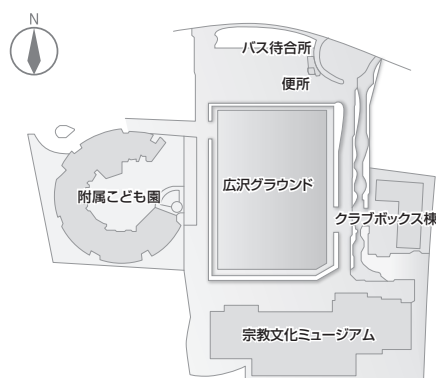
- 【市バス】 「京都駅前」(D3のりば)より宇多野・山越行(26号系統)で「山越」〈約40分〉下車→西へ徒歩〈約13分〉。

●京阪 三条駅より

- 【市バス】 「三条京阪前」より山越行(10号系統)で「山越」〈約40分〉下車→西へ徒歩〈約13分〉。
- 「三条京阪前」より山越行(59号系統)で「広沢池・佛大広沢校前」〈約45分〉下車。

●紫野キャンパスより

- 【市バス】 「千本北大路」より山越行(59号系統)で「広沢池・佛大広沢校前」〈約35分〉下車。





園部グラウンド

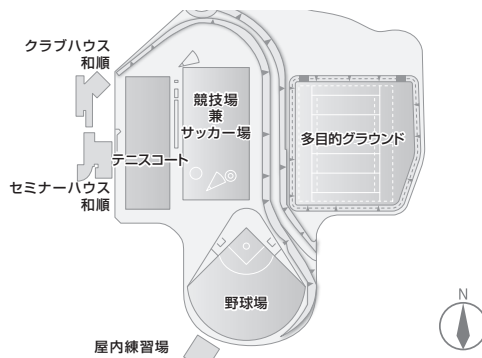
〒622-0044 南丹市園部町城南町大領1-1
(0771)63-5072

●JR 園部駅より

- 【徒歩】 〈約15分〉
【阪京都交通バス】 「園部駅」西口より八田線または園篠線で「淇陽学校前」〈約4分〉下車→徒歩〈約2分〉。
【中京交通バス】 「園部駅」西口より中京交通市街地循環線で「城南町」〈約5分〉下車→徒歩〈約2分〉。

●紫野キャンパスより

- 【本学バス】 〈約75分〉



オープンスペース「サンサーラ」

学生が学習や就職活動のために、学内のオープンスペースでパソコンを自由に利用できるよう、**パソコン**および**プリンター**を設置しています。

●設置場所

詳細は「SYSTEM NAVIGATION」→「在学生の方へ」→「サンサーラ（学内パソコン、複合機）」を確認してください。

●利用時間

■7:30～21:00

※ただし、学習情報プラザ・図書館研究個室は開館時間に準じます。

大学構内立入禁止日、閉館日、システムメンテナンス日等は使用できません。

利用時間の変更や休止、利用に際して制限を設ける場合があります。

●利用方法

（1）パソコン

詳細は「SYSTEM NAVIGATION」→「在学生の方へ」を確認してください。

■アカウント・パスワード

入学時（新入生オリエンテーション時）、各自に配付されたアカウント（ユーザー名またはユーザー ID）・パスワードを入力することにより利用できます（図1）。

■B-net

「サンサーラ」のパソコンへログイン後、デスクトップ上にアイコン（右図）が表示されています。

利用については、p.199を確認してください。

ログインする際の、アカウント（ユーザー ID）・パスワードは共通です。

■メールシステム（Gmail）

就職活動や課外活動等のメール機能として、各自にGmailが配付されています。

ログインする際の、アカウント（ユーザー ID）・パスワードは共通です。

■利用台数

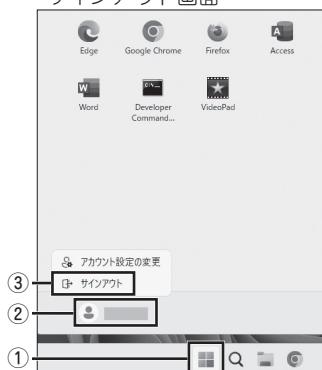
同じアカウント（ユーザー ID）・パスワードでログインできるパソコンは1台のみです。

（図1）「サンサーラ」のパソコン
ログイン画面



入学時に配布されたアカウント（ユーザーID）
とパスワードを入力してください。

サインアウト画面



①スタートメニュー



②ユーザーアイコン



③サインアウトの順に
選択してください。



I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

(2) 学内プリンター・複合機

利用方法は、「SYSTEM NAVIGATION」→「在学生の方へ」を確認してください。

■学内のプリンター・複合機でできること

プリンターや複合機の IC カードリーダーに学生証をかざし、ログインすることで利用できます。

①オンデマンド印刷

学内パソコンから印刷命令（印刷ジョブ）を行えば、「サンサーラ」に設置のどのプリンターからでもプリントアウトすることができます。

②コピー

③ストレージを利用したスキャン・プリント

「複合機」からストレージを活用して、スキャンとプリントができます。

■印刷ポイント

学内プリンター・複合機の利用には「印刷ポイント」が必要です。

印刷ポイントは、在学中毎年 4 月 1 日に学部生・科目履修生は **200 ポイント**、大学院生は **600 ポイント** を大学より付与いたします。

◆印刷ポイントが不足した場合は、証明書発行機で購入することができます。

◆購入されたポイントは翌年度へ繰り越すことができますが、大学より付与したポイントは繰り越されません。

※詳細は、「SYSTEM NAVIGATION」→「在学生の方へ」を確認してください。

◆印刷消費ポイント

	モノクロ（プリント・コピー）		カラー（プリント・コピー）		スキャナー
サイズ	A4（1面）	A3（1面）	A4（1面）	A3（1面）	サイズ不問（1面）
ポイント数	1ポイント	2ポイント	5ポイント	10ポイント	1ポイント

※両面印刷の場合、表 1 面・裏 1 面の印刷となるので、1 枚につきポイント×2 の消費となります。

●禁止事項

■既設のソフトウェア以外を持ち込んで利用する

■有料のソフトウェアを無断でコピーする

■**アダルトサイトの閲覧**

■周囲の**利用者の迷惑となる行為**

■**飲食、携帯電話での通話**

■**各種電子機器類（スマートフォン・タブレット等）の充電**

■**その他情報セキュリティポリシーに抵触する行為**

※以上のような行為を発見、検知した場合は、パソコンの利用を停止することがあります。

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

～困ったときは、まずここを見よう～

●オープンスペース「サンサーラ」について

■サンサーラでCD・DVDを再生したい場合はどうしたらいいですか？

⇒以下のサンサーラにDVDドライブを設置しております。

◆紫野キャンパス 7号館 3階 学習情報プラザ 10台

◆二条キャンパス 1号館 2階 4台

※ヘッドホン・イヤフォンを用意してください。

※設置場所の変更や利用に際して制限を設ける場合があります。

■PCからUSBが抜けなくなっていました。

⇒無理に抜こうとせず、情報システム課まで連絡してください。

■USBを抜き忘れてしまいました。

⇒忘れ物や落し物については、学生支援課または二条キャンパス事務課に問い合わせてください。

抜き忘れや落し物が増えています。注意してください。

■課外活動団体の印刷をしたい場合はどうしたらいいですか？

⇒各課外活動団体のユーザー名（ユーザーID）・パスワードで「サンサーラ」のパソコンにログインし、印刷を実行してください。ただし、課外活動団体には印刷ポイントは付与されていないので、事前にポイントを購入してください。

なお、課外活動団体の印刷ポイントの購入は、情報システム課にて受付します。

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴文

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

学内の店舗等

●学内設置店舗・ATM の紹介

■紫野キャンパス

名称	場所	営業時間	内容
カフェテリア	1号館地下1階	詳細はB-netでお知らせします。	各種ランチ、カレー類、丼類、麺類等、カフェ＆ベーカリー
	5号館地下		各種ランチ、カレー類、丼類、麺類等
喫茶	鷹陵館1階		飲物、カレー、パスタ、ドリア、パン、デザート
カフェテリア	鹿溪館1階		飲物、ハンバーガー、パスタ、カレー、デザート
コンビニ	1号館地下 (セブンイレブン)		弁当、パン、おにぎり、カップめん、菓子、飲物、文房具、生活用品 ※コピーサービス・FAXサービス
書籍・売店	鹿溪館1階 (大垣書店)		教科書、書籍、雑誌、CD、DVD、図書カード、出版印刷、文房具、事務用品、切手・印紙・はがき、自動車教習所取扱、パン、カップめん、菓子、飲物 ※コピーサービス
ATM	鷹陵館1階 (三井住友銀行)	平日 9:00～21:00 土曜 9:00～18:00	現金自動預け払い機
	鷹陵館1階 (京都銀行)	平日 9:00～21:00 土曜 9:00～19:00 日・祝 9:00～19:00	
	5号館前 (ゆうちょ銀行)	平日 9:00～19:00 土曜 9:00～17:00 日・祝 9:00～17:00	
自動販売機	図書館前、5号館1階・地下、7号館前、12号館1階、15号館1階・北入口前		飲物
ウォーターサーバー	1号館地下1階、鷹陵館1階、鹿溪館1階		

■二条キャンパス

名称	場所	営業時間	内容
カフェテリア	1号館1階	詳細はB-netでお知らせします。	麺類、丼類、定食等、カフェ
書籍・売店	1号館1階 (大垣書店)		教科書、書籍、雑誌、CD、DVD、図書カード、出版印刷、文房具、事務用品、切手・印紙・はがき、パン、カップめん、菓子、飲物 ※コピーサービス
自動販売機	カフェテリア前		飲物
ウォーターサーバー	1号館1階		

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

利用ガイド

■開館日程

学務行事	開館時間	休館日
通学課程授業のある平日・土曜・祝日	9:00 ～ 20:00	・日曜日（授業日除く） ・国民の祝日（授業日除く） ・創立記念日（授業日除く） ・年末年始 ・蔵書点検日 ・法定点検日
通学課程授業のない平日・土曜	9:00 ～ 17:00	
通学課程試験 1 週間前から終了 1 日前まで （日曜・祝日を含む）	9:00 ～ 21:00	

※学内諸行事等により、上記の通りでない場合があります。

※紫野キャンパス図書館と二条キャンパス図書室で開館日・開館時間が異なります。

※詳細は、図書館ホームページの開館カレンダーを確認してください。

※警報（特別警報・暴風警報等）が発令された場合は、臨時休館もしくは、開館時間を変更する可能性があります。図書館ホームページを確認してください。

■入退館

入館（入室）	入館ゲートのカードリーダーに「学生証」をかざしてください。 ※学生証を忘れた場合は、呼出ボタンにて総合カウンターに申し出てください。
退館（退室）	退館ゲートのカードリーダーに「学生証」をかざしてください。 ※貸出手続きをしていない図書館資料があった場合は警報ブザーが鳴ります。 ※ブザーが鳴った場合は、所持品の確認にご協力ください。

※二条キャンパス図書室の場合は、1 階メインゲートを通過のうえ、上記の通り 7 階図書室に入室してください。

■利用条件

利用対象	冊数	期間	更新	最長貸出期間	予約可能冊数
学部生・別科生・科目等履修生	30 冊	30 日	可	60 日	30 冊
大学院生	30 冊	90 日	可	180 日	30 冊

■図書館サービス（受付窓口：総合カウンター閲覧担当）

来館貸出	借りたい図書に「学生証」を添えて総合カウンターで手続きをしてください。
送本貸出	借りたい図書の貸出を来館せずに郵送で受けるサービスです。
予約	借りたい図書が貸出中の場合は予約ができます。予約図書の取置期間は、7 日間（土日祝・休館日除く）です。
学内デリバリーサービス （紫野⇄二条）	紫野キャンパス図書館と二条キャンパス図書室間で、図書を相互に取寄・閲覧・貸出・返却することができます。
更新 （貸出期間の延長）	貸出図書は、更新手続きをした日から貸出期間分、返却期日を更新できます。更新に回数制限はありませんが、最長貸出期間を超える返却期日にはできません。 ※当該図書が予約されている場合・貸出停止期間中の場合・延滞中の図書がある場合・返却期日が過ぎている場合は、更新できません。 ※最長貸出期間は利用条件の表を参照してください。 ※総合カウンターまたは図書館ポータルサイト BIRD 内の「LIBon」にて手続きができます。総合カウンターで手続きする場合は、当該図書と学生証を持参してください。
返却	貸出図書は必ず返却期日までに返却してください。郵送での返却も可能です。 ※キャンパス開構時間中に図書館が閉館もしくは休館している場合はブックポストに返却してください（返却手続きは翌開館日になります）。 ※返却期日を過ぎた場合は、延滞した日数分、貸出停止期間が発生します。

※送本貸出・予約・学内デリバリーサービス（取寄）は、蔵書検索（OPAC）画面から申請ができます。

※送本貸出・郵送返却にかかる送料は本人負担となります。

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

■参考調査

学習・研究に必要な資料の所在調査や情報提供を受けることができます。

受付窓口	総合カウンター参考調査担当
受付時間	図書館開館日 9:00 ~ 18:00 ※

※開館時間によっては変更になる場合があります。

■相互協力サービス（受付窓口：総合カウンター参考調査担当）

文献複写	本学および他の図書館等に関連法および相手館の規程の範囲内で複写を依頼し、取り寄せることができます。
現物借用	他の図書館等に図書資料の借り受けを依頼することができます。ただし、利用は本学図書館内のみです。
他大学図書館の利用	本学に所蔵のない資料を他大学の図書館等で閲覧することができます。利用を希望する場合は、相手館への照会、本学図書館発行の「紹介状」が必要です。

※文献複写・現物借用は、図書館ポータルサイト BIRD 内の「LIBon」でも手続きができます。

※文献複写・現物借用の利用にあたってかかる複写料や送料等の料金は本人負担となります。

※相互協力サービス利用の際は、**日数に十分余裕をもって**申し込んでください。

■施設・設備（受付窓口：総合カウンター閲覧担当）

○各種学習室（研究個室・グループ学習室・多目的学習室）

どなたでも利用ができます。総合カウンターにて利用手続きをしてください。

○地下2階閉架書庫（C層・D層）

学部生・別科生・科目等履修生	入庫できません。資料を閲覧する場合は、総合カウンターで出納申し込みをしてください。
大学院生	入庫できます。「学生証」を持参のうえ総合カウンターで入庫手続きをしてください。

※上記の施設は、二条キャンパス図書室にはありません。

■購入希望図書の申請

学習・研究上必要な図書が図書館に所蔵されていない場合は、図書の購入を申請することができます。申請された図書は、本学収書基準、予算、その他条件から、購入の可否を判断します。

図書館ポータルサイト BIRD 内の「LIBon」より申請してください。

■利用上の注意

○図書館資料は大切に扱ってください。汚損・破損・紛失した場合は弁償していただきます。

○貸出手続きをせずに図書館資料を館外に持ち出すことはできません。

○館内では静かにしてください。携帯電話等での通話は禁止します。マナーモードにしておいてください。

○館内での飲食は禁止です（ペットボトルの水のみ可）。

○館内は撮影禁止です。

○貴重品等を閲覧席に置いたままにしないでください。席を離れるときは必ず携帯し、各自で責任を持って管理してください。

■関連サイト

図書館ホームページ（<https://www.bukkyo-u.ac.jp/library/>）

図書館開館カレンダー・警報発令時等における図書館の対応・図書館に関するお知らせ・利用者別図書館サービス等の情報を掲載しています。

「図書館へのお問い合わせ」のバナーから図書館へ各種お問い合わせができます。



図書館ポータルサイト BIRD（<https://bird.bukkyo-u.ac.jp/>）

学術情報の収集や論文・レポート作成のためのサイトです。蔵書の検索やデータベースの利用ができます。

図書館の一部機能をインターネット上で利用できる「LIBon」へのアクセスもこちらから。



BIRD 利用マニュアル（<https://bird.bukkyo-u.ac.jp/usersguide/birdguide/>）

図書館ポータルサイト BIRD の使い方を学ぶことができます。

・資料の検索やデータベースの使い方

・各種図書館サービス（送本貸出、予約・学内デリバリー・文献複写等）の申請方法

・LIBon の使い方（貸出中の図書の更新、図書購入の申請方法など）



I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

学生ボランティア室

学生の皆さんのボランティア活動を推進・支援するための「学生ボランティア室」では、学外からのボランティア情報を発信しています。学生ボランティア室前には、ボランティアに関するポスターやチラシを配架しています。希望に応じて学生スタッフや職員が相談に応じますので、気軽にお問い合わせください。

●社会連携センター学生ボランティア室（7号館2階 学習情報プラザ内）

■開室時間：月曜～金曜 9：00～13：00、14：00～16：30

（土曜・日曜・祝日、大学が定めた休日は閉室）

■メール：buvcc@bukkyo-u.ac.jp

■Instagram：@buvcc1

※学校ボランティアについては教職支援課で取り扱っています。

学生ボランティア室

学生スタッフ募集!!

学生ボランティア室は、有志の学生スタッフと教職員によって運営しています。

学生のボランティア活動のきっかけとなる場を提供し、ボランティアを希望する学生のサポートを目的に活動しています。一緒にボランティア活動や企画などをしてみませんか？

学生スタッフ・教職員一同、お待ちしております。

学生ボランティア室の主な活動

●ボランティア相談会の開催

学生ボランティア室では、月に一度ボランティア相談会を開催しています。

学生スタッフがボランティアの紹介をしたり、ボランティアに関する相談に乗ったりするなど、みなさんのボランティア活動をサポートします。

なお、学生ボランティア室前には、常に最新のボランティア情報を配架しています。

気になるものがありましたら、いつでもお声がけください。

●ボランティア活動の企画や実施

高齢者施設との「オンラインサロン」、入院中の子どもたちへの絵本の読み聞かせ、キャンパス周辺の清掃活動などを、企画・実施しています。また、災害時のボランティアや募金活動なども実施しています。

●「ボランティアフェスティバル」の開催

「ボランティアフェスティバル」とは、様々な分野の施設・団体の方から具体的なボランティアの内容について直接話を聞くことができるイベントです。

●機関誌『Maitrī（マイトゥリー）』の発行

学生ボランティア室では、年に1回機関誌を発行しています。

スタッフ紹介や活動内容など、学生ボランティア室に関する情報を掲載しています。

ボランティア保険に加入しましょう

有志のボランティア活動には大学で加入している保険は適用されません。そのため、ボランティア保険の加入は任意です（活動先により必須場合があります）が、自分自身もしくは相手がケガをする場合や財物に損害を与える可能性に備えて必ず加入するようにしてください。受け入れ先の負担で加入できる場合もありますので、ボランティア受け入れ先の施設・団体、学校・園もしくは所轄の教育委員会等に参加について確認してください。

各自で加入する場合は、市区町村の社会福祉協議会やボランティアセンターで加入手続きを行ってください。保険料はプランによって異なりますが300～600円程度で、加入するとその年度の3月末まで有効です。

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

教育

臨床

現社

公共

福祉

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

海外渡航

担当：学生支援課・国際交流課

海外に渡航する場合は、緊急時に備え、必ず B-net より「**海外渡航（旅行）届**」の提出をしてください。また、外務省が実施している「**たびレジ**」（滞在が3か月以上の場合は**在留届**）に登録をしてください。
なお、留学等により、休学中に海外へ渡航する場合は、p.176 を参照してください。

●外務省渡航登録サービス（滞在期間3か月未満：「たびレジ」、3か月以上：在留届）

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp>



●外務省「たびレジ」登録サイト「（簡易登録）サイト」

外務省からの最新の安全情報を日本語で受信できる無料配信サービスです。海外に渡航予定がある方もない方も利用することができます。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/simple/register>



I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴文

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

留学生支援

担当：国際交流課

奨学金制度（最短修業年限以内が対象）

留学生を対象とした本学独自の奨学金制度があります。 ※選考あり

- **佛教大学外国人留学生新入生特別奨学金（秋学期より 6 ヶ月）**
学部生／月額 48,000 円、大学院生／月額 48,000 円
- **佛教大学外国人留学生特別奨学金（1 年間）**
学部生／月額 48,000 円、大学院生／月額 48,000 円
- **佛教大学私費外国人留学生奨学一時金（年 1 回）**
学部生／200,000 円、大学院生／200,000 円

授業料減免制度（最短修業年限以内が対象）

- **佛教大学外国人留学生授業料減免**
年間授業料の 30% を減免
- **佛教大学学術交流協定校外国人留学生授業料減免**
年間授業料の 50% を減免

※いずれも選考があります。

学 習 支 援

学部留学生を対象に、日本人チューターが留学生の希望する授業のサポートをしています。
チューターは授業に同席し、授業後の復習時間と合わせて授業内容の理解を助けてくれます。

交 流 行 事

交流会や研修旅行、スピーチコンテスト、年末懇親会などを開催し、日本人学生と留学生との交流の機会を提供しています。

留学生寮（佛教大学国際交流会館 知恩）

(1) 居住施設

- ・居室は 35 室あり、各居室には、冷暖房設備と給湯設備のほかにユニットバス・トイレ、ミニキッチン（電気コンロ、冷蔵庫つき）、クローゼット、ベッド（布団は各自で準備）、洗濯機、カーテン等が備え付けられています。
- ・居室使用料は月額 22,000 円、光熱水費（電気・水道使用料）は実費負担となります。
- ・入居可能期間は原則として 1 ヶ月～1 年とし、入居状況により入居期間の更新が可能です。
※入居希望者が多い場合は入居できないことがあります。入居をお考えの方は事前に国際交流課までお問い合わせください。

(2) 共用施設

交流ホール、キッチン、和室、礼拝室、多目的室（自習室）

(3) その他

管理人が 24 時間体制で常勤しているため、安心して生活できます。

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

課外活動

担当：学生支援課

2005 年 1 月に、本学山岳部の冬山合宿で発生した遭難事故は、佛教大学全体に深い悲しみと、大きな教訓を残しました。

我々は、この悲しみから得たものを決して風化させないという決意のもと、佛教大学生の学生生活指導にあたってきました。

大学が定めるルールやマナーは、全てがみなさんの身と心を守るためのものです。

学生生活が実り有るものとするためにも、しっかりと内容を理解してください。

課外活動に関する手続きについて

POINT! ※課外活動に関する詳細は、『課外活動ハンドブック』を参照してください。

佛教大学課外活動団体一覧

校友会機関

代 議 員 会
中 央 執 行 委 員 会
会 計 監 査 委 員 会
選 挙 管 理 委 員 会

代議員特別委員会

鷹 陵 祭 実 行 委 員 会
紫 櫻 祭 実 行 委 員 会

文化会本部

文 化 会 本 部

傳 道 部	写 真 研 究 会	映 画 部	漫 画 研 究 会	お笑いサークル SHOWCASE -
児 童 教 化 研 究 部	軽 音 楽 部	フ ォ ー ク ソ ン グ 部	ユ ネ ス コ 研 究 会	
書 道 部	アマチュア無線クラブ	箏 曲 部	ジ ャ ズ 倶 楽 部	
混 声 合 唱 団	ボ ラ ン テ ィ ア 研 究 会	点 訳 サ ー ク ル (休 部 中)	文 芸 部	
茶 道 部	学 生 歴 史 学 研 究 会	手 話 サ ー ク ル 「 な ま け も の 」	雅 楽 会	
華 道 部	美 術 部	劇 団 「 紫 」	民 俗 学 研 究 会	

体育会本部

体 育 会 本 部

硬 式 野 球 部	山 岳 部 (休 部 中)	ソ フ ト テ ニ ス 部	卓 球 部	ラ ク ロ ス 部
空 手 道 部	ワ ン ダ ー フ ォ ー ゲ ル 部	ア メ リ カ ン フ ッ ト ボ ー ル 部	硬 式 庭 球 部	
弓 道 部	ス キ ー 部	バ レ ー ボ ー ル 部	ハ ン ド ボ ー ル 部	
バ ド ミ ン ト ン 部	太 道 部	バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 部	ボ ウ リ ン グ 部	
剣 道 部	少 林 寺 拳 法 部	ラ グ ビ ー フ ッ ト ボ ー ル 部	ア イ ス ス ケ ー ト 部	
柔 道 部	サ ッ カ ー 部	陸 上 競 技 部	軟 式 野 球 部	

應援団本部

應 援 団 本 部
應 援 団
吹 奏 楽 部
チ ア リ ー ダ ー 部

報道本部

報 道 本 部
新 聞 局
放 送 局

無所属（文化系）

京 都 散 策 会「Smile」	スポーツ研究会「Mint Club」	クリエイターサークル 青春部
Music Freedom Crea	B B S 会	競 技 か る た 部
わんぱくグループ「どろんこ」	よさこいサークル 紫踊屋	教 職 サ ー ク ル MIYABI
レクリエーション研究会	シンガーソングライター	企業サークル「Job hunt」

無所属（体育系）

ソフトボール愛好会	バドミントン愛好会	ラグビー同好会 GUARDIANS	ダブルタッチサークル 佛跳
水泳愛好会「スイート・メモリーズ」	バスケット同好会 BREAK THROUGH	プロレス・格闘技研究会	スポーツチャンバラサークル
バレーボール愛好会 鷹陵倶楽部	軟式野球同好会 WILD BOYS	Dance Company 釈迦力	ダイビングサークル Dive In Blue
テニスサークル SPLASH	ソフトテニスサークルピーター	U l t i m a t e 会	筋トレサークル BARBELL CLUB

POINT! ※詳しくは学生会発行の『B-style』を参照してください。

備品の貸出

担当：学生支援課

大学貸出備品について

課外活動や学生個人の活動に対する援助、補助を目的として備品を貸出しています。
備品の種類・貸出状況は、学生支援課にて確認してください。

※大学行事や修理等により貸出できない場合があります。

施設利用

担当：学生支援課

●学内施設（教室等）

教室等の学内施設（課外活動許可施設）使用を希望する場合は、学生支援課にて、使用状況を確認のうえ、使用希望日
2 日前までに所定の「[施設追加使用願](#)」にて申請してください。

なお、二条キャンパスの教室等は申請不可です。

■使用可能時間

教 室：授業開講日（定期試験期間を除く）	16:00 ～ 20:30
日・祝・大学の定める休日	使用不可
鷹陵館（体育館）：授業開講日（定期試験期間を除く）	7:00 ～ 9:00
	16:00 ～ 20:30
日・祝・大学の定める休日	7:00 ～ 20:30

※通信教育課程スクーリング開講時・入学試験等で使用可能日時を変更する場合があります。

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

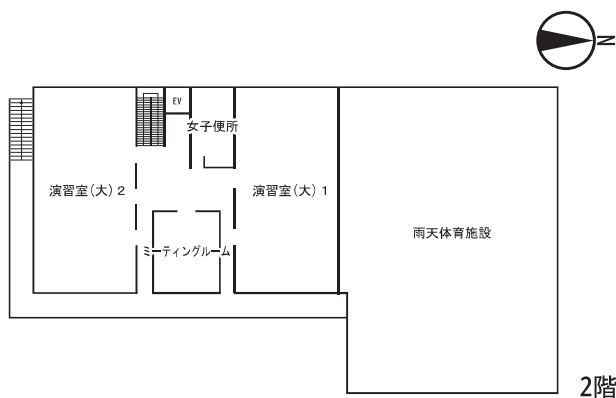
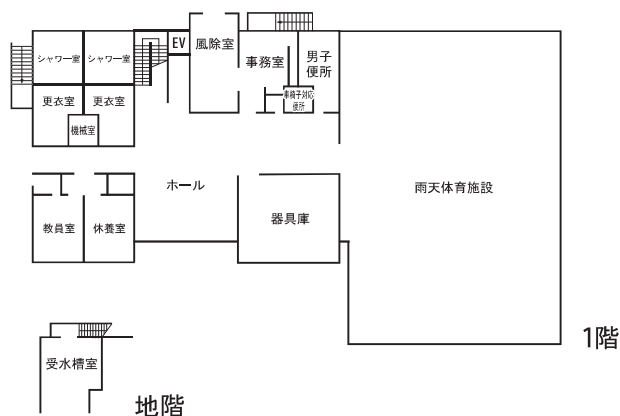
規程

課外活動やゼミ合宿で利用できます！

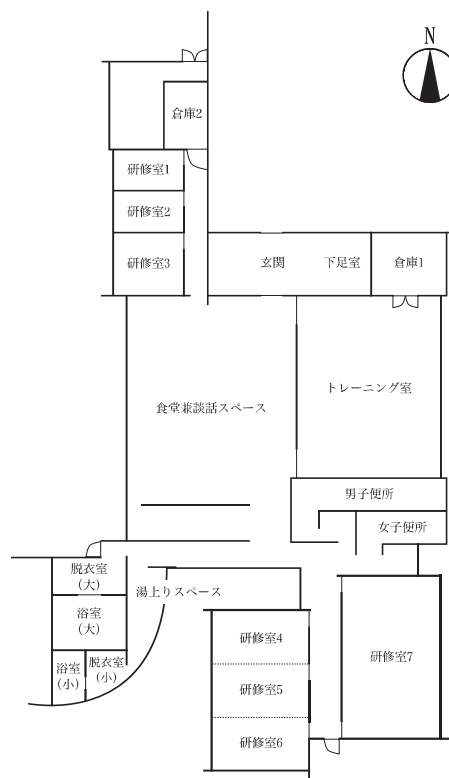
●岩倉グラウンドセミナーハウス「光照」・園部キャンパスセミナーハウス「和順」

■見取図

- 岩倉グラウンドセミナーハウス「光照」
- ※岩倉グラウンド（p.202 参照）



- 園部キャンパスセミナーハウス「和順」
- ※園部グラウンド（p.203 参照）



■使用上の注意

- 禁煙・禁酒
- 火気厳禁。可燃性の物の持ち込み、使用は禁止
- 使用後の清掃を必ず行うこと
- 緊急の場合は、直ちに管理人に連絡すること

■宿泊予約

- 宿泊希望者は、学生支援課にて手続きの説明を受けてください。
- 宿泊希望日 2週間前までに「セミナーハウス宿泊申請書」に使用人数、宿泊日数に応じた宿泊料分の現金を持参し、宿泊者名簿を添え、学生支援課に提出してください。
- ※宿泊料（現金）：1人あたり 1泊 400円。
- ※園部キャンパスセミナーハウス「和順」は、本学の専任教職員 1名以上の同伴が必要です。

■予約を取り消す場合

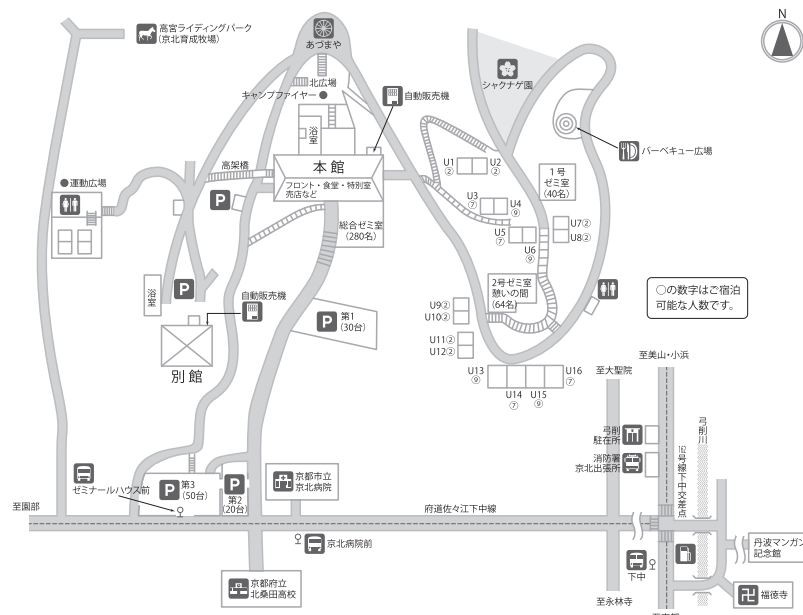
- すみやかに学生支援課に提出してください。ただし、宿泊料は返還できません。

●あうる京北（京都府立ゼミナールハウス）

あうる京北は、**研修会**や**各種会合**、生涯学習施設として宿泊、日帰りとも利用できます。

あうる京北の利用にあたり本学学生は1人**1泊1,000円**の補助を受けることができます。また、あうる京北内で利用できる**食事**には**1回100円**の補助を受けることができます。

あうる京北施設配置図



■予約方法

○利用希望の団体は以下の連絡先へ**電話**にて**仮予約**をしてください。

○仮予約完了後、学生支援課にて**所定の申請書**を配付します。

※料金や施設など、詳しくは学生支援課設置のあうる京北の資料を参照してください。

■アクセス

○各線「京都」駅からJRバス（高雄・京北線）で約80分「周山」下車、周山までお迎え有り（事前に到着時間をお知らせください。）

○各線「京都」駅から車で約80分（40km）

○JR嵯峨野線「二条」駅から車で約60分（35km）

○福王子から約40分（30km）

○京都縦貫自動車道「園部」ICから約30分（25km）

※無料送迎ご相談ください。

■連絡先

〒601-0533 京都市右京区京北下中町鳥谷2番地

TEL: 075 - 854 - 0216

FAX: 075 - 854 - 0316

E-mail: kyosemi@oak.ocn.ne.jp

URL: https://kyosemi.or.jp/

更衣室・ロッカー利用

鷹陵館2階・地下に設置

スポーツの授業や課外活動のための更衣・荷物保管をする場合は、鷹陵館2階および地下の更衣室にロッカーを設置していますので利用してください。

なお、利用は**当日限り**です。個人で占有せず、荷物を入れたまま帰宅しないようにしてください。



注意！ 盗難防止のため、ロッカーを利用する際は必ず施錠してください。

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャン
パス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

トレーニングルーム

場所：鹿溪館地下2階

トレーニングルームの使用は、許可証が必要です

トレーニングルーム（鹿溪館地下2階）を使用できるのは、「**トレーニングルーム使用者講習会**」で指導を受け、受講者のみに交付される「**トレーニングルーム使用許可証**」を所持している方のみです。

許可証を紛失した場合は学生支援課に申し出てください。また、学生支援課の指導に従わなかった場合は許可を取り消すこともあります。

開室時間：7:00～21:00

※大学が定めた使用禁止日は閉室

トレーニングルーム使用許可証

No.	
学籍番号	SAMPLE
氏名	
所属団体	
上記の者、鹿溪館トレーニングルームの使用を許可する。	
佛教大学	

トレーニングルーム使用講習会

春、秋学期開始時に開講しています。日程はトレーニングルーム掲示板にて確認してください。なお、講習会に参加できない場合は、トレーナーに相談し、別途受講してください。

各種トレーニング器具の使用

トレーニングルームでは、学生のニーズにあわせ**競技に必要な筋力**トレーニングから**健康増進**を目的とするトレーニングまで、スポーツトレーナーの指導のもと使用することができます。トレーニング器具には**有酸素マシン**をはじめ、**レジスタンストレーニングマシン**、**フリーウエイト**等、各種器具を設置しています。

トレーニングサポート

本学と契約するトレーナーがトレーニングの**指導**、**相談**を行っています。日程はトレーニングルーム掲示板にて確認してください。

コンディショニングセミナーの開講

スポーツを快適におこなうために、**ケガの防止**、**健康管理**についての意識向上や正確な**トレーニング方法**の習得を目的として、**春、秋学期の各1回**、トレーナーによるコンディショニングセミナーを開講しています。日程はトレーニングルーム掲示板にて確認してください。



学生生活とアルバイト

本学ではアルバイト紹介をするうえで、学生としてふさわしい内容であること、学業や健康に支障のないこと等を注意し、アルバイト情報を以下のとおり提供しています。

アルバイト求人情報提供

本学では、アルバイト情報が**パソコン、スマートフォン**から**24 時間検索**できる「**学生アルバイト情報ネットワーク**」（運営：（株）学生情報センター）を利用し、アルバイトを紹介しています。また、学内の事務局、店舗や近隣の寺社等のアルバイトは**掲示板**（学生支援課前）にて紹介しています。

●登録方法

- 佛教大学ホームページより「アルバイト紹介システム」へアクセスする。
- 「新規ご登録はこちら」にアクセスする。
- 新規登録画面にて、**大学発行の G-mail アドレス**（…@bukkyo-u.ac.jp）を登録する。
※**個人所有のメールアドレスの登録は不可**
- 大学のメールアドレスに、利用時（ログイン）の ID ならびにパスワードが通知される。

●利用方法

- 佛教大学ホームページより「アルバイト紹介システム」へアクセスする。
- 通知された ID ならびにパスワードを入力し、ログインする。
※**学内 PC からの場合は不要**（オートログイン）
- 画面上の職種、勤務地等から希望するアルバイト求人先を探す。
- 求人先に連絡する。

住まいの紹介

実家を離れて一人暮らしをする住居を探している方のために、**本学指定の業者**を通じて住まいの紹介を行っています。
本学指定の業者は以下のとおりです。

●提携専用学生寮

OBU（オーブ）ハウス

所在地（鷹峯）を“おうぶ”と読み、BUKKYO UNIVERSITYの“BU”と併せて命名。紫野キャンパスより徒歩1分。

業者名	紹介内容	
(株) 共立メンテナンス TEL：0120-07-3656	食事・家具家電付 寮長夫妻常駐	 ◀紹介ページに繋がります

●本学指定業者

指 定 業 者			
①	(株) 学生情報センター TEL：0120-749-025		◀紹介ページに繋がります
②	(株) フラットエージェンシー TEL：0120-75-0669		◀紹介ページに繋がります
③	(株) ジェイ・エス・ピー・ネットワーク TEL：0120-938-996		◀紹介ページに繋がります
④	(株) 学生ハウジング TEL：0800-200-3215		◀紹介ページに繋がります

■鷹陵館1階入学課前に上記4社の物件紹介**パンフレット**を設置しています。

■指定業者を利用して契約する場合、佛教大学生割引として紹介手数料が家賃の50%（通常は家賃の100%）となります。

上記4社のうち、①では**本学学生が優先的**に入居できる「指定マンション」を紹介しています。いずれも**手数料は無料**です。また、③では**手数料が無料、家賃が割引**となる「推薦学生マンション」を、④では**下宿等**の比較的安価な物件を紹介しています。詳しくは佛教大学ホームページ、パンフレットを参照してください。

●その他の業者

業者名	紹介内容	
(株) クラス	家具を定額でご利用 いただけるサービス	 ◀紹介ページに繋がります

●申込方法

直接担当業者に連絡してください。

一人暮らしの心得

契約する時の注意として、必ず**契約条件を理解、納得**のうえ契約を行ってください。

入居後は家主や他の入居者、建物近隣の方々に迷惑をかけないように、**マナーやモラル**を守ってください。

もし、一人暮らしをする中で問題が起き、自分で解決することが困難なときは学生支援課まで気軽に相談してください。

●一人暮らしの3原則

■**防 犯 ・ 防 火**… 火災の原因となる暖房器具、たばこの後始末等、**火気**には十分注意してください。

また、外出時は**戸締り**をしっかりとってください。

■**近 隣 へ の マ ナ ー**… 他人の迷惑となる**騒音、深夜**までの**会合**は慎んでください。

また、家庭**ごみ**は、**指定**の時間・場所に決められた**方法**で捨ててください。

■**健 康 管 理**… 食生活に注意し、不規則な生活を慎んでください。

また、病気・怪我に備えて、**マイナンバーカード・健康保険証**を取得しておいてください。

Ⅵ. 進路・就職支援

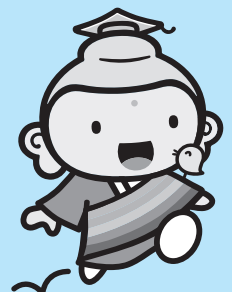
さまざまな進路

P.221

進路就職課を知ろう！

P.222

学部 3 年生以上および大学院生のみなさんへ！ P.223



大学生活は人生全体からみればほんの一部、ひとつの通過点にしか過ぎません。しかし、その過ごし方がその後の長い人生の歩み方に大きな影響を及ぼすであろうことは学生である皆さんにも想像できることでしょう。

受験勉強を終え、大学生として新しい一歩を踏み出した1年生の皆さんはどのような進路を思い描いていますか？そして、その実現のためにどのようなことに取り組んでいきたいと考えていますか？

同じキャンパスで同じ時間を過ごす皆さんであっても、一人ひとりの夢や希望する進路は多様に広がっているはずです。

本学では、正課の授業や課外活動を通して得られる知識や体験を、自身の具体的な経験値として蓄え、就職活動はもとより社会人として必要な「人間力」へと発展させることを目標に進路・就職支援を行っています。

進路・就職支援の詳細（進路就職課の取り組み、ガイダンス・セミナーや就職講座の紹介など）は、進路就職課が発行している冊子『人間力をつける』『資格・講座ガイド』を確認してください。

さまざまな進路

担当：進路就職課

「就職」…企業、教員、公務員、福祉・保育、保健医療

就職に関しては、学年ごとに、志望に応じて企業、教員、公務員、福祉・保育、保健医療の**分野ごとのプログラムを展開**しています。無料で参加できる「**ガイダンス**」や「**セミナー**」は、働くということや進路を考える場として、就職することへの意識の向上をめざすとともに、希望する分野の情報収集、社会人としての基本的な教養やマナーを身につけるために開催しています。

「進学」…大学院、専門学校、留学等

進学に関する情報収集は、各学校のホームページを調べるとともに、資料請求を行うことがスタートになります。その際に、過去の入試問題が入手できるかどうかも確認しておきましょう。ここでは佛教大学大学院を紹介します。

佛教大学では、大学院に文学研究科・教育学研究科・社会学研究科・社会福祉学研究科を設置し、学部・大学院の一貫した教育研究体制を整えています。**修士課程**（2年）と、**博士後期課程**（3年）があり、**4研究科7専攻**を開設しています（通信教育課程の博士後期課程は1研究科2専攻）。

本学の大学院へ進学を希望する人は入学試験に関する資料を無料で配付していますので、**通学課程は入学課**（鷹陵館1階）、**通信教育課程**は通信教育課程**インフォメーションセンター**（1号館1階）で受け取ってください。なお、大学院の入学試験要項や出願書類は、通学課程・通信教育課程とも本学入試情報サイトに7月頃掲出予定です（WEBからのダウンロードのみ）。

〔佛教大学大学院／修士課程・博士後期課程一覧〕

研究科	専攻	通学課程		通信教育課程	
		修士	博士後期	修士	博士後期
文学	仏教学	○	○	○	○
	文学	○	○	○	
	歴史学	○	○	○	○
教育学	生涯教育	○	○	○	
	臨床心理学	○	○	○*	
社会学	社会学	○	○	○	
社会福祉学	社会福祉学	○	○	○	

※通信教育課程 教育学研究科臨床心理学専攻修士課程の修業年限は3年です。

卒業後の免許・資格の取得（通信教育課程への入学）

佛教大学は通信教育課程を有しており、学部**卒業後**、仕事に就きながらも様々な**教員免許状**や**資格**を取得することができます。

大学卒業を基礎資格とし、**教員免許状**や**資格**を取得できる「**課程本科**」が開設されています。それ以外にも免許や資格、そして既に取得している教員免許状を基礎として必要な単位を修得することによって「上級免許状」「他教科免許状」「隣接校種免許状」が取得できる「**科目履修コース**」もあります。これらには一定の条件が必要となりますので、詳細は**通信教育課程『入学要項』**（インフォメーションセンター（1号館1階）にて配付およびデジタルパンフレット）で確認してください。

I
教育
目標

II
履修
一般

III
教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV
学籍・
学費

V
キャンパス
ライフ

VI
進路・
就職支援

VII
大学の
取り組み

VIII
規程

進路就職課を知ろう！

担当：進路就職課

進路就職課

簡単に情報収集ができるようになった中で、正しい情報と誤った情報を見分けることが重要です。視野が狭くなるような偏った情報や利益を優先した質の悪いサービスもあるため、出どころのわからない情報を信じる前に、進路就職課のガイダンスやセミナー、面談を活用してください。

最新情報は掲示板や「B-net」・「求人検索 NAVI」を必ずチェック！！

進路就職課のサポート情報は、冊子『[人間力をつける](#)』『[資格・講座ガイド](#)』に掲載しています。ただし、掲載時点では詳細が決定していないものや追加開催される説明会などもあります。

最新情報は[掲示板](#)（1号館2階北側エレベーター前および1号館北側）や「[B-net](#)」・「[求人検索 NAVI](#)」で随時お知らせしています。日々必ずチェックし、計画を立てる習慣をつけてください。

「求人検索 NAVI」を活用する！

本学に寄せられた求人情報は、Web上で公開しています。「B-net」→「お気に入り」から「求人検索 NAVI」にアクセスし、社名・業務内容などのキーワード検索や、業種・地域などの条件検索のほか関連データを閲覧することができます。このサイトでは佛教大学生への求人があった企業・事業所の情報を公開しており、2025年3月卒業対象者の総求人件数は約18,500件です。（2025年2月末現在）

サイトの利用方法は「B-net」上でもマニュアルを公開していますが、不明な点は進路就職課へ問い合わせてください。なお、利用にあたっては最初に[初期登録](#)が必要となります。3、4年生ならびに大学院生は「[進路希望登録](#)」を、1、2年生は「[会員登録](#)」を行ってください。

この「[求人検索 NAVI](#)」の活用は[就職活動の大切なツール](#)の1つでもあります。学内はもちろん学外でもパソコンやスマートフォンから利用できますので、最大限に活用して情報収集に努めてください。

【求人検索 NAVI の活用方法】

- ・ 進路就職課からのお知らせ
- ・ 進路希望登録および進路報告登録
- ・ 求人情報検索
- ・ キャリア・アドバイザー面談予約
- ・ ガイダンス・セミナー申込
- ・ 就職活動体験記検索
- ・ OB・OG 検索
- ・ インターンシップ求人
- ・ 大学所定履歴書（WEB版）など

進路就職相談⇒キャリア・アドバイザー制度

本学には、[キャリア・アドバイザー制度](#)があり、様々な業界出身で経験豊富なキャリア・アドバイザーがみなさんの進路ならびに就職相談に対応しています。『[自己分析](#)』『[職業選択](#)』『[業界・企業研究](#)』『[書類添削](#)』『[筆記試験・面接対策（Web面接含む）](#)』などの相談にも対応します。

※キャリア・アドバイザーとの面談は[事前予約制](#)です。「[求人検索 NAVI](#)」[キャリア・アドバイザー面談予約](#)より申し込んでください。なお、進路就職課スタッフは随時対応しますので、気軽に相談に来てください。ただし、『[面接指導](#)』『[添削指導](#)』については事前にアポイントメントをとるようにしてください。

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

ガイダンス・セミナー・学内就職説明会⇒情報収集をしよう

進路就職課では、企業、教員、公務員、福祉・保育、保健医療などの分野別に区分した**ガイダンス・セミナー**を開催しています。各種セミナーでは、履歴書の書き方・面接対策・社会人としてのビジネスマナーについてや、各分野に必要なとされる知識についてアドバイスをを行い、少人数制のワークショップも行っています。

※対面で開催するものとオンラインで開催するものがあります。

また、学内に優良事業所をはじめ、実習先や本学卒業生が在職する事業所等に参加いただく**学内就職説明会**も開催し、皆さんの就職に向けた機会を提供しています。自分で正確な情報を得るために、積極的に行動しましょう。

資格・講座サポートコーナー⇒資格取得や就職対策の講座を受講しよう

進路就職課には『**資格・講座サポートコーナー**』があり、就職・将来に役立つ 20 種類以上の資格・試験対策講座を低価格で実施しています。資格取得は、自分自身を輝かせ、未来へ向かって自分を活かすことができるきっかけづくりとなります。なりたい自分になるためのステップアップを強力にサポートするため、講座はオンラインや対面など多彩な授業スタイルで実施します。

また、専任スタッフが皆さんの「目的」にあった資格や講座を選ぶお手伝いをします。就職活動や将来に役立つ講座を厳選していますので、上手く活用して自身のスキルアップにつなげましょう。

学部3年生以上および大学院生のみなさんへ！

担当：進路就職課

進路希望登録が必要な理由⇒「職業安定法」に定められています！

進路希望登録（「求人検索 NAVI」より登録）は、企業に就職を希望する人はもちろん、教員、公務員、福祉・保育、保健医療分野を志望する人や、進学を希望する人など、**全ての学部3, 4年生および大学院生**が行わなければなりません。

進路就職課で行っている職業紹介などの業務は、職業安定法第33条2項に基づいて、職業安定所の業務を委託されて行っているものです。就職を希望する場合、同法によりその意思を表明するために「進路希望登録」が必要となります。就職希望者に対する情報提供、相談、連絡、紹介、応募に際しての推薦状（学長推薦状、指導教授推薦状）や人物に関する証明書の作成交付などのためにも**必要な手続き**です。必ず登録してください。

※登録の仕方がわからない人は、遠慮なく進路就職課へ！

※登録内容は進路就職課から情報提供を行う際や、スタッフと学生の皆さんがコミュニケーションをはかるための基礎データにもなります。できるだけ詳しく入力してください。

※教員採用試験等に係る大学推薦制度の利用も登録が必要です。

進路報告について

文部科学省より卒業・修了生全員の進路状況調査が大学に**義務**付けられているため、卒業・修了後の進路が決定した場合は、すみやかに「**求人検索 NAVI**」にて**進路報告登録**を行ってください。

また、就職や進学だけでなく、講師希望、次年度公務員・教員採用試験受験予定、パート・アルバイト、就職希望なし等の場合も含め卒業・修了生全員が進路報告をする必要があります。

なお、**未報告者には進路就職課から電話等で本人または保証人の方に進路調査**を行います。

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

VII. 大学の取り組み

宗教情操行事	P.226
環境にやさしいキャンパス	P.227
キャンパス全面禁煙	P.227
個人情報の取り扱い	P.228
文化に触れる	P.230
附置機関・関連施設	P.231
佛教大学教育後援会	P.233
佛教大学同窓会	P.234
アクセスマップ	P.235



仏教精神を学ぶ

「**建学の精神**」である仏の教えや法然上人の思想に接していただくため、さまざまな宗教情操行事を開催しています。心と身体で触れ、現在そして将来と、意義ある日々を送られるよう願っております。ぜひ、参加してください。

●朝のおつとめとおはなし

【日時】 授業期間中、月曜～金曜 8:30～8:55

【会場】 礼拝堂（水谷幸正記念館）

「おつとめ」の後、教員より10分（水曜は15分）程度の講話をいただきます。
朝のおつとめとおはなしに参加して、爽やかな一日を迎えましょう。

●新入生祖山（知恩院）参拝

【日時】 新入生オリエンテーション期間中の1日

【会場】 総本山知恩院（京都市東山区）

新入生全員で、浄土宗の総本山である知恩院へ参拝します。
法然上人のみ前で入学の報告と、これからの学生生活の誓いをたてましょう。

●授戒会（じゅかいえ）

【日時】 9月の3日間

【会場】 礼拝堂（水谷幸正記念館）

お釈迦さまが説かれた「人間としての生き方」を、実践体験を通して学びます。
「仏（明るく）、法（正しく）、僧（仲よく）」のある生活を目指しましょう。

●聖日行事（音楽法要・聖日講話・写経会）

■法然上人聖日法要・聖日講話

【日時】 授業期間中の毎月25日前後 8:30～8:55

【会場】 礼拝堂（水谷幸正記念館）

法然上人のご命日（1月25日）は**御忌会（ぎよきえ）法要**を行います。

■写経会（しゃきょうえ）

【日時】 聖日法要実施日 10:00～15:30（随時受付）

【会場】 礼拝堂（水谷幸正記念館）

【経文】「一枚起請文」「四誓偈」「発願文（和文・漢文）」「般若心経」「七仏通戒偈」

*用具（硯・筆・墨汁など）は、すべて用意しています。

●仏教三大行事

■花まつり（釈尊降誕会）〈しゃくそんごうたんえ〉

お釈迦さまのご誕生をお祝いする法要を行います。法然上人のご誕生のお祝いと併せて行っています。

■成道会（じょうどうえ）

お釈迦さまがお悟りを開かれたことをお讃える法要を行います。

■涅槃会（ねはんえ）

お釈迦さまのご入滅をしのぶ法要を行います。

※各行事の詳細については別途案内します。

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

環境にやさしいキャンパス

現在、本学では社会問題化している環境問題について、「環境にやさしいキャンパス」を目指して、取り組んでいます。全学の学生、教職員、および関係業者の意識の高揚と協力体制を整備するために以下の事項の実施について協力してください。

省エネルギー対策について

●照明について

- 教室 教室を最後に退室される方は消灯の協力をお願いします。
- クラブボックス 退室時には消灯、空調 OFF を徹底してください。

●空調の稼働について

- 冷房時 (6月～9月)
 - 冷房中室温は28℃前後の温度に保っています。
 - 夏季は、暑さをしのぎやすい服装を考慮してください。
- 暖房時 (12月～3月)
 - 暖房中室温は20℃前後の温度に保っています。
 - 冬季は、寒さを考慮した服装の着用を励行してください。

●エレベータの利用について

3階までの昇降は、できるだけ階段を利用してください。

キャンパス内のごみ処理方法について

本学では、キャンパス内の随所に以下の4種類のごみ箱を設置しています。ごみの種類に応じて分別して処分してください。

●キャンパス内のごみ箱

POINT!

ごみ箱名称	ごみの種類
一般ゴミ	リサイクル不可能な紙、ゴム、皮革など
プラスチック	ビニール袋、弁当・カップ麺の容器、パンの袋など
ペットボトル・カン・ビン	飲料水のものに限る ※容器は空にすること
雑がみ	新聞、雑誌、チラシ、紙箱、紙袋、本などリサイクル可能な紙類

※自宅ゴミや家電製品、課外活動団体の器具や備品等を持ち込むことは禁止します。

キャンパス全面禁煙

キャンパス全面禁煙

健康増進法の一部を改正する法律の施行に伴い、令和4年4月1日から佛教大学敷地内は全面禁煙（電子タバコも含む）となりました。なお、京都市では「路上喫煙等の禁止等に関する条例」により市内全域において屋外の公共の場所で路上喫煙をしないよう定められています。敷地外でも条例を厳守し、周辺地域への迷惑となる喫煙は禁止とします。皆様のご理解とご協力をお願いします。

なお、健康管理センター（鷹陵館1階、二条キャンパス1号館2階）では禁煙サポートも行っていますので、喫煙者は禁煙に向けて積極的に利用してください。

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

教育

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

個人情報の取り扱い

担当：総務課

佛教大学では個人情報保護の重要性を認識し、その適切な情報取得と安全管理を図っております。個人情報保護に関する法令等を遵守するとともに、「佛教大学個人情報保護に関する指針」に基づき、学生・入学予定者・保証人および学費負担者の個人情報の保護に努めます。なお、この取扱いについては、通学課程、通信教育課程とも共通です。

①個人情報とは

学生・入学予定者・保証人および学費負担者に関する現在及び過去の情報であって、当該情報に含まれる氏名・生年月日・住所・性別・その他により特定の個人を識別することができるもの、および個人識別符号が含まれるものをいいます。

②個人情報の収集について

本学では、学生・入学予定者・保証人および学費負担者の皆様の情報を適正な方法により取得し、不正な手段による収集は行いません。また、収集にあたっては、その利用目的を明らかにします。

③個人情報の利用目的について

学生・入学予定者・保証人および学費負担者の皆様よりご提供いただきました個人情報は、以下の本学の正課・正課外教育研究活動、学生生活・教育研究支援活動等に必要な業務を遂行するために使用させていただきます。なお利用目的を追加・変更した場合は学生・入学予定者・保証人および学費負担者の皆様に学内掲示・ホームページ等を通じ通知または公表いたします。

○学生・入学予定者の個人情報

入 学 関 係	入学手続き（編入学・再入学を含む）、入学前教育（アンケート実施を含む）、下宿の紹介・斡旋、保険の紹介 等
修 学 関 係	履修相談・指導、履修登録、授業・試験運営、成績処理、単位認定、進級・卒業判定、諸資格判定、学位記授与、単位互換協定による科目履修、海外留学・研修、国際交流、教育研究支援活動 等
実 習 関 係	各種実習に係わる指導・助言、実習先を含む関係諸機関への連絡・依頼 等
学 籍 関 係	学生証交付、休学・復学・退学・除籍・復籍・転学部・転学科等の学籍異動 等
学 生 生 活	学生生活全般に関わる指導・助言、福利厚生・医療機関等の紹介・斡旋、学費の延期・分納、学費減免奨学生選考、奨学金交付・返還、学資貸付・給付・返還、定期健康診断・健康相談・応急処置、心理・精神的な問題の相談、ハラスメントや人権侵害の相談、課外活動支援、弔慰・災害支援、学生生活実態調査、卒業アルバム・謝恩会案内、ボランティア活動に係わる指導・助言・登録・連絡 等
進 路 関 係	就職斡旋・支援、求職（進路）登録、キャリア（進路）形成支援、進路決定届、資格取得のための課外講座運営、進学・就職に係わる推薦書作成 等
施 設 利 用	図書館利用（図書館資料および施設等の利用）、情報教育（パソコン利用）、教室・実習室・体育施設・外国語教育施設・視聴覚教育施設・合宿研修施設、駐輪場・駐車場、利用手続き 等
そ の 他	学費諸費納付手続き・管理、各種連絡・通知、各種証明書発行、用具・備品等の貸与、学則による表彰・処分、基礎学力調査、講演会等の案内・運営、英語基礎学力調査、授業評価アンケート、卒業・修了後の卒業・成績証明書の発行 等

なお、各部署よりの各種事務連絡・通知に係わる学籍番号・氏名・必要最小限の要件等は掲示板に掲示します。

保証人および学費負担者の個人情報

学費諸費納付手続き・管理、学生の修学指導等に必要な連絡、各種送付物（学費納付用紙・大学行事案内等）の連絡・通知および発送、就職活動案内、「佛教大学教育後援会」・「佛教大学同窓会」・「鷹陵同窓会」等の要請による保証人および学費負担者宛送付物の発送業務代行、大学の振興に係わるお願い、学生に連絡が取れない場合の緊急連絡 等

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

④第三者への提供について

次の場合を除き、本人の同意を得ないで第三者へ提供することはいたしません。

- (1) 個人情報保護法令による場合
- (2) 本人の身体・生命等を保護するため、緊急かつ止むを得ない場合
- (3) 公的機関からしかるべき令状のもとに情報提供の依頼がある場合
- (4) 以下に示す教育研究活動・学生支援業務遂行に必要不可欠な場合

業務遂行に必要不可欠な学生・入学予定者の個人情報の第三者提供

本学では、入学前教育課題送付、基礎学力調査・英語基礎力調査・授業評価アンケートのデータ集計、ITを利用した授業運営の一部、各種実習（教育実習・福祉実習等）の実習先等、健康診断に必要な検査・診察や診断結果の取りまとめ、就職支援業務の一部、海外留学・海外研修に関する渡航等の手続き、各種資格試験のための団体受験申請、ボランティア参加時本学に登録されたボランティア団体への紹介情報提供等について業務遂行にあたり公共機関・各種団体・専門の企業と提携して進める場合があります。この際、当該公共機関・各種団体・専門の企業に業務遂行に必要な最小限の情報（氏名、学籍番号、住所等）を提供します。こうした公共機関・各種団体・専門の企業の選定にあたっては、有益性はもとより個人情報保護システムが確立していることを条件としています。

- (5) 次に掲げる第三者につき本人が同意している場合
 1. 佛教大学教育後援会〔保護者またはそれに代わる者で組織する会で学生、保証人の個人情報のうちの運営に必要な最小限の情報を会に提供します〕
 2. 通学課程の場合、佛教大学同窓会〔奨学金支給等に関わり在学生の、また卒業・修了後、同窓会員としての必要情報を会に提供します〕、通信教育課程の場合、鷹陵同窓会〔卒業・修了後、同窓会員としての必要情報を会に提供します〕
 3. 学生の保証人〔学修支援、生活支援、就職活動支援等のために、在学生の個人情報（成績を含む）を保証人に提供します〕
- (6) 上記、(5) 1・2・3に関して、情報提供を望まない方は、総務課個人情報相談窓口にお申し出ください。提供を停止することもできます。ただし、教育後援会・同窓会等ではそれぞれ奨学金制度を設けて在学生を支援しています。また教育後援会では大学の現況等をお知らせする機関紙をお届けするとともに、大学と協力しながら在学生の単位修得状況や進級・卒業条件の充足度等を保証人の皆様に説明し、進学や就職、学生生活に関して個別相談・指導等を行っております。また卒業後、同窓会では「会報」を定期的にお届けし、大学の現況や同窓生の活躍をお知らせするとともに、大学の行事、同窓会総会や懇親会の案内を行っております。従いまして個人情報の「提供を停止」しますと不利益が発生する場合がありますのでご承知おきください。なお佛教大学教育後援会、佛教大学同窓会、鷹陵同窓会においても大学と同様個人情報保護システムを確立、取扱いを行っています。

⑤情報の開示・訂正

学生・入学予定者・保証人および学費負担者の皆様の権利として「佛教大学個人情報保護に関する指針」に基づき以下の事項について対応させていただきます。

1. 個人情報の開示請求
2. 誤った情報が登録されている場合の訂正請求
3. 本学より発信される関連情報等の送付停止請求
4. 個人情報に関する苦情、相談窓口へのコンタクト

※「佛教大学個人情報保護に関する指針」その他の取り扱い詳細につきましては佛教大学ホームページに掲載しております。

I
教育
目標

II
履修
一般

III
教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV
学籍・
学費

V
キャンパス
ライフ

VI
進路・
就職支援

VII
大学の
取り組み

VIII
規程

「京都に学ぶ」(教育後援会文化事業)

「京都で学生生活を送る本学学生やその保護者の方が**京都の伝統文化や古都の芸術に直接触れる機会**を」という思いから生まれた事業です。

多数の寺社や美術館が点在し、歴史や文化が身近に感じられる街、京都。その土地に学ぶ学生や保護者の方の文化的教養の涵養のため、寺院や美術館などの**拝観料**、歌舞伎・能などの伝統芸能の**鑑賞料の補助**を行っています。

「京都」という土地で学問ができるのも何かの「ご縁」。ぜひ「古都」に触れてみてください。何か新しいことが発見できるかもしれません。

現在、拝観料の補助を行っている**寺院、美術館、博物館**は以下のとおりです。申し込み希望者は**学生支援課または二条キャンパス事務課**まで申し出てください。

●対象

学部生・別科生および学部生・別科生の保護者

●寺院

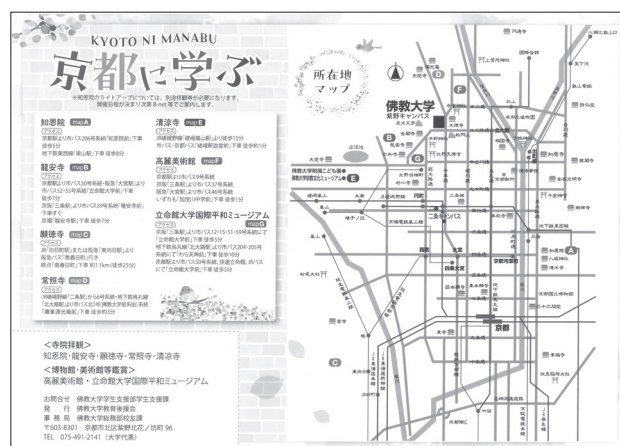
知恩院・龍安寺・願徳寺・常照寺・清涼寺

●美術館

高麗美術館

●博物館

立命館大学国際平和ミュージアム



キャンパスメンバーズ(教育後援会文化事業)

博物館や美術館等と連携を図り、所蔵する文化財を中心に、多くの文化や歴史に触れ、学習や研究に活用できる場を提供しています。学生証の提示により、平常展示の無料観覧や特別展の観覧料金の割引を受けることができます。

今年度の連携施設につきましては、決定次第、ホームページやB-net等にてお知らせいたします(対象：学部生・大学院生・別科生)。

●京都国立博物館

●奈良国立博物館

佛教大学オープンラーニングセンター（O.L.C.）

●オープンラーニングセンター（O.L.C.）とは

本学が有する「知」をより多くの方々に提供することを目的とし、大学の公開講座を担当。40年近い歴史を持つ「佛教大学四条センター」を前身に、2021年4月にオープン。

幅広い世代の方々に学んでいただける講座を提供しています。学内外から講師を招き、仏教や京都学をはじめ幅広い内容の講座を展開。対面受講だけでなくリアルタイム配信によるオンライン受講もあり、どちらで受講しても「約1ヵ月間の見逃し配信」付き。会員種別も3種類を設け、それぞれの学びのスタイルに合わせた受講が可能です。サブスク（定額会員）では、半期12,000円（税込）で半年間300を超えるすべての講座が受講し放題（対面・オンラインどちらも可）。シリーズ講座においても、単体の1回のみの受講が可能です。

いつでも、誰でも、どこからでも、あなたの「学び」の扉を開きます。

●佛大生だけの特典

- ・3種類ある会員種別のうち「正会員」の会費1,000円（税込・1年間有効）を無料。入会の際は連絡してください。（※在学中のみの特典となります）

●問い合わせ先

オープンラーニングセンター（O.L.C.）[15号館2階]

TEL：(075) 366-5511

Email：bu-olc@bukkyo-u.ac.jp

取扱時間：10：00～17：00（土曜日は講座公開日のみ） 休館日：日曜・祝日・大学指定日

通信教育課程

●大学院

修了した課程により「修士」または「博士」の学位が得られます。文学・教育学・社会学・社会福祉学の4研究科に7専攻を開設しています（博士後期課程は文学研究科の仏教学と歴史学の2専攻のみ）。

●学部（本科）

卒業時に「学士」の学位が得られる正規の大学課程。仏教学・文学・歴史学・教育学・社会学・社会福祉学の6学部、11学科を開設しています。

●課程本科

大学や短期大学の卒業者が、その卒業を活かして希望する教員免許状や資格を取得する課程です。それぞれ取得に必要なとなる授業科目のみを履修します。

●科目履修コース

「教員免許状課程」「資格課程」「教養課程」「特例制度による幼稚園教諭免許状・保育士資格課程」の4つのコースがあります。科目履修コースの学籍は「科目等履修生」で、身分証明書は「受講証」となります。

●本科入学資格コース

学部（本科）1年次入学志願資格のない方のために設けられたコース。必要な科目を履修し、単位を修得することで、学部（本科）への入学志願資格が得られます。

●問い合わせ先

生涯学習部（1号館1階）

TEL：(075) 491-0239

※木曜日および通信教育課程の学事行事のない土曜日・日曜日・祝日は事務取扱休止。

※昼休みの時間は通信教育課程の行事等により変更となります。

詳細については、佛教大学通信教育課程ホームページ（<https://tsushin.bukkyo-u.ac.jp>）をご覧ください。

佛教大学法然仏教学研究センター

佛教大学法然仏教学研究センターは、本学の建学の精神に則り、浄土学を中心に仏教学、人文科学、社会科学、自然科学にわたる広い視点から法然仏教学の総合的な学術研究を行っています。

活動内容については、ホームページで公開しています。講演会や研究会も定期的を実施しますので、学生の皆さんもぜひ参加してください。

●問い合わせ先

法然仏教学研究センター（12号館2階） TEL：075－491－2141（代）
TEL：075－493－9056（直）
FAX：075－495－2151

佛教大学総合研究所

佛教大学総合研究所では、学内外の研究者が協働して進める共同研究や若手研究者の支援を行っています。また、本学の研究に関連した講演会や研究会も開催しており、学生や一般の方にも公開しています。これらの活動の成果は刊行物やホームページに公開しています。

●問い合わせ先

総合研究所（12号館2階） TEL：075－491－2141（代）
FAX：075－495－2151

佛教大学宗教文化ミュージアム

佛教大学の建学の理念である仏教精神を中核に、浄土宗の歴史・思想・美術など宗教文化をテーマとする特別展・企画展のほか、平常展示ではこれまでに開催した展示の概要や、当館が所在する嵯峨野地域の歴史や文化の魅力を紹介しています。併設する「宗教文化シアター」では、民俗芸能などの無形文化財の公演や特別展関連のシンポジウム、講演会を開催。これらを通して、研究成果をひろく社会に公開しています。

開館予定やアクセス、刊行物などはホームページをご覧ください。

●問い合わせ先

〒616-8306 京都市右京区嵯峨広沢西裏町 5-26
TEL：075-873-3115
URL：<https://www.bukkyo-u.ac.jp/museum/>



佛教大学臨床心理学研究センター

臨床心理学研究センターは、臨床心理に関する佛教大学の附置機関として、臨床心理相談室におけるカウンセリング、臨床アセスメントの実施、幼稚園・こども園カウンセラー派遣事業など、臨床心理学の学術研究推進とその成果による社会貢献を展開しております。

また、本学は公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会より第1種の大学院の指定を受けており、当センターは臨床心理学専攻に在籍する大学院生の心理臨床実践および研修等の場ともなっております。



I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

幼保連携型認定こども園 佛教大学附属こども園

佛教大学附属こども園は北嵯峨の広沢キャンパスにあります。自然豊かな田園の広がる環境にあり、仏教精神に基づく情操豊かな子どもを育てるとともに、地域に根ざした保育を進めています。0～5歳児の各クラスを開設し、本学学生の実習現場になっています。また、保育ボランティアでの参加希望の学生も随時募集しています。



佛教大学教育後援会

教育後援会とは・・・

佛教大学教育後援会とは、**学部生**および**別科生**の保護者が組織する会で、佛教大学の教育振興に寄与することを目的とし、様々な形で**学生生活**を**支援**しています。

●教育懇談会

「**教職員と膝を交えて話せる機会**」をつくるとして保護者の方々を対象に、学生の修学や就職等について懇談をしています。開催会場は本学の他に各地方においても開催しています。主に保護者の集まりですが、保護者と一緒に出席することも可能です。参加申込は保護者宛に送付される「教育懇談会のご案内」および佛教大学ホームページを参照してください。



教育懇談会

●佛教大学教育後援会育英奨学金制度

1種・2種の奨学金があり、いずれも**給付型**で返還の必要はありません。詳細は、『**Campus Life Plan ～佛大奨学金ナビ～**』を参照してください。

●課外活動に対する援助

課外活動の活性化を目的に公認団体に対して以下の援助をおこなっています。詳細は『**課外活動ハンドブック**』を参照してください。

①**学外練習場使用費援助金** ②**学外団体加盟費援助金** ③**広告助成費援助**

●京都に学ぶ・キャンパスメンバーズ

「文化に触れる」の項 (p.230) を参照してください。

この他にも様々な事業を行っています。

教育懇談会の申込みについては、**校友課**まで問い合わせてください。

なお、これらの事業は、**学部生**および**別科生**のみ対象となります。

I
教育
目標

II
履修
一般

III
教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

教育

臨床

現社

公共

社福

その他

IV
学籍・
学費

V
キャンパ
スライフ

VI
進路・
就職支援

VII
大学の
取り組み

VIII
規程

佛教大学同窓会

同窓生同士の連絡および親睦を図り、
母校の発展に資する事を目的として
います！

● 歩み

佛教大学が大学に昇格する以前の前身校時代の 1910（明治 43）年に結成された「鹿溪会」より以降、これまで変わらず同窓会としての歴史を刻んでいます。同窓生は国内・海外を合わせて 6 万 9 千人を超え、各分野の第一線で活躍する数多くの人材を輩出しています。

● 運営

本会の運営は、役員会（会長 1 名、副会長 2 名、常務理事若干名、監事 2 名および理事若干名、評議員若干名）において事業計画・予算が立案され、総会にて承認の後、多角的な活動が実施されています。

なお、全国各地に本会の支部が設置され、それぞれ地域の特性を活かした支部活動が展開されています。

また本会は、その運営をより充実させるために、1986 年より終身会費制を導入しています。終身会費は一律 25,000 円で、卒業・修了年次に入会金（5,000 円）とともに大学が代理徴収することになっています。

● 主な活動

- 会報『紫野』の発行
- 各支部総会・同期会の支援
- 会員情報の収集（結婚・死亡・住所変更等）
- 慶弔業務（祝電・弔電等）
- 同窓会奨学金制度（在学生支援）
- 留学生への学業支援（在学生支援）
- 同窓会オリジナル卒業記念品の贈呈
- 佛教大学同窓会提供講座「人間」の開講等

■ ホームカミングデーの開催

学年や研究科、学部・学科の枠を超えて母校に集い、同窓生、在学生、教職員と旧交を温め、変わらぬ母校への想いを育んで頂くようホームカミングデーを開催しています。在学生との交流も深めていただけるように、鷹陵祭の期間にあわせて開催しています。

● 佛教大学同窓会会員の支部別分布状況

会員総数2025年2月1日現在65,848名（ただし、下記の分布図は連絡可能会員数）

* 次の3支部は、複数の県で1支部が結成されています。

みちのく支部—岩手・宮城・山形・福島の4県

関東支部—茨城・栃木・群馬・東京・山梨の1都4県

三州支部—宮崎・鹿児島2県

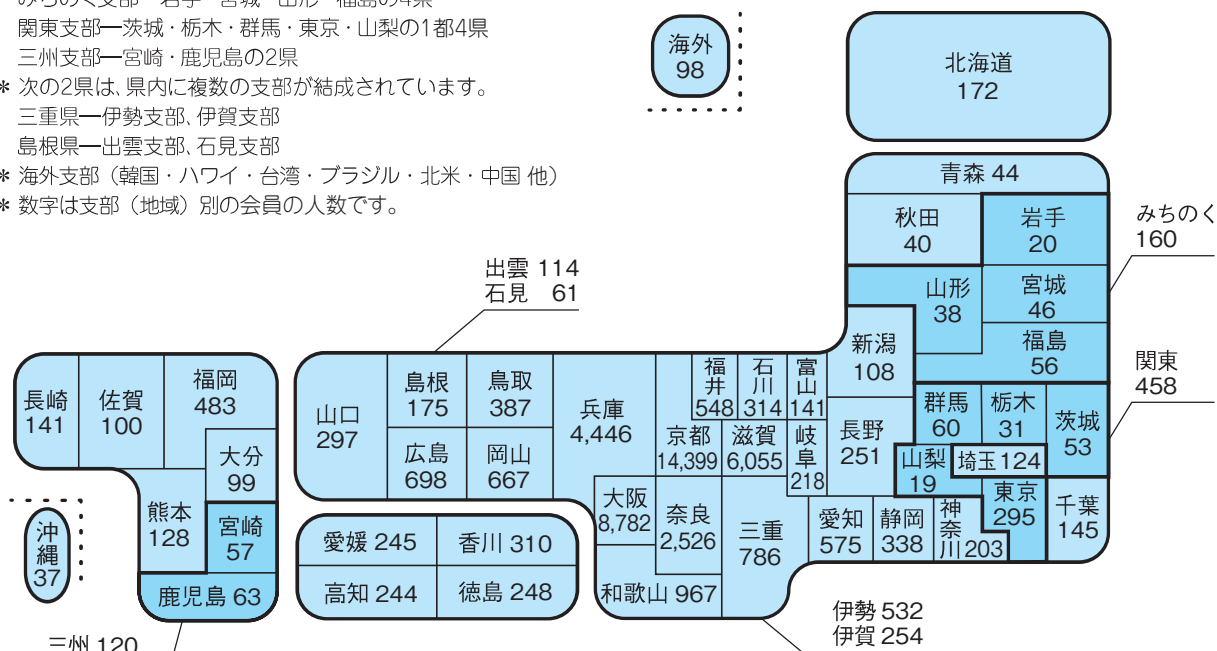
* 次の2県は、県内に複数の支部が結成されています。

三重県—伊勢支部、伊賀支部

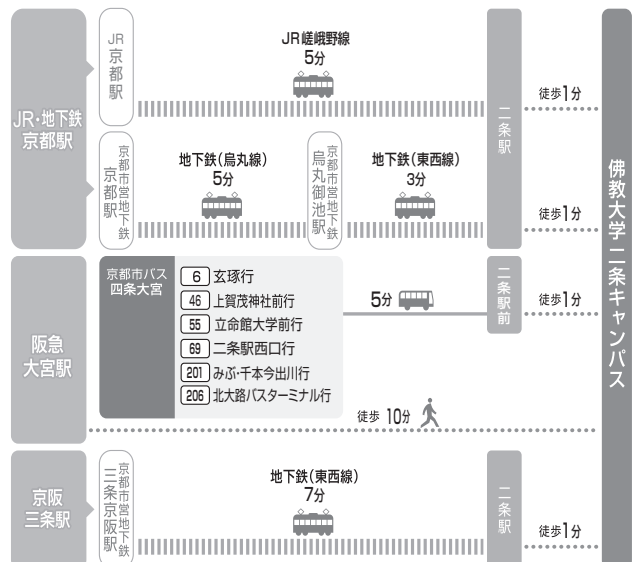
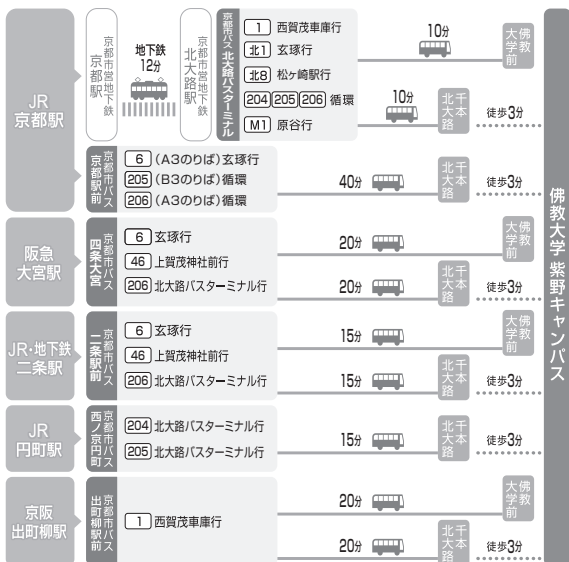
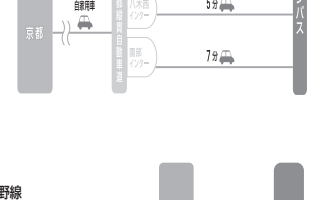
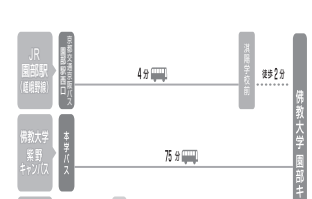
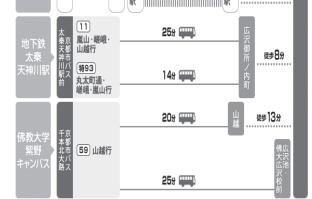
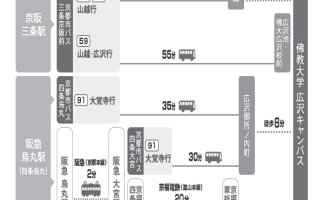
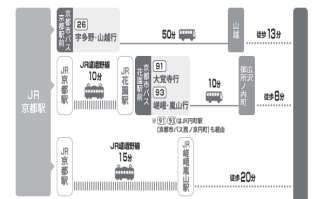
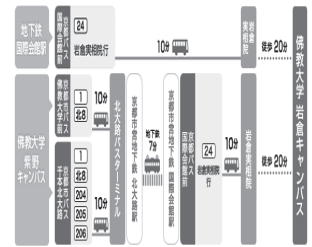
島根県—出雲支部、石見支部

* 海外支部（韓国・ハワイ・台湾・ブラジル・北米・中国 他）

* 数字は支部（地域）別の会員の人数です。



アクセスマップ

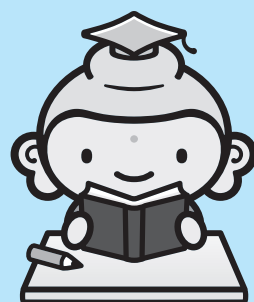


- I 教育目標
- II 履修一般
- III 教育課程
 - 全学
 - 仏教
 - 日文
 - 中国
 - 英米
 - 歴史
 - 歴文
 - 教育
 - 幼教
 - 臨床
 - 現社
 - 公共
 - 社福
 - その他
- IV 学籍・学費
- V キャンパスライフ
- VI 進路・就職支援
- VII 大学の取り組み
- VIII 規程

VIII. 規程

佛教大學修學規程

P.239



(趣旨)

第1条 佛教大学学則第3章および第4章の施行のために本規程を定める。

- 2 授業科目の履修方法等については、法令、学則またはこれらに基き特別の定めがあるもののほか、この規程の定めるところによる。

(授業科目の登録)

第2条 履修しようとする授業科目は、指定された期間・方法で学生支援課に届出なければならない。

- 2 病気その他止むを得ない正当な事由により、指定された期間内に授業科目の登録または卒業論文題目の届出ができない場合は、直ちに延期事由を証明する書類を添えて、延期願（任意の書式）を学生支援課に提出し、指示を受けなければならない。
- 3 授業科目登録後の追加・変更は、原則として認めない。
- 4 定員制等により予備登録を必要とする授業科目は、予備登録の手続きを経てその登録が許可された者のみ履修登録することができる。
- 5 クラス指定されている授業科目は、原則としてその指定されたクラスのみ履修登録することができる。
- 6 指定された期間内に届出（登録）を完了しない場合は、当該セメスターにおける受講資格を失う。

(授業科目の履修取消し)

第2条の2 学部が正当な理由があると認めた場合は、履修登録を取消することができる。

- 2 履修登録の取消しができる科目は、選択科目とし、原則として、必修科目、自由科目は履修取消しができない。
- 3 申請は指定された期間・方法で学生支援課に届け出なければならない。
- 4 申請期間以外の申請は原則認めない。但し、病気等その他止むを得ない正当な事由により申請ができなかった場合や、「実習科目」、「卒業論文」、「卒業研究」、「卒業レポート」は、申請期間外であっても履修取消しを認めることがある。
- 5 本条各項に規定する授業科目の履修取消制度は、2019年度以降第1学年次入学者より適用する。

(授業科目の履修)

第3条 授業科目の授業総時間数の3分の1以上欠席した場合は、その科目の単位を修得できないことがある。

- 2 教育職員免許状を取得する者は、学則所定の教育職員免許状取得に関わる科目等に加え、教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目に規定する本学基準開講科目を修得しなければならない。

(試験)

第4条 試験の種類は、定期試験、追試験および再試験とする。

- 2 試験は、筆記試験、レポート（論文）試験、口述試験、実技試験またはその他の方法によって行ない、その方法については別に定める。
- 3 履修登録をしていない科目は、受験することができない。
- 4 学費未納者は、受験資格を失う。
- 5 追試験および再試験の実施にあたり、大学が指定した試験期日に受験しなかった場合は、事由のいかんに関わらず、当該科目の受験資格を失う。

I
教育
目標

II
履修
一般

III
教育
課程
全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

教育

臨床

現社

公共

社福

その他

IV
学籍・
学費

V
キャンパス
ライフ

VI
進路・
就職支援

VII
大学の
取り組み

VIII
規程

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

- 6 追試験は、止むを得ない正当な事由により定期試験を受験できなかった者を対象として、学部教授会または大学院研究科教授会の議に基きこれを実施する。
- 7 前項における正当な事由とは、次の各号のいずれかに該当しなければならない。受験資格取得にかかわる課程の履修に関する事項について定める。
 - (1) 教育実習、博物館実習、図書館実習、介護等体験、ソーシャルワーク実習、社会福祉援助技術現場実習、精神保健福祉援助実習、保育実習、心理実習、社会教育実習、臨床基礎実習、臨床評価実習、総合臨床実習、基礎看護学実習、コミュニティ実習、クリティカルケア看護学実習、慢性看護学実習、成人看護学実習、老年看護学実習、小児看護学実習、母性看護学実習、精神看護学実習、地域・在宅看護学実習、在宅看護学実習、公衆衛生看護学実習、統合実践看護実習、臨床心理実習および伝宗伝戒道場（加行）のいずれかを受講中の場合（本学の当該免許・資格取得課程受講者に限る）
 - (2) 病気、けがの場合（医師の診断書を添付）
 - (3) 不慮の事故または災害による被害者の場合（事故証明書、被災者証明書を添付）
 - (4) その他正当と認められる事由がある場合（事由が証明できる書類を添付）
- 8 追試験受験希望者は、事由を証明する書類を添えて、指定された期間・方法で学生支援課に届け出るとともに、受験手数料を納付しなければならない。
- 9 春学期の追試験は8月に、秋学期の追試験は2月に実施する。
- 10 再試験は、最終学年における3月および9月卒業予定者で単位不足により卒業できない場合、当該年度に登録履修した授業科目のうち4科目以内を合格すれば卒業の要件を充たす場合にのみ、学部教授会または大学院研究科教授会の議に基きこれを実施する。但し、次の各号に該当する科目は、再試験の対象としない。なお、保健医療技術学部の再試験については別に定める。
 - (1) 卒業論文、卒業研究または卒業レポート（以下、「卒業論文等」という。）
 - (2) 定期試験を受験しなかった科目
 - (3) 出席不良により不合格となった科目
- 11 再試験受験希望者は、指定された期間・方法で学生支援課に届け出るとともに、所定の再試験料を納付しなければならない。
- 12 再試験における合格者の成績評価は、全て60点とする。
- 13 試験において次の場合は、不正行為とみなし学則により懲戒処分を行なう。さらに当該科目および当該学期に履修登録した全部もしくは一部の科目の登録を無効とする。
 - (1) 私語や態度について注意を与えても改めないとき。
 - (2) 許可なくして物品や教科書・ノート類を貸借したとき。
 - (3) 許可された以外の物を参照したとき。
 - (4) 代人受験をなし、またはなさしめたとき。
 - (5) その他監督者の指示に直ちに従わないとき。

（成績評価）

第5条 成績評価は点数をもって行い、次の評語で表示する。また、本学が入学前の既修得単位によって認定した授業科目については、「認定」の評語で表示する。

(2019 年度以降第 1 学年次入学者)

- S 100 点～90 点
- A 89 点～80 点
- B 79 点～70 点
- C 69 点～60 点
- D 59 点以下
- X 未受験
- N 評価対象外

(2018 年度以前第 1 学年次入学者)

- A 100 点～80 点
- B 79 点～70 点
- C 69 点～60 点
- D 59 点以下
- X 未受験
- N 評価対象外

- 2 成績評価は 60 点（評語 C）以上を合格とし、59 点以下（評語 D）、未受験（評語 X）、評価対象外（評語 N）は不合格とする。
- 3 学業成績を測る基準として、GPA（grade point average）（以下、「GPA」という）を使用する。GPA は、該当履修期間中の履修科目の成績評価を 4 点～0 点の GP（grade point）に換算し、各 GP に各科目の単位数を掛けて、それを履修科目の総単位数で割ったものを GPA として、計算値は小数点第 3 位を四捨五入して表記する。

点 数	成績評価	GP
100～90	S	4
89～80	A	3
79～70	B	2
69～60	C	1
59～0	D	0
未受験	X	0
評価対象外	N	0
履修取消	-	ポイントつけず
認定	認定	ポイントつけず

- 4 GPA は学生の学習・履修指導、進級・卒業判定、退学勧告等の基準として活用する。

（成績の疑義申立）

第 5 条の 2 成績について疑義申し立てを行なうことができる。

- 2 疑義申し立てをしようとするものについては、指定された期間・方法で学生支援課に届け出るものとする。
なお、申し出可能期間は、原則として、評価当該学期の成績発表日を含め 5 日以内とする。

（卒業論文等）

第 6 条 卒業論文等は、卒業予定セメスターにおいて履修登録しなければならない。

- 2 卒業論文題目は、指導教授の承認を得て、指定された期限までに届出なければならない。
- 3 卒業論文題目の届出を完了している者は、指定された期限までに卒業論文を学生支援課に提出しなければならない。

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史文

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

- 4 仏教学部仏教学科の2019年度以降第1学年次入学者は、第4学年第7セメスター時に、学則所定の卒業所要単位数のうち80単位以上を修得していない場合、「卒論ゼミ1」の登録資格を失う。また、第4学年第8セメスター時に、「卒論ゼミ1」を単位修得していない場合、「卒業論文」の提出資格を失う。
- 5 文学部日本文学科の2019年度以降第1学年次入学者は、第4学年第7セメスター時に、学則所定の卒業所要単位数のうち80単位以上を修得していない場合、「卒業研究ゼミ1」の登録資格を失う。
- 6 文学部中国学科の2019年度以降第1学年次入学者は、第4学年第7セメスター時に、学則所定の卒業所要単位数のうち80単位以上を修得していない場合、「卒業研究ゼミ1」の登録資格を失う。
- 7 歴史学部歴史学科、歴史文化学科、教育学部臨床心理学科の2019年度以降第1学年次入学者は、第4学年第7セメスター時に、学則所定の卒業所要単位数のうち80単位以上を修得していない場合、「卒業研究ゼミ1」の登録資格を失う。また、第4学年第8セメスター時に、「卒業研究ゼミ1」を単位修得していない場合、「卒業研究ゼミ2」の登録資格、ならびに「卒業論文」の提出資格を失う。
- 8 社会学部現代社会学科、公共政策学科の2019年度以降第1学年次入学者は、第4学年第7セメスター時に、学則所定の卒業所要単位数のうち80単位以上を修得していない場合、「現代社会学卒業研究ゼミ1」もしくは「公共政策学卒業研究ゼミ1」の登録資格を失う。
- 9 仏教学部仏教学科、文学部日本文学科、中国学科、歴史学部歴史学科、歴史文化学科の2010年度～2018年度第1学年次入学者、および教育学部臨床心理学科の2011年度～2018年度第1学年次入学者は、学則所定の卒業所要単位数のうち74単位以上を修得していない場合、卒業論文または卒業研究の提出資格ならびに「卒業研究ゼミ1」および「卒業研究ゼミ2」の登録資格を失う。
- 10 社会学部現代社会学科、公共政策学科の2013年度～2018年度第1学年次入学者は、学則所定の卒業所要単位数のうち74単位以上を修得していない場合、「現代社会学卒業研究ゼミ1」および「公共政策学卒業研究ゼミ1」の登録資格を失う。
- 11 学費未納者は、卒業論文等の提出資格を失う。
- 12 卒業論文または卒業研究提出資格の認定は、第7および第8セメスター在学者を対象として、各学期始めに行なう。
- 13 卒業論文等は、別に定める学科所定の様式によらなければならない。
- 14 病気その他止むを得ない正当な事由により指定された期日までに卒業論文等を提出できない者で、事由を証明する書類を添えて延期願（任意の書式）を提出した者は、最大限2週間までその提出を延期することができる。

(卒業延期)

第7条 佛教大学学則第30条第2項に基き、各セメスター終了時における単位の修得状況により、卒業延期（留年）が確定するものとする。

(規程改廃)

第8条 本規程の改廃は、各学部教授会ならびに大学院各研究科教授会の議を経て、大学評議会の承認を得なければならない。

附 則

第1条 本規程は、「佛教大学修学規程」（昭和45年4月1日施行）を全面改正し、新規に制定するものとする。

第2条 本規程は、平成6年4月1日から施行する。

第3条 本規程は、平成9年4月1日から改正施行する。

第4条 本規程は、平成10年4月1日から改正施行する。

第5条 本規程は、平成12年4月1日から改正施行する。

第6条 本規程は、平成13年4月1日から改正施行する。

第7条 本規程は、平成19年4月1日から改正施行する。

第8条 本規程は、平成20年4月1日から改正施行する。

第9条 本規程は、平成21年4月1日から改正施行する。

第10条 本規程は、平成22年4月1日から改正施行する。

第11条 本規程は、平成23年4月1日から改正施行する。

第12条 本規程は、平成24年4月1日から改正施行する。

第13条 本規程は、平成25年4月1日から改正施行する。

第14条 本規程は、平成26年4月1日から改正施行する。

第15条 本規程は、平成30年4月1日から改正施行する。

第16条 本規程は、平成31年4月1日から改正施行する。

第17条 本規程は、令和2年4月1日から改正施行する。

第18条 本規程は、令和4年4月1日から改正施行する。

第19条 本規程は、令和6年4月1日から改正施行する。

第20条 本規程は、令和7年4月1日から改正施行する。

I
教育
目標

II
履修
一般

III
教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴文

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV
学籍・
学費

V
キャンパス
ライフ

VI
進路・
就職支援

VII
大学の
取り組み

VIII
規程

【学則・規程】

- ・ 佛教大学学則
- ・ 佛教大学大学院学則
- ・ 佛教大学学位規程
- ・ 佛教大学学位規程細則
- ・ 佛教大学別科規程
- ・ 修学規程
- ・ 大学協議会規程
- ・ 学籍異動に関する規程
- ・ 佛教大学転籍規程
- ・ 佛教大学大学院転籍規程
- ・ 佛教大学大学院転籍に関する内規
- ・ 学費等納付規程
- ・ 大学院学費等納付規程
- ・ 佛教大学学生懲戒規程
- ・ 佛教大学奨学生奨学金給付規程
- ・ 佛教大学奨学生奨学金給付規程細則
- ・ 佛教大学大学院奨学生奨学金給付規程
- ・ 佛教大学外国人留学生特別奨学金給付規程
- ・ 佛教大学外国人留学生新入生特別奨学金給付規程
- ・ 佛教大学私費外国人留学生奨学一時金給付規程
- ・ 佛教大学外国人留学生授業料減免規程
- ・ 佛教大学生外国留学奨学金規程
- ・ 佛教大学障がい学生奨学金給付規程
- ・ 佛教大学奨学生および各種奨学生選考・推薦規程
- ・ 学資給付金規程
- ・ 学資給付金規程細則
- ・ 学資貸付金規程
- ・ 被災者に対する奨学金規程
- ・ 傷害治療費・修理費給付規程
- ・ 佛教大学教育後援会育英奨学金規程
- ・ 佛教大学教育後援会育英奨学生選考・推薦規程
- ・ 佛教大学教育後援会課外活動奨励制度規程
- ・ 佛教大学教育後援会短期貸付金規程
- ・ 遺失物・拾得物取扱規程
- ・ 学生の施設使用に関する規程
- ・ 学友会会則
- ・ 佛教大学におけるハラスメントに関する指針
- ・ ハラスメント相談窓口に関する規程
- ・ 鷹陵館利用規程
- ・ 鹿溪館使用規程
- ・ 鹿溪館使用規程細則
- ・ 佛教大学学生ボランティア支援制度規程
- ・ 就職斡旋規程
- ・ 学生の課外活動に関する規程
- ・ 学生の課外活動に関する規程細則
- ・ 課外活動援助金規程
- ・ 課外活動援助金規程細則
- ・ 課外活動における教室使用細則
- ・ 課外活動における鷹陵館施設使用細則
- ・ 課外活動における岩倉グラウンド施設使用細則
- ・ 課外活動における岩倉グラウンド
セミナーハウス「光照」施設使用細則
- ・ 課外活動における広沢グラウンド施設使用細則
- ・ 課外活動における園部キャンパス・
スポーツゾーン施設使用細則
- ・ 課外活動における園部キャンパス・スポーツゾーン
セミナーハウス「和順」施設使用細則
- ・ 佛教大学情報セキュリティポリシー

各規程の最新の内容は[ホームページ](#)にて確認してください。

※トップページ > 学生生活 > 学生生活サポート > 学生生活基礎知識

I

教育
目標

II

履修
一般

III

教育
課程

全学

仏教

日文

中国

英米

歴史

歴史文

教育

幼教

臨床

現社

公共

社福

その他

IV

学籍・
学費

V

キャンパス
ライフ

VI

進路・
就職支援

VII

大学の
取り組み

VIII

規程

授業欠席届（複写後切り取って利用してください）

※提出方法等、詳細はp.37にあります。

授業欠席届

提出日 年 月 日

担当者

先生

開講科目

欠席日・期間

月 日() ~ 月 日()

実際に欠席した回数は、計 回

学部

学科

年生

学籍番号

—

氏 名

欠席理由

このたび以下の理由により授業を欠席したので報告します。

※ 必要に応じ、欠席理由を証明する書類を添付してください。
※ この届出は授業欠席を報告するものであり、
公欠として扱われるものではありません。

佛教大学

授業欠席届

提出日 年 月 日

担当者

先生

開講科目

欠席日・期間

月 日() ~ 月 日()

実際に欠席した回数は、計 回

学部

学科

年生

学籍番号

—

氏 名

欠席理由

このたび以下の理由により授業を欠席したので報告します。

※ 必要に応じ、欠席理由を証明する書類を添付してください。
※ この届出は授業欠席を報告するものであり、
公欠として扱われるものではありません。

佛教大学

授業欠席届

提出日 年 月 日

担当者

先生

開講科目

欠席日・期間

月 日() ~ 月 日()

実際に欠席した回数は、計 回

学部

学科

年生

学籍番号

—

氏 名

欠席理由

このたび以下の理由により授業を欠席したので報告します。

※ 必要に応じ、欠席理由を証明する書類を添付してください。
※ この届出は授業欠席を報告するものであり、
公欠として扱われるものではありません。

佛教大学

授業欠席届

提出日 年 月 日

担当者

先生

開講科目

欠席日・期間

月 日() ~ 月 日()

実際に欠席した回数は、計 回

学部

学科

年生

学籍番号

—

氏 名

欠席理由

このたび以下の理由により授業を欠席したので報告します。

※ 必要に応じ、欠席理由を証明する書類を添付してください。
※ この届出は授業欠席を報告するものであり、
公欠として扱われるものではありません。

佛教大学

時刻表

※この用紙は時間割作成のために、自由に書き込んで使ってください。提出の必要はありません。

	1			2			3			4			5			6		
	開講科目	担当者	単位	開講科目	担当者	単位	開講科目	担当者	単位	開講科目	担当者	単位	開講科目	担当者	単位	開講科目	担当者	単位
月																		
火																		
水																		
木																		
金																		
土																		
	開講科目	担当者	単位	開講科目	担当者	単位	開講科目	担当者	単位	開講科目	担当者	単位	開講科目	担当者	単位	開講科目	担当者	単位
遠隔科目																		
集中																		

時刻表

※この用紙は時間割作成のために、自由に書き込んで使ってください。提出の必要はありません。

[illegible]

- ・ 2019年度以降 学部第1学年次入学者適用
(教育学部教育学科・幼児教育学科／社会福祉学部社会福祉学科を除く)
- ・ 2021年度以降 社会福祉学部社会福祉学科 第1学年次入学者適用
- ・ 2022年度以降 教育学部教育学科・幼児教育学科 第1学年次入学者適用
- ・ 2024年度以降 仏教学科 第1学年次入学者適用

